

平成30年度

病院年報

Yearly Report of Hospital

公立藤岡総合病院



病院年報

公立藤岡総合病院



しらさぎの里



平成 30 年度病院年報発刊に寄せて

病院長 塚田 義人

当院は、昨年 2017 年 11 月に念願の外来と病棟の再統合を果たすことができました。15 年余りの両者の分離状態は、いくつかの矛盾を抱えながらもそれなりの安定した体制で運営が図られていたため、再統合がいきなりすべての問題を解決するわけではなく、むしろ新たな困難を生じる場面が生じていることも否定はできません。構造上、旧外来センターと新病棟に 2 か所をかかえたまま業務を効率的に行う必要のある部署もあります。また、病床の増えた HCU(24 床)と患者数の増加している救急外来、そして新病院としての外来部門との間で、患者対応やスタッフ配置の調節なども、実情をみながら最適な方策を探る必要があります。新しい方向に希望をもって舵を切ったわけですので、小さな不満をつぶやくのではなく、より建設的に知恵を出し合い改善を図るべきであると思います。

病院統合により、特に外来と病棟を移動していた医師にとっては無駄な労力と時間が解消しました。最新の医療機器を整備するため大きな投資も行いました。それらを有効に活用し、医療安全に配慮しながら水準の高い診療が各診療科で展開されることを望みます。

今年度から新規に開設された口腔外科は、本来の診療だけでなく、周術期、がん化学療法時の口腔ケア、さらに高齢者のオーラルフレイルなど幅広く活躍の場があり、新時代の総合病院にとって必須の機能を発揮していただけるものと期待しています。

新病院では、今後の医療需要の変化を見据え、既に開設していた地域包括病棟(47 床)に加え、回復期病棟(48 床)を新たに開始しました。主に脳血管疾患や整形外科的疾患の方が急性期を過ぎた後に、自宅退院を目指してじっくりとリハビリに取り組んでいただく病棟です。急性期の病床はその分だけ収容力が低下するため、病床運営には今まで以上に工夫が必要となります。

今後、少子化と超高齢化社会の現実が、当院と他の医療・介護機関との連携のあり方に大きく影響を与えることは明らかです。現在の医療の現場に既に随所にわたり萌芽が垣間見えています。単に病気を治して自宅に退院してもらおうという旧来の形から、どのような回復段階でどの場所に落ち着いていただくかを常に意識しながら多職種からなるチーム医療を行わなければならない時代になっています。当院はこのような新しい現実に柔軟に対応しながらも、長年地域の皆さんから寄せられている信頼にこたえ続けなければなりません。

この度 2018 年度の当院の診療の報告がまとまりましたので関係各位にご高覧いただければ幸いです。

病院事業

【公立藤岡総合病院】

I 病院の現況

1. 病院の概要	1
2. 組合構成団体の地勢と位置	4
3. 歴史と沿革	6
4. 建物配置図及び面積表	12
5. 建物設備の概要	13
6. 主要医療機器	24
7. 平成30年度導入医療機器	27
8. 医療法に関する許可承認事項	28

II 組織及び職員の現況

1. 組織	32
2. 職員数	33
3. 主要役職員名簿	34
4. 議会	36

III 院内会議及び委員会

1. 会議	37
2. 委員会	37

IV 学会及び研修会

	41
--	----

V 研究業績

1. 論文	54
2. 学会及び研究発表	55
3. 講演	61
4. 講演会・研修会開催実績	64
5. 院内学会	68
6. 看護部院内研修	75
7. 認定看護師の活動記録	80
8. CPC	94
9. 教育実習生・研修生受入実績	95
10. 医師臨床研修制度	97

VI 購入図書

	108
--	-----

VII 経営状況

1. 損益計算書	110
2. 貸借対照表	111
3. 経営分析	112

VIII 業務統計

1. 入院・外来患者の状況	113
2. 診療請求の現況	125
3. 救急患者の状況	128
4. 分娩件数	130
5. 剖検数	130
6. 内視鏡件数	130
7. 循環器科	131
8. 手術件数	131
9. 薬剤部	148
10. 放射線室	151
11. 検査室	155

12. リハビリテーション室	158
13. 栄養室	160
14. 人工透析室	160
15. 患者支援センター	161
16. 健診センター	162
17. 母親学級	162

IX 群馬県立赤城養護学校

公立藤岡総合病院分教室	163
-------------	-----

介護老人保健施設事業

【介護老人保健施設 しらさぎの里】

【訪問看護ステーション はるかぜ】

I 施設の現況

1. 施設の概要	165
2. 歴史と沿革	167

II 職員の現況

1. 職員数	168
2. 主要役職員名簿	168

III 学会及び研修会

	169
--	-----

IV 教育実習生・研修生受入実績

	171
--	-----

V 経営状況

1. 損益計算書	172
2. 貸借対照表	174
3. 経営分析	175

VI 業務統計

1. 介護老人保健施設「しらさぎの里」	176
2. 訪問看護ステーション「はるかぜ」	178

業務概要

1. 診療部	179
2. 薬剤部	192
3. 診療支援部	192
4. 看護部	199
5. 経営管理部	212
6. 研修管理センター	214
7. 安全管理センター	215
8. 患者支援センター	217
9. 緩和ケアセンター	217
10. しらさぎの里管理課	218

病院行事

1. 主な病院行事	219
2. 職員健康管理	220
3. 職員共済行事	220

病 院 事 業

【公立藤岡総合病院】

病院の理念

患者本位の医療

基本方針

1. 患者さんの意思を尊重し、信頼される医療を提供します。
2. 地域中核病院として、高度な医療と救急医療の充実に努めます。
3. 急性期病院として、関係機関と連携し地域医療の充実に目指します。
4. 地域がん診療連携拠点病院として、機能の充実強化に努めます。
5. 臨床研修指定病院として、地域医療を担う優れた医師の育成に努めます。
6. 地域医療支援病院として、地域の医療人の教育・研修の充実強化に努めます。

看護部理念

「患者さんの満足」と「看護者のやりがいの実現」に向けて、人間愛に基づいた専門性の高い看護サービスの提供を目指します。

基本方針

1. 患者さんの命と尊厳を守る心のこもった看護を提供します。
2. 質の高い看護が提供できるよう看護職員の能力開発に努めます。
3. 地域の医療チームと連携し、継続したケアの提供に努めます。

I 病院の現況

1. 病院の概要（平成 31 年 3 月 31 日現在）

名称	公立藤岡総合病院	
所在地	群馬県藤岡市中栗須 813 番地 1	
電話番号等	TEL : 0274 (22) 3311 (代表) FAX : 0274 (24) 3161 E-mail : somu@fujioka-hosp.or.jp URL : http://www.fujioka-hosp.or.jp	
開設者	多野藤岡医療事務市町村組合 管理者 新井 雅博	
構成市町村	藤岡市、上野村、神流町、高崎市	
病院長	石崎 政利	
病床数	399 床（一般 395 床、感染症 4 床）	
診療科目	内科、精神科、神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、歯科口腔外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科（27 科）	
施設	敷地面積	40,807.91 m ² ・職員駐車場面積 16,478 m ²
	延床面積	34,275.33 m ²
	構造	鉄骨・鉄筋コンクリート造
	規模	地上 7 階、入院棟、放射線棟、接続棟、外来棟
	附帯施設	駐車場 約 1,000 台（患者用 約 300 台） 訪問看護ステーション「はるかぜ」 群馬県立赤城養護学校公立藤岡総合病院分教室 院内保育所
診療指定	保険医療機関、国保療養取扱機関、労災保険、結核指定医療機関、生活保護法、指定自立支援医療機関（更生医療・育成医療・精神通院）、養育医療、救急医療告示病院、母体保護法指定医、肝疾患専門医療機関、特定医療費（指定難病）指定医療機関、小児慢性特定疾病指定医療機関、原爆被害者一般疾病医療機関、地域災害拠点病院、第二種感染症指定病院、群馬県エイズ診療協力病院、群馬県地域周産期母子医療センター、臨床研修指定病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、開放型病院、DPC 対象病院、病院機能評価認定、卒後臨床研修機能評価機構認定、人間ドック・健診施設機能評価認定	
施設基準	【基本診療料】	
	歯科点数表の初診料の注 1 に規定する施設基準	歯科外来診療環境体制加算 1
	急性期一般入院料 1	超急性期脳卒中加算
	診療録管理体制加算 2	医師事務作業補助体制加算 2（40 対 1）
	急性期看護補助体制加算（50 対 1）	療養環境加算
	重症者等療養環境特別加算	無菌治療室管理加算 1
	無菌治療室管理加算 2	緩和ケア診療加算
	栄養サポートチーム加算	医療安全対策加算 1
	医療安全対策地域連携加算 1	感染防止対策加算 1
	感染防止対策地域連携加算	抗菌薬適正使用加算
	患者サポート体制充実加算	ハイリスク妊娠管理加算
	ハイリスク分娩管理加算	総合評価加算
	後発医薬品使用体制加算 1	病棟薬剤業務実施加算 1
	データ提出加算 2	入院時支援加算
	地域連携診療計画加算	入院時支援加算
	認知症ケア加算 2	小児入院医療管理料 4
	小児入院医療管理料の「注 2」に規定する加算	回復期リハビリテーション病棟入院料 1
	地域包括ケア病棟入院料 2	看護職員配置加算
	【特掲診療料】	
	歯科疾患管理料の注 11 に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	
	糖尿病合併症管理料	がん性疼痛緩和指導管理料
	がん患者指導管理料イ	がん患者指導管理料ロ
	がん患者指導管理料ハ	外来緩和ケア管理料
	糖尿病透析予防指導管理料	乳腺重症化予防ケア・指導料
	地域連携小児夜間・休日診療料 1	
	夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に規定する救急搬送看護体制加算	
	外来放射線照射診療料	開放型病院共同指導料
	がん治療連携計画策定料	薬剤管理指導料
	医療機器安全管理料 1	医療機器安全管理料 2

医療機器安全管理料（歯科）	遺伝学的検査
骨髄微小残存病変測定	HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
検体検査管理加算（Ⅰ）	検体検査管理加算（Ⅳ）
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	長期継続頭蓋内脳波検査
神経学的検査	小児食物アレルギー負荷検査
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	CT 撮影及び MRI 撮影
外来化学療法加算 1	無菌製剤処理料
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）	脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
がん患者リハビリテーション料	歯科口腔リハビリテーション料 2
人工腎臓（慢性維持透析を行った場合 1）	導入期加算 2 及び腎代替療法実績加算
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	下肢末梢動脈疾患指導管理加算
手術用顕微鏡加算	CAD/CAM 冠
脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術	
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	
乳がんセンチネルリンパ節加算 1（センチネルリンパ節生検（併用））	
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	
大動脈バルーンポンピング法（IABP 法）	
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術	
輸血管理料Ⅱ	輸血適正使用加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	胃瘦造設時嚥下機能評価加算
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	歯根端切除手術の注 3
麻酔管理料（Ⅰ）	放射線治療専任加算
外来放射線治療加算	高エネルギー放射線治療
1 回線量増加加算（全乳房照射）	画像誘導放射線治療加算（IGRT）
体外照射呼吸性移動対策加算	定位放射線治療
クラウン・ブリッジ維持管理料	
【入院時食事療養費】	
入院時食事療養費（Ⅰ）	
【保険外併用療養費】	
入院医療に係る特別の療養環境の提供	時間外診察
200 床以上の病院の初診	入院期間 180 日を超える入院
金属床による総義歯の提供	

教育指定	日本内科学会認定医制度教育関連病院	日本血液学会血液研修施設
	日本呼吸器学会認定施設	日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
	日本腎臓学会研修施設	日本透析医学会専門医制度認定施設
	日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
	日本心血管インターベンション治療学会認定研修関連施設	
	日本外科学会外科専門医制度修練施設	日本呼吸器外科学会専門医制度修練施設
	日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設	日本消化器病学会専門医制度認定施設
	日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設	日本脳神経血管内治療学会研修施設
	日本がん治療認定医機構認定研修施設	日本臨床腫瘍学会認定研修施設
	日本緩和医療学会認定研修施設	日本整形外科学会専門医制度研修施設
	日本手外科学会基幹研修施設	日本リウマチ学会教育施設
	日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所	日本神経学会専門医制度教育関連施設
	日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院	日本泌尿器科学会専門医教育施設
	日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
	日本病理学会病理専門医制度研修認定施設	日本臨床細胞学会施設認定施設
	日本静脈経腸栄養学会 NST(栄養サポートチーム) 稼働施設	
	日本静脈経腸栄養学会 NST(栄養サポートチーム) 専門療法士実地修練施設	
	日本小児科学会小児科専門医専門医研修施設	日本リハビリテーション医学会研修施設
	日本栄養療法推進協議会 NST(栄養サポートチーム) 稼働施設	
	日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関	日本気管食道科学会研修施設
	日本人間ドック学会研修施設	日本病態栄養学会認定病態栄養専門医研修認定施設

人間ドック 日本病院会指定、人間ドック・健診施設機能評価認定

人工透析室 ベッド数 29 床

救急体制 救急処置室、救急指定、病院群輪番制（二次救急）

ガン検診治療施設 リニアック、シンチレーションカメラ、循環器撮影装置、全身用 CT、MRI、PET - CT

リハビリテーション施設	運動療法室、作業療法室、言語聴覚療法室、水治療室
未熟児施設	ベッド数4床、経皮酸素分圧測定装置、レスピレーター、ECGモニター、光線治療ユニット、エアオキシゲンプレンダー、保育器
病理解剖施設	病理検査室、解剖室、固定標本室

2. 組合構成団体の地勢と位置

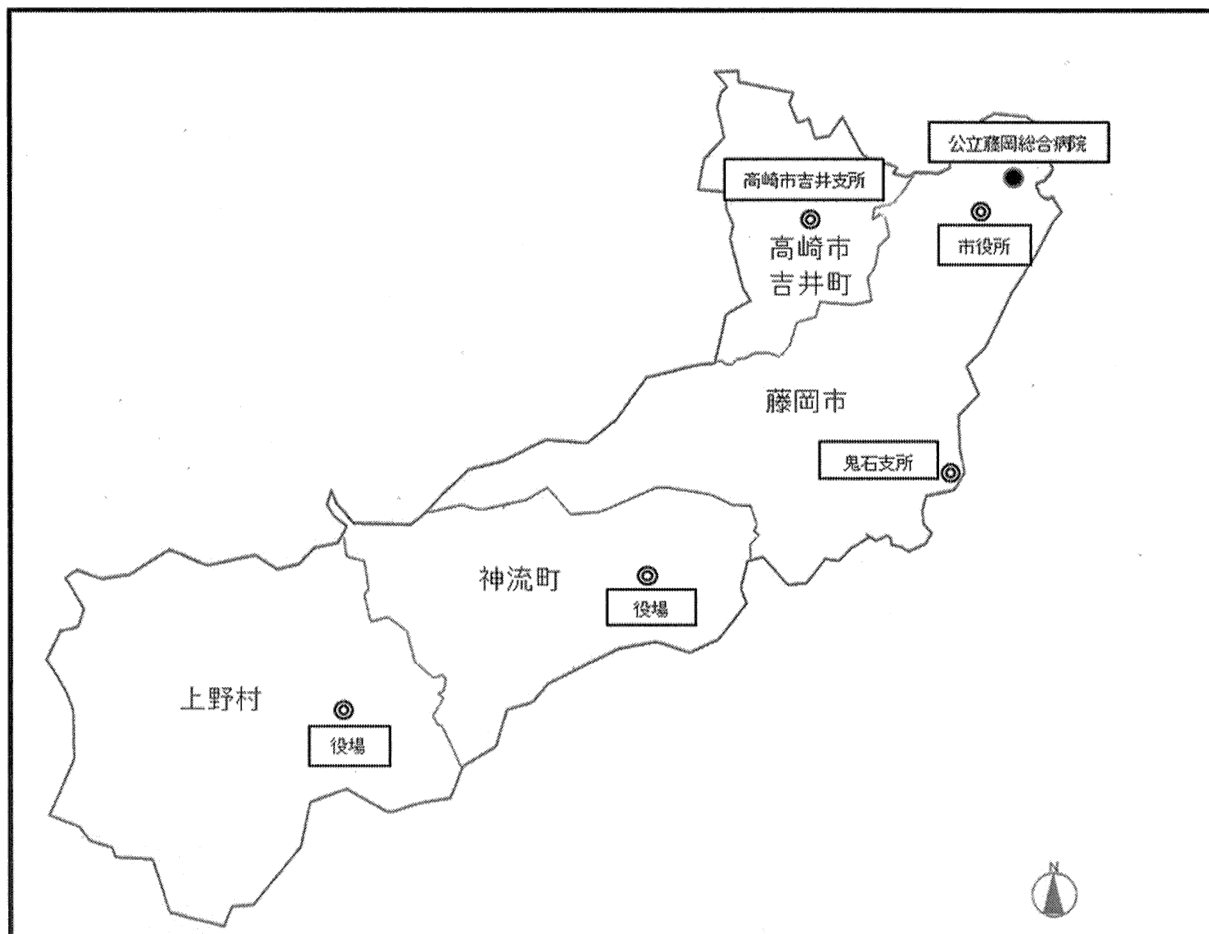
当組合構成市町村は、関東地方の北西部、群馬県の南西部に位置し、地形は東西 52.0km、南北 12.5km、総面積 482.54 km² で群馬県面積の 7.6%を占める。藤岡市を中心に上野村、神流町、高崎市（吉井区域）の 2市1町1村から構成されている。

高崎市の吉井区域について、平成 21 年 6 月 1 日に吉井町は高崎市と合併したが、配置分合により、吉井町が組合を脱退し、吉井区域について高崎市が組合に加入となる。

東南部は神流川を隔てて埼玉県に、西は富岡市及び甘楽郡、北は烏川を隔てて高崎市及び佐波郡玉村町に境界を接している。

南西部は関東山地の秩父荒船連山に囲まれ、中央部は御荷鉢、赤久縄連山で分断され、東北部を除き大部分が山岳地帯であり、西から東へと流れる神流川の上流域は首都圏の水源にもなっていて、山・川等の美しく豊かな自然に恵まれている。中世には関東管領上杉憲実公の城下町として繁栄した歴史を残しながら、関越自動車道と上信越自動車道の分岐点として発展し、群馬県の表玄関となっている。

当病院は、この圏域の東北部の位置にあり、JR 八高線北藤岡駅の南 2km、上信越自動車道藤岡 IC 南東 1km に位置している。

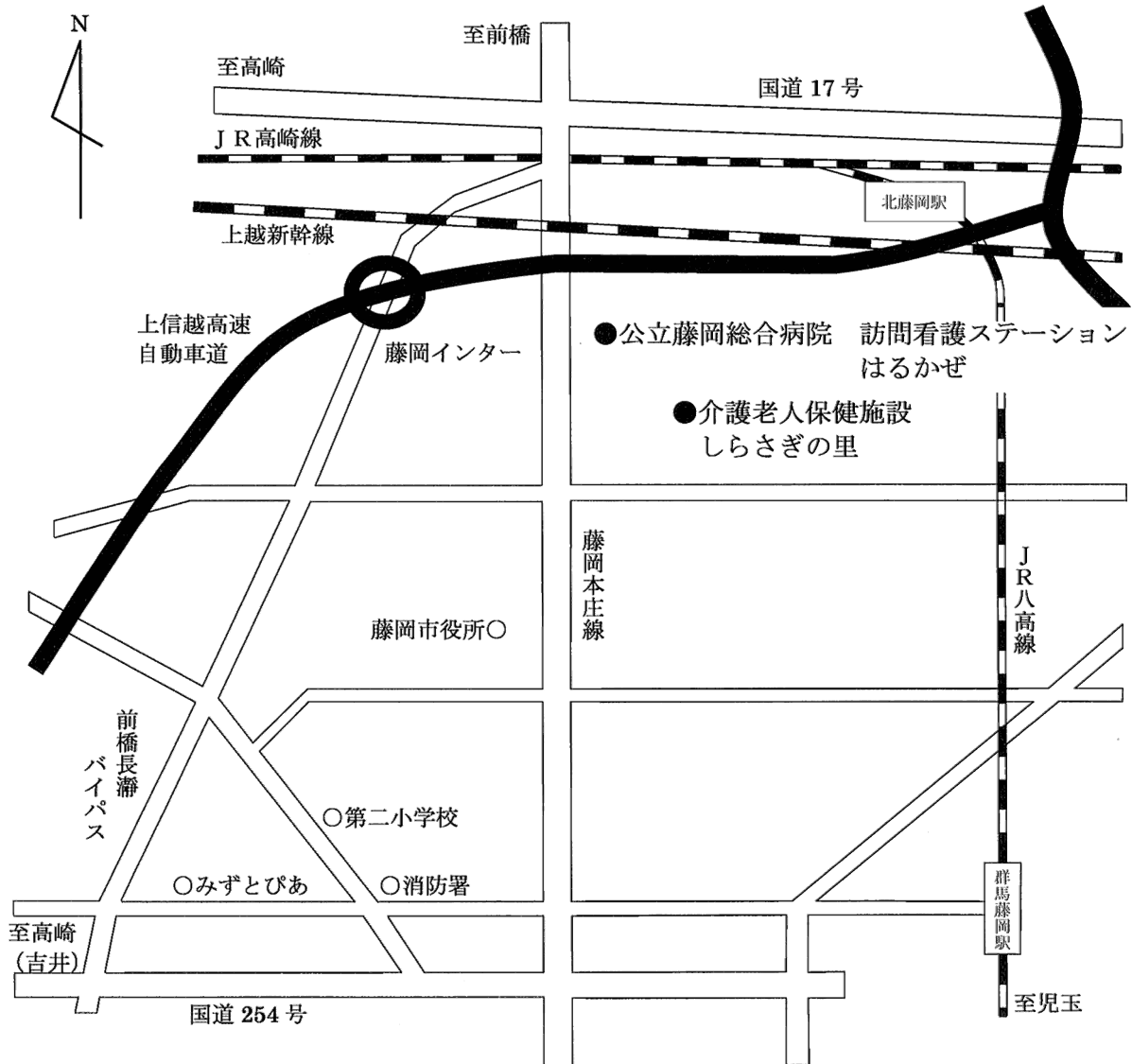


【交通のご案内】

JR 八高線 北藤岡駅から徒歩 25 分

JR 高崎線 新町駅から車で 10 分

上信越自動車道 藤岡 IC から車で 3 分



3. 歴史と沿革

昭和25年12月5日	多野郡藤岡町外16ヶ町村多野医療事務町村組合を設立 藤岡町、神流村、新町、小野村、八幡村、美土里村、平井村、美九里村、吉井町、多胡村、日野村、入野村、三波川村、美原村、万場町、中里村、上野村
昭和26年3月31日	病院建築工事着工（木造2階建）
4月10日	病院開設許可（42床 群馬県指令第363号）（一般25床 結核17床）
11月15日	病院開院 初代病院長 森 鉄太郎
11月17日	結核予防法による医療機関指定
19日	保険医指定
27日	病院使用許可（30床）（内科、外科、産婦人科）
昭和27年9月30日	病院使用許可（51床）（一般28床 結核23床）
昭和28年1月22日	病院開設許可事項一部変更許可（一般8床増床）
5月11日	第二代病院長 中川 恭一
6月 1日	生活保護法による医療機関指定
10日	病院施設増築許可
23日	病院使用許可（59床）（一般36床、結核23床）
7月15日	小児科、整形外科開設
10月15日	放射線科開設
昭和29年4月23日	病院開設許可事項一部変更許可（結核30床増床）
7月19日	病院使用許可（89床）（一般36床、結核53床）
10月15日	労災保険指定病院指定
昭和30年4月1日	第三代病院長 藤多 喜一
9月23日	多野藤岡医療事務市町村組合と改称 （藤岡市、新町、鬼石町、吉井町、万場町、中里村、上野村）
12月26日	医師住宅建築（木造平屋建、49.5㎡） 医師住宅建築（木造平屋建、39.6㎡）
昭和32年12月9日	病院開設許可事項一部変更許可（一般44床増床）
昭和33年3月31日	病院増築工事竣工
5月8日	病院使用許可（133床）（一般80床、結核53床） 耳鼻咽喉科開設
10月1日	基準給食実施承認
昭和35年10月1日	多野藤岡伝染病予防事務市町村組合設立許可
昭和36年6月14日	伝染病棟開設許可
24日	伝染病棟使用許可（35床）
昭和40年7月29日	病院開設許可事項一部変更許可（寝具、消毒室、リネン室）
8月16日	病院使用許可（寝具、消毒室、リネン室）
昭和43年4月1日	地方公営企業法適用
昭和44年2月14日	救急告示病院
昭和45年6月4日	病院開設許可事項一部変更許可（全面増改築）
9月28日	病院増改築工事着工
昭和46年9月30日	病院増改築工事竣工 鉄筋コンクリート造、地下1階、地上5階、塔屋2階 7,540.68㎡
10月8日	病院使用許可（213床）（一般180床、結核33床、伝染35床） 眼科、脳神経外科開設
20日	新病棟へ移転開始
昭和48年11月1日	総合病院名称使用承認 （内科、外科、小児科、整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、眼科、放射線科）
昭和49年3月31日	多野藤岡伝染病予防事務組合の解散
4月1日	多野藤岡医療事務市町村組合伝染病隔離病舎設立
8月1日	基準看護変更実施承認（一般、特Ⅰ類）
昭和51年9月1日	基準看護変更実施承認（一般、特Ⅱ類 結核、Ⅲ類）
昭和53年3月27日	医師住宅建築（木造平屋建、69.56㎡ 2棟）
昭和55年4月1日	第四代病院長 大野 治俊
11月22日	医事課電算機導入
29日	書類倉庫建築（プレハブ 49.5㎡）
昭和56年11月1日	重症者看護及び重症者の収容基準の実施承認（8床）

昭和57年3月10日	全身用CT導入 (CT-W3-10形)
31日	医師住宅建築 (木造2階建、112㎡) 看護婦寮竣工 (鉄筋コンクリート造、地上3階、1,061.2㎡) (36人収容) カルテ倉庫建築 (ブロック造)
昭和59年11月20日	病院開設許可事項一部変更許可 (増改築)
24日	病院増改築工事起工式
昭和60年4月10日	群馬県立西毛養護学校多野総合病院分教室開校
18日	中国陝西省衛生友好団来院
8月2日	病院開設許可事項一部変更許可 (伝染病棟病床数変更、中央診療棟増築工事)
13日	日航ジャンボ機墜落事故生存者収容 (落合由美、川上慶子、吉崎博子、吉崎美紀子) 日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認レントゲン撮影 ~9月26日
14日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認派遣 (医師1名、看護婦20名)
16日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認派遣 (看護婦13名)
9月7日	中国研修医来院 (陳 君三、白 本寛) (6ヶ月間)
11月12日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者部分遺体確認レントゲン撮影 ~11月23日
12月18日	病院使用許可 (中央診療棟、新設病棟)
23日	病院開設許可事項一部変更許可 (旧病棟改修)
昭和61年6月14日	病院使用許可 (旧病棟)
30日	病院増改築工事竣工 (413床) (一般370床、結核33床、伝染10床) 病棟管理棟16,406.7㎡、中央診療棟2,495.0㎡、伝染病棟500.0㎡
7月9日	病院使用許可 (運動療法室、救急処置室、外来診療)
9月1日	運動療法の施設基準実施承認
10月6日	理学診療科開設
11月10日	病院開設許可事項一部変更許可 (麻酔科開設、麻酔科外来) 中国陝西省衛生友好団来院
12月16日	病院使用許可 (麻酔科外来)
昭和62年1月1日	重傷者看護及び重傷者の収容基準の実施承認 (20床)
1月29日	短期人間ドック施設認定 (日本病院会)
3月1日	多野総合病院院内保育所開所
6月5日	泌尿器科開設
11日	病院使用許可 (泌尿器科外来)
19日	会計検査院実地検査
9月3日	中国研修医来院 (夏 中洵、顧 曉紅) (3ヶ月間)
昭和63年6月20日	全身用CT買替 (QUANTEX-RX形)
8月1日	ミキシング業務開始 (外科病棟)
9月22日	患者専用駐車場用地取得 (1,059.44㎡)
平成元年7月25日	駐車場造成舗装工事
平成2年3月20日	人間ドック室改修工事竣工 (8床 281.9㎡)
30日	病院使用許可 (人間ドック室)
平成3年8月20日	病院開設許可事項一部変更許可 (放射線棟増築工事)
平成4年1月10日	放射性同位元素等使用許可
3月10日	放射線棟竣工 (鉄筋コンクリート造地下1階、地上2階、457.98㎡) 放射線治療システム (ライナック)・シンチカメラ・循環器X線撮影装置導入
平成4年4月1日	第五代病院長 小栗 政夫
7日	精神・神経科開設
4月30日	高周波利用設備許可
5月6日	施設検査合格証 (放射線棟)
11日	病院施設使用許可 (放射線棟)
18日	労働者災害保証保険外科後処置実施医療機関指定
9月4日	理学療法等の施設基準実施承認 (作業療法Ⅱ)
12月25日	病院施設使用許可 (皮膚科外来)
平成5年1月6日	皮膚科開設
4月1日	週休2日制 (週40時間勤務) 実施
5月16日	病院開設許可事項一部変更許可 (一般11床増床)
31日	病院使用許可 (424床) (一般381床、結核33床、伝染10床)
平成7年5月2日	病院開設許可事項一部変更許可 (MRI棟増築工事)
平成8年2月5日	病院施設使用許可 (MRI棟2階部分)
2月24日	病院施設使用許可 (MRI棟)

7月1日	循環器科開設
平成9年3月27日	災害拠点病院指定（地域災害医療センター）
31日	鬼石町脱退（藤岡市、新町、吉井町、万場町、中里村、上野村）
4月1日	組合規約変更許可 名称変更 公立藤岡総合病院・議員定数変更（20名）
7月1日	組合立老人保健施設「しらすぎの里」開設 入所定員80名（一般棟40名、痴呆専門棟40名）、通所定員40名 病院施設使用許可（414床）（一般371床、結核33床、伝染10床）
8月1日	老人保健施設「しらすぎの里」に老人訪問看護ステーション開設
11月7日	高周波利用設備許可
平成10年2月12日	身体障害者福祉法指定医指定
9月29日	病院開設許可事項一部変更許可（結核33床の廃止、療養型病床群58床の開設）
30日	病院施設使用許可（381床）（一般313床、療養58床、伝染10床）
10月22日	病院開設許可事項一部変更許可（事務棟336.73㎡）
7日	病院開設許可事項一部変更許可（一般43床増床）
24日	病院施設使用許可（424床）（一般356床、療養58床、伝染10床）
平成11年2月1日	救急病院
4月1日	病院開設事項一部変更（伝染病床10床廃止、感染症病床4床に変更） 組合規約変更許可（伝染病隔離病舎事業廃止、議員定数変更（21名）） 病院施設使用許可（418床）（一般356床、療養58床、感染症4床）
7月8日	伝染病隔離病舎用途変更（取得財産処分行為）
平成12年1月14日	組合規約変更許可（公立藤岡総合病院附属外来センター設置）
2月23日	病院開設許可事項一部変更許可（一般10床増床） 精神・神経科の名称を精神科に変更
3月29日	病院施設使用許可（428床）（一般366床、療養58床、感染症4床）
4月1日	組合規約変更許可 （名称変更 組合立介護老人保健施設・組合立訪問看護ステーション）
12月27日	開設許可（群馬県指令 医第221号）
4月1日	労災保険二次健診等給付医療機関指定
5月17日	自治体立優良病院・両会長表彰受賞
8月14日	病院開設許可事項一部変更許可（消化器科開設）
平成14年4月1日	第六代病院長 鈴木 忠
5月21日	病院開設許可事項一部変更許可（西病棟改修）
7月26日	病院開設許可事項一部変更許可（療養病床58床廃止）
3月7日	病院開設許可事項一部変更許可（395床）（一般391床、感染症4床） （神経内科開設）
11日	病院施設使用許可（395床）（一般391床、感染症4床）
4月1日	万場町と中里村が合併し、神流町となる （藤岡市、新町、吉井町、上野村、神流町） 院内保育所閉所
平成16年3月31日	臨床研修病院指定（厚生労働省発医政第0331050号）
6月15日	手術棟増改築工事着工
7月29日	病院開設許可事項一部変更許可 手術棟（3階建）増設
10月1日	管理型臨床研修病院指定（医政発第1021001号－145）
平成17年1月28日	病院施設使用許可 手術棟（3階建）増設
3月27日	病院機能評価訪問審査
28日	手術棟増改築工事竣工（地上3階）
6月1日	群馬県地域周産期母子医療センター指定（保予第261－2号）
20日	病院機能評価認定（JC571号 審査体制区分3Ver. 4.0） 認定期間：平成17年6月20日～平成22年6月19日
平成18年1月23日	新町脱退 （藤岡市、吉井町、上野村、神流町）
2月24日	議員定数変更（19名）
4月1日	地域医療支援病院名称使用承認（群馬県指令医第166－1号） DPC（診断群分類別包括評価）準備病院
平成19年1月31日	地域がん診療連携拠点病院指定（厚生労働省発健第0131004号）
9月1日	病院敷地内全面禁煙開始

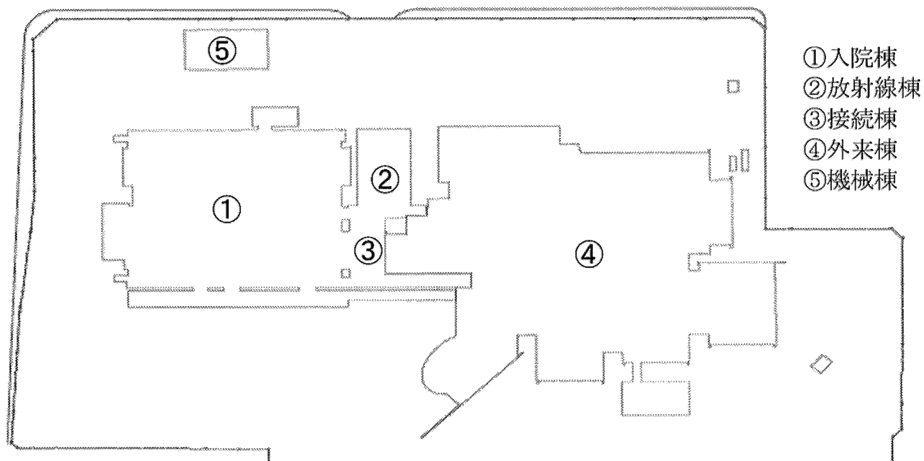
19日	体外式衝撃波結石破碎装置更新
平成20年3月28日	救急医療告示医療機関認定（群馬県指令医第128-7号） 認定期間：平成20年2月1日～平成23年1月31日
3月28日	放射線治療装置更新（医療用リニアック）
4月1日	リウマチ科開設 給食調理業務を委託業者に変更
6月30日	医療情報システム更新（医事会計システム・健診システム）
7月1日	DPC（診断群分類包括評価）対象病院 → DPC請求開始
平成21年1月31日	熱源設備機器更新（ボイラー）
3月19日	公立藤岡総合病院改革プラン策定
4月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目） 消化器科→消化器内科、循環器科→循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科を追加
5月11日	被爆者指定医療機関指定（関厚発第0511054号）
21日	吉井町の配置分合による多野藤岡医療事務市町村組合規約変更許可 （群馬県指令市第30033-6号）
5月31日	新医療情報システム更新（オーダリングシステム）
6月1日	吉井町が高崎市と合併 配置分合により、吉井町が組合を脱退し、吉井区域について高崎市が組合に加入となる。 （藤岡市、上野村、神流町、高崎市）
平成22年3月14日	病院機能評価Ver. 6.0訪問審査（3月14日～16日）
6月20日	病院機能評価認定（第JC571-2号 審査体制区分3 Ver. 6.0） 認定期間：平成22年6月20日～平成27年6月19日
平成23年1月14日	救急医療告示病院認定（群馬県医第128-21号） 認定期間：平成23年2月1日～平成26年1月31日
3月8日	循環器撮影装置更新
5月2日	保険医療機関指定（更新）（関厚発第19号） 指定期間：平成23年5月1日～平成29年4月30日
11月7日	磁気共鳴断層撮影装置（MRI）更新
8日	高周波利用設備変更許可（関東総合通信局）
21日	電子カルテシステム稼働
平成24年10月1日	第2次公立藤岡総合病院改革プラン策定
平成26年1月21日	救急医療告示病院認定（更新）（群馬県医第128-5号） 認定期間：平成26年2月1日～平成29年1月31日
4月1日	第七代病院長 石崎 政利
9月1日	中国研修医来院（程 卫、刘 仕琪）（3ヶ月間）
30日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-76号） 西棟1階、X線撮影室に係る一部用途変更（X線撮影室（4））
12月2日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-101号） 西棟1階、X線撮影室に係る一部用途変更（X線撮影室（3）→医療機器倉庫）
平成27年3月26日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-144号） MRI棟1階、CT撮影室に係る一部用途変更（CT撮影室2→画像診断室）
平成27年4月1日	臨床研修評価機構認定（新規認定） 認定期間：平成27年4月1日～平成31年4月1日
	病院内保育所開設
6月5日	病院機能評価認定（機能種別版評価項目3rdG（Ver. 1.0）一般病院2） 認定期間：平成27年6月20日～平成31年6月19日
8月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目） 放射線科廃止、放射線診断科・放射線治療科・病理診断科を新設
11月1日	地域包括ケア病棟開設 東棟6階（39床）
平成28年2月1日	新入院棟建設工事着工
28日	公立藤岡総合病院 新入院棟建設・附属外来センター改修工事 起工式
4月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目） 救急科を新設
10月11日	電子カルテシステム更新
平成29年1月5日	新公立藤岡総合病院改革プラン策定
2月1日	救急医療告示病院認定（更新）（群馬県医第128-24号） 認定期間：平成29年2月1日～平成32年1月31日
9月30日	公立藤岡総合病院 新入院棟 竣工

10月20日	新公立藤岡総合病院 開設許可 (群馬県指令医第166-44号)
	病床数 一般病床410床 (DPC対応295床、包括ケア47床、回復期リハ48床、人間ドック20床)、感染症病床4床 合計414床
	診療科目 内科、精神科、神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、形成外科(27科)
11月1日	旧病院から新病院へ移転 新公立藤岡総合病院 開院
	陽電子放出断層撮影装置 (PET-CT) 導入
12月1日	保険医療機関指定 (関厚発第105号)
	指定期間：平成29年11月1日～平成35年10月31日
28日	公立藤岡総合病院 旧附属外来センター改修工事 竣工
平成30年3月27日	病院開設許可事項一部変更許可 (一般病床15床廃止)
4月1日	病床数変更 一般病床399床 (DPC対応295床、包括ケア47床、回復期リハ48床、人間ドック5床)、感染症病床4床 合計399床
	歯科口腔外科外来開設
	形成外科外来開設
8月31日	職員駐車場整備工事 竣工

* 附属外来センター(平成14年4月1日～平成29年10月31日)

平成12年12月27日	病院開設許可 20床 (群馬県指令医第221号) 病院建築工事着工
平成13年3月10日	地鎮祭
平成14年3月18日	病院施設使用許可 20床 (その他の病床)
3月25日	病院建築工事竣工
3月27日	労災保険指定医療機関の指定
4月1日	公立藤岡総合病院附属外来センター開院 初代 外来センター長 田中 壯侖 保険医療機関の指定 生活保護法に基づく医療機関指定 結核予防法に基づく医療機関指定
4月11日	地方公務員災害補償基金群馬県支部指定医療機関指定
平成15年2月28日	労働者災害補償保険法に基づく義肢採型指導医指定
平成17年3月4日	診療所開設許可 19床 (藤保指令第203-1号)
3月14日	診療所施設使用許可 19床 (一般19床)
3月24日	病院廃止届 (廃止年月日:平成17年3月31日)
3月31日	保険医療機関廃止届 (廃止年月日:平成17年3月31日)
4月1日	病院から診療所へ変更 保険医療機関の指定
11月24日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査
平成18年1月16日	人間ドック・健診施設機能評価認定 (認定第92号)
平成19年3月1日	障害者自立支援法第64条の規定に基づく指定自立支援医療機関 (精神通院医療) 指定
4月1日	第二代 外来センター長 田村 勝
9月1日	診療所敷地内全面禁煙開始
平成20年3月7日	診療所開設届出許可事項等一部変更届 (診療日及び診療時間の変更)
4月1日	土曜診療の休診 リウマチ科、禁煙外来開設
平成21年4月1日	第三代 外来センター長 清水 透
5月11日	被爆者指定医療機関指定
平成22年1月6日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査
2月12日	人間ドック・健診施設機能評価更新認定 (認定第92号) 認定期間:平成22年4月1日～平成27年3月31日
平成23年1月1日	肝疾患専門医療機関認定
4月1日	保険医療機関指定 (更新) 指定期間:平成23年4月1日～平成29年3月31日
7月2日	建築基準法第6条第1項の規定による確認 (化学療法室増築)
11月27日	化学療法室竣工 (218.77㎡)
12月17日	電子カルテシステム外来部門稼働
平成26年8月8日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査 人間ドック・健診施設機能評価更新認定 (認定第92号) 認定期間:平成27年4月1日～平成32年3月31日
平成29年4月1日	保険医療機関指定 (更新) 指定期間:平成29年4月1日～平成35年3月31日
平成29年10月31日	新公立藤岡総合病院開院に伴う附属外来センター廃院

4. 建物配置図及び面積表



	①入院棟	②放射線棟	③接続棟	④外来棟
7階	南病棟 47床			
6階	北病棟 47床 南病棟 46床			
5階	北病棟 46床 南病棟 47床			
4階	北病棟 38床 南病棟 47床			
3階	HCU 24床 手術室・中央材料滅菌室 麻酔・ペインクリニック科 内視鏡室、血管撮影室	機械室		健康管理センター 人間ドック宿泊施設
2階	北病棟 48床 人工透析 29床 リハビリテーション室、ME室 会議室、スタッフルーム、図書室	核医学診断室	管理事務室	訪問看護ステーション 臨床検査室、内視鏡センター 産婦人科、小児科、眼科 耳鼻咽喉科、皮膚科 泌尿器科、心療内科 歯科口腔外科、形成外科 医局、病院長室、応接室 研修室、レストラン
1階	感染症病室 4床、救急センター 放射線診断室、検査室 入院受付、支払窓口 防災センター、入退院支援室 地域連携室、総合相談室 緩和ケアセンター 栄養室・厨房	放射線治療室	SPD	総合案内、外来受付 支払窓口、売店、がんサロン 薬局、お薬サロン、栄養相談室 検査センター、画像診断センター 内科、外科、整形外科 脳神経外科、処置点滴室 化学療法室、外来スタッフ室 医療情報管理室、病歴管理室 保育所、養護学校 リネ諸室、電話交換室

建物面積

	①入院棟	②放射線棟	③接続棟	④外来棟
7階	2,131.46m ²			
6階	2,662.91m ²			
5階	2,662.91m ²			
4階	2,841.31m ²			(搭屋) 81.41m ²
3階	3,063.55m ²	42.15m ²		1,430.66m ²
2階	3,063.55m ²	469.83m ²	353.82m ²	5,180.45m ²
1階	3,065.50m ²	469.83m ²	353.82m ²	6,402.17m ²
計	19,491.19m ²	981.81m ²	707.64m ²	13,094.69m ²

構造

①入院棟 鉄骨・鉄筋コンクリート造
③接続棟 鉄骨造

②放射線棟 鉄筋コンクリート造
④外来棟 鉄筋コンクリート造

敷地面積 40,807.91m² 職員駐車場面積 16,478m²

5. 建物設備の概要

*入院棟

番号	名称	規格	内訳	数量
1	モジュールチラー	空気熱源ヒートポンプ式モジュールチラー RUA-SP243HK5	冷房・暖房	2
2	ジェネリンク	廃熱回収型吸収冷温水機 NHJ-210HN5A	冷房・暖房	2
3	温水ボイラー	真空式温水ボイラー GTL-500BN	暖房・給湯	2
4	冷却塔	開放型、角形、超低騒音 SKB-36×2TS M7 冷却水処理装置 EB-811SC	発電	1
		開放型、角形、超低騒音 SKB-210×2GN 冷却水処理装置 EB-811SC	冷房	1
5	空調用ポンプ群	冷却水ポンプ 65LPD53.7E	発電	2
		冷却水ポンプ 150LPD4J518E	冷房	2
		冷温水一次ポンプ 125LPD4H57.5E	冷房・暖房	2
		冷温水二次ポンプ 80LPD57.5E	冷房・暖房	3
		廃温水ポンプ 65LPD55.5E	冷房・暖房	2
		温水ポンプ(温水余熱) 80LPD53.7E	暖房	1
		温水ポンプ(熱交換器一次側) 40LPD51.5E 温水ポンプ(熱交換器二次側) 40LPD52.2E	暖房 暖房	2 2
6	熱交換器	プレート式熱交換器(暖房余熱) LX-125A-NJ-17	暖房	1
		プレート式熱交換器(温水) LX-095A-NHJ-9	暖房	2
7	膨張タンク	密閉式膨張タンク(廃温水) AFU-500	冷房・暖房	1
		密閉式膨張タンク(冷温水) AFU-300	冷房・暖房	1
		密閉式膨張タンク(温水一次) HM-24	暖房	2
		密閉式膨張タンク(温水二次) AFU-60	暖房	1
8	空調機	外調機(2管式) EI 30 DT他	冷房・暖房	21
		外調機(4管式) EI 50 DT他	冷房・暖房	6
		全熱交換器組込外調機(2管式) EI 50 RH他	冷房・暖房	2
		空調機(2管式) EI 250 DT	冷房・暖房	1
9	ファンコイルユニット	天カセ1方向 #200 DCR-204KV-LW-J3	冷房・暖房	3
		天カセ2方向 DCR-204~804KW-LW-J3	冷房・暖房	85
10	レヒーターコイル	天井隠蔽ダクト接続型 100~1150m3/h #L 3	暖房	19
11	空冷パッケージ エアコン	冷暖フリーマルチ型室外機 REYP224D~1360DR	冷房・暖房	21
		冷暖切替マルチ型室外機 RXYP224DA~900DAR	冷房・暖房	21
		クリーンルーム用カセット形 マルチ室内機 FBXYP45MB~71MB	冷房・暖房	42
		壁掛マルチ室内機 FXYAP28MB~36MB	冷房・暖房	4
		1方向カセット形マルチ室内機 FXYKP22C~71C	冷房・暖房	15
		2方向カセット形マルチ室内機 FXYCP22MB~80MB	冷房・暖房	215
		4方向カセット形マルチ室内機 FXYFP28MJ~140MJ	冷房・暖房	115
		天吊形マルチ屋内機 FXYHP90MC~160MC	冷房・暖房	3
		天井埋込ダクト形マルチ屋内機 FXYMP45C~90C	冷房・暖房	105
		天井ビルトイン形マルチ屋内機 FXYSP22MB~28MB	冷房・暖房	4
		外気処理天井埋込ダクト形マルチ屋内機 FXYMP224MCF~280MCF	冷房・暖房	3
		店舗用パッケージカセット形 SZRK40BBT~SZRC140BAD	冷房・暖房	5
		店舗用パッケージ天吊形 SZRH112BA~SZRH160BA	冷房・暖房	3
厨房用パッケージ天吊形 SZRT140BA	冷房・暖房	2		
設備用パッケージ床置形 SZVCP560KR	冷房	7		
12	送排風機・排煙機	片吸込シロッコファン 1.5kw 床置	給気	1
		片吸込シロッコファン 5.5kw 天吊	給気	1
		片吸込片持形シロッコファン 0.75kw 天吊	給気	1
		消音ボックス付片吸込シロッコファン 2.2kw 天吊	給気	1
		消音ボックス付両吸込シロッコファン 7.5kw 天吊	給気	1
		消音形ストレートシロッコファン BFS-80TUC~BFS-1000TU	給気	30
		片吸込片持形シロッコファン 0.4kw~11kw 床置	排気	7
		片吸込リミットロードファン 1.5kw~5.5kw 床置	排気	6
		片吸込片持形リミットロードファン 3.7kw 床置	排気	1
		消音ボックス付両吸込シロッコファン 5.5kw 天吊	排気	1
		消音型ストレートシロッコファン BFS-80TUC~BFS-300TX1	排気	112
		片吸込排煙ファン 11kw、22kw 床置	排煙	2

番号	名称	規格	内訳	数量
13	換気扇	有圧扇 EWF-30 BTA-Q~35 CTA-Q	給気	4
		天井扇 VD-23ZQ8-W	給気	1
		天井扇 VD-18ZX10-FP	排気	1
14	全熱交換機	天井埋込ダクト形 VAM25GAMS 250m3/h~100GAMES 1000m3/h		7
15	フィルターユニット	RIフィルターユニット(放射線系統) PTS-D4(2+2)PHC-S-AS	排気	1
		HEPAフィルターユニット(感染系統) 1×1.5H-POS-AS	排気	1
		HEPA制気口 CAP-GS-D(H)-SAS-DS-AS他	給気	31
		HEPA制気口 CAP-GS-D(H)-EAS-FS-AS	排気	1
		プレフィルター K-2×3.5P-NG-SP他	給気	7
16	風量制御装置	定風量装置 CDY-150-24他	給気	39
		定風量装置 CDY-150-24他	排気	6
		変風量装置 VDY-150-24他	給気	6
		変風量装置 VDY-150-24他	排気	1
17	自動制御機器 (空調)	デジタル設定器 QY7205A3011	FCU・RH用	一式
		温度検出器 TY7043Z0P00	FCU・RH用	一式
		湿度検出器 HY7043T1000	室内用 (計測)	一式
		温湿度発信機 HTY7043T1P00	室内用 (計測)	一式
		温度発信機 TY7803C000M (通信タイプ)	ダクト用	一式
		温湿度発信機 HTY7803T1P00	外気用	一式
		温度・露点温度発信機 HTY7903C000M (通信タイプ)	ダクト用	一式
		湿度調節器 HY6000Z2000	室内用 (加湿)	一式
		温度検出器 TY7830B1015・1030	配管・貯湯槽用	一式
		盤表面型表示設定器 QY5100W0000	盤面取付	一式
		差圧発信器 JTD930A	熱源バイパス用	一式
		温度指示調節器 R36	盤面取付	一式
		デジタル調節器 WY5206W1000	CAV・VAV用	一式
		デジタル調節器 WY5205W1010	FCU用 (on/off)	一式
		デジタル調節器 WY5205W2100	RH用 (比例)	一式
		台数制御ユニット WY2000Q	熱源機用	一式
		台数制御ユニット WY2000P	ポンプ用	一式
		電磁流量計 (変換器) MGG10C	熱源用	一式
		電磁流量計 (検出部) MGG11D	熱源用	一式
		電動バタフライ弁 700G-4IA	熱源用 (on/off)	一式
		電動バタフライ弁 700G-4IAP	熱源用 (比例)	一式
		電動ボール弁 VY6100D	冷却塔用	一式
		小型電動ニ方ボール弁 VY6202A0012	FCU用 (on/off)	一式
		小型電動ニ方弁 VY5502A0021	RH用 (比例)	一式
		アクチュエータ MY5560C0000	RH用 (比例)	一式
		電動ニ方弁 VY5165K (通信タイプ)	空調機取付	一式
		電動ニ方弁 FVY5160J (通信タイプ)	空調機取付	一式
		電動ニ方弁 (通信タイプ) VY5113J	熱源バイパス用	一式
		三方弁 V5065A6078	熱源用	一式
		アクチュエータ QY9403B0001	熱源用	一式
		三方弁 VY5303A0041	熱源用	一式
		アクチュエータ MY5301A1001	熱源用	一式
		積算熱量計 WTY8000A1201	熱源用	一式
温度検出器 TY7840B1015 (熱量計専用)	熱源用	一式		
ダンパモータ MY8040A2001 (通信タイプ)	空調機用	一式		
煤煙濃度計 GYY-S2000	煙道取付	一式		
電磁弁 WS-22	受水槽用	一式		
漏水センサ AD-RS (発色タイプ)	漏水監視	一式		
差圧スイッチ PYY-CL13	空調機取付	一式		
18	CGS設備	ガスエンジン発電設備389KVA 6600V 50Hz発電装置		一式
19	中央監視設備	savic-net FX2		一式
		BEMS管理		
		システム制御盤 空調制御盤		

番号	名称	規格	内訳	数量
20	スプリンクラー設備	加圧送水装置		1
		ステンレスパネル 溶接形消火用補給水槽	1000×1000×1500H	1
		一次圧力調整弁	WVM・02T型	1
		湿式 K50/60 流水検知装置	GNA・EA80	7
		スプリンクラー末端試験装置	GSF・C80	7
		閉鎖型スプリンクラーヘッド	EZ72-Q80A (1909個) EZ96-Q80A(31個)	1,940
		補助散水栓格納箱		70
21	連結送水管	放水口格納箱		7
		媒介金具 差込式受け口65A×差込式差し50A鎖付		7
		埋込型双口送水口 100×65×65	スプリンクラー用×1 連結送水管×2	1
22	採水口	スタンド型採水口・ストップ弁付 (100×65)		1
		65A町男×65A町男		1
		媒介金具 差込式キャップ65A (受け口)		1
23	フード消火	KGL-34HD 評14-011号	フード・ダクト用	1
		KGL-34D 評14-012号	ダクト用	1
		KGL-34RF 評14-013号	小型レンジ・フラーヤ用	1
		KGL-34R2 評14-014号	大型レンジ・フラーヤ用	1
	不活性ガス消火	窒素容器ユニット 83L 20.3m3 36本	電気室用	1
24	医療ガス設備	定置式液酸タンク 5,000ℓ		1
		定置型センサーユニット 液酸タンク用		1
		予備酸素マニフォールド 2列36本		1
		センサーユニット 予備酸素用		1
		笑気マニフォールド FML-D 2列4本		1
		炭酸ガスマニフォールド FML-D 2列4本		1
		窒素マニホールド FMN-D 2列8本立		1
		治療用空気供給ユニット CUBE-D 3.7kw		1
		センサーユニット 空気用		1
		非治療用空気減圧装置 (センサーユニット内蔵タイプ)		1
		吸引ポンプ オイル式 8.0kw		2
		吸引タンク 1,000ℓ		2
		センサーユニット 吸引用		1
		吸引ポンプ制御盤 自動交互追従型		1
		壁付型アウトレット NSVタイプ		各室
		天井吊り下げ型アウトレット		26
		シャットオフバルブ		46
シーリングペンダント	手術室	各室		
余剰ガスフローコントロールユニット	手術室	各室		
高圧窒素アウトレット	手術室	各室		
MMII型エリアモニター		5		
MMIII型中央監視モニターL		2		
25	受水槽	sus製パネルタンク保温30mm付 81.25m3		2
26	陸上ポンプ類	PWU-J1 加圧給水ポンプユニット 7.5kw×5		1
		PWH-BH1,2 ラインポンプ(SUS製) 32A 110L 0.25KW		2
		PWH-HW1,2 ラインポンプ(SUS製) 25A 30L 0.15KW		2
27	水中ポンプ類	雑排水用水中ポンプ 50A 100L 0.4KW~65A 300L 2.2KW		26
		汚物用水中ポンプ 80A 400L 1.5KW~5.5KW		4
28	貯湯槽	TS-1,2 SUS444 1600φ×2600H 6.135m3		2
29	CGS予熱槽	TVW-CGS-1,2 SUS444 1600φ×2600H 6.135m3		2
30	給湯用膨張タンク	TEX-1,2 密閉式膨張タンク 1000φ×2500H 1.6m3		2
31	厨房機器	多種		一式
32	電気温水器	WHE 貯湯先止め式床下設置型 25L		7
33	衛生器具	洋風大便器 UAXC1BPAL他	各所	127
34	グリーストラップ	GT-1 4槽式耐火防水型 パイプ接続天吊 285L		2
		GT-2 パイプ導入型 地中埋設型 85L		1

番号	名称	規格	内訳	数量
35	RI排水処理	J-1 浄化槽 合併処理浄化槽 5人槽		1
		T-1 分配槽 SUSパネルタンク 1000×1500×1000 h 1.5m ³		1
		T-2~4 貯留槽 SUSパネルタンク 2500×3000×2500 h 5m ³ ×3		1
		P-1-1,2 分配ポンプ 50A 150L 0.4KW		2
		P-2-1,2 P-3-1,2 移送ポンプ 50A 150L 0.4KW		4
		P-4-1,2 放流ポンプ 50A 150L 0.75KW		2
		P-5-1,2 ピット配ポンプ 40A 150L 0.4KW		2
		排水処理制御盤		1
		排水処理モニター類		一式
		36	排水処理	流動担体 樹脂製 結合固定化担体
中和緩衝槽スクリーン 1m ³ 閉止板				1
誘導剤槽 PVC製 50L 注入ポンプ 0.025KW				1
厨房調整槽プロワ 50A 0.97m/分 1.5KW				1
厨房調整ポンプ 50A 0.07m/分 0.4KW				2
自動スクリーン 自動掻揚型 0.025KW				1
ばっ気プロワ 80A 3.72m/分 3.7KW				1
流動担体 樹脂製 結合固定化担体				1
生物流動床スクリーン SUS製				2
返送ポンプ 50A 0.08m/分 0.4KW				1
分配計量計 樹脂製Vノッチ				1
放流ポンプ 50A 0.08m/分 0.4KW				1
感染系スクリーン PVC製				1
感染系減水ポンプ 50A 0.09m/分 0.4KW				1
消毒反応槽 0.75m ³ FRP製 攪拌機 0.2KW				1
検査系スクリーン バスケット型 PVC型				1
検査系原水槽プロワ 20A 0.11m/分 0.086KW				1
感染系原水ポンプ 50A 0.01m/分 0.4KW				1
中和反応槽 FRP製 攪拌機 0.1KW				1
消毒薬液槽 PVC製 200L 注入ポンプ 0.025KW				1
還元剤薬液槽 PVC製 100L 注入ポンプ 0.025KW		1		
酸薬液槽 PVC製 100L 注入ポンプ 0.025KW		1		
アルカリ薬液槽 PVC製 200L 注入ポンプ 0.025KW		1		
脱臭装置 樹脂製 12m/分 0.7KW		1		
37	受変電設備	主受電盤 VCB 7.2KV 600A 12.5KA		1
		分岐盤 VCB 7.2KV 600A 12.5KA		16
		母線連絡盤 VCB 7.2KV 600A 12.5KV		6
		保護装置過電流継電器		17
		保護装置不足電圧継電器		1
		保護装置方向地絡継電器		6
		変圧器動力 3相 200~750KVA 6,600/210V		8
		変圧器電灯 単相 100~300KVA 6,600/210 105V		7
		変圧器電灯 スコット 200KVA 6,600/210-105V		1
		変圧器動力 3相 200~500KVA 6,600/415V		3
		コンデンサ 3相 19.1kvar 243V	自動力率調整付	6
		リアクトル 3相 319kvar 7.2kV		6
38	発電設備	発電機 3φ 6.6kV 50Hz 1250KVA (1000kw)		1
		エンジン ガスタービン A重油 始動装置 蓄電池設備		
39	非常用直流電源装置	制御方式据置鉛(MSE長寿命型)蓄電池 SNSX-400 108V 400AH 54セル(2V×54個)		1
40	テレビ共聴	UHF・BS 共聴システム		1
41	ナースコール	自動相互呼出通話		各病棟
42	構内電話	蓄積プログラム制御方式 (PCMデジタル制御方式)		1
		アナログ一般電話機		205
		デジタル多機能電話機		80

番号	名称	規格	内訳	数量
43	院内携帯電話設備	携帯電話機セット PHS方式 PHS接続装置		400 54
44	ペーシング設備	無		1
45	防災監視盤	自動火災報知設備 複合GR型(アナログ式) ガス漏れ警報設備 GN3VBAC 防火・防排煙設備 連動制御器	自動試験機能付	1 1 1 1
46	全館放送装置	放送盤：1640W 出力回線：90回線+一斉 非常用遠隔操作装置 非常用蓄電池設備 DC24V		1 2 1
47	通路誘導灯	バッテリー内蔵型		189
48	非常照明	バッテリー別置型		682
49	防火シャッター・ドア			78
50	防火垂れ壁			16
51	オートドアパニックオープン			3
52	会議室AV装置 (大会議室)	大会議室 AV操作ワゴン 液晶プロジェクター WXGA5500lm 150型16：10電動スクリーン コンパクトハイパワースピーカー シーリングスピーカー マイクロホン (ダイナミック、ワイヤレス)		一式 1 1 2 4 7
53	会議室AV装置 (中会議室)	中会議室1、2 AV操作ワゴン 液晶プロジェクター WXGA4000lm 100型16：10電動スクリーン コンパクトスピーカー ワイヤレスアンテナ マイクロホン (ワイヤレス)		二式 2 2 2 4 4
54	映像システム	手術室監視ITV 23V型ワイド液晶ディスプレイモニター ネットワークビデオレコーダー 19V型ワイド液晶ディスプレイモニター 監視用PC (23型液晶モニター) 屋内ドーム型IPカメラ 新生児室監視ITV 23V型ワイド液晶ディスプレイモニター ネットワークビデオレコーダー ドーム型HDネットワークカメラ		一式 1 1 1 1 6 一式 1 1 4
	ITV (防犯監視用)	操作用PC 24型カラー液晶モニター メインメモリ8GB以上 ネットワークレコーダー データ保護用兼動作補償用UPS スイッチングHUB 室内固定ドーム型カメラ メディアコンバーター		1 1 2 2 24 2
55	電気錠システム	ヒューマンインターフェイスサーバ (HIS) データ保護用兼動作補償用UPS 非接触カード登録機 スイッチングHUB ロギングプリンタ 連動コントローラ IDコントローラ (IDC4、8) 非接触カードリーダー UPS メディアコンバーター 非接触カード		1 1 1 3 1 1 12 52 2 2 1,000
56	無停電装置 (UPS)	制御方式据置鉛 (MSE長寿命型) 蓄電池 200kVA 400Ah/10hr 186tℓ		1

番号	名称	規格	内訳	数量
57	手術室BGM設備	機器架		一式
		クリーンルーム用スピーカ		6
		6ch選択リモコン		6
58	エレベーター	人荷用 2方向 1750kg(26名) 90m/min		1
		寝台用 2方向 1000kg(15名) 90m/min		3
		寝台用 1方向 1000kg(15名) 90m/min		2
		寝台用 2方向 1150kg(17名) 90m/min		1

*外来棟

番号	名称	規格	内訳	数量		
1	氷蓄熱ユニット	空気熱源ヒートポンプ式ブラインスクリュウチラーユニット スタティック内融式・屋外設置水槽形 ブラインポンプ	冷房・暖房	二式		
2	冷凍機	直焚き吸収冷温水機 TSA-CUW-400E1GL	冷房・暖房	1		
3	冷却塔	開放型、角形、超低騒音 SKB-350GS 冷却水処理装置WTR-1 PXP-31-VEC-100L	冷房	1		
4	空調用ポンプ群	冷却水ポンプ SJ4-200×150J545	冷房	1		
		冷温水ポンプ M100-III-2~M150-II-1	冷房・暖房	3		
		冷温水薬液注入装置1式	冷房・暖房	2		
5	開放式膨張タンク	膨張水槽 EXPT-C	冷房・暖房	2		
6	空冷パッケージ エアコン	壁掛ルームエアコン S22TDS-W	冷房・暖房	1		
		天カセツイン SMYGP280BD	冷房・暖房	1		
		天埋形加湿器付 SHYMP140C、160C	冷房・暖房	2		
		電算型加湿器付 DSRJ400PA	冷房・暖房	1		
		天カセ形 SHYCP112C	冷房・暖房	1		
		天埋形 SHYGP80B	冷房・暖房	1		
		冷専床置形 SVDPI140AR~280AR	冷房	4		
		天カセ形 SHYGP40CV	冷房	2		
		冷専壁掛形 SAP80B	冷房	1		
		マルチ形室外機 RSXYP280KC	冷房・暖房	2		
		マルチ室内機 ビルトイン形 FXYSP22KC	冷房・暖房	20		
		マルチ室内機 天埋形 FXYMP56KC	冷房・暖房	3		
		外気処理エアコン 壁ビルトイン 電熱式加湿器付 RSXYJ140KC~224KC	冷房・暖房	5		
7	クリーンルーム用 パッケージ	壁吸込ユニット(ツイン) RX-J56M 室外機 PUSY-J112M-B	冷房・暖房	2		
		壁吸込ユニット(4台マルチ) RX-J45M 室外機 PUSY-160M-B	冷房・暖房	1		
		フィルターファンユニット 天カセ HEPAフィルター付	冷房・暖房	16		
		ファンコイルユニット 天カセ HEPAフィルター付	冷房・暖房	11		
		8	空調機	エアハンドリングユニット EI-75DT 電熱式加湿器付 ST-50他	冷房・暖房	18
		9	ファンコイルユニット	天カセ DCR-202PW-F3 FCC-1他	冷房・暖房	352
				天埋 DCR-202P BHB-3 FCR-1他	冷房・暖房	87
10	送排風機・排煙機	ベルト掛け 0.2kw天吊		63		
		ベルト掛け 床置 排煙ファン		2		
11	全熱交換機	HEX-STF-1F-1 LGH-15RHW 150m3/h 外		4		
12	天井扇	天井埋込型換気扇 低騒音 VD-20ZB5		1		
13	空気清浄装置	AFU-ENG-1F-1 FU5-2030S 9900m3/h 外		9		
14	床暖房	ネオフロアヒーター FH-20		1		
		温度調節器 MD-511		1		
		埋設用温度ヒーター S-515M		1		
		電気床暖房制御盤 EH-1		8		
15	自動制御機器(空調)	ユーザーオペレーション機器 QY7205A3001	FCU用	一式		
		温度検出器 TY7003Z0P00	室内用	一式		
		湿度検出器 HY7003T1000	室内用	一式		

番号	名称	規格	内訳	数量
15	自動制御機器 (空調)	温度検出器 TY7813Z0P00	ダクト用	一式
		温湿度発信機 HTY7813T1P0	外気用	一式
		屋外センサーシールド DY8000A1001	外気用	一式
		ユニット用温度検出器 TY7820Z0P00	FCU用	一式
		温度・露点温度発信機 HTY7913T1P0	ダクト用	一式
		温度検出器 TY7830B1015	配管用	一式
		温度調節器 T675A1896	配管用	一式
		差圧発信器 JTD930A111A1XXXX1XX	熱源バイパス弁用	一式
		温度指示調節器 R310DA00030	盤面取付	一式
		差圧指示調節器 R315GA00030	盤面取付	一式
		温度指示計 PCA13	盤面取付	一式
		湿度指示計 PCA13	盤面取付	一式
		デジタル調節器 WY7211B2101	AHU用	一式
		デジタル調節器 WY7205W5211	FCU用 (on/off)	一式
		デジタル調節器 WY7205W6212	FCU用 (比例)	一式
		台数制御ユニット WY2000Q1411010B	熱源用	一式
		冷却水ブロー調節器 R7010B	冷却塔用	一式
		電磁流量計 (変換器) MGG10C-DA1A-XBXX-X	熱源用	一式
		電磁流量計 (検出部) MGG11D-125E11LS1AHA-X1-X	熱源用	一式
		電動バタフライ弁 616J-M		一式
		電動ボール弁 VY6100D20		一式
		小型電動ニ方ボール弁 VY6202A0011		一式
		電動ニ方弁 VY5110F		一式
小型比例ニ方弁 VY5912A		一式		
アクアチューエータ M7410C		一式		
モジュトロモータ M904F1076		一式		
バルブリンケージ Q455C		一式		
ニ方弁 V5064A		一式		
ダンパモータ GBB131.1E	ダクト用	一式		
煤煙濃度計 GYY-S2000	煙道取付	一式		
差圧スイッチ PYY-CL13	空調機取付	一式		
16	ガスタービン発電設備	500KVA 6600V 50Hz発電装置		一式
17	GS・直流電源装置	整流器 三相 三線 200V 50HZ		一式
18	無停電電源装置 (UPS)	20KVA 無停電電源装置		1
		バッテリー盤 50AH×180セル		一式
		入出力盤		1
19	屋内キュービクル式受変電設備	6.6KVA 1回線		一式
		高圧スイッチギア 気中絶縁形 三相3線 7.2Kv 600A 50Hz 単一母線方式		
		遮断器 水平引出、自動連結形 7.2KV 600A 12.5KA サイクル3 DC100V電動ばね操作		
		計器用変圧器 エポキシレジンモールド形 6600 : 110V 100VA以上 1P級		
		零相蓄電器 硝子分圧形 6.9KV		
		変流器 エポキシレジンモールド形 6.9KV n > 10以上		
		零相変流器 エポキシレジンモールド形		
		進相用コンデンサ ガス絶縁形 7020KV 530kvar 三相 50Hz		
		直列リアクトル モールド形 6.6KV L=6% 三相 50HZ		
		動力変圧器 モールド形 50Hz 一次6.6kv 二次415V 210V		
		照明変圧器 モールド形 50Hz 一次6.6Kv 二次105/210V 二次単相 3線		
真空コンダクタ (VCS) 3極単投 電磁操作 固定形 6.6KV 200A				
低圧絶縁監視装置 IR電流検出方式				
20	動力制御盤	屋内自立型 P-1-MR 3.7kw 6.5kw 39.0kw 48.06kw 61.48kw	各所	一式
21	電灯・コンセント分電盤	屋内自立型 PL-1-ER 9.68kw 9.8kw	各所	一式
		屋内自立型 PL-2-BAI 0.66KVA 0.15KVA		1
22	総合盤・端子盤	音声警報フック型防災アンプ		1
		防災監視盤		1
		ヘッドエンド装置収納架		1
		非常電話主コントロールユニット、ドアホン		1

番号	名称	規格	内訳	数量
22	総合盤・端子盤	エレベーター監視盤		1
		医療ガス情報監視システム、誘導灯信号装置		1
		入館入室管理盤-1、2		2
		ITV監視制御盤		1
		ナースコール表示パソコン		1
		システム制御盤		1
		空調制御盤		1
		コーナー継ぎ板		1
		床暖房用中継端子盤		17
23	手元開閉基盤	手元開閉基盤(50AFx1)		11
24	変圧器	単相300kVAモールド変圧器 RCT-N21		4
		100kVAスコットモールド変圧器 RCTQ-N21		1
		三相300kVAモールド変圧器 RCT-N21 外		6
25	コンデンサー・リアクトル	高圧進相コンデンサ AF702261KHA1 外		2
		高圧進相コンデンサ用6%直列リアクトル CR702261KDE5 外		2
		低圧進相コンデンサ設備 LB3-S形 LB322B5025S26		2
26	照明器具	多種	各所	4,516
27	フル2線ネットワーク コントロールユニット	WR3385K	照明中央制御	1
		WR3386K	照明中央制御	1
28	放送設備	多種	各所	一式
29	手術室・分娩室BGM 放送設備	BGM放送架		一式
30	人間ドックBGM	BGM放送架		一式
31	外来ナースコール設備	ナースコール表示パソコン他	各所	一式
32	外来呼出 インターホン設備	待合共同呼出装置 主装置 AME-2031、2101		15
		フレキシブル形卓上マイク AMO-301		50
		ドアホン親機1局 SHN-1BA		1
		夜間受付子機 SG-330-1A		1
33	人間ドック ナースコール設備	ナースコールボード形親機Z型 60局 BZP-20~160		一式
34	健診センター インターフォン設備	待合共同呼出装置 主装置 AME-2031/2101		一式
		フレキシブル形卓上マイク AMO-301		4
35	手術室 インターフォン設備	インターカム交換機 EX-200J		1
		インターカムステーション HF-250M		7
		手術室用子機 BA-303		3
		手術室インターホン制御ボックス BA-303		3
		足押式押ボタン BB-513A-4S		3
		ドアホン形インターカムステーション HF-640S		1
36	テレビ共聴設備	BSアンテナ 90cm型 BL BS-901K		一式
37	ITV設備	ドーム型カラーカメラ WV-CF35		11
		画像記録装置 WJ-DR200		1
38	案内表示設備	診察状況案内表示板システム		一式
		外待合表示盤(42インチ) KD01037-B148		9
		診察室表示盤 KD01037-B149		36
		表示制御パソコン KD96002-L873 外		8
39	防犯設備	入館入室管理システム SAFEWARE		一式
		カードホルダ		20
		パッシブセンサー		7
		マグネットセンサー		12
40	高速光電送設備	キャノビーム DT-50/622 データ伝送速度 622Mbps 最大伝送距離 1,500m		一式
41	電話設備	D2000交換機 (TypeMA)		1
		通話料金管理装置 PS4080A CNSA		1
		多機能電話 DI2106C		38
		アナログ一般電話機 DA2029C		203
		PHS TC-631SE		78

番号	名称	規格	内訳	数量
42	音響・映像設備	コンパクトミキサー WR-X02		1
		ステレオカセットデッキ RS-TR575-K		1
		デジタルグラフィックイコライザー SRQ-2031/4015		1
		MD/CDプレーヤー MXD-D40		1
		VTR NV-SVB300		1
		ワイヤレス受信機 WX-4020B		1
		チューナーユニット WX-D4000A		1
		2ウェイスピーカー WS-AT80		2
		天井スピーカー WS-A22		2
		液晶プロジェクター TH-PKL6500		1
電動式スクリーン EA-V100BS		1		
43	自動火災報知設備	防災監視盤 HRK-ADS254FGA		1
		表示盤 HEX-1PE-D		2
		熱感知器 DSH-2WRL DFG-TW-60 L/70 L		109
		煙感知器 SLR-2RL ALG-NRLY-A		454
		消火栓組込型 HURB-10BL		34
		発信機 PPE-1U		34
		表示灯 TL-13D		34
		自動開閉装置 ARS-B 104		16
		ガス漏れ検知器 KN-35B		6
火災通報装置 FCA-BBW01		1		
44	中央監視設備	s a v i c - n e t E V model30		一式
		音声警報トラック型防災アンプ 防災監視盤		
		ヘッドエンド装置収納架 ドアホン、配線架		
		エレベーター監視盤 医療ガス情報監視システム		
		誘導灯信号装置 CL-1-BOU		
		入館入室管理盤-1 入館入室管理盤-2		
		ITV監視制御盤 ナースコール表示パソコンシステム制御盤 空調制御盤		
45	避雷針設備	接地測定用端子函：建設省仕様 (TB-SSIA)		一式
46	高圧気中負荷開閉器	KLT-M1cHD2N10LT		一式
47	自動ドア設備	両引自動扉		4台
		片引自動扉		16台
		二重片引自動扉		2台
		自閉式 (半自動) 引戸		一式
48	エレベーター	寝台用 1000KG 60M/min インバータ制御		2台
		乗用展望用 1000KG 45M/min インバータ制御		1台
		乗用 750KG 60M/min インバータ制御		1台
		小荷物用 50KG 30M/min インバータ制御		1台
		乗用 エスカレータ 9000人/h台 30M/min インバータ制御		2台
49	排煙	電動オペレーター用		一式
		開閉式トップライト 手動操作型		一式
		防火ドア		一式
		防火・防炎シートシャッター		一式
		重量シャッター・グリルシャッター		一式
		防炎垂壁・スクリーン		一式
50	OAフロアー	500×500×28 FSA500 500×500×28 FSB500 500×500×34 G500		18箇所
51	システムバス	シャワールームユニット	OP室	2
		ユニットバスルーム		22
52	手術室 モジュラーシステム	情報パネル・記録台・無影灯操作盤・シャーカステン3台・ フィルムラック・器材棚・保温庫パイプファンヒーター・ 保冷库全密閉型圧縮機・アイソレーショントランス・ ラインアイソレーションモニター・ロードモニター		一式
53	受水槽・高架水槽	中仕切付受水槽 NW型 44m3		1
		高架水槽 (上水) NW型 5.0m3		1
		高架水槽 (雑水用) NW型 5.0m3		1

番号	名称	規格	内訳	数量
54	陸上ポンプ類	LP-1/2 上水揚水ポンプ TN-405X4s-M2.2		2
		LP-3/4 雑用水揚水ポンプ TN-405X4s-M2.2		2
		LP-6 散水用ポンプ NF-400TH-A		1
		LP-7 補給水ポンプ KB2-505A2.2		1
		HP-1/2 給湯用循環ポンプ PSS-255-0.15T		2
		FP-1 スプリンクラーポンプ KTY2-1005×4s-M18.5TPB		1
		ジョッキーパーポンプ CHS-255-M1.5		1
55	水中ポンプ類	DP-1 雨水移送ポンプ SF-5 0.75 k w		28
56	軟水器	NS-1 全自動硬水軟化装置 SAT-155/6B		1
57	給湯用ボイラ	BH-1 無圧温水器 BH-130 349kw		1
58	貯湯タンク	ST-1/2 貯湯タンク STV-1500 1500l		2
59	給湯用膨張タンク	密閉式膨張タンク EX-300LS 300l		1
60	厨房機器	多種		一式
61	電気温水器	壁掛型電気湯沸器 EW-20N3C-BT 20l		2
62	衛生器具	洋風大便器 C550RU TV750WR TS116W他		589
63	水飲器	オアシスウォータークーラー MLF8CR 自動洗浄機構付		6
64	配管ユニット	バンネA型 640×240×150 上水/給湯/ガス/排水		1
65	薬液回収タンク	ダイライトタンク SP 0.5m3 現像液/定着液		2
66	スプリンクラー設備	加圧送水装置	GQH-FB72(1,217ヶ) GQH-FB96(8ヶ) 139℃ (3ヶ)	1
		起動装置		1
		閉鎖型スプリンクラーヘッド		1,228
67	スプリンクラー設備器具	操作盤		1
		流水検知装置 湿式 K50/60併用 自動警報弁型80		5
		圧力スイッチ GPS-EA10T		5
		表示板 (自火報受信機)		1
		呼水装置		1
		建設省型補助散水栓格納箱 T49N-103A-HPB		34
		埋込型送水口 N-EKSW1N-C		1
68	医療ガス機器	医療ガス情報監視システムARGUS 医療ガス供給装置MLh型		1
		ガス供給装置 気体用供給装置 予備マニホールド M-LGR (大容量タイプ)		1
		医療ガス情報監視システムARGUS 医療ガス供給装置MMAh/MANh型		1
		日立オイルフリーベビコン 3.7kw		2
		SMC 空冷式アフタークーラー HAA7		2
		空気供給装置用タンク500l		1
		医療用空気供給装置メディカルピュアパック PURE550Di		1
		吸引供給装置メディラインパック 600l 2.2kw		2
		吸引供給装置メディラインパック 600l 2.2kw 除菌フィルター		2
		医療ガス情報監視システムARGUS 予備センサーユニット		1
		医療ガス情報監視システムARGUS 空気センサーユニット		1
		医療ガス情報監視システムARGUS 吸引センサーユニット		1
		医療ガス情報監視システムARGUS センサー内蔵型 非治療用空気減圧装置		1
		医療ガス情報監視システムARGUS 中央監視モニター		1
		医療ガス情報監視システムARGUS エリアモニター ARM-12 (8チャンネル)		1
		センチュリアタイプアウトレット NSVタイプ		208
		リール式アウトレット		17
		窒素圧力調整装置		3
		シャットオフバルブ 緊急導入口付表示区域タイプ 埋込型		18
		余剰ガス回収システム イジェクタータイプ		9
69	PH処理装置	原水ポンプ 40TM2.25-51 0.25kw		2
		着脱装置 TOK-3P (VANCS)		1
		位置検出用スナッフフロート (レベルスイッチ) RF-5		13
		PH処理装置 SPC0827		1
		PH処理装置制御盤		1
70	グリーストラップ	微細目スクリーン KE-200S-5 41m3/H		1
		微細目自動スクリーン制御盤 屋外自立型		1

番号	名称	規格	内訳	数量
71	浄化槽	荒目スクリーン KS-200S-40		1
		微細目スクリーン KE-200S-2.5 31m3/H		1
		原水ポンプ TOS-50U4.75H-51		2
		貯水槽ポンプ TOS-50U4.75L-51		2
		放流ポンプ TOS-50B4.75-52		2
		レベルスイッチ RF-5		13
		滅菌器 I 型		1
		調整攪拌プロアー BSS40		1
		ばっ気プロアー BE80E		2
		ディフューザー 20JD-200		1
		スカムスキマー フローティング		2
		電磁弁 PS-12		1
		風量計 FLG-N80A		1
		電磁式積算体積計 SW065E-C		1
		受信器 SR-2D		1
		換気扇 FY-3GTF2 ガード (1ヶ) 温度スイッチ (1台)		1
操作盤 屋内自立		1		
消泡装置 アワコロン		1		

6. 主要医療機器

所属	医療機械器具名	製造会社名	規格	数量
薬剤部	自動注射薬払出装置	TOSHO	NDS-4000C	1式
	全自動散薬分包機	TOSHO	i 0-9090EX4	1式
	調剤システム	トーショー	Pervasive PSQL V10 外	1式
放射線室 (カテ室)	循環器撮影装置	東芝	INFX-8000V	1式
	DR式汎用X線透視診断装置	島津	SONIALVISON	1式
	シンチレーションカメラ	シーメンス旭メディテック	E. CAM Signature	1式
	磁気共鳴断層撮影装置	GEヘルスケアジャパン	Signa HDxt 1.5t	1式
	デジタルX線画像診断システム	コニカミノルタジャパン(株)	1417Q外	1式
	FPDフラットパネルAeroDR	コニカミノルタ (株)	AeroDR1717HQ2 外	2式
	医用放射線画像管理情報システム (PACS)	コニカミノルタジャパン(株)	Neovista I - PACS	1式
	放射線治療情報管理システム	インフォコム	Dr. View/R t i s	1式
	医療情報統合システム	コニカミノルタジャパン(株)	NBOVISTA I-PACS CS	1式
	PET-CT装置	シーメンスヘルスケア	Biograph Horizon	1式
	血管造影X線診断装置	フィリップスエレクトロニクスジャパン	Diamond Select Allura Xper FD20/20	1式
	マルチスライスCTスキャナ	GEヘルスケアジャパン	Revolution GSI FREEdom	1式
	全身用X線CT診断装置	GEヘルスケアジャパン	Optima CT580W	1式
	磁気共鳴断層撮影装置	GEヘルスケアジャパン	Explorer Newgrade ^h ^o ⁿ ^a ^p ^p	1式
	放射線治療システム	VARIAN	CLINAC iX	1式
	血管造影X線撮影装置	東芝メディカルシステムズ	INFX-8000V/JC ^h ^o ⁿ ^a ^p ^p	1式
	インフォコム放射線レポート (v9) システム	コニカミノルタジャパン(株)	REPORT (iRedV9)	1式
	大動脈バルーンパンピング	泉工医科	Corart BP - 21T	2台
	結石破砕室	体外衝撃波結石破砕装置	ドルニエ	Delta II
検査室	検査システム (自動分析装置、臨床検査システム)	富士通	LAINS-X	1式
	全自動細菌検査システム	シーメンスヘルスケア	Walkaway96plas	1式
	多項目自動血球分析装置	シメックス	XT-1800i	1式
	生化学自動分析装置	日立ハイテックノロジーズ	LABOSPECT006	1式
	便潜血自動分析装置	アルフレッサファーマ	ヘテクトNS-Prime	1式
	感染症検査業務支援システム	ベックマン・コールター(株)	SMILE STB	1式
病棟	カラードプラー超音波診断装置	HEWLETT-PACKARD	SONOS-5500	1式
	生体情報モニター	日本光電外	CNS-9601外	1式
	ポータブル超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン	LOGIQ-BOOK	1台
	ポータブル超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン	NANO-MAX	1台
	ベットパンウォッシャー	アトム ^h ^e ⁱ ^c ^a ^l	731	10式
	ECGモニター(HCU増設分を除く)	日本光電	PU-611R外	1式
	産科カルテシステム	アトム ^h ^e ⁱ ^c ^a ^l	f ^o ^r ^e ^t ^t	1式
	胎児監視システム	アトム ^h ^e ⁱ ^c ^a ^l	FSV セントラルモニタ 外	1式
	経皮的心肺補助システム	テルモ	HCS-CFP	1式
	超音波診断装置	東芝 ^h ^o ⁿ ^a ^p ^p	Aplio 400 Platinum TUS-A400/AJ	1式
	セントラルモニタ	日本光電工業	PU-611R他	1式
HCU	顕微鏡用デジタルカメラ	オリンパス	DP-27-B	1式
	セントラルモニタ	日本光電工業	CNS-6201 外	1式
	セントラルステーション	GEヘルスケアジャパン	B 650 外	1式
	集中治療室ビームシステム	美和医療電機	IS500 特注 外	1式

所属	医療機械器具名	製造会社名	規格	数量
人工透析室	多人用透析液供給装置	日機装	DAB-40NX	1式
	逆浸透精製水製造システム	日機装	DRO-NX132H	1式
	透析用監視装置	日機装	DCS-27	3式
	多用途透析用監視装置	日機装	DCG-03	3式
	多用途透析用監視装置	日機装	DCS-100NX-EC 外	16式
	個人用多用途透析装置	日機装	DBG-03	1式
	個人用多用途透析装置	日機装	DBB-100NX-EC 外	5式
	透析通信システム	日機装	FN-WEB 外	1式
	全自動溶解装置	日機装	DAD-50NX	1式
中央手術室	手術用内視鏡ビデオシステム	オリンパスメディカルシステムズ	OTV-S190外	2式
	超音波手術用システム	オリンパス外	UST-2001外	1式
	手術用顕微鏡	カールツァイス	OPMI PENTERO 900	1式
	神経内視鏡セット	カールストルツ	HOPKINS II	1式
	手術用双眼顕微鏡	カールツァイス	6S-DFK-XY 他	2式
	電気手術器	コヴィディエンジャパン	Force Trial	2式
	3D内視鏡手術システム	オリンパスメディカルシステムズ (株)	3DV-190外	1式
	手術用顕微鏡システム	オリンパス	VISERA ELITEシステム	2式
	麻酔モニタリングシステム	GEヘルスケアジャパン (株)	CSRESCAPE B650/Unity iCentral	1式
	手術顕微鏡	ツァイス	VISU150	1式
	急性期患者情報システム	フクダ電子	CVW-5000 外	1式
	手術室映像統合管理システム	セントラルユニ	summit X480-48X	1式
	麻酔器	GEヘルスケアジャパン	Carestation 650	4式
	電動油圧手術台	ミズホ	MOT-5701	3式
	无影灯	山田医療照明	IXM CJリブラ CJ16-TV55 外	6式
	眼科手術顕微鏡	ライカ	Provo 8	1式
	手術顕微鏡	カールツァイス	OPMYAR10700	1式
	電気手術器	コヴィディエンジャパン	FT10パック	1式
眼科用手術台メプロ4	タカラベルモント(株)	DR-140-ES7	1式	
中央滅菌室	過酸化水素ガス滅菌装置	サクラ精機 (株)	V-PRO max	1式
	高圧蒸気滅菌装置 外	サクラ精機	VSCR-G45NR外	1式
	ジェット式超音波洗浄装置	サクラ精機	WUS II -4100DX	1式
	ハイブリッド滅菌装置	ゲディング・ジャパン	HS6613TERILTSF-SR	1式
内視鏡室	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス	GIF-XP260NS	1式
	大腸ビデオスコープ	オリンパス	CF-Q260AL	1式
	内視鏡システム	オリンパス	CV-290 外	1式
	内視鏡画像ファイリングシステム	オリンパス	Soleimo	1式
臨床工学室	人工呼吸器	IMI	VELA	2台
	人工呼吸器	日本光電	サビーナ	4台
	人工呼吸器	日本光電	HAMILTON-C1	9台
	人工呼吸器 (小児用)	東機貿	SLE5000	1台
	陽圧式人工呼吸器	フィリップス	V60ベンチレーター	3台
	救急・搬送用人工呼吸器	ドレーゲル	オキシカフ3000	2台
救急センター	8人用医用テレメーター	日本光電	WEP-4208	1式

*外来棟

所属	医療器械器具名	製造会社	規格	数量
放射線室	核磁気共鳴断層撮影装置	GEヘルスケアジャパン	Signa 1.5T	1台
	全身用コンピュータ断層撮影装置	シーメンス	SOMATOM Definition AS+	2式
	X線透視診断撮影装置	日立メディコ	TU-3000DR	2式
	乳房用X線診断装置	日立メディコ	SELENIA	1式
	一般撮影画像処理装置	コニカミノルタジャパン(株)	無線型フラットパネルAeroDRシステム	2式
	CRシステム	富士フイルムメディカル	FCRXU-D1 外	1式
	X線骨密度測定装置	GEヘルスケア・ジャパン	PLODIGY primo	1式
検査室	採血管準備システム	Techno Medica	BC-ROBO 585	1台
	多項目自動血球分析装置	シスメックス	XN-2000	1台
	生化学自動分析装置	日立ハイテクノロジー	LABOSPECT008	1式
	呼吸機能検査装置	チェスト	CHESTAC-8900D	1式
	超音波診断装置	PHILIPS Medical System	SONOS 5500	1台
内視鏡センター	内視鏡検査システム	オリンパスメディカルシステムズ	EU-M2000 外	1式
	内視鏡画像ファイリング装置	オリンパスメディカルシステムズ	MAJ-589 外	1式
	上部消化管ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ	GIF-XP260NS 外	8式
	上部消化管ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ	GIF-XQ260	11式
	大腸ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ	PCF-Q260AZI 外	7式
	消化管内視鏡システム	オリンパスメディカルシステムズ	CV-260SL 外	1式
	消化管内視鏡システム	オリンパスメディカルシステムズ	CV-290 外	2式
	気管支ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ	BF-6C260 外	4式
産婦人科	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン	Voluson S6	1台
	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン	Voluson E6	1台
内科	超音波診断装置	日立アロカメディカル	F37	1台
外科	超音波診断装置	コニカミノルタジャパン(株)	SONIMAGE HS1	1台
小児科	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン	Vivid i	1台
整形外科	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン	LOGIQe	1台
耳鼻咽喉科 泌尿器科	耳鼻咽喉科内視鏡システム	オリンパスメディカルシステムズ	ENF-V3	1式
	泌尿器科内視鏡システム	オリンパスメディカルシステムズ	TC-P2 外	1式
眼科	光干渉断層計(OCT)	ニデック	RS-3000Advance	1式
	眼底カメラ	興和	VX-20	1式
	眼科ファイリングシステム	ピーエスシー	クライオ	1式
歯科 口腔外科	口腔外科用診察台ユニット	モリタ	シグノG50 セレクション外	1式
	口腔外科用レントゲン機器外	モリタ 外	ペラビュールホックス3DFアルファP外	1式
	電動式外科用ドリル(マークラップ パーシステム)	ビーム・プラウンエスグループ	ELAN4 electro	1式
健診管理センター	乳房用X線撮影装置	日立製作所	Dimensions2D	1式
	一般X線撮影装置	日立製作所	Radnext50	1式
	デジタル無散瞳眼底カメラ	トプコン	TRC-NW300	1式
	超音波診断装置	日立製作所	ARIETTA 60	1式
	X線透視撮影装置	日立製作所	DIAVISTA	1式
	骨密度想定装置	日立製作所	DCS-600EXV	1式
	マンモグラフィ画像保管システム	コニカミノルタジャパン(株)	Plissimo MG	1式

7. 平成30年度主な導入医療機器

所属	医療器械器具名	製造会社	規格	数量
歯科・口腔外科	病棟用診察台	ナビス(株)	NRC-03T	1式
南6階病棟	顕微鏡用デジタルカメラ	オリンパス(株)	DP-27-B	1式
	液体窒素凍結試料搬送容器	ワケンビーテック	243354-001	1式
南3階病棟(HCU)	ストレッチャー	ナビス(株)	CNO-01N-CP	1式
北5階病棟	セントラルモニター	日本光電(株)	PU-611R他	1式
検査室(入院)	パラフィン溶融機	白井松器械(株)	H-010PO他	1式
	感染症検査業務支援システム	バックマン・コルター(株)	SMILE STB	1式
中央手術室	電気手術器	コヴィディエン ジャパン(株)	藤岡総合病院 FT10パック	1式
	眼科用手術台メプロ4	タカラベルモント(株)	DR-140-ES7	1式
放射線室	放射線レポート(v9)システム	インフォコム(株)	REPORT (iRedV9)	1式
臨床工学室	ベットサイドモニター	日本光電(株)	PVM-2703-Q21	1式
健康管理センター	マンモグラフィ画像保管システム	コニカミノルタジャパン(株)	Plissimo MG	1式

8. 医療法に関する許可承認事項

(1) 施設基準一覧表

平成31年3月31日現在

区分	施設基準名	受理番号	受理年月日
基本診療料	歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準	(歯初診) 第97号	平成30年6月1日
	歯科外来診療環境体制加算1	(外来環1) 第345号	平成30年6月1日
	急性期一般入院料1	(一般入院) 第180号	平成30年9月1日
	超急性期脳卒中加算	(超急性期) 第17号	平成29年11月1日
	診療録管理体制加算2	(診療録2) 第90号	平成29年11月1日
	医師事務作業補助体制加算2 (40対1)	(事補2) 第59号	平成29年11月1日
	急性期看護補助体制加算 (50対1)	(急性看護) 第62号	平成29年11月1日
	療養環境加算	(療) 第113号	平成29年11月1日
	重症者等療養環境特別加算	(重) 第75号	平成29年11月1日
	無菌治療室管理加算1	(無菌1) 第10号	平成29年11月1日
	無菌治療室管理加算2	(無菌2) 第9号	平成29年11月1日
	緩和ケア診療加算	(緩和) 第15号	平成30年4月1日
	栄養サポートチーム加算	(栄養チ) 第40号	平成29年11月1日
	医療安全対策加算1 (医療安全対策地域連携加算を含む)	(医療安全1) 第78号	平成30年4月1日
	感染防止対策加算1 (感染防止対策地域連携加算を含む)	(感染防止1) 第25号	平成30年7月1日
	患者サポート体制充実加算	(患サポ) 第66号	平成29年11月1日
	ハイリスク妊娠管理加算	(ハイ妊娠) 第39号	平成29年11月1日
	ハイリスク分娩管理加算	(ハイ分娩) 第29号	平成29年11月1日
	総合評価加算	(総合評価) 第49号	平成29年11月1日
	後発医薬品使用体制加算1	(後発使1) 第34号	平成30年4月1日
	病棟薬剤業務実施加算1	(病棟薬1) 第35号	平成29年11月1日
	データ提出加算2	(データ提) 第75号	平成29年11月1日
	入退院支援加算1 (地域連携診療計画加算、入院時支援加算含む)	(入退支) 第83号	平成30年4月1日
認知症ケア加算2	(認ケア) 第55号	平成29年11月1日	
小児入院医療管理料4 (プレイルーム加算を含む)	(小入4) 第25号	平成29年11月1日	
回復期リハビリテーション病棟入院料1	(回1) 第8号	平成30年6月1日	
地域包括ケア病棟入院料2	(地包ケア2) 第43号	平成29年11月1日	
特掲診療料	歯科疾患管理料の注1に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	(医管) 第297号	平成30年4月1日
	糖尿病合併症管理料	(糖管) 第37号	平成29年11月1日
	がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼) 第99号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料イ	(がん指イ) 第22号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料ロ	(がん指ロ) 第23号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料ハ	(がん指ハ) 第17号	平成29年11月1日
	外来緩和ケア管理料	(外緩) 第7号	平成30年4月1日
	糖尿病透析予防指導管理料	(糖防管) 第20号	平成29年11月1日
	乳腺重症化予防ケア・指導料	(乳腺ケア) 第12号	平成30年5月1日
	地域連携小児夜間・休日診療料1	(小夜1) 第13号	平成29年11月1日
	夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算	(救搬看護) 第24号	平成30年5月1日
	外来放射線照射診療料	(放射診) 第10号	平成29年11月1日
	開放型病院共同指導料	(開) 第16号	平成29年11月1日
	がん治療連携計画策定料	(がん計) 第22号	平成29年11月1日
	薬剤管理指導料	(薬) 第151号	平成29年11月1日
	医療機器安全管理料1	(機安1) 第59号	平成29年11月1日
	医療機器安全管理料2	(機安2) 第14号	平成29年11月1日
	医療機器安全管理料 (歯科)	(機安歯) 第5号	平成30年4月1日
	遺伝学的検査	(遺伝検) 第6号	平成29年11月1日
	骨髄微小残存病変量測定	(骨残測) 第1号	平成30年4月1日
	HPV核酸検出及びHPV核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)	(HPV) 第95号	平成29年11月1日
	検体検査管理加算 (I)	(検I) 第109号	平成29年11月1日
	検体検査管理加算 (IV)	(検IV) 第20号	平成29年11月1日
	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	(歩行) 第29号	平成29年11月1日
	長期継続頭蓋内脳波検査	(長) 第7号	平成29年11月1日
	神経学的検査	(神経) 第45号	平成29年11月1日
	小児食物アレルギー負荷検査	(小検) 第24号	平成29年11月1日
	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	(ポ断複) 第11号	平成29年11月1日
	CT撮影及びMRI撮影	(C・M) 第341号	平成29年11月1日
	外来化学療法加算1	(外化1) 第70号	平成29年11月1日
	無菌製剤処置料	(菌) 第77号	平成29年11月1日
	心大血管疾患リハビリテーション料 (I) (初期加算を含む)	(心I) 第19号	平成29年11月1日
	脳血管疾患等リハビリテーション料 (I) (初期加算を含む)	(脳I) 第78号	平成29年11月1日
	運動器リハビリテーション料 (I) (初期加算を含む)	(運I) 第104号	平成29年11月1日
	呼吸器リハビリテーション料 (I) (初期加算を含む)	(呼I) 第85号	平成29年11月1日
	がん患者リハビリテーション料	(がんリハ) 第39号	平成29年11月1日
	歯科口腔リハビリテーション料2	(歯リハ2) 第127号	平成30年4月1日
	人工腎臓 (慢性維持透析を行った場合1)	(人工腎臓) 第59号	平成30年4月1日
	導入期加算2及び腎代替療法実績加算	(導入2) 第11号	平成30年12月1日
	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	(透析水) 第44号	平成30年4月1日
	下肢末梢動脈疾患指導管理加算	(肢梢) 第38号	平成29年11月1日
	手術用顕微鏡加算	(手術微加) 第34号	平成30年4月1日
	CAD/CAM冠	(歯CAM) 第774号	平成30年4月1日
	脳刺激装置植込術 (頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	(脳刺) 第10号	平成29年11月1日
	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	(脊刺) 第12号	平成29年11月1日
	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検 (併用)	(乳セ1) 第22号	平成29年11月1日

区分	施設基準名	受理番号	受理年月日
特 掲 診 療 料	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	(ペ) 第68号	平成29年11月1日
	大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)	(大) 第41号	平成29年11月1日
	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	(腎) 第23号	平成29年11月1日
	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	(腹前) 第10号	平成30年5月1日
	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	(胃瘻造) 第73号	平成29年11月1日
	輸血管管理料Ⅱ	(輸血Ⅱ) 第52号	平成29年11月1日
	輸血適正使用加算	(輸適) 第47号	平成29年11月1日
	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	(造設前) 第37号	平成29年11月1日
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	(胃瘻造嚥) 第37号	平成29年11月1日
	広範囲顎骨支持型装埋入手術	(人工歯根) 第4号	平成30年8月1日
	歯根端切除手術の注3	(根切顕微) 第31号	平成30年4月1日
	麻酔管理料 (Ⅰ)	(麻管Ⅰ) 第78号	平成29年11月1日
	放射線治療専任加算	(放専) 第15号	平成29年11月1日
	外来放射線治療加算	(外放) 第14号	平成29年11月1日
	高エネルギー放射線治療	(高放) 第20号	平成29年11月1日
	1回線量増加加算 (全乳房照射)	(増線) 第10号	平成30年4月1日
	画像誘導放射線治療加算	(画誘) 第12号	平成30年9月1日
	体外照射呼吸性移動対策加算	(体対策) 第10号	平成29年11月1日
	定位放射線治療	(直放) 第12号	平成30年4月1日
	クラウン・ブリッジ維持管理料	(補管) 第1371号	平成30年4月1日
	酸素の購入価格に関する届出書	(酸単) 第12511号	平成30年4月1日
	入院時食事療養費 (Ⅰ)	(食) 第238号	平成29年11月1日
	入院医療に係る特別の療養環境の提供	(入療養提供) 第776号	平成29年11月1日
時間外診察	(時間外診察) 第31号	平成29年11月1日	
200床以上の病院の初診	(病院初診) 第66号	平成30年5月1日	
入院期間が180日を超える入院	(超過入院) 第305号	平成29年11月1日	
金属床による総義歯の提供	(金属総義歯) 第1229号	平成30年8月1日	

(2) 許可承認事項 (平成30年度分)

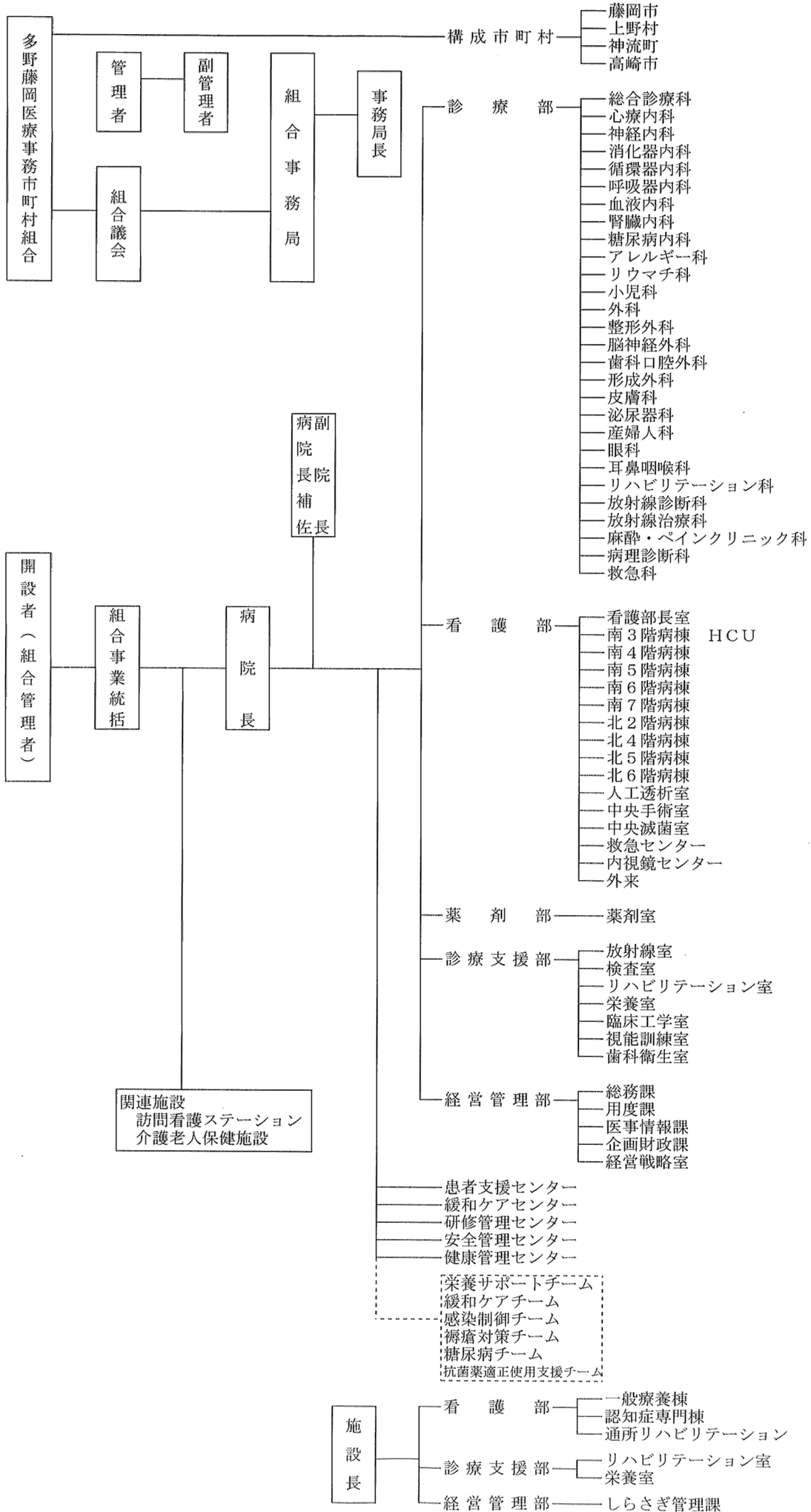
許可年月日	許可承認番号	許可及び承認並びに届出事項	許可及び承認者	摘要
平成30年4月1日	藤岡市指令健第2号	平成30年度病院群輪番制病院運営事業補助金交付決定	藤岡市長	決定額 19,681,240円
平成30年4月1日 (算定辞退年月日)		腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	関東信越厚生局長	辞退届
平成30年5月1日 (算定開始年月日)		200床以上の病院の初診	関東信越厚生局長	保険外併用療養費
平成30年5月11日	関厚発0511第24号	感染防止対策加算1感染防止対策地域連携加算の受理について	関東信越厚生局長	(感染防止1) 第25号
平成30年5月11日	関厚発0511第24号	歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料の受理について	関東信越厚生局長	(医管) 第297号
平成30年5月11日	関厚発0511第24号	医療機器安全管理料(歯科)の受理について	関東信越厚生局長	(機安歯) 第5号
平成30年5月11日	関厚発0511第24号	歯科口腔リハビリテーション料2の受理について	関東信越厚生局長	(歯リハ2) 第127号
平成30年5月11日	関厚発0511第24号	導入期加算1の受理について	関東信越厚生局長	(導入1) 第45号
平成30年5月11日	関厚発0511第24号	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算の受理について	関東信越厚生局長	(透析水) 第44号
平成30年5月11日	関厚発0511第24号	CAD/CAM冠の受理について	関東信越厚生局長	(歯CAD) 第774号
平成30年5月11日	関厚発0511第24号	歯根端切除手術の注3の受理について	関東信越厚生局長	(根切顕微) 第31号
平成30年5月17日	関厚発0517第4号	緩和ケア診療加算の受理について	関東信越厚生局長	(緩診) 第15号
平成30年5月17日	関厚発0517第4号	医療安全対策加算1医療安全対策地域連携加算1の受理について	関東信越厚生局長	(医療安全1) 第78号
平成30年5月17日	関厚発0517第4号	後発医薬品使用体制加算1の受理について	関東信越厚生局長	(後発使1) 第34号
平成30年5月17日	関厚発0517第4号	入退院支援加算1入院時支援加算の受理について	関東信越厚生局長	(入退支) 第83号
平成30年5月17日	関厚発0517第4号	外来緩和ケア管理料の受理について	関東信越厚生局長	(外緩) 第7号
平成30年5月17日	関厚発0517第4号	骨髄微小残存病変量測定 of 受理について	関東信越厚生局長	(骨残側) 第1号
平成30年5月17日	関厚発0517第4号	人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)の受理について	関東信越厚生局長	(人工腎臓) 第59号
平成30年5月17日	関厚発0517第4号	手術用顕微鏡加算の受理について	関東信越厚生局長	(手顕微加) 第34号
平成30年5月17日	関厚発0517第4号	1回線量増加加算(全乳房照射)の受理について	関東信越厚生局長	(増線) 第10号
平成30年5月17日	関厚発0517第4号	定位放射線治療の受理について	関東信越厚生局長	(直放) 第12号
平成30年5月17日	関厚発0517第4号	クラウン・ブリッジ維持管理料	関東信越厚生局長	(補管) 第1371号
平成30年5月31日	関厚発0531第5号	乳腺重症化予防ケア・指導料の受理について	関東信越厚生局長	(乳腺ケア) 第12号
平成30年5月31日	関厚発0531第5号	夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算の受理について	関東信越厚生局長	(救搬看体) 第24号
平成30年5月31日	関厚発0531第5号	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術の受理について	関東信越厚生局長	(腹前) 第10号
平成30年6月29日	関厚発0629第23号	歯科外来診療環境体制加算1の受理について	関東信越厚生局長	(外来環1) 第345号
平成30年6月29日	関厚発0629第23号	回復期リハビリテーション病棟入院料1の受理について	関東信越厚生局長	(回1) 第8号
平成30年8月1日 (算定開始年月日)		金属床による総義歯の提供	関東信越厚生局長	保険外併用療養費
平成30年8月3日	関厚発0803第33号	感染防止対策加算1抗菌薬適正使用加算の受理について	関東信越厚生局長	(感染防止1) 第25号
平成30年8月21日	関厚発0821第15号	広範囲顎骨支持型装置埋入手術の受理について	関東信越厚生局長	(人工歯根) 第4号
平成30年10月1日	関厚発1001第51号	急性期一般入院料1の受理について	関東信越厚生局長	(一般入院) 第180号
平成30年10月1日	関厚発1001第51号	画像誘導放射線治療加算(IGRT)の受理について	関東信越厚生局長	(画誘) 第12号
平成30年12月1日 (算定辞退年月日)		導入期加算1	関東信越厚生局長	辞退届

許可年月日	許可承認番号	許可及び承認並びに届出事項	許可及び承認者	摘要
平成30年12月14日	関厚発1214第41号	初診料の注1に掲げる基準の受理について	関東信越厚生局長	(歯初診) 第97号
平成30年12月14日	関厚発1214第41号	導入期加算2及び腎代替療法実績加算の受理について	関東信越厚生局長	(導入2) 第11号
平成30年12月19日	群馬県指令医第30120-3号	平成30年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業費補助金(新人看護職員研修事業) 交付決定	群馬県知事	決定額 425,000円
平成31年1月7日	群馬県指令医第226-4号	平成30年度臨床研修費等補助金(医師) 交付決定	群馬県知事	決定額 11,386,000円
平成31年1月7日	群馬県指令医第382-5号	平成30年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業費補助金(病院内保育所運営事業) 交付決定	群馬県知事	決定額 1,956,000円
平成31年1月23日	群馬県指令医第225-11号	平成30年度群馬県災害拠点病院施設整備及び設備整備費補助金交付決定	群馬県知事	決定額 2,000,000円
平成31年2月1日	群馬県指令保字第769-10号	平成30年度感染症指定医療機関運営事業費県費補助金交付決定	群馬県知事	決定額 5,735,000円
平成31年2月5日	群馬県指令医第30347-13号	平成30年度群馬県地域周産期母子医療センター運営事業補助金交付決定	群馬県知事	決定額 6,077,000円
平成31年2月25日	群馬県指令医第30191-7号	平成30年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業費補助金(認定看護師研修支援事業(研修費等支援事業)) 交付決定	群馬県知事	決定額 2,400,000円
平成31年3月8日	群馬県指令保字第372-8号	平成30年度群馬県がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金交付決定	群馬県知事	決定額 8,618,000円
平成31年3月29日	群馬県指令医第181-11号	平成30年度群馬県救急医療施設運営費等補助金(救急患者退院コーディネーター事業) 交付決定	群馬県知事	決定額 2,726,000円

II 組織及び職員の現況

平成31年3月31日現在

1. 組織



2. 職員数

職員の年度別推移（各年度末）

（単位：人）

部門・職種別	平成28年度			平成29年度			平成30年度			
	職員	臨時職員		職員	臨時職員		職員	臨時職員		
診療部	医師	59	57	2	70	66	4	75	71	4
		59	57	2	70	66	4	75	71	4
薬剤部	薬剤師	18	18		20	20		19	19	
	再任用				1	1		2	2	
	薬剤助手	3		3	3		3	3		3
		21	18	3	24	21	3	24	21	3
診療支援部	診療放射線技師	17	17		20	20		22	22	
	再任用				1	1				
	臨床検査技師	12	10	2	22	19	3	26	19	7
	再任用							1	1	
	理学療法士	17	17		27	27		27	27	
	再任用							1	1	
	作業療法士	10	10		13	13		13	13	
	言語聴覚士	4	4		5	5		6	6	
	看護師	1		1						
	栄養士	5	4	1	6	6		6	6	
臨床工学技士	7	7		7	7		7	7		
視能訓練士				2	2		2	2		
歯科衛生士							2	2		
		73	69	4	103	100	3	113	106	7
看護部	看護師	282	273	9	319	285	34	316	281	35
	再任用				4	4		7	7	
	准看護師	7	4	3	8	5	3	8	5	3
	介護福祉士	1	1		1	1		1	1	
	看護助手	20	7	13	24	7	17	27	7	20
		310	285	25	356	302	54	359	301	58
経営管理部	事務員	44	35	9	43	32	11	39	32	7
	再任用									
	相談指導員 その他労務									
		44	35	9	43	32	11	39	32	7
患者支援センター	看護師	2		2	4	3	1	6	5	1
	再任用				1	1		2	2	
	相談指導員	6	6		8	8		8	8	
	再任用							1	1	
事務員	2	2		3	3		3	3		
		10	8	2	16	15	1	20	19	1
緩和ケアセンター	看護師				3	2	1	3	2	1
	相談指導員				1	1		1	1	
	事務員				1	1				
					5	4	1	4	3	1
研修管理センター	研修医	15		15	14		14	15		15
	看護師	1	1		1	1				
	事務員	3	2	1	3	2	1	3	2	1
		19	3	16	18	3	15	18	2	16
安全管理センター	看護師	2	2		2	2		2	2	
	事務員	7	7		5	5		5	5	
	再任用				1	1		1	1	
	その他労務	2		2	3	1	2	1		1
	再任用				1	1		1	1	
		11	9	2	12	10	2	10	9	1
健康管理センター	事務員				1	1		1	1	
					1	1		1	1	
合計		547	484	63	648	554	94	663	565	98

※地域医療支援連携センターは、平成29年11月1日より患者支援センターに名称変更。

3. 主要役職員名簿

平成31年3月31日

職名	氏名	摘要	職名	氏名	摘要
管理者	新井 雅博	藤岡市長	脳神経外科 副院長	甲賀 英明	患者支援センター長
副管理者	田村 利男	神流町長	部長	若林 和樹	
組合事業統括兼病院長 病院長補佐	石崎 政利		医員	小島 丈夫	
副院長	塚田 義人	研修管理センター長	歯科口腔外科 医長	高山 優	
副院長	甲賀 英明	患者支援センター長	医員	大隅 麻貴子	
副院長	設楽 芳範	安全管理センター長	皮膚科 部長	嶋岡 正利	
診療部 総合診療科 部長	神保 貴宏		泌尿器科 部長	武井 智幸	
心療内科 部長	五十嵐 孝		医長	坂本 亮一郎	
消化器内科 部長	壁谷 建志		医員	金山 あずさ	
部長	山口 泰子		産婦人科 統括部長	遠藤 究	臨床研修統括部長
循環器内科 統括部長	井上 雅浩	救急センター統括部長	医長	小松 浩司郎	
部長	飯島 徹	健康管理センター長	医員	似内 敦志	
部長	間渕 由紀夫		医員	青木 瑛子	
部長	植田 哲也		リハビリテーション科 副院長	清水 透	
医長	高松 寛人		医長	有井 大典	
医長	小野 洋平		放射線診断科 部長	神宮 晶子	
医員	金井 杏奈		医員	熊坂 百香	
呼吸器内科 部長	中川 純一		医員	藤田 彩奈	
医長	池田 香菜		放射線治療科 部長	塩谷 真里子	
医員	梅津 和恵		麻酔科・ペインクリニック 統括部長	荒井 賢一	中央手術室統括部長兼救急センター集中治療室担当部長
血液内科 部長	外山 耕太郎		部長	牛込 嘉美	
医長	藤生 明生		部長	田口 さゆり	
医員	中山 敬太		部長	金井 真樹	
医員	松村 郁子		医長	萩原 竜次	
腎臓内科 病院長補佐	塚田 義人	研修管理センター長	病理診断科 部長	吉田 孝友	
部長	太田 史絵		救急科 医長	神戸 将彦	
医長	月田 真祐子		臨床研修医 臨時職員	南雲 航	2年次 基幹型
医員	茂木 伸介		臨時職員	萩原 舟平	2年次 基幹型
小児科 部長	渡部 登志雄		臨時職員	大枝 涼平	2年次 基幹型
部長	小山 晴美		臨時職員	内田 美帆	2年次 基幹型
医長	相馬 洋紀		臨時職員	福田 怜雄	2年次 基幹型
医員	岩脇 史郎		臨時職員	佐藤 広宣	2年次 基幹型
外科 組合事業統括兼病院長 副院長	石崎 政利	安全管理センター長	臨時職員	木村 健人	2年次 基幹型
統括部長	設楽 芳範	診療統括部長	臨時職員	荒巻 裕斗	2年次 協力型
部長	森永 暢浩		臨時職員	半田 敬祐	1年次 基幹型
部長	中村 卓郎		臨時職員	青木 友紀	1年次 基幹型
医長	中里 健二		臨時職員	根岸 佳那	1年次 基幹型
医長	加藤 寿英		臨時職員	清水 一輝	1年次 基幹型
医長	松本 明香		臨時職員	反町 隼人	1年次 基幹型
医長	矢野 間透		臨時職員	坂本 康大	1年次 基幹型
医員	熊倉 裕二		臨時職員	河野 慧	1年次 基幹型
医員	原田 祥恵		看護部 看護部長室	田村 幸子	
医員	菊地 健太		看護部長	染谷 由香里	
整形外科 部長	萩原 明彦		副看護部長	足利 章江	
部長	中島 大輔		南3階病棟 看護師長	樋口 美恵子	
部長	土田 ひとみ		副看護師長	高橋 久美子	
医長	永井 彩子		副看護師	児島 厚子	
医員	島田 志羅				
医員	丹下 沙羅				

職名	氏名	摘要	職名	氏名	摘要
南4階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	高橋 富士美 神岡 江 久保 愛		リハビリテーション室 室長 グループリーダー グループリーダー	関根 圭介 松山 励悦 小林 真	
南5階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	藤巻 淳子 設楽 理枝 齊田 亜弓		栄養室 室長 グループリーダー	竹内 幸子 福田 智春	
南6階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	藤野 妙子 茂木 裕子 高木 元美		臨床工学室 室長 グループリーダー	金子 修 宇津木 徹	
南7階病棟 看護師長 副看護師長	江原 忍 今井 美智代		視能訓練室 主査	宮本 恵子	
北2階病棟 看護師長 副看護師長	菊地 弘美 町田 かつ江		経営管理部 経営管理部長	三浦 真二	
北4階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	木部 和枝 原澤 優子 中村 道子		総務課 参事兼課長 グループリーダー グループリーダー グループリーダー	新井 滋 酒井 正子 秋山 裕子 櫻井 力	
北5階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	神宮 由香 小林 美和子 石原 里美		用度課 課長 課長補佐	五十嵐 良宣 新井 誠十郎	
北6階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	原 敦子 青木 裕美 瀧上 まゆみ		医事情報課 課長 課長補佐 グループリーダー グループリーダー	小林 ゆかり 五十嵐 哲二 櫻井 秀幸 齋藤 功志	
人工透析室 看護師長	與口 裕		企画財政課 参事兼課長 課長補佐 グループリーダー グループリーダー	中里 光夫 新井 光恵 平澤 和興 富田 貴英	
中央手術室 看護師長 副看護師長	千木良 直子 宮原 裕三		経営戦略室 室長 室長補佐	三浦 真二 清宮 きよ江	
内視鏡センター 看護師長	野村 香		患者支援センター 副看護部長 課長兼事務統括 副看護師長 副看護師長 グループリーダー	花形 光枝 横坂 政彦 関口 久子 針谷 ゆかり 青木 雅代	
外来 看護師長 看護師長 看護師長 副看護師長	宮下 智子 吉田 富子 飯島 京子 南雲 和子		緩和ケアセンター 看護師長 副看護師長	古池 きよみ 森崎 裕美	
薬剤部 薬剤部長	小幡 輝夫		研修管理センター 課長兼事務統括	酒井 正子	
薬剤室 室長 グループリーダー グループリーダー グループリーダー	堀口 裕之 久米 隆夫 櫻澤 千世 岩崎 英久		安全管理センター 事務統括 看護師長兼 リスクマネジャー	新井 滋 斉藤 康行	
診療支援部 副診療支援部長	櫻井 敏男		課長補佐 グループリーダー	黒澤 透 中 浩信	
放射線室 室長 グループリーダー グループリーダー グループリーダー グループリーダー	櫻井 敏男 長島 純子 高田 哲也 萩原 茂紀 岩村 隆夫		健康管理センター グループリーダー	新井 美春	
検査室 室長 グループリーダー グループリーダー	柴崎 洋一 井口 弘美 相馬 千恵子				

4. 議会

(1) 構成議員

19人（藤岡市11人、上野村1人、神流町1人、高崎市3人、知識経験者3人）

(2) 議会開催状況（平成30年度）

平成30年10月30日 行政視察（中外製薬工業製薬会社・テルモメディカルプラネックス 2日間）

平成30年11月19日 平成30年第2回多野藤岡医療事務市町村組合議会定例会

平成31年2月14日 平成31年第1回多野藤岡医療事務市町村組合議会定例会

(3) 議会議決事項

議案番号	件名	議決年月日
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて	平成30年11月19日
報告第2号	資金不足比率の報告について	平成30年11月19日
報告第3号	平成29年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計予算の繰越について	平成30年11月19日
議案第7号	平成29年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計決算認定について	平成30年11月19日
議案第8号	平成29年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計決算認定について	平成30年11月19日
議案第1号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	平成31年2月14日
議案第2号	多野藤岡医療事務市町村組合職員定数条例の一部改正について	平成31年2月14日
議案第3号	多野藤岡医療事務市町村組合職員の給与に関する条例の一部改正について	平成31年2月14日
議案第4号	多野藤岡医療事務市町村組合職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	平成31年2月14日
議案第5号	平成30年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計補正予算(第1号)について	平成31年2月14日
議案第6号	平成30年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計補正予算(第1号)について	平成31年2月14日
議案第7号	平成31年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計予算について	平成31年2月14日
議案第8号	平成31年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計予算について	平成31年2月14日

Ⅲ 院内会議及び委員会

1. 会議

名称	構成員	目的等	開催
幹部会議	病院長、病院長補佐、副院長、施設長、看護部長、副看護部長、薬剤部長、診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、臨床工学室長、経営管理部長、総務課長、企画財政課長	組合内の管理運営の基本方針・執行、計画に関する審議。 各部門との協議・調整を必要とする事項の審議。 組合の管理運営に重大な影響を与えると認められる事項の審議。	月1回
連絡調整会議	病院長、病院長補佐、副院長、施設長、統括部長、部長、薬剤部長、薬剤室長、診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、臨床工学室長、看護部長、副看護部長、看護師長、経営管理部長、総務課長、用度課長、医事情報課長、企画財政課長、経営戦略室長、患者支援事務統括、研修管理事務統括	組合の経営に関する審議。 各部門との協議・調整に関する審議。	月1回
診療科長会議	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、各診療科長	診療部相互の情報交換、診療業務の推進方法及び改善に関する事項を審議。	月1回
看護師長会議	看護部長、副看護部長、看護師長	看護部相互の情報交換、看護業務の推進方法を審議。	月2回
課長会議	経営管理部長、課長	経営管理部の情報交換、経営管理機能の推進及び改善に関する事項を審議。	随時
室長会議	診療支援部長、室長	診療支援部相互の情報交換、診療支援部業務の推進方法及び改善に関する事項を審議。	随時

2. 委員会

名称	構成員	目的等	開催
安全衛生委員会	副院長、産業医、部長、看護部長、副看護部長、看護師、薬剤室、放射線室、検査室、臨床工学室、視能訓練室、総務課長、総務課 計14人	職員の健康管理及び衛生管理並びに快適な職場環境について審議する。	月1回
院内感染予防対策委員会	病院長、病院長補佐、統括部長、部長、医長、看護部長、副看護部長、看護師長、専従リスクマネージャー、看護師、薬剤部長、薬剤室、診療支援部長、放射線室長、検査室長、検査室、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、安全管理事務統括、研修医、安全管理センター 計29人	院内感染に関する組織的対策及び予防に関し協議する。	月1回
医療安全管理委員会	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、部長、医長、看護部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、薬剤室長、診療支援部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、視能訓練室、経営管理部長、医事情報課長、研修医、安全管理事務統括、専従リスクマネージャー、安全管理センター 計31人	医療事故の防止のための具体的対策の検討及び推進を図る。	月1回
医療事故対策委員会	病院長、病院長補佐、副院長、弁護士、看護部長、経営管理部長、安全管理事務統括、専従リスクマネージャー、安全管理センター 計11人	医療苦情・事故等あった場合、適切かつ速やかに情報を把握し、迅速に対応することを目的とする。	随時
栄養管理委員会	病院長補佐、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、看護部、薬剤部長、検査室、委託職員（日清医療）、栄養室長、栄養室 計23人	患者給食の改善向上のため、より適正な事項を協議する。	月1回

診療情報管理委員会	病院長、副院長、統括部長、部長、医長、副看護部長、看護師長、薬剤室長、放射線室長、検査室長、総務課長、医事情報課長、企画財政課、経営戦略室長、研修医、医事情報課 計 26 人	診療録及び診療情報管理に関する、必要な事項を審議する。	2ヶ月に1回
診療情報開示検討委員会	副院長、部長、副看護部長、総務課長、医事情報課長、医事情報課 計 7 人	診療情報の開示依頼があった場合、その取扱について審議する。	随時
外来・病床管理委員会	副院長、統括部長、部長、医長、看護部長、副看護部長、看護師長、副看護師長、診療支援部長、医事情報課長、経営戦略室長、研修医、患者支援事務統括、患者支援センター 計 33 人	外来・病床管理に必要な事項を審議する。	月1回
褥瘡対策委員会	副院長、部長、看護師長、看護師、薬剤室、栄養室長、リハビリテーション室、用度課、安全管理センター、患者支援センター 計 16 人	褥瘡について予防と治癒促進を図り、在院日数の短縮を促す。	月1回
サービス向上委員会	病院長、副院長、看護部長、看護師長、薬剤部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、医事情報課長、しらさぎ管理課、専従リスクマネージャー、患者支援事務統括、研修管理事務統括、安全管理センター、経営戦略室、委託職員（東朋産業、ソラスト、日清医療）、総務課長、総務課 計 24 人	患者及び利用者のサービスの改善向上を図る	月1回
治験審査委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、薬剤室長、検査室長、総務課長、企画財政課、外部委員（藤岡市職員、養護学校教諭）薬剤室 計 14 人	治験薬の臨床試験の実施について審査を行う。	月1回
倫理審査委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、薬剤室長、薬剤室、検査室長、企画財政課、研修医、外部委員（藤岡市職員、養護学校教諭）、総務課長、総務課 計 16 人	医療倫理の適正な推進を図ることを目的とする。	随時
薬事委員会	病院長補佐、副院長、統括部長、部長、副看護部長、薬剤部長、薬剤室長、用度課長、用度課、薬剤室 計 14 人	医薬品の適正な使用管理等に関し、必要な事項を審議する。	随時
輸血療法委員会	病院長補佐、部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室、医事情報課、検査室長、検査室 計 15 人	輸血療法の安全性確保と適正化を図る。	随時
臨床検査業務運営適正化委員会	病院長補佐、統括部長、部長、副看護部長、診療支援部長、用度課、医事情報課、検査室長、検査室 計 15 人	臨床検査の適正化を図り、制度向上と効率的な業務の遂行を図る。	随時
医療ガス安全管理委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、診療支援部長、検査室長、委託業者（カンサン）、安全管理センター 計 13 人	医療ガス整備の安全管理を図り、患者の安全を確保する。	年1回
放射線安全委員会	放射線取扱主任者、副院長、部長、放射線室長、検査室長、総務課長、用度課長、専従リスクマネージャー、放射線室 計 11 人	放射線障害防止について必要な事項を企画審議する。	年1回
防火・防災対策委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、総務課長、用度課長、専従リスクマネージャー、安全管理センター 計 17 人	防火管理を徹底し、防災管理を図る。	年3回

中央手術室 運営委員会	病院長補佐、統括部長、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護部長、検査室、放射線室、医事情報課長、用度課長 計 16 人	各診療科との連絡調整及び手術室の効率的利用について協議し、業務の円滑な運営を図る。	随時
職員採用検討委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、総務課長、総務課 計 12 人	効率的な職員の採用を図ることを目的に設置する。	随時
医療機器整備委員会	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、企画財政課、用度課長、用度課 計 13 人	医療機器の調査、審議、機種決定をし、組合内の機器調整を行うことを目的とする。	随時
救急センター 運営委員会	副院長、統括部長、部長、医長、副看護部長、看護師長、看護師、薬剤室長、放射線室、検査室、患者支援事務統括、経営戦略室長、研修医、医事情報課 計 26 人	救急センターの運営管理について審議し、円滑な運営を図る。	月 1 回
広報委員会	病院長、副院長、看護部長、副看護部長、副看護師長、薬剤室長、放射線室、検査室長、リハビリテーション室長、総務課、医事情報課長、しらすぎの里介護員、患者支援事務統括、研修管理事務統括、研修管理センター、経営戦略室、企画財政課長、企画財政課 計 20 人	院内外に広報活動を進めることを目的とする。	随時
クリニカルパス 委員会	副院長、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室、検査室、リハビリテーション室、栄養室、経営戦略室長、医事情報課 計 28 人	チーム医療によるクリニカルパス手法の普及を目指し、患者中心の医療ケア、良質な医療の確保と標準医療の実践を図る	月 1 回
電子化情報委員会	病院長、副院長、統括部長、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、専従リスクマネージャー、薬剤室長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室、栄養室長、経営管理部長、用度課長、医事情報課長、企画財政課長、患者支援事務統括、研修管理事務統括、医事情報課、企画財政課、委託業者（高崎共同センター） 計 30 人	院内の電子化整備と円滑な運用を図る。	随時
図書委員会	副院長、統括部長、副看護部長、薬剤部長、診療支援部長、検査室、リハビリテーション室長、栄養室長、用度課長、企画財政課、しらすぎ管理課、研修管理事務統括、研修管理センター 計 13 人	効率的な図書室の運営（図書購入、情報発信・収集・利用促進等）を行うことを目的とする。	随時
がん診療委員会	病院長補佐、副院長、統括部長、部長、看護師長、看護師、薬剤室、検査室長、リハビリテーション室、医事情報課長、患者支援センター、緩和ケアセンター、医事情報課 計 29 人	がん診療の向上と患者への支援等、がん登録業務の円滑な運営を行うことを目的とする。	月 1 回
研修委員会	副院長、統括部長、看護部長、副看護部長、薬剤部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、総務課長、企画財政課長、しらすぎ管理課、委託職員（東朋産業、ソラスト）、研修管理事務統括、研修管理センター 計 18 人	病院の職員研修及び病院外研修について、的確かつ円滑に行うことを目的とする。	年 4 回

職員提案委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、総務課長、総務課 計12人	組合の円滑な運営を図るとともに、業務の改善について適切な提案をし、もって医療サービスの推進及び業務の能率的、効率的向上を図ることを目的とする。	随時
I C L S 委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、看護師、薬剤室、放射線室、検査室、リハビリテーション室、栄養室、臨床工学室、患者支援センター 計15人	組合全職員が BLS 及び ICLS を学び実践し、地域への啓蒙活動を行うことを目的とする。	年4回
勤務負担軽減委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、医事情報課長、企画財政課長、総務課長、研修管理事務統括、研修管理センター 計15人	安心・安全な医療を提供することを目的に医師等への勤務負担について検討する。	随時
透析機器安全管理委員会	部長、看護師長、看護師、専従リスクマネージャー、副診療支援部長、安全管理センター、臨床工学室 計12人	透析機器の安全管理を図り、患者の安全を確保する。	随時
S P D 委員会	病院長、副院長、統括部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、診療支援部長、副診療支援部長、検査室、経営管理部長、医事情報課長、企画財政課長、医事情報課、用度課長、用度課 計17人	診療材料、薬品等の物流、整備、管理について、医療水準の向上、患者サービスのより一層の向上を図るために必要な事項を調査、審議する。	年2回
健康管理センター運営委員会	統括部長、部長、看護部長、看護師長、放射線室長、検査室長、栄養室長、医事情報課長、企画財政課長、経営戦略室長、委託職員（ソラスト）、健康管理センター 計14人	地域住民及び職員の健康推進を図る。	随時
糖尿病治療支援委員会	部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室長、薬剤室、検査室長、検査室、リハビリテーション室、栄養室長、栄養室、緩和ケアセンター、患者支援センター 計15人	糖尿病患者の合併症等の予防を図ると共に QOL の向上を促す。	随時
研修管理委員会	病院長、病院長補佐、副院長、施設長、統括部長、部長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、他病院・他施設の研修実施責任者、有識者、研修医、研修管理事務統括、研修管理センター 計34人	医師臨床研修制度の基本理念を遵守するとともに、研修内容の充実とその資質の向上を図り、研修プログラムの策定、研修医・指導医の評価及び処遇など、臨床研修病院群との連携の下に新医師臨床研修制度の構築を図る。	随時
T Q M 委員会	病院長、病院長補佐、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、医事情報課長、企画財政課長、経営戦略室長、経営戦略室 計10人	地域医療の負託にこたえ、医療の質を向上させることを目的とする。	随時
診療報酬委員会	病院長、副看護部長、経営管理部長、企画財政課長、経営戦略室長、委託職員（ソラスト）医事情報課長 計7人	診療報酬請求の適正な請求をすることを目的とする。	随時
内視鏡センター運営委員会	病院長補佐、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、看護師、放射線室、検査室長、医事情報課、企画財政課 計15人	組合が実施する内視鏡検査・処置の適正かつ効果的な運営を図る。	随時

IV 学会及び研修会

名称	開催場所	開催月	出席人数
診療部			
第115回日本内科学会講演会	京都市	4月	4人
第58回日本呼吸器学会	大阪市	4月	2人
第62回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京都	4月	4人
第118回日本外科学会定期学術集会	東京都	4月	3人
第104回日本消化器病学会総会/ポストグラディエイトコース	東京都	4月	1人
第61回日本手外科学会学術集会	東京都	4月	2人
第15回日本口腔ケア学会総会学術大会	福岡市	4月	1人
日本顕微鏡歯科学会第15回学術大会	大阪市	4月	1人
第106回日本泌尿器科学会総会	京都市	4月	3人
H30年度群馬県スポーツドクター協議会総会	前橋市	4月	1人
第77回日本医学放射線学会総会	横浜市	4月	3人
第58回日本呼吸器学会学術講演会	大阪市	4月	1人
第106回日本泌尿器科学会総会	京都市	4月	1人
JATEC東京コース	東京都	4月	1人
第58回日本呼吸器学会学術講演会	大阪市	4月	1人
第115回日本内科学会講演会	京都市	4月	1人
第95回日本消化器内視鏡学会/第42回日本消化器内視鏡セミナー	東京都	5月	1人
第641回内科地方会	東京都	5月	1人
第52回日本心血管インターベンション治療学会/第641回内科地方会	東京都	5月	1人
第41回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	東京都	5月	1人
第43回日本骨髄腫学会学術集会	幕張市	5月	1人
第61回日本糖尿病学会年次学術集会	東京都	5月	1人
日本内科学会生涯教育講演会	東京都	5月	1人
第26回日本乳癌学会学術総会	京都市	5月	2人
全自病関東地方会議	東京都	5月	1人
第28回ICD講習会	横浜市	5月	1人
第35回日本呼吸器外科学会総会	千葉市	5月	1人
第91回日本整形外科学会学術総会	神戸市	5月	2人
第70回日本産科婦人科学会学術講演会	仙台市	5月	1人
日本麻酔科学会第65回学術集会	横浜市	5月	4人
群馬大学臨床研修合同ガイダンス	前橋市	5月	4人
第30回藤岡ICLSコース	藤岡市	5月	2人
日本麻酔科学会 第65回学術集会	横浜市	5月	1人
第92回日本感染症学会/第66回日本化学療法学会	岡山市	5月	1人
第38回日本脳神経外科コンgres総会	大阪市	5月	1人
第641回内科地方会（参加費のみ）	東京都	5月	1人
第69回日本東洋医学会学術総会	大阪市	6月	1人
CTO Club	名古屋市	6月	1人
第248回日本循環器学会関東甲信越地方会/第642回関東地方会	東京都	6月	1人
第248回日本循環器学会関東甲信越地方会	東京都	6月	1人
第18回成人先天性心疾患セミナー	東京都	6月	1人
第58回日本リンパ網内系学会総会	名古屋市	6月	1人
第61回日本腎臓学会学術総会	新潟市	6月	4人
第67回日本アレルギー学会学術大会	幕張市	6月	1人
第53回日本小児腎臓学会学術集会	福島市	6月	1人
第20回日本医療マネジメント学会	札幌市	6月	1人
第49回埼玉群馬乳腺疾患研究会	高崎市	6月	1人
第23回日本緩和医療学術大会	神戸市	6月	1人
日本栄養代謝学会立候補届管理委員会	東京都	6月	1人
第72回日本食道学会学術集会	宇都宮市	6月	1人
Matrix Consensus Meeting	大阪市	6月	1人
日本顎変形症学会第14回教育研修会	大阪市	6月	1人

名称	開催場所	開催月	出席人数
第99回日本皮膚科学会群馬地方会	前橋市	6月	1人
関東連合産科婦人科学会総会	東京都	6月	1人
第22回日本神経麻酔集中治療学会	高崎市	6月	1人
第27回日本脳ドック学会総会	盛岡市	6月	1人
第63回日本透析医学会学術集会総会	神戸市	6月	1人
群馬クリニカルパス研究会	高崎市	6月	1人
第55回日本リハビリテーション医学会学術集会	福岡市	6月	1人
第643回関東地方会	東京都	7月	1人
乳腺手術手技セミナー	東京都	7月	1人
第16回日本臨床腫瘍学会学術集会	神戸市	7月	1人
群馬県公立病院協議会	渋川市	7月	1人
第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島市	7月	1人
日本外科代謝栄養学会第55回学術集会	大阪市	7月	1人
第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島市	7月	1人
第44回日本骨折治療学会	岡山市	7月	1人
第51回日本整形外科学会、骨・軟部腫瘍学術集会	静岡市	7月	1人
第32回院内ICLSコース受講料	藤岡市	7月	1人
第45回尿路悪性腫瘍研究会	東京都	7月	1人
小児運動器疾患指導管理医師DVDセミナー	前橋市	7月	1人
日本臨床整形外科学会群馬県支部研修講演会	前橋市	7月	1人
第27回日本心血管インターベンション治療学会学術集会	神戸市	8月	2人
平成30年度病院長・幹部職員セミナー	東京都	8月	1人
2018年診療・介護報酬の同時改定	つくば市	8月	1人
脳血管外科フォーラム2018summer	大阪市	8月	1人
第38回産婦人科漢方研究会学術集会	宇都宮市	8月	1人
第4回群馬県がんのリハビリテーション研修会	前橋市	8月	1人
第59回日本人間ドック学術大会	新潟市	8月	1人
第59回日本人間ドック学会学術大会	新潟市	8月	1人
第34回北関東病院感染対策懇話会	前橋市	8月	1人
第231回日本呼吸器学会関東地方会	東京都	9月	1人
日本内科学会第644回関東地方会/第19回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会	東京都	9月	1人
H30年度第26回日本外科学会生涯教育セミナー	東京都	9月	1人
日本消化器内視鏡学会第44回重点卒後教育セミナー	東京都	9月	1人
第10回宮城県対がん協会マンモグラフィ読影医師更新講習会	仙台市	9月	1人
第100回日本皮膚科学会群馬地方会	前橋市	9月	1人
関東甲信越・東京支部第58回合同学術集会	東京都	9月	1人
26回群馬県救急医療懇談会	富岡市	9月	1人
H30年度日本医科大学医師会産業医研修会	東京都	10月	1人
第645回関東地方会（参加費のみ）	東京都	10月	1人
第6回Gunma Prevent	前橋市	10月	1人
第3回人間ドック健診機能評価公式講習会	東京都	10月	1人
第53回日本心血管インターベンション治療学会	東京都	10月	1人
第80回日本血液学会学術集会	大阪市	10月	4人
日本内科学会関東地方会	東京都	10月	1人
日本腎臓学会東部学術大会	東京都	10月	1人
第24回日本腹膜透析医学会学術集会・総会	徳島市	10月	1人
第48回日本腎臓学会東部学術大会	東京都	10月	1人
H30年度群馬県児童虐待防止医療ネットワーク第1回RIFCR研修	前橋市	10月	1人
第56回日本癌治療学会学術集会	横浜市	10月	1人
組合議員視察研修	神奈川県	10月	1人
第6回日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部学術集会	甲府市	10月	1人
第33回日本整形外科学会基礎学術集会	奈良市	10月	1人
日本脳神経外科学会第77回学術総会	仙台市	10月	4人
第83回日本泌尿器科学会東部総会	東京都	10月	3人

名称	開催場所	開催月	出席人数
日本転倒予防学会第5回学術集会	浜松市	10月	1人
日本放射線腫瘍学会第31回学術大会	京都市	10月	1人
第34回群馬周産期研究会	前橋市	10月	1人
第289回ICD講習会	東京都	10月	1人
JDDW2018	神戸市	11月	1人
第十二回中日本ライブデモンストレーション	高崎市	11月	2人
第8回若手臨床血液学セミナー	東京都	11月	1人
日本緩和医療学会第1回関東甲信越支部学術大会	東京都	11月	1人
第31回日本外科感染症学会総会/第295回ICD講習会	大阪市	11月	1人
第71回群馬小児喘息研究会	前橋市	11月	1人
第80回日本臨床外科学会総会	東京都	11月	2人
第70回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会	東京都	11月	1人
第28回日本乳癌検診学会学術総会	大阪	11月	1人
第46回日本救急医療学会総会学術集会	横浜市	11月	1人
第8回栄養管理指導者協議会	松山市	11月	1人
第2回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	仙台市	11月	1人
第34回日本脳神経血管内治療学会学術総会	仙台市	11月	2人
第32回日本泌尿器内視鏡学会総会	仙台市	11月	1人
練馬区医師会学術部産婦人科医会研修会	東京都	11月	1人
第136回関東連動産婦人科学会総会・学術集会	東京都	11月	1人
日本臨床麻酔科学会第38回大会	小倉市	11月	4人
第46回日本救急医学会総会学術集会	横浜市	11月	1人
第57回日本臨床細胞学会秋期大会	横浜市	11月	1人
KCTライブデモンストレーション2018	さいたま市	12月	1人
第4回群馬ヘルニア研究会	前橋市	12月	1人
第十五回日本乳癌学会関東地方会	さいたま市	12月	1人
群馬外傷ネットワーク第1回全大会	前橋市	12月	1人
日本がん口腔指示療法学会第4回学術大会	新潟市	12月	1人
第82回日本皮膚科学会東京支部学術大会	東京都	12月	1人
第454回日本医学放射線大会関東地方会定期大会	東京都	12月	1人
医療機関の放射線業務従事者のための放射線障害防止法講習会	東京都	12月	1人
第37回日本消化器内視鏡学会関東セミナー	さいたま市	1月	1人
第35回北関東病院感染対策懇話会	前橋市	1月	1人
第37回群馬消化器病研究会	前橋市	1月	1人
群馬県公立病院協議会	前橋市	1月	1人
日本医療マネジメント学会第8回群馬県支部学術集会	前橋市	1月	1人
全自病協議会 群馬県支部総会	高崎市	1月	1人
日本消化器内視鏡学会	東京都	1月	1人
第5回群馬県災害医療コーディネーター研修	前橋市	1月	1人
第28回 Basic-FATEコース	横浜市	1月	1人
産業医研修会	東京都	2月	1人
産業保健セミナー	前橋市	2月	1人
第233回日本呼吸器学会地方会	東京都	2月	1人
第9回茨城こどもECHOゼミナール	筑波市	2月	1人
2019医業経営セミナー	東京都	2月	1人
乳腺手術手技セミナー	東京都	2月	1人
第3回群馬県医師会医療安全対策研修会	前橋市	2月	1人
H30年度第5回関東ブロックDMA T機能医事研修	東京都	2月	1人
第29回日本間脳下垂体腫瘍学会	大阪市	2月	1人
第16回群馬リハビリテーション医学研究会	前橋市	2月	1人
放射線取扱主任者講習会	東京都	2月	1人
H31年度群馬臨床細胞学会	高崎市	2月	1人
第83回日本循環器学会学術集会	横浜市	3月	2人
H30年度データ解析研修会	前橋市	3月	1人

名称	開催場所	開催月	出席人数
第83回日本循環器学会学術集会	横浜市	3月	1人
第29回経食道心エコー講習会	東京都	3月	1人
第56回気管支鏡講習会	東京都	3月	1人
民間レジナビフェア	東京都	3月	1人
B S J N U 基礎コース	名古屋市	3月	1人
第85回関東小児腎臓研究会	東京都	3月	2人
第59回関東整形災害外科学会	東京都	3月	2人
日本脳卒中外科学会 C E P 講習会 S T R O K E 2019	横浜市	3月	2人
第5回群馬県骨粗しょう症研究会	前橋市	3月	1人
薬剤部			
全自病群馬県支部薬剤部長研修会	高崎市	6月	1人
群馬県感染症対策連絡協議会総会	前橋市	6月	2人
臨床腫瘍薬学会 JASPO ブラッシュアップセミナー2018	東京都	6月	3人
感染制御専門薬剤師講習会	東京都	7月	1人
第12回日本緩和医療薬学会年会	東京都	7月	1人
第65回日本化学療法学会	東京都	10月	2人
第12回日本腎臓病薬物療法学会	浜松市	10月	3人
群馬県災害防災医療センター 急性期災害医療コース	前橋市	10月	1人
群馬県感染症対策連絡協議会合同カンファレンス	前橋市	12月	2人
第28回日本医療薬学会年会	神戸市	12月	2人
群馬県病院薬剤師会新任薬剤師研修会	前橋市	12月	1人
第56回日本糖尿病学会関東甲信越地方会	横浜市	1月	1人
第35回北関東病院感染対策懇話会	前橋市	1月	1人
第34回日本静脈経腸栄養学会学術集会	東京都	2月	1人
全自病 群馬県支部薬剤部長研修会	高崎市	3月	1人
放射線室			
2018国際医用画像総合展	横浜市	4月	5人
日本放射線学会 第74回総会学術大会	横浜市	4月	2人
第2回Biograph研究会	前橋市	4月	2人
Slender Club Japan 2018 in TOKYO	東京都	4月	1人
第10回群馬GYRO USERS MEETING	前橋市	5月	3人
第5回群馬SOMATOM Workshop	高崎市	5月	1人
第35回日本核医学技術学会関東地方会	大洗市	5月	1人
第11回各医学専門技師研修セミナー	東京都	5月	1人
第15回X線CT認定技師更新講習会	東京都	5月	1人
第65回群馬県核医学研究会	前橋市	5月	1人
デジタルマンモンモグラフィセミナー2018	前橋市	6月	1人
第121回東京支部セミナー	東京都	6月	1人
第57回日本消化器がん検診学会総会	新潟市	6月	1人
第10回GE DWIBS研究会	東京都	6月	1人
第26回群馬CT研究会	高崎市	6月	1人
第181回医用画像情報学会	前橋市	6月	1人
第4回マンモグラフィーポジショニング研修会	前橋市	6月	1人
第53回心臓核医学談話会	東京都	6月	2人
Varian Seminar2018	東京都	7月	1人
第1回MITech	つくば市	7月	1人
ぐんまちゃん研究会 (MRI研究会)	前橋市	7月	1人
第12回西毛外傷セミナー	藤岡市	8月	1人
循環器CTセミナー	さいたま市	8月	1人
SCMR Japan WG Seminar2018	東京都	8月	1人
第78回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会	宇都宮市	9月	1人
第67回関東核医学画像処理研究会	東京都	9月	1人
東毛画像診断フォーラム	太田市	9月	1人
第57回群馬県核医学技術懇話会	前橋市	9月	3人

名称	開催場所	開催月	出席人数
第14回群馬 A i 研究会	前橋市	9月	2人
第19回群馬県CT・MRI研究会	東京都	9月	1人
第37回群馬県核医学技術懇話会	前橋市	9月	1人
H30群馬県がん検診X線撮影従事者講習会	前橋市	10月	1人
第17回肺がんCT認定技師更新講習会	東京都	10月	1人
第37回臨床画像診断懇話会	前橋市	10月	2人
第22回心臓核医学フォーラム	東京都	10月	1人
群馬MR研究会	前橋市	10月	3人
西毛地区放射線技師勉強会	富岡市	10月	1人
第154回マンモグラフィ更新技術講習会	東京都	10月	2人
第6回群馬GECT User's Meeting	高崎市	10月	1人
H30年度医療機関のための放射線安全管理講習会	東京都	11月	1人
第12回クリニカルランドマーク茨城	つくば市	11月	1人
第66回群馬県核医学研究会	前橋市	11月	3人
第38回日本核医学技術学会総会学術大会	那覇市	11月	1人
群馬Gyro Users Meeting	前橋市	11月	2人
群馬MR研究会	前橋市	11月	3人
第38回群馬MR医学研究会	前橋市	11月	1人
胸部XPの読影入門パート3	前橋市	11月	1人
第27回群馬CT研究会	高崎市	11月	1人
胸部XPの読影入門パート3	前橋市	11月	1人
医療機関の放射線業務従事者のための放射線障害防止法講習会	東京都	12月	1人
コニカミノルタヘルスケアフォーラムin前橋	前橋市	12月	2人
関東・東京支部合同研究発表大会2018	さいたま市	12月	1人
signa甲子園2018	東京都	12月	1人
第17回CTテクノロジーフォーラム	前橋市	12月	1人
FDG-PET/CT技術セミナー	東京都	12月	1人
第6回クリニカルPETフォーラム	東京都	12月	1人
業務拡大に伴う統一講習会	前橋市	12月	2人
群馬県放射線技師会勉強会	前橋市	1月	2人
第38回インフォーマルミーティング	東京都	1月	1人
群馬心臓核医学読影勉強会	前橋市	1月	1人
第54回心臓核医学談話会	東京都	1月	1人
第295回オープンフィルムカンファレンス	前橋市	1月	1人
第294回オープンフィルムカンファレンス	前橋市	1月	1人
第27回放射線治療品質管理士講習会	西宮市	2月	1人
第5回群馬心臓MRI研究会	前橋市	2月	2人
群馬MR研究会	前橋市	2月	2人
H30年度第5回関東ブロックDMAT機能医事研修	東京都	2月	1人
マンモグラフィ認定技師更新技術講習会	東京都	2月	1人
業務拡大に伴う統一講習会	前橋市	2月	1人
群馬放射線治療技術研究会	前橋市	3月	1人
DIRミーティング	前橋市	3月	1人
第3回群馬心臓核医学講演会	前橋市	3月	1人
第68回関東核医学画像処理研究会	東京都	3月	1人
群馬MR研究会	前橋市	3月	2人
RadioLogY Update講演会	東京都	3月	1人
検査室			
第1回にいがた乳房超音波講習会	新潟市	4月	1人
H30年度学術講演会「最新の乳房再建術について」	前橋市	4月	2人
第23回関東甲信越地区マイクロスキャン研究会	東京都	4月	1人
新入職員、日当直者のための血液検査	前橋市	4月	1人
中級～輸血が遭遇する症例～	前橋市	4月	1人
輸血検査に必要な基礎知識	前橋市	4月	1人

名称	開催場所	開催月	出席人数
群馬県臨床検査技師会 輸血研究班	前橋市	5月	4人
群馬県臨床検査技師会 病理細胞診研究班	太田市	5月	2人
群馬県臨床検査技師会 血液研究班	前橋市	5月	1人
群馬県臨床検査技師会 一般検査研究班	前橋市	5月	1人
群馬県臨床検査技師会 超音波研究班	前橋市	5月	1人
検体採取等厚労省指定講習会	東京都	5月	1人
第14回循環生理検査法技術講習会	東京都	6月	1人
群馬県病理・細胞検査研修会	前橋市	6月	2人
血液形態カンファレンス	前橋市	6月	1人
シーメンス首都圏関東信越ヘマトロジーセミナー	東京都	6月	1人
群馬県臨床検査技師会輸血研究班	前橋市	6月	3人
群馬県臨床検査技師会血液研究班	前橋市	6月	2人
群馬県感染対策連絡協議会総会	前橋市	6月	1人
群馬県臨床検査技師会H29年度定時総会	高崎市	6月	1人
群馬県臨床検査技師会超音波研究班	前橋市	6月	1人
H30年度群馬臨床細胞学会	高崎市	7月	1人
消化器内視鏡「病理研究班」	高崎市	7月	1人
ALLの診断と治療	前橋市	7月	1人
群馬県臨床微生物研究班	前橋市	7月	2人
第3回群馬県臨床検査技師会精度管理委員会	前橋市	7月	1人
群馬県超音波研究班	前橋市	7月	2人
群馬県生理機能、臨床化学検査研究班	高崎市	7月	2人
第70回群馬臨床細胞学会学術集会	高崎市	7月	1人
第37回 Echo-G	前橋市	7月	1人
第35回輸血検査基礎実技研修会	前橋市	7月	1人
第6回群馬肺高血圧症画像研究会	前橋市	8月	4人
シスメックスセミナーinさいたま2018	さいたま市	8月	2人
第18回薬剤師のための群馬抗ガン薬研究会	高崎市	8月	1人
第34回北関東病院感染症対策懇話会	前橋市	8月	1人
第75回細胞検査士教育セミナー	横浜市	8月	2人
心エコーオープンカンファレンス第38回Echo-G	前橋市	9月	3人
病理細胞診研究班ギムザ染色勉強会及び実習	前橋市	9月	2人
H30年度認定心電図検査技師育成研修会	東京都	9月	1人
群馬県合同輸血療法委員会世話人会	前橋市	9月	1人
群馬県臨床検査技師会 輸血学術集会	高崎市	9月	1人
日立自動分析機研修会	東京都	9月	1人
群馬県臨床検査技師会 新人研修会	前橋市	9月	1人
H30日臨技関東支部首都圏支部医学検査学会(第55回)	高崎市	10月	9人
生理研究班10月例会	前橋市	10月	1人
群馬県超音波研究会 実技講習会	前橋市	10月	1人
群馬県臨床検査技師会 超音波研究班	前橋市	10月	1人
臨床化学検査研究班	前橋市	11月	1人
第3回ABBOTT HEMATOLOGY ワークショップ群馬	前橋市	11月	1人
第57回日本臨床細胞学会秋期大会	横浜市	11月	3人
電解質測定部の知識とトラブルシューティング	前橋市	11月	1人
第31回関甲信支部・首都圏支部微生物検査研修会	甲府市	11月	1人
群馬県感染対策連絡協議会	前橋市	11月	1人
群馬県臨床検査技師会輸血研究班11月例会	前橋市	11月	1人
心血管エコーオープンカンファレンス第39回Echo-G	前橋市	11月	1人
糖尿病に関する講演 セミナー	前橋市	12月	2人
第5回日臨技 乳房超音波技術講習会	東京都	1月	1人
心エコーオープンカンファレンス第40回Echo-G	前橋市	1月	3人
第513回衛生工学衛生管理者講習	東京都	1月	1人
第35回北関東病院感染対策懇話会	前橋市	1月	1人

名称	開催場所	開催月	出席人数
輸血研究班1月例会	前橋市	1月	1人
超音波研究会講義講習会	前橋市	1月	1人
第71回群馬臨床細胞学会学術集会	高崎市	2月	4人
生理研究班「技師に必要な患者介助」	前橋市	2月	2人
群馬県技師会微生物研究班	前橋市	2月	1人
群馬県技師会輸血研究班	前橋市	2月	1人
群馬県超音波研究会	前橋市	2月	1人
第24回関東甲信越地区マイクロスキャン研究会	東京都	3月	1人
シスメックス社免疫セミナー	前橋市	3月	1人
群馬県臨床検査精度管理調査報告会	前橋市	3月	1人
群馬県臨床検査技師会情勢報告会	前橋市	3月	1人
リハビリテーション室			
「循環機能の評価と早期離床」	戸田市	4月	2人
H30年度職業性腰痛予防講師育成研修会	名古屋市	5月	1人
第30回活動分析研究大会	甲府市	5月	1人
第28回群馬NST研究会	前橋市	5月	1人
第23回日本緩和医療学会演題発表公園聴講	神戸市	6月	1人
第24回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	横浜市	7月	1人
第30回群馬脳卒中医療連携の会本会議	前橋市	7月	4人
H30年度言語聴覚学科実習指導者会議	前橋市	7月	1人
3学会合同呼吸療法認定士認定講習会	東京都	8月	1人
第5回STのための嚥下実習講習会	愛知県	8月	1人
頸部聴診法の実際と病態別摂食嚥下リハビリテーション'18	東京都	8月	1人
H30年度認定必須研修会 呼吸① 東京会場	東京都	9月	1人
eラーニング認定必須研修会(脳卒中)	藤岡市	9月	1人
第37回関東甲信越ブロック理学療法士学発表	宇都宮市	9月	1人
H30年度第7回群馬県内部障害系理学療法研究会	高崎市	9月	1人
第52回日本作業療法学会演題発表	名古屋市	9月	3人
群馬県言語聴覚士会研修会	前橋市	9月	1人
口のリハビリテーション医科歯科連携インストラクター講習会	前橋市	9月	1人
日本糖尿病療養指導士 第16回認定更新者講習会 eラーニング	高崎市	10月	1人
eラーニング協会指定研修	前橋市	10月	1人
第3回GRTA呼吸療法セミナー	高崎市	10月	1人
第21回日本全体構造臨床言語学会学術集会	東京都	10月	1人
第11回群馬クリティカルケア	高崎市	11月	2人
弘前大学医学部保健学科就職支援ガイダンス	青森市	11月	1人
群馬県言語聴覚士会 第三回学術研究発表会	高崎市	11月	5人
第2回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	仙台市	11月	1人
H30年度第5回実務者講習会	東京都	11月	1人
第6回日本運動器理学療法学会学術大会	福岡市	12月	1人
第21回群馬県作業療法学会	前橋市	12月	7人
第42回日本高次脳機能障害学会学術総会サテライトセミナー	神戸市	12月	1人
第31回群馬県脳卒中医療連携の会 情報交換会	前橋市	1月	3人
GROWING in 東京	東京都	1月	1人
第26回臨床実習指導者研修会	東京都	2月	1人
第45回技術講習会	高崎市	2月	5人
第25回群馬県神経系理学療法研究会	前橋市	2月	6人
回復期リハビリテーション病棟協会第33回研究大会	浦安市	2月	2人
離床技術スキルアップ集中講座	さいたま市	2月	2人
第4回群馬県糖尿病療養指導士基礎講習会	前橋市	3月	6人
H30年度第119回全職種研修会	東京都	3月	3人
日本DMAT養成研修	東京都	3月	1人
H30年度第9回群馬県内部障害系理学療法研究会	高崎市	3月	1人
実習指導者会議	東京都	3月	1人

名称	開催場所	開催月	出席人数
第84回AMPS講習会	茨城県	3月	1人
群馬県言語聴覚士会症例検討会	前橋市	3月	1人
栄養室			
第61回日本糖尿病学会年次学術集会	東京都	5月	2人
H30年度特定健診・保健指導実施者育成研修	前橋市	5月	1人
群馬県栄養士会第6回定時総会	前橋市	5月	1人
群馬県栄養士会医療事業部研修会	前橋市	6月	4人
H30年度特定健診・保健指導実施者育成研修	前橋市	6月	1人
回復期リハビリテーション病棟協会管理栄養士研修会	東京都	6月	1人
H30群馬県栄養士会生涯教育研修会	前橋市	9月	1人
H30医療事業部研修会（H30年度スキルアップセミナー）	前橋市	10月	1人
嚥下食まると実演セミナー	高崎市	10月	1人
第3回学術研究発表会	高崎市	11月	4人
H30年度健康づくり提唱のつどい	前橋市	11月	1人
群馬県栄養士会生涯教育研修会	前橋市	11月	1人
第16回日本糖尿病療養指導士認定更新者講習会	東京都	12月	4人
「地域の栄養ケア拠点の整備に向けた研修会」	前橋市	12月	1人
H30年度第2回糖尿病予防研修会	前橋市	12月	1人
日本病態栄養学会教育セミナー	横浜市	1月	1人
第22回日本病態栄養学会年次学術集会	横浜市	1月	1人
第56回日本糖尿病学会関東甲信越地方会	横浜市	1月	3人
H30年度自治体病院栄養士部会研修会	桐生市	1月	1人
第34回日本静脈経腸栄養学会学術集会共同演者	東京都	2月	2人
第36回群馬県栄養改善学会及び総会	高崎市	2月	4人
群馬県栄養士会 医療事業部研修会	前橋市	3月	3人
臨床工学室			
第24回日本HDF研究会学術集会・総会	川越市	9月	1人
第22回血液透析技術基礎セミナー	神戸市	9月	1人
人工呼吸器技術講習会	東京都	10月	3人
人工呼吸器技術講習会	東京都	11月	3人
第9回栃木県呼吸器基礎セミナー	栃木県	11月	1人
第3回 I-HDF研究会	東京都	12月	1人
第18回人工呼吸器安全対策セミナー	川口市	1月	2人
平成30年度呼吸器セミナー	前橋市	1月	1人
第42回群馬県透析懇話会	前橋市	2月	7人
視能訓練室			
眼科スタッフセミナー2018	東京都	6月	1人
第33回JSCRS学術総会	東京都	6月	2人
眼科スタッフセミナーin群馬	高崎市	9月	2人
第72回日本臨床眼科学会	東京都	10月	1人
第57回全国自治体病院学会in福島	郡山市	10月	1人
第59回日本視能矯正学会	横浜市	11月	2人
第30回群馬県視能訓練士勉強会	前橋市	11月	1人
歯科衛生室			
群大口腔機能管理ハンズオンセミナー	前橋市	7月	1人
医科歯科連携インストラクター講習会	前橋市	9月	1人
第24回日本摂食嚥下リハビリテーション学術大会	仙台市	9月	1人
医科歯科連携インストラクター講習会	前橋市	9月	1人
がん患者さんの口腔粘膜アセスメントセミナー	新潟市	10月	2人
第63回日本口腔外科学会総会・学術大会	千葉市	11月	2人
看護部			
看護職研究支援事業 「看護研究セミナー」	前橋市	4月	8人
高崎健康福祉大学 臨地実習協議会	高崎市	4月	2人
看護職就職ガイダンス	前橋市	4月	2人

名称	開催場所	開催月	出席人数
群馬県がん診療連携協議会	前橋市	4月	1人
群馬県内病棟保育士ネットワーク協議会	前橋市	4月	1人
看護職研究支援事業「看護研究セミナー」	前橋市	5月	8人
全自病関東地方会議	東京都	5月	1人
群馬県ICN分科会	前橋市	5月	1人
H30年度群馬県看護師実習指導者講習会	前橋市	5月	1人
H30年度県臓器移植コーディネーター研修会	前橋市	5月	2人
群馬県内視鏡技師会第1回会議	前橋市	5月	1人
第80回日本消化器内視鏡技師会	東京都	5月	1人
日本看護協会全国職能別交流集会	横浜市	6月	3人
重症度、医療、看護必要度評価者院内指導者研修 通常総会	東京都	6月	8人
第15回群馬クリニカルパス研究会	前橋市	6月	4人
看護用務	高崎市	6月	12人
群馬県看護師長協議会	前橋市	6月	3人
認定看護師教育課程開講式	前橋市	6月	3人
看護部長会	高崎市	6月	1人
群馬県感染症対策連絡協議会総会	前橋市	6月	1人
認定看護管理者小論文レポートの書き方	前橋市	6月	1人
日本老年看護学会第23回学術集会	前橋市	6月	1人
H30年度認定看護管理者ファーストレベル	福岡市	6月	1人
H30年度群馬県看護師実習指導者講習会	前橋市	6月	2人
第23回日本緩和医療学会学術大会	前橋市	6月	1人
群馬県内病棟保育士ネットワーク協議会	神戸市	6月	1人
助産外来における超音波診断の実際	渋川市	6月	1人
群馬県新生児蘇生法研修会Aコース	前橋市	7月	1人
看護部長会	前橋市	7月	1人
H30年度全自病看護師研修会	東京都	7月	2人
看護補助者活用推進の責任者研修	前橋市	7月	4人
H30年度認定看護管理者セカンドレベル	前橋市	7月	2人
H30年度認定看護管理者ファーストレベル	前橋市	7月	2人
H30年度群馬県看護師実習指導者講習会	前橋市	7月	1人
院内コーディネーター 移植経験施設プレゼンテーション	前橋市	7月	1人
透析療法従事職員研修	高崎市	7月	2人
第16回日本臨床腫瘍学会学術集会	大宮市	7月	1人
H30年度特定保健指導者等実践者スキルアップ研修会	神戸市	7月	1人
H30看護職研究支援事業「看護研究個別支援」	前橋市	8月	1人
第49回日本看護学会	前橋市	8月	1人
ICN分科会	仙台市	8月	1人
H30年度全自病看護管理研修会(第1回)	前橋市	8月	1人
H30年度認定看護管理者セカンドレベル	東京都	8月	3人
H30年度認定看護管理者ファーストレベル	前橋市	8月	2人
群馬県がんのリハビリテーション研修会	前橋市	8月	2人
重症度、医療看護必要度評価者院内指導者研修	前橋市	8月	1人
第38回群馬小児糖尿病サマーキャンプ随行	前橋市	8月	1人
H30特定保健指導等実践者スキルアップ研修会	富岡市	8月	1人
群馬県児童虐待防止医療ネットワーク事業	前橋市	9月	1人
看護管理者のための交渉術	前橋市	9月	1人
看護用務	前橋市	9月	5人
手術研究会 新人研修	前橋市	9月	1人
H30年度認定看護管理者セカンドレベル	前橋市	9月	1人
H30年度認定看護管理者ファーストレベル	前橋市	9月	2人
看護に活かす画像診断	前橋市	9月	2人
第11回群馬ストーリーリハビリテーション講習会	前橋市	9月	1人

名称	開催場所	開催月	出席人数
第31回日本サイコオンコロジー学会総会	金沢市	9月	1人
H30年度第1回リーダー研修	前橋市	9月	1人
群馬県内視鏡技師会第2回会議	前橋市	9月	1人
認知症高齢者の看護実践研修	前橋市	10月	4人
H30年度人間ドック健診施設機能評価Ver. 4.0公式講習会	東京都	10月	1人
群馬県看護学会打合せ	前橋市	10月	1人
組合議員視察研修	神奈川県	10月	1人
全自病 群馬県支部看護部長会	前橋市	10月	1人
第30回看護管理セミナー	東京都	10月	2人
ICN分科会	前橋市	10月	1人
H30年度認定看護管理者セカンドレベル	前橋市	10月	2人
H30年度認定看護管理者ファーストレベル	前橋市	10月	2人
がん分野における中堅看護師研修フォローアップ研修	前橋市	10月	1人
防災センター要員講習、自衛消防業務講習	東京都	10月	1人
院内コーディネーター第2回グループ研修会	伊勢崎市	10月	2人
小児救急看護実践能力	前橋市	10月	1人
群馬がん看護研究会スキルアップセミナー	前橋市	10月	1人
褥瘡ケア（中級編）	前橋市	11月	2人
群馬県看護学会第22回	前橋市	11月	7人
H30特定保健指導等実践者スキルアップ研修会	前橋市	11月	1人
第52回ブラッシュアップ研修会	東京都	11月	1人
看護部長会	前橋市	11月	1人
H30群馬県感染症研修会	前橋市	11月	1人
新人看護職員教育担当者研修11/9, 12, 14, 19, 22	前橋市	11月	1人
H30群馬県感染症対策連絡協議会合同カンファレンス	前橋市	11月	1人
第11回群馬クリティカルケア研究会演者	高崎市	11月	1人
看護師が行う入退院支援と困難事例への対応セミナー	東京都	11月	4人
H30年度認定看護管理者セカンドレベル	前橋市	11月	2人
師長協議会	前橋市	11月	6人
H30年度認定看護管理者ファーストレベル	前橋市	11月	2人
第3回群馬県輸血療法委員会	前橋市	11月	1人
看護の役割と具体的な支援	前橋市	11月	1人
乳がん看護	前橋市	11月	1人
第21回日本腎不全看護学会 学術集会総会	長野市	11月	1人
第22回群馬県看護学会	前橋市	11月	1人
群馬県内病棟保育士ネットワーク協議会	前橋市	11月	1人
看護部長会	前橋市	12月	1人
認定看護師教育課程閉講式	高崎市	12月	1人
ICN分科会	前橋市	12月	1人
群馬クリティカルケア研究会	前橋市	12月	1人
医療現場におけるヒューマンエラー	前橋市	12月	1人
新生児蘇生法研修会Aコース	前橋市	1月	2人
第35回日本母乳哺育学会学術集会開催に向けての会議	高崎市	1月	1人
看護部長会	前橋市	1月	1人
H30年度 認定看護管理者セカンドレベル閉講式	前橋市	1月	2人
第31回群馬県脳卒中連携の会本会議	前橋市	1月	2人
第3回 院内コーディネーター研修会	桐生市	1月	2人
第35回北関東病院感染対策懇話会	前橋市	1月	1人
第34回日本環境感染学会総会学術集会	神戸市	2月	1人
第34回日本静脈経腸栄養学会学術集会	東京都	2月	1人
H30年度第5回関東ブロックDMAT機能医事研修	東京都	2月	2人
18看護必要度ステップアップ研修	前橋市	2月	4人
災害看護研修	東京都	2月	2人
第42回群馬県透析懇話会	前橋市	2月	7人

名称	開催場所	開催月	出席人数
H30年度第2回群馬病院のコーディネーター研修会	前橋市	2月	2人
第33回日本がん看護学会学術集会	福岡市	2月	1人
日本緩和医療学会エルネック指導者養成研修	東京都	2月	1人
第4回群馬県糖尿病療養指導士基礎講習会	前橋市	3月	1人
学内進路相談会	高崎市	3月	1人
自治体病院 看護部長会	前橋市	3月	1人
看護師の特定行為研修に係る説明会	さいたま市	3月	1人
ICN分科会	前橋市	3月	1人
日本DMAT養成研修	東京都	3月	1人
経営管理部			
上毛新聞社 看護職ガイダンス	前橋市	4月	1人
給与実態調査説明会	前橋市	4月	1人
全国自治体病院協議会	東京都	5月	1人
診療情報管理士スクーリング	東京都	5月	1人
第15回群馬クリニカルパス研究会	高崎市	6月	2人
全自病 事務長部会研修会	東京都	6月	1人
自治体病院管理者研修会	東京都	6月	1人
院内がん登録実務中級者認定研修	東京都	7月	1人
H30年度第1回がん登録部会	前橋市	7月	2人
診療報酬改定セミナー	東京都	7月	1人
自衛消防業務新規講習	前橋市	7月	1人
H30年度人事院勧告説明会	東京都	8月	1人
群馬県地域医療構想説明会	前橋市	9月	1人
同門会秋の旅行随行	松本市	9月	1人
コスト削減セミナー	東京都	9月	1人
高崎市医師会ITフェア	高崎市	9月	1人
群馬県公立病院協議会	渋川市	10月	1人
組合議員視察研修	神奈川県	10月	3人
防災センター要員講習、自衛消防業務講習	東京都	10月	1人
第57回全国自治体病院学会in福島	郡山市	10月	1人
新適時調査・個別指導対応セミナー	東京都	10月	1人
第37回用度業務研修会	東京都	11月	1人
診療材料購入管理研修会	東京都	11月	1人
DPCデータ分析事例研究発表会	東京都	11月	1人
公営企業制度勉強会	東京都	11月	1人
H30年度群馬県全国がん登録研修会	前橋市	12月	2人
群馬県公立病院協議会	前橋市	1月	1人
全自病協議会 群馬県支部総会	高崎市	1月	1人
分限処分・懲戒処分実務研修会	東京都	1月	1人
病院経営管理研修会	東京都	2月	1人
群馬県院内がん登録研修会	前橋市	2月	1人
30年度第1回がん診療質の評価部会	前橋市	2月	1人
経営戦略室			
EVEビギナーレッスン・スタンダードレッスン操作説明会	東京都	6月	1人
コスト削減セミナー	東京都	9月	1人
第57回全国自治体病院学会in福島	郡山市	10月	1人
日本医療マネジメント第8回群馬県支部学術集会	前橋市	1月	2人
患者支援センター			
第29回群馬脳卒中医療連携の会、本会議	前橋市	4月	4人
H30看護職研究支援事業看護研究セミナー	前橋市	4月	1人
H30看護職研究支援事業看護研究セミナー	前橋市	5月	1人
第30回群馬脳卒中医療連携の会世話人会	高崎市	6月	2人
第30回群馬脳卒中医療連携の会本会議	前橋市	7月	4人
H30年度全自病看護管理研修会（第1回）	東京都	8月	1人

名称	開催場所	開催月	出席人数
H30群馬県児童虐待防止医療ネットワーク事業医療従事者研修	前橋市	10月	1人
H30年度西毛自殺未遂者支援ネットワーク研修会	高崎市	11月	1人
看護用務	前橋市	11月	1人
第31回群馬脳卒中医療連携の会世話人会	前橋市	12月	1人
第31回群馬脳卒中医療連携の会特別講演会兼交換会	前橋市	1月	1人
H30児童虐待防止医療ネットワーク事業ステージ1研修	伊勢崎市	2月	2人
第32回群馬脳卒中医療連携の会世話人会	前橋市	2月	1人
第5回関東ブロックDMA T技能維持研修	東京都	2月	1人
18看護必要度ステップアップ研修	前橋市	2月	1人
H30児童虐待防止医療ネットワーク事業症例検討会	前橋市	3月	2人
緩和ケアセンター			
H30年度両立支援コーディネーター基礎研修	川崎市	4月	1人
第23回日本緩和医療学会学術集会	神戸市	6月	1人
H30年度「がん分野における中堅看護師実務研修」指導者会議	前橋市	7月	1人
リレーフォーライフ チームリーダーミーティング	前橋市	9月	1人
群馬緩和医療研究会実行委員会	前橋市	9月	1人
「相談対応の質保証を学ぶ」研修会	東京都	10月	1人
H30「がん分野における中堅看護師実務研修」指導者会議	前橋市	10月	1人
第56回日本癌治療学会学術集会	横浜市	10月	1人
H30年度第1回群馬県がん診療連携協議会緩和ケア部会	前橋市	1月	1人
研修管理センター			
群馬大学臨床研修合同ガイダンス	前橋市	5月	1人
外科手技講習会	郡山市	6月	2人
日本腎臓学会学術集会	新潟市	6月	2人
第53回日本小児腎臓病学会学術集会	福島市	6月	3人
第248回日本循環器学会関東甲信越地方会	東京都	6月	1人
第30回院内ICLSコース	藤岡市	6月	3人
民間医局レジナビフェア	東京都	7月	6人
第33回院内ICLSコース	藤岡市	8月	2人
第12回西毛外傷セミナー	藤岡市	8月	2人
第226回日本神経学会関東甲信越地方会	東京都	9月	3人
群馬県新生児蘇生法研修会	桐生市	10月	1人
第37回日本認知症学会学術集会	札幌市	10月	1人
群馬レジデントグランプリ	前橋市	11月	1人
第46回日本救急医学会総会・学術集会	横浜市	11月	2人
臨床研修機構事務担当者説明会	東京都	12月	1人
第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡市	12月	1人
群馬県医師会発表	前橋市	12月	1人
H30年度医師臨床研修制度の見直しに関する説明会	さいたま市	1月	1人
民間医局レジナビフェア	東京都	3月	2人
臨床研修医の為の腎臓セミナー	東京都	3月	1人
第8回ワークショップで学ぶ人工呼吸	東京都	3月	1人
安全管理センター			
群馬県医療事故調査等支援団体連絡協議会小委員会	前橋市	4月	1人
H30年度第1回群馬県感染症対策連絡協議会ICN分科会	前橋市	5月	1人
H30年度群馬県感染症対策連絡協議会特別講演会	前橋市	6月	1人
群馬県看護協会	前橋市	7月	1人
第2回群馬県感染症対策連絡協議会ICN分科会	前橋市	8月	1人
2018年度病院感染制御担当者育成講習会	東京都	8月	1人
第34回北関東病院感染対策懇話会	前橋市	8月	1人
防災センター要員講習、自衛消防業務講習	東京都	10月	1人
群馬県基幹災害医療センター急性期災害医療コース受講	前橋市	10月	1人
第3回群馬県感染症対策連絡協議会ICN分科会	前橋市	10月	1人
第67回日本感染症学会東日本地方会学術集会	東京都	10月	1人

名称	開催場所	開催月	出席人数
H30年度群馬県感染症対策連絡協議会合同カンファレンス	前橋市	11月	1人
H30年度群馬県感染症研修会	前橋市	11月	1人
PCB廃棄物少量保管事業者向け処理委託契約説明会	前橋市	12月	1人
病院感染制御担当者育成講習会第6回	東京都	12月	1人
第4回群馬県感染症対策連絡協議会 I C N分科会	前橋市	12月	1人
第35回北関東病院感染対策懇話会	前橋市	1月	1人
群馬県医療安全管理者ネットワーク会議研修会	前橋市	2月	2人
医療安全対策地域連携加算に係る相互評価	高崎市	2月	2人
災害看護研修	東京都	2月	1人
暴力団情勢と不当要求	前橋市	2月	1人
バイラー取扱い従事者安全衛生教育能力向上教育講習	前橋市	3月	1人
群馬県医師会医療安全対策講演会	前橋市	3月	2人
第5回群馬県感染症対策連絡協議会 I C N分科会	前橋市	3月	1人
H30年度群馬県エイズ対策担当者会議	前橋市	3月	1人
健康管理センター			
人間ドック健診施設機能評価公式講習会	東京都	10月	1人
協会けんぽ生活習慣病予防健診事務担当者会議	前橋市	2月	1人

V 研究業績

1. 論文 (原著・総説・著書等)

【循環器内科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
金井 杏奈	高松寛人、小野洋平 植田哲也、間淵由紀夫 井上雅浩、鈴木忠 岡田修一、金子達夫 佐々木健人、中村紘規 山下英治	開心術時の前縦隔リンパ節生検により確定診断に至った巨大左心室瘤を伴う心臓サルコイドーシスの1例	心臓	50 (9)	1015-1023	2018
Yohei Ono	Hiroto Takamatsu Masahiro Inoue Yukio Mabuchi Tetsuya Ueda Tadashi Suzuki Masahiko Kurabayashi	Clinical effect of long-term administration of tolvaptan in patients with heart failure and chronic kidney disease	Drug Discoveries & Therapeutics	12 (3)	154-160	2018

【呼吸器内科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
高野 峻一	田口浩平、内田恵 池田香菜、中川純一 須賀達夫	小細胞肺癌の治療経過中に甲状腺転移を認めた1例	肺癌	58 (3)	216-220	平成30年6月

【外 科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
Yuji Kumakura	Takehiko Yokobori, Makoto Sohda, Ken Shirabe, Hiroyuki Kuwano	ASO Author Reflections: Nodal Skip Metastasis in Esophageal Squamous Cell Carcinoma	Ann Surg Oncol	25	1221-1228	2018
中里 健二	森永暢浩、設楽芳範 石崎政利、調憲	右胃大網動脈を用いた冠状動脈バイパス術後に腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した1例	外科	80巻11号	1187-1190	2018
菊地 健太	大串健二郎 長谷川真理子 五十嵐昭宏、畑中政博 藤野順子、岸陽子 池田均	難治性便秘を主訴とし肛門狭窄をともなう前方肛門と診断した1例	日小外会誌	54	1240-1244	2018
菊地 健太	藤野順子、畑中政博 岡崎英人、大串健二郎 長谷川真理子 五十嵐昭宏、岸陽子 浦橋泰然、池田均	洗腸カテーテルの腸内進入 - 洗腸の合併症 -	小児外科	51	284-285	2019

【整形外科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
永井 彩子	中島大輔、田鹿毅 筑田博隆	小児の肘周辺骨折における術後合併症の検討	日本手外科学会雑誌	35(5)	1116-1119	平成31年2月

2. 学会及び研究発表

【循環器内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
福田 怜雄	金井杏奈、小野洋平 高松寛人、植田哲也 間淵由紀夫、井上雅浩 飯島徹、鈴木忠	運動中に心肺停止に至った先天性左冠動脈閉鎖症 (Congenital left main coronary artery atresia) の一例	第248回日本循環器学会関東甲信越地方会	平成30年6月	東京	口演
高松 寛人		若手医師向け教育セッション	第53回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会	平成30年10月	東京	口演

【呼吸器内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
高橋 亜実	田口浩平、内田恵 高野峻一、神戸将彦 池田香菜、中川純一 須賀達夫	救命し得た高齢発症の抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎に伴う間質性肺炎の一例	第229回日本呼吸器学会関東地方会	平成30年5月	東京	口演
中川 純一		当院での重症気管支喘息の症例について	重症気管支喘息ミーティング2018 in TAKASAKI	平成30年8月	高崎	口演

【血液内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
松村 郁子	松村郁子、清水啓明 飯野宏允、内藤千晶 宮澤悠里、石崎卓馬 外山耕太郎、小磯博美 横濱章彦、松本守生 小倉秀光、塚本憲史 平戸純子、半田寛	CD5陽性DLBCLに対する自家移植の検討	第80回日本血液学会総会	平成30年11月	大阪	口演
反町 隼人	反町隼人、松村郁子 中山敬太、斉藤明生 外山耕太郎	自己免疫性血球減少症との鑑別に苦慮した血栓性血小板減少性紫斑病	第648回日本内科学会関東地方会	平成31年2月	東京	口演

【腎臓内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
月田 真祐子	松崎智子、茂木伸介 太田史絵、塚田義人	血液透析患者に対するレボカルニチン1000mg/週1回静注投与の有効性の検討	代42回群馬県透析懇話会学術総会	平成31年2月	前橋	口演

【小児科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
渡部 登志雄		アラーム療法を導入した夜尿症例	第40回群馬病弱児療育研究会	平成31年2月	前橋	口演
青木 友紀	岩脇史郎、相馬洋紀 小山晴美、渡部登志雄	可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎・脳症を合併した急性巣状細菌性腎炎の男児例	第209回日本小児科学会群馬地方会	平成31年3月	桐生	口演

相馬 洋紀	岩脇史郎、小山晴美 渡部登志雄	ネフローゼ症候群を呈した紫斑病性腎炎の6歳男児例	藤岡多野医師会講演会	平成31年2月	藤岡	口演
-------	--------------------	--------------------------	------------	---------	----	----

【外 科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
松本 明香	石崎政利	トモパイオプシーの問題点と今後の対策	第26回日本乳癌学会	平成30年5月	京都	示説
松本 明香	木村昌子、金子学 長島純子、原口祥恵 熊倉裕二、矢野間透 加藤寿英、中里健二 中村卓郎、森永暢浩 設楽芳範、石崎政利	トモシンセシスを用いたステレオガイド下マンモトーム生検の応用	第28回日本乳癌検診学会	平成30年11月	大阪	示説
中里 健二	原口祥恵、熊倉裕二 矢野間透、松本明香 加藤寿英、森永暢浩 中村卓郎、設楽芳範 石崎政利	当院における鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術の導入とその短期成績	第31回日本内視鏡外科学会総会	平成30年12月	福岡	示説
設楽 芳範	加藤寿英、中里健二 森永暢浩	難治性冠攣縮性狭心症に対し胸部交感神経遮断術が有効であった2例	第31回日本内視鏡外科学会総会	平成30年12月	福岡	示説
熊倉 裕二	栗山健吾、西川達也 吉田知典、横堀武彦、酒井真 宗田真、宮崎達也、桑野博行	長期生存症例からみた食道癌T4症例の治療戦略	第118回日本外科学会定期学術集会	平成30年4月	東京	口演
熊倉 裕二	熊倉裕二、栗山健吾 吉田知典、原圭吾、酒井真 宗田真、宮崎達也、横尾聡 高城壮登、桑野博行	食道癌治療における当院でのチーム医療の現状	第73回日本食道学会学術集会	平成30年6月	宇都宮	示説
熊倉 裕二	栗山健吾、高城壮登 吉田知典、酒井真、宗田真 宮崎達也、桑野博行	Evaluation of swallowing function by Food Test and oral care by Oral Assessment Guide in perioperative management of Esophagectomy	第73回日本消化器外科学会総会	平成30年7月	鹿児島	口演
矢野間 透	原田祥恵、菊地健太 熊倉裕二、松本明香 加藤寿英、中里健二 森永暢浩、設楽芳範 石崎政利	外科領域におけるDICに対し、当院でのトロンボモジュリンの使用経験	群馬侵襲治療フォーラム	平成31年1月	前橋	口演
原田 祥恵	菊地健太、熊倉裕二 矢野間透、松本明香 加藤寿英、中里健二 森永暢浩、設楽芳範 石崎政利	研修医でもできる腸管吻合	第12回群馬手術手技フォーラム	平成31年2月	前橋	口演
菊地 健太	畑中政博、大串健二郎 長谷川真理子、五十嵐昭宏 藤野順子、岸 陽子、池田均	腫瘍破裂で発症した骨盤内巨大胎児型横紋筋肉腫の一例	第55回日本小児外科学会学術集会	平成30年5月	新潟	口演
菊地 健太	藤野順子、大串健二郎 長谷川真理子、五十嵐昭宏 畑中政博、岸陽子、池田均	洗腸カテーテルの腸内進入	第116回東京小児外科学会研究会	平成30年6月	東京	口演

菊地 健太	岡崎英人、大串健二郎 長谷川真理子、五十嵐昭宏 畑中政博、藤野順子、岸陽子 浦橋泰然、池田均	横行結腸間膜原発神経芽腫の1例	第53回日本小児外科学会 関東甲信越地方会	平成30年10月	東京	口演
賀村 寿人	中村卓郎、富山麻祐子 塚越正章	自家末梢血幹細胞移植患者のNSTから 学んだこと	第34回日本静脈経腸 栄養学会学術集会	平成31年2月	東京	口演
中村 卓郎		一般演題 口演15 ICU	第34回日本静脈経腸 栄養学会学術集会	平成31年2月	東京	座長
中村 卓郎		NSTに活かそう各種疾患3：整形領域	第6回日本静脈経腸 栄養学会関東甲信越 支部学術集会	平成30年10月	山梨	座長
中村 卓郎		ポスター94 内分泌・代謝1	第46回日本救急医学 会総会	平成30年11月	横浜	座長

【整形外科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
永井 彩子	中島大輔、田鹿毅 大谷昇、久保井卓郎 遠藤史隆、筑田博隆	成長期野球選手における握力と体組成 の関連について	第61回日本手外科学 会学術集会	平成30年4月	東京	口演
永井 彩子	中島大輔、筑田博隆	小児の肘周辺骨折における有害事象 発生時期と身体的特徴の検討	第61回日本手外科学 会学術集会	平成30年4月	東京	示説
島田 剛志	萩原明彦、中島大輔 土田ひとみ、永井彩子 丹下沙羅	小児に発生した稀な背部平滑筋肉腫 の1例	藤岡市医師会症例検 討会	平成30年9月	藤岡	口演
丹下 沙羅	中島大輔、萩原明彦 久保井卓郎、遠藤史隆 筑田博隆	濃化異骨症患者の大腿骨骨幹部骨折 に対し矯正骨切り術を併用し内固定 を行った一例	第690回関東整形災害 外科学会月例会	平成30年9月	東京	口演
永井 彩子	田鹿 毅、山本敦史 大倉千幸、金澤紗恵子 高岸憲二	Relations between quantitative ultrasound assessment of calcaneus and grip and key pinch power in Japanese mountain village residents	群馬大学整形外科同 門会抄読会	平成30年12月	前橋	口演
鈴木 純貴	中島大輔	lateral parapatellar approachによる 髓内釘が有用と考えられた下腿遠 位部骨折の1例	第8回群馬整形外傷研 究会	平成31年3月	前橋	口演
島田 剛志	斎藤健一、小濱一作 野崎達也、柳川天志 筑田博隆	後腹膜粘液型脂肪肉腫に対するエリ ブリン投与中に発症した血栓性微小 血管障害症（TMA）の1例	関東整形災害外科学 会学術集会	平成31年3月	東京	口演

【脳神経外科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
吉澤 将士	若林和樹、甲賀英明	血行再建でアクセス困難時に8F NeuroEBUが有効であった2例	第62回 北関東頭頸 部血管内手術懇談会	平成30年5月	前橋	口演
吉澤 将士	若林和樹、甲賀英明	対側内頸動脈閉塞を伴う症候性内頸 動脈閉塞症に対し緊急頸動脈ステ ント術を行った一例	第15回 日本脳神経 血管内治療学会 関東 地方会	平成30年7月	東京	口演
甲賀 英明	朝倉健、栗原秀行、松本正弘 谷崎義生、美原盤	群馬県におけるtP A静注療法および 血栓回収療法の施行状況 平成29年 度県内医療機関調査より	第26回 群馬県救急 医療懇談会	平成30年9月	富岡	口演

谷崎 義生	朝倉健、甲賀英明、栗原秀行 松本正弘、美原盤	脳卒中救急搬送症例の事後検証：第5報	第26回 群馬県救急医療懇談会	平成30年9月	富岡	口演
谷崎 義生	朝倉健、甲賀英明、栗原秀行 松本正弘、美原盤	群馬県における脳卒中救急医療体制整備における脳神経外科の役割 第4報	第77回 脳神経外科学会総会	平成30年10月	仙台	口演
甲賀 英明	朝倉健、栗原秀行、松本正弘 谷崎義生、美原盤	群馬県におけるtP A静注療法および血栓回収療法の施行状況 平成29年度県内医療機関調査より	群馬救急医療ネットワークリーダーズ会議	平成30年10月	前橋	口演
甲賀 英明		新規抗てんかん薬の使用経験	群馬てんかん診療カンファレンス	平成30年10月	前橋	口演
甲賀 英明	朝倉健、栗原秀行、松本正弘 谷崎義生、美原盤	平成29年度 群馬県tP A静注療法および血栓回収療法の施行状況	群馬救急医療ネットワーク本会議	平成30年11月	前橋	口演
清水 一輝	若林和樹、小島丈夫 込山和毅 佐藤広宣 甲賀英明	再発を繰り返す脳梗塞の診断と治療 血栓源不明梗塞の一例	多野藤岡医師会症例検討会	平成30年12月	藤岡	口演

【歯科口腔外科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
高山 優	山口高広、大隅麻貴子 横尾聡	口腔癌術後に局所再発が疑われた放線菌症の2例	第63回日本口腔外科学会総会・学術集会	平成30年11月	幕張	口演
大隅 麻貴子	清水崇寛、高山優 横尾聡	上顎に発生したデスマイド型乳幼児線維腫症の1例	第63回日本口腔外科学会総会・学術集会	平成30年11月	幕張	口演
大隅 麻貴子	金舞、浅見拓哉、武者敦 高山優、横尾聡	入院患者への口腔機能管理の現状と課題：看護師へのアンケート調査による検討	第4回日本がん口腔支持療法学会 学術大会	平成30年12月	新潟	示説
大隅 麻貴子	清水崇寛、高山優	上顎に発生したデスマイド型乳幼児線維腫症の1例	第2回群馬口腔顎顔面疾患研究会	平成30年8月	前橋	口演
高山 優	大隅麻貴子、清水崇寛 小川将、横尾聡	有茎頰脂肪体移植による口腔再建	第24回群馬県歯科医学会学術大会	平成31年1月	前橋	口演
高山 優	山口高広、大隅麻貴子 横尾聡	口腔癌術後に局所再発が疑われた放線菌症の2例	第37回 日本口腔腫瘍学会総会・学術大会	平成31年1月	長崎	示説

【皮膚科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
嶋岡 正利		DESIGN-R®	第29回地域褥瘡検討会	平成30年6月	藤岡	口演
嶋岡 正利		放射線療法が奏功した顔面有棘細胞癌	第100回日本皮膚科学会群馬地方会	平成30年9月	前橋	口演

【看護部】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
大谷 佳子	北林礼士	術後訪問の集計結果から安楽な側臥位固定法について他職種で考える	日本手術医学会総会	平成30年10月	東京	口演
横村 希代子	間瀬美代子、富山麻裕子 櫛田千穂、竹内美雪 賀村寿人 塚越正幸 中村卓郎、伊藤淳史 小幡輝夫、竹内幸子	半夏瀉心湯を用いた抗癌剤治療における口腔ケアの検討	日本静脈経腸栄養学会	平成31年2月	横浜	示説
塩野 智則		歯科受診状況及び歯科受診に対する認識調査	第33回日本がん看護学会学術集会	平成31年2月	福岡	示説
賀村 寿人		自家末梢血幹細胞移植患者のNST対応から学んだこと	JSPEN	平成31年2月	東京	示説

高橋 玲子	櫻井あかり、渡邊久子 森澄子	当院における外来透析患者への災害 教育と今後の課題	透析懇話会	平成31年2月	前橋	口演
渡邊 久子	櫻井あかり、渡邊久子 森澄子	透析患者が使用する経皮麻酔薬の選 択	透析懇話会	平成31年2月	前橋	口演
守屋 泰代	萩原明彦、藤巻淳子 設楽理枝、田中宏和 高木弥守文	当院の大腿骨頸部骨折地域連携パス の使用状況について（第4報）	群馬クリニカルパス 研究会	平成30年6月	高崎	口演

【薬剤部】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
清水 祥正	井上拓也、倉林美里 櫻澤千世、堀口裕之 小幡輝夫	シナカルセト塩酸塩内服に伴う消化 器症状とエボカルセト適応症例に関 する調査	第12回日本腎臓病薬 物療法学会学術集会 総会2018	平成30年10月	浜松	示説

【放射線室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
飯塚 隆	清水正挙、櫻井敏男	藤岡総合病院のEQPETの現状	第2回Biograh研究会	平成30年4月	前橋	口演
飯塚 隆	清水正挙、櫻井敏男 熊坂百香、藤田彩奈 神宮晶子	核医学施設における病院移転の経験	第65回群馬県核医学 研究会	平成30年5月	前橋	口演
清水 正挙		群馬県における核医学研究会の紹介	第35回日本核医学 技術学会 関東地方 会	平成30年5月	大洗	口演
清水 正挙		群馬県でのJSPファントム実験 中間報告	第57回群馬核医学技 術懇話会	平成30年9月	前橋	口演

【リハビリテーション室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
飯塚 彩	近藤健、関根圭介	退院前訪問指導により自宅退院への 意識が向上した症例	第21回群馬県作業療 法学会	平成30年12月	群馬	口演
酒井 哲郎		発話明瞭度の信頼性について	群馬県言語聴覚士会 第4回 学術研究発表 会	平成30年11月	群馬	口演
田村 俊太郎	臼田滋、朝倉智之	運動イメージ能力の違いが運動学習 における結果の知識に与える影響	第38回関東甲信越ブ ロック理学療法士学 会	2018.10	栃木	示説
藤井 洋有	近藤健、小田俊一 関根圭介	がん患者の退院支援における作業療 法士の役割 - 介護支援専門員に対す る情報提示内容の調査から -	第23回日本緩和医療 学会学術大会	平成30年6月	神戸	口演
藤井 洋有	近藤健、小田俊一 関根圭介	周術期消化器がん患者に対する作業 療法の役割 - 当院の現状調査より -	第52回日本作業療法 学会	平成30年9月	名古屋	口演
岡田 貴伸		歩行能力向上に伴いBPSDが軽減しデ イケアが卒業となった症例	第13回 ぐんま認知 症アカデミー	平成30年12月	前橋	口演
鈴木 謙		自閉スペクトラム症の訓練経過	第21回 日本全体構 造臨床言語学会 学 術集会	平成30年10月	東京	口演
関根 圭介		トイレ活動自立へのポイント	第30回活動分析研究 大会	平成30年5月	山梨	口演

【栄養室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
渡邊 恵子		嗜好調査の結果	院内学会	平成30年10月	藤岡	口演
渡邊 恵子		嗜好調査の結果	老健大会	平成30年10月	前橋	口演
堀越 勝		食を支える多職種連携 ～嚥下食形態の情報共有～ 当院の食形態	地域リハビリ研修会	平成31年2月	藤岡	口演
渡邊 恵子		食を支える多職種連携 ～嚥下食形態の情報共有～ 当施設の食形態	地域リハビリ研修会	平成31年2月	藤岡	口演
野口 恵理子	竹内幸子、福田智春 南雲和子、今村誠	Free Styleリブレ使用後の食行動の変化に関するアンケート	第56回日本糖尿病学会 関東甲信越地方会	平成31年3月	横浜	口演

【臨床工学室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
丸岡 正行		より良い透析室づくりを考えて	群馬県透析懇話会	平成31年2月	群馬	口演
水石 怜佑		ACT測定装置Hemochron401とActalykeMINI IIの比較検討	群馬県透析懇話会	平成31年2月	群馬	口演

【視能訓練室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
小笠原 美枝		光干渉断層計の有用性について	第57回全国自治体病院学会	平成30年10月	福島	口演

【経営戦略室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
清宮 きよ江		曜日別退院から見た現状と課題～良質な医療の提供と業務改善～	第57回全国自治体病院学会	平成30年10月	福島	示説

3. 講演

【血液内科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
外山 耕太郎	慢性骨髄性白血病の患者さんを長期管理するために	薬剤師のための抗がん薬研究会	藤岡	平成30年11月
外山 耕太郎	慢性骨髄性白血病の患者さんを長期管理するために	検査技師のためのCML講演会	藤岡	平成30年12月

【小児科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
渡部 登志雄	3歳児検尿の過去と未来	3歳児健康診断の眼科・検尿に関する研修会	前橋	平成31年2月
渡部 登志雄	平成30年度群馬県特別支援学校医療的ケア研修会	平成30年度群馬県特別支援学校医療的ケア研修会	藤岡	平成30年12月

【外科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
熊倉 裕二	直腸癌と食道癌を合併した一例	第13回藤岡がんカンファレンス	藤岡	平成31年2月
中村 卓郎	高齢者と栄養	県民公開講座 第1回群馬県薬学大会	前橋	平成30年5月
中村 卓郎	栄養素の生化学・代謝	平成30年第3回 NST専門療法士受験必須セミナー	福岡	平成30年6月
中村 卓郎	高齢者の栄養管理	多野藤岡歯科医師会勉強会	藤岡	平成31年2月

【整形外科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
永井彩子	研修医から10年 今思うこと	前橋臨床研修会	前橋	平成30年5月

【脳神経外科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
甲賀 英明	高齢者てんかんについて	大塚製薬 社内勉強会	高崎	平成30年5月
甲賀 英明	共同利用機器について	多野藤岡医師会との懇話会	藤岡	平成30年6月
甲賀 英明	共同利用機器について	本庄児玉医師会との懇話会	本庄	平成30年6月
甲賀 英明	PSLS 脳卒中患者の標準的な観察と処置の方法	第10回藤岡PSLS講習会	藤岡	平成30年7月
甲賀 英明	脳神経外科疾患における深部静脈血栓症と肺塞栓症（特に脳出血患者について）	藤岡多野脳卒中連携講演会	高崎	平成30年7月
甲賀 英明	脳神経外科とてんかん ラコサミドの使用経験	Epilepsy expert meeting in Seimou	高崎	平成30年10月
甲賀 英明	Peranpanelの使用経験	桐生てんかん懇話会	桐生	平成31年3月
甲賀 英明	新規抗てんかん薬の使用経験と服薬指導について	藤岡調剤薬局講演会	藤岡	平成31年3月
甲賀 英明	Peranpanelの使用経験	高崎てんかん治療を考える会	高崎	平成31年3月

* 講義

甲賀 英明	脳神経外科 神経学と諸検査	藤岡准看護学校	藤岡	平成30年8月
甲賀 英明	脳血管障害	藤岡准看護学校	藤岡	平成30年9月
甲賀 英明	脳腫瘍	藤岡准看護学校	藤岡	平成30年9月
甲賀 英明	頭部外傷と末梢神経疾患	藤岡准看護学校	藤岡	平成30年9月

【歯科口腔外科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
高山 優	口腔がんとうがん治療における口腔ケアについて	第24回藤岡がん市民講座	藤岡	平成30年7月
高山 優	歯科口腔外科の紹介	多野藤岡医師会との懇話会	藤岡	平成30年5月
高山 優	歯科口腔外科の紹介	本庄児玉医師会との懇話会	本庄	平成30年6月
大隅 麻貴子	歯周病と糖尿病について	糖尿病教室	藤岡	平成30年9月
高山 優	医療に必要な口腔ケアの知識 口腔ケアの有効性と方法について	公立総合藤岡病院 口腔ケア講習会	藤岡	平成30年10月
高山 優	口から始める全身の健康・当院歯科口腔外科の紹介	安全衛生研修会	藤岡	平成31年2月

【リハビリテーション科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
清水 透	「『ロコモ』を知って元気で長生き」	平成30年群馬県看護協会 藤岡地区支部研修会	藤岡	平成30年4月
清水 透	「多野藤岡地区における在宅医療のリハビリの役割」	第一回在宅医療に関する研究会 藤岡多野医師会	藤岡	平成31年1月
清水 透	「アスレチックトレーナーと疲労骨折について」	平成30年度認定アスレチックトレーナー認定式	前橋	平成31年2月

*講義

清水 透	「脊髄損傷のリハビリテーション」	群馬大学医学部保健学科、看護学専攻	前橋	平成30年5月
------	------------------	-------------------	----	---------

【薬剤部】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
増野 貴司	外来化学療法における服薬指導統一のためのロールプレイング研修会	第14回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	藤岡	平成30年6月
久米 隆夫	抗菌薬とAST	医薬品安全使用研修会	藤岡	平成30年8月
岩崎 英久	抗菌薬とAST	医薬品安全使用研修会	藤岡	平成30年8月
増野 貴司	外来化学療法における服薬指導統一のためのロールプレイング研修会 アンケート調査結果と内服抗がん剤の薬薬連携の一案	第15回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	藤岡	平成30年9月
中山 和彦	外来化学療法における服薬指導統一のためのロールプレイング研修会 胃がん編	第15回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	藤岡	平成30年9月
中山 和彦	外来化学療法における服薬指導統一のためのロールプレイング研修会 乳がん編	第16回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	藤岡	平成31年2月

【リハビリテーション室】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
酒井 哲郎	地域ケアシステムとその背景	地域リハ活動支援推進のための人材育成研修会	藤岡	平成31年2月
酒井 哲郎	新しい介護予防事業とその背景	地域リハ活動支援推進のための人材育成研修会	藤岡	平成31年2月
黒澤 雅斗	介護・福祉サービスの理解と医療の連携～医療との連携とリハビリテーション～	介護職員初任者研修	神流町	平成30年6月
小林 真	COPDとリハビリテーション	藤岡多野呼吸器疾患学術講演会－COPD治療における連携診療－	藤岡	平成30年7月
小林 真	がんに対する理学療法	内部障害理学療法	前橋	平成30年10月
小林 真	循環器疾患に対する理学療法	内部障害理学療法	前橋	平成30年10月
小林 真	腰痛のメカニズムと対策、予防動作について	健康セミナー	熊谷	平成30年10月
小林 真	神経系疾患についての画像診断～CT・MRIの違い～	画像診断学	高崎	平成30年10月

小林 真	神経系疾患についての画像診断～脳血管～	画像診断学	高崎	平成30年10月
小林 真	神経系疾患についての画像診断～まとめ～	画像診断学	高崎	平成30年10月
小林 真	誤嚥性肺炎はこうやって防ごう	多野藤岡地域リハビリ研究会 実地指導	藤岡	平成30年11月
小林 真	急性期病棟における当院の取り組み	職域別管理者研修会（急性期）	高崎	平成30年12月
藤井 洋有	進行がん患者に対するリハビリテーション	第4回群馬県がんリハビリテーション研修	前橋	平成30年8月
藤井 洋有	がんリハビリテーションの問題点と解決方法	第4回群馬県がんリハビリテーション研修	前橋	平成30年8月
藤井 洋有	がんリハビリテーション - 基礎と臨床実践 -	多野藤岡地域リハビリ研究会 アセスメント研修	藤岡	平成30年8月
藤井 洋有	医療との連携とリハビリテーション	介護職員初任者研修	神流町	平成30年7月
高橋 祐介	糖尿病運動療法	カンナの会勉強会	藤岡	平成30年7月
高橋 祐介	糖尿病教室 ～フレイル・サルコペニア～	糖尿病教室	藤岡	平成30年11月
鈴木 謙	各論 不連続刺激	JIST初級講習会	東京	平成30年10月
鈴木 謙	介護予防に関わる機関・職種との連携	介護予防推進コース	藤岡	平成31年2月
鈴木 謙	地域ケア会議が必要とされた背景	地域包括ケア推進コース	藤岡	平成31年2月
石川 雄太	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	介護職員初任者研修	藤岡	平成30年6月
石川 雄太	急性期理学療法の実際	群馬県理学療法士協会西毛ブロック局新人研修	高崎	平成30年6月
石川 雄太	就職後の学びと就職について	卒業生による就職準備ガイダンス	弘前	平成30年12月
馬場健太	手術室における多職種連携	日本離床研究会 全国研修会	東京	平成30年6月
安藤 匠	認知症予防のための運動	介護予防サポーターフォローアップ研修	藤岡	平成30年5月
関根 圭介	在宅リハビリテーション総論	在宅看護方法論 I	本庄	平成30年6月
関根 圭介	生活行為向上マネジメント概論	現職者選択研修 生活行為向上マネジメント	前橋	平成30年7月
関根 圭介	生活行為向上マネジメント概論	現職者選択研修 生活行為向上マネジメント	前橋	平成30年11月
松山 励悦	在宅リハビリテーション ～ADL、IADL～	在宅看護方法論	本庄	平成30年7月
松山 励悦	多野藤岡地区における在宅医療のリハビリの役割	在宅医療に関する研究会	藤岡	平成31年1月

【栄養室】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
野口 恵理子	糖尿病の食事療法について	糖尿病教室	藤岡	平成31年3月

【歯科衛生室】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
飯沼 瞳 安井 由佳	歯周病と糖尿病について	糖尿病教室	藤岡	平成30年9月

4. 講演会・研究会開催実績

【公開】

開催日	名称	テーマ・内容	講師	開催場所	参加者数	
					院内	院外
5月10日	第155回公開CPC	症例 悪性リンパ腫	公立藤岡総合病院 血液内科部長 外山 耕太郎 病理診断科部長 吉田 孝友 臨床研修医 福田 伶雄	公立藤岡総合病院 大会議室	42	
5月14日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 救急センター統括部長 井上 雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	28
5月30日	第1回糖尿病教室	① 循環器疾患について ② 検査の目的 家の中で出来る運動	公立藤岡総合病院 循環器内科医長 高松 寛人 臨床検査技師 小島・長谷川 理学療法士 塚田	公立藤岡総合病院 大会議室	16	13
6月4日	藤岡多野抗凝固療法学術講演会	① 当院におけるPCI後の抗血栓療法 ② 虚血性心疾患に対する抗血栓療法の最新の動向	① 公立藤岡総合病院 循環器内科医長 高松 寛人 ② 帝京大学医学部内科学講座 循環器内科 教授 上妻 謙	公立藤岡総合病院 大会議室	33	27
6月6日	藤岡多野地域医療連携懇話会	① 歯科口腔外科について ② 共同利用機器について	① 公立藤岡総合病院 歯科口腔外科医長 高山 優 ② 公立藤岡総合病院 副院長 甲賀 英明	藤岡商工会議所	74	39
6月14日	第15回藤岡がんカンファレンス	症例①原発性肺腺癌 症例②十二指腸癌	症例①秋山医院 院長 秋山典夫 公立藤岡総合病院 呼吸器内科医員 内田 恵 病理診断科部長 吉田孝友 症例②ひだまり診療所 院長 竹田幸彦 公立藤岡総合病院 外科部長 中里健二 病理診断科部長 吉田孝友 訪問看護ステーション 黒澤磨山美	公立藤岡総合病院 第1会議室	45	26
6月21日	藤岡地域感染防止対策カンファレンス	① 麻しんについて ② テーマについて		公立藤岡総合病院 大会議室	11	35
6月22日	第29回地域褥瘡検討会	DESIGN-Rを用いた褥瘡評価と治療について	公立藤岡総合病院 皮膚科部長 嶋岡 正利	公立藤岡総合病院 第1会議室	76	25
6月27日	第14回藤岡地域がん化学療法薬連携定例会	① がん化学療法時における服薬指導統一のためのロールプレイング研修会 ② 患者情報の共有と連絡方法の確立のためのディスカッション	公立藤岡総合病院 薬剤部 増野 貴司	公立藤岡総合病院 大会議室	12	15
6月27日	本庄兎玉地域医療連携懇話会	① 歯科口腔外科について ② 共同利用機器について	① 公立藤岡総合病院 歯科口腔外科医長 高山 優 ② 公立藤岡総合病院 副院長 甲賀 英明	埼玉グランドホテル	60	33
6月30日	第10回MDV群馬県地区勉強会	急性期病院における入退院支援の取り組み	佐久医療センター 経営企画課兼診療情報管理課 課長代理 須田 茂男	公立藤岡総合病院 大会議室	15	32
7月7日	多野藤岡地域脳卒中(PSSS)講習会	脳卒中病院前救護	藤岡地域メディカルコントロール協議会	公立藤岡総合病院 大会議室	17	10
7月9日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 救急センター統括部長 井上 雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	28
7月12日	第156回公開CPC	症例① 悪性リンパ腫 症例② 心肺停止	公立藤岡総合病院 ① 呼吸器内科 中川 純一 病理診断科部長 吉田 孝友 研修医 佐藤 広宣 ② 呼吸器内科 中川 純一 病理診断科部長 吉田 孝友 研修医 南雲 航	公立藤岡総合病院 大会議室	30	1
7月14日	第24回藤岡が市民講座	① がんと歯科治療について ② がんと化学療法について	① 公立藤岡総合病院 歯科口腔外科医長 高山 優 ② 公立藤岡総合病院 がん化学療法看護認定看護師 塩谷智則	公立藤岡総合病院 大議室	15	30
7月26日	藤岡多野呼吸器疾患学術講演会	COPDとリハビリテーション	群馬大学医学部附属病院 呼吸器・アレルギー内科 診療准教授 前野 敏孝	公立藤岡総合病院 大議室	38	9
8月26日	第12回西毛外傷セミナー(JPTECプロバイダーコース)			公立藤岡総合病院 会議室	5	60
9月10日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 救急センター統括部長 井上 雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	30
9月12日	第2回糖尿病教室	① 糖尿病と菌周病について ② 糖尿病と運動療法について	公立藤岡総合病院	公立藤岡総合病院 大会議室	15	11
9月13日	第157回公開CPC	症例 間質性肺炎	公立藤岡総合病院 呼吸器内科部長 中川 純一 病理診断科部長 吉田 孝友 研修医 大枝 涼平	公立藤岡総合病院 大会議室	34	
9月21日	第15回藤岡地域がん化学療法薬連携定例会	・外来化学療法における服薬指導統一のためのロールプレイング～胃がん編～ ・外来化学療法室におけるロールプレイング 研修会アンケート調査結果と内服抗がん剤の薬連携の一案	公立藤岡総合病院 薬剤師 中山 和彦 薬剤師 増野 貴司	公立藤岡総合病院 大会議室	14	7
10月7・8日	リレー・フォー・ライフ			群馬県総合スポーツセンター		
10月12日	第23回藤岡緩和ケア研究会	在宅緩和ケアについて	緩和ケア診療所いっぽ 理事長 小笠原 一夫	公立藤岡総合病院 大会議室	58	73

開催日	名称	テーマ・内容	講師	開催場所	参加者数	
					院内	院外
11月2日	第30回地域褥瘡検討会	① スキンケア皮膚裂傷について ② 褥瘡予防・治療のための栄養管理	公立藤岡総合病院 ① 看護師 萩原 美登利 ② 管理栄養士 竹内 幸子	公立藤岡総合病院 大会議室	3	58
11月8日	第158回公開CPC	症例①原発性肺癌・下咽頭癌 症例②慢性心不全	公立藤岡総合病院 ① 呼吸器内科部長 中川 純一 病理診断科部長 吉田 孝友 研修医 萩原 舟平 ② 循環器内科部長 小野 洋平 病理診断科部長 吉田 孝友 研修医 内田 美帆	公立藤岡総合病院 大会議室	43	
11月10日	ICLS指導者養成ワークショップ	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 大会議室	10	7
11月12日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 救急センター統括部長 井上 雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	23
11月14日	第3回糖尿病教室	糖尿病と運動療法について ① フレイル・サルコペニア ② 家でもできる・簡単な運動	公立藤岡総合病院 ① 理学療法士 高橋 祐介 ② 理学療法士 塚田 健人	公立藤岡総合病院 大会議室	10	22
11月17.18日	緩和ケア研修会	がん診療に携わる医療者に対する緩和ケア研修会	公立藤岡総合病院	公立藤岡総合病院 大会議室	13	4
11月20日	薬剤師のための抗がん剤研究会	① 検査室における検査の関係 ② 慢性骨髄性白血病の患者さんを長期管理するためにチロシンキナーゼ阻害薬をいかに使うか、心血管系イベントを中心に	公立藤岡総合病院 血液内科部長 外山 耕太郎 検査室長 柴崎 洋一	公立藤岡総合病院 大会議室	28	25
12月6日	第13回研修医症例発表会	症例8題	公立藤岡総合病院 研修医8名	公立藤岡総合病院 大会議室	110	14
12月15日	第11回MDV群馬県地区勉強会	① 群馬県の医療構想を踏まえたこれからの病院経営 ① 医事課から仕掛ける院内ミッションの取り組み	① 高崎健康福祉大学医療情報学科 准教授 木村 憲洋 ② 苫小牧市立病院 医事課長 小林 泰賀	公立藤岡総合病院 大会議室	13	38
12月20日	第3回藤岡地域感染防止対策カンファレンス	耐性菌の検出状況とアンチバイオグラム 特定抗菌薬の使用状況	藤岡保健福祉事務所	公立藤岡総合病院 大会議室	26	13
1月27日	第15回藤岡ICLSコース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 大会議室	30	32
2月8日	第24回藤岡緩和ケア研究会	人生会議のススメ	公立藤岡総合病院 緩和ケア認定看護師 菅原 恵里子	公立藤岡総合病院 大会議室	39	29
2月14日	第16回藤岡がんカンファレンス	症例①直腸癌 症例②膀胱癌	症例①公立藤岡総合病院 外科医長 熊倉 裕二 病理診断科部長 吉田 孝友 症例②深沢内科医院 院長 深沢 和浩 公立藤岡総合病院 泌尿器科医員 金山 あずさ 病理診断科部長 吉田 孝友	公立藤岡総合病院 大会議室	43	14
2月14日	心不全チーム医療勉強会	心不全管理のパラダイムシフト 新しい心不全診療ガイドラインから読み解く	横浜南共済病院 循環器内科部長 鈴木 誠	公立藤岡総合病院 大会議室	15	1
2月26日	第16回藤岡地域がん化学療法薬運搬定例会	・乳がん看護認定看護師ってなにしてるの？ ～当院での活動報告～ ・外来化学療法における服薬指導統一のためのロールプレイング研修会 ～乳がん編～	公立藤岡総合病院 看護部 平田 恵美 薬剤部 中山 和彦	公立藤岡総合病院 大会議室	12	11
3月7日	藤岡がん診療講演会	チームで行う在宅緩和ケア 1人医師診療所で20年	鈴木内科医院 院長 鈴木 央	公立藤岡総合病院 大会議室	41	29
3月11日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 救急センター統括部長 井上 雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	25
3月14日	第159回公開CPC	症例①急性骨髄性白血病	① 公立藤岡総合病院 血液内科部長 外山 耕太郎 病理診断科部長 吉田 孝友 研修医 木村 健人	公立藤岡総合病院 大会議室	32	0
3月26日	第3回糖尿病教室	① 糖尿病と合併症について ② 糖尿病の食事療法について ③ 家の中で出来る運動について	公立藤岡総合病院 ① 糖尿病内科医師 今村 誠 ② 管理栄養士 野口 恵理子 ③ 理学療法士 塚田 健人	公立藤岡総合病院 大会議室	11	20

【院内】

開催日	名称	テーマ・内容	講師	開催場所	参加者数	
					院内	院外
4月2日 ～4日	新入職者オリエンテーション	病院概要・医療倫理・チーム医療 各部門紹介等	公立藤岡総合病院 病院長 石崎 政利 他	公立藤岡総合病院 大会議室	44	
4月11日	接遇研修(新入職者)	接遇マナー 対応の仕方	(株)メモリード 湯浅 春代	公立藤岡総合病院 大会議室	44	
5月10日	第16回M&Mカンファレンス	症例①鼓室炎、腹部大動脈瘤破裂 症例②誤嚥性肺炎、肺結核	公立藤岡総合病院 ③ 外科医員 原口 祥恵 ④ 呼吸器内科部長 中川 純一	公立藤岡総合病院 大会議室	56	
5月16日	接遇研修会	GSの表現方法 患者さんやご家族への意識	日本サービス協会 専任マナー講師 森 良子	公立藤岡総合病院 大会議室	200	
5月15日	医療機器安全研修会	マスク式人工呼吸器V60の取扱い	公立藤岡総合病院 臨床工学室 田島 伸哉	公立藤岡総合病院 北6階病棟	14	
5月19日	第30回院内ICLSコース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 大会議室	33	
5月22日	安全衛生研修会	ストレスチェックについて	公立藤岡総合病院 健診センター長 飯島 徹	公立藤岡総合病院 大会議室	111	
5月23日	院内感染予防対策研修会	正しい検体の採取方法と取り扱いについて	公立藤岡総合病院 検査室 安藤	公立藤岡総合病院 大会議室	115	
5月26日	新入職者日帰り院外研修	コミュニケーション研修	公立藤岡総合病院 病院長補佐 塚田 義人	鬼石野外活動センター	51	
5月31日	医療安全研修会	CVポートについて	公立藤岡総合病院 安全管理センター 斉藤 康行	公立藤岡総合病院 大会議室	131	
6月1日・ 15日	医療機器研修	ME機器管理システム	公立藤岡総合病院 臨床工学技士 吉田 弘	公立藤岡総合病院 大会議室	108	
6/6.～27 (8回)	医療安全・感染対策研修会	③ インシデント・アクシデント発生時の対応とレポート入力について ④ 注射実施時の確認方法について ⑤ ICTラウンドについて	公立藤岡総合病院 ③ 安全管理センター 斉藤 康行 ④ RM専門部会 ⑤ ICT	公立藤岡総合病院 大会議室	578	
6月16日	階層別研修(中級職研修)	「新人育成に活用するコーチング」	高崎健康福祉大学 医療保健部 看護学科長 教授 池田優子	公立藤岡総合病院 大会議室	46	
6月19日	第114回がんボード	症例①直腸癌、肝転移 症例②悪性リンパ腫	公立藤岡総合病院 ③ 外科医長 熊倉 裕二 血液内科医員 中山 敬太	公立藤岡総合病院 大会議室	35	
6月19日	第30回画像カンファレンス	読影の基本的知識 各診療科からの興味深い画像の検討 ③ 海綿静脈洞硬膜動脈瘻 MTX関連悪性リンパ腫	公立藤岡総合病院 放射線診断科部長 神宮 晶子 放射線診断科医員 熊坂 百香	公立藤岡総合病院 大会議室	40	
6月23日	第31回院内ICLSコース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 ③ 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 第1会議室	13	5
7月12日	第17回M&Mカンファレンス	症例①顕微鏡的多発血管炎、肺胞出血 症例②多発膿瘍	公立藤岡総合病院 ③ 腎臓内科 茂木 伸介 ④ 泌尿器科 金山 あずさ	公立藤岡総合病院 大会議室	43	
7月28日	第32回院内ICLSコース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 大会議室	15	5
8月9日	保険診療講習会	保険診療について	公立藤岡総合病院 医事情報課 齋藤	公立藤岡総合病院 大会議室	137	
8月21日	第11回がんボード	症例① 肺小細胞癌 症例② 卵巣がん	公立藤岡総合病院 ③ 呼吸器内科医員 梅津 和恵 ④ 産婦人科医員 似内 敦志	公立藤岡総合病院 大会議室	29	
8月25日	第33回院内ICLSコース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 会議室	30	5
8月29日	医薬品安全研修会	抗菌薬とASTについて	公立藤岡総合病院 薬剤部 久米 隆夫	公立藤岡総合病院 大会議室	97	
9月3日	総合評価研修	老人症候群について	公立藤岡総合病院 病院長補佐兼研修管理 センター長 塚田義人	公立藤岡総合病院 大会議室	120	
9月5・11・ 14・19・26	医療安全・感染対策研修会	③ 事例から学ぶ医療安全について ④ インフルエンザの予防と予防投与について ⑤ 抗菌薬適正使用支援チームの活動について	公立藤岡総合病院 ③ 安全管理センター 斉藤 康行 ④ ICT 千木良 悦子 ⑤ AST 久米 隆夫	公立藤岡総合病院 大会議室	563	
9月13日	第18回M&Mカンファレンス	症例①悪性リンパ腫 症例②左大腿骨骨折	公立藤岡総合病院 ③ 血液内科医員 松村 郁子 ④ 整形外科部長 萩原 明彦	公立藤岡総合病院 大会議室	57	
10月1日 11月7日	口腔ケア勉強会	口腔ケア 実技指導	公立藤岡総合病院 歯科口腔外科医長 高山 優 歯科口腔外科医員 大隅 麻貴子	公立藤岡総合病院 大会議室	50	
10月5日	第8回院内学会	8演題 (総務課・患者支援センター・しらすの里・ 薬剤部・リハビリテーション室・看護部・緩和 ケアセンター・放射線治療科)		公立藤岡総合病院 大会議室	152	
10月16日	第16回がんボード	症例①右頭頂葉脳腫瘍 症例②胸部下部食道癌	公立藤岡総合病院 ③ 脳神経外科医員 小島 丈夫 ④ 放射線治療科部長 塩谷 真里子	公立藤岡総合病院 大会議室	34	
10月16日	第31回画像カンファレンス	症例①肺腫瘍様結節 症例②勉強になる3症例	公立藤岡総合病院 ③ 放射線診断科部長 神宮 晶子 ④ 放射線科医員 熊坂 百香	公立藤岡総合病院 大会議室	27	
10月22日	初歩から始める漢方勉強会	ツムラ	漢方薬の使用実態 漢方の副作用	公立藤岡総合病院 研修室	20	

開催日	名称	テーマ・内容	講師	開催場所	参加者数	
					院内	院外
10月29日	医療機器安全研修会	マスク式人工呼吸器オートセットCS-Aについて	公立藤岡総合病院 臨床工学室	公立藤岡総合病院 南4階病棟透視室	17	
10月31日	管理職研修	病院マネジメントについて 「診療報酬改定と医療政策 当院の現状と課題」	日本血液製剤機構 事業戦略部参事 谷澤 正明	公立藤岡総合病院 大会議室	119	
11月8日	第19回M&Mカンファレンス	症例①CPA 症例②ショック	公立藤岡総合病院 ③ 外科医員 原田 祥恵 ④ 循環器内科研修医 杉崎 真人	公立藤岡総合病院 大会議室	69	
11月14日	第12回クリニカルパス大会	③ 当院のクリニカルパスの現状について ④ 入退院支援室におけるCAG/PCIクリニカルパスの経緯と現状 今後の課題 ⑤ 当科の地域連携パスについて ⑥ クリニカルパスの見直しと業務改善	公立藤岡総合病院 ③ 医事情報課 齋藤 愛 ④ 患者支援センター 関口 久子 ⑤ 整形外科部長 萩原 明彦 ⑥ 経営戦略室 清宮 きよ江	公立藤岡総合病院 大会議室	77	
11月27日	医療機器安全研修会	人工呼吸器ハミルトンCI取扱いについて	公立藤岡総合病院 臨床工学室	公立藤岡総合病院 南5階病棟透視室	15	
12月18日	第17回がんセンターボード	症例①転移性腎癌 症例②肺腺癌	公立藤岡総合病院 ③ 泌尿器科医員 金山 あずさ ④ 呼吸器内科 内田 恵	公立藤岡総合病院 大会議室	28	
12月18日	第32回画像カンファレンス	症例①骨生検後血腫と赤色髄再転換 症例②横体出血の画像診断	公立藤岡総合病院 ③ 放射線診断科部長 神宮 ④ 放射線診断科医員 熊坂	公立藤岡総合病院 大会議室	24	
1月16・22日	院内感染対策研修会	ノロウイルス感染症について	公立藤岡総合病院 RM専門部会 ICT	公立藤岡総合病院 大会議室	170	
1月28日	感染研修会	藤岡総合病院の医師が行う耐性菌を作らない 抗菌療法2019版	前橋日赤病院 感染症内科 感染症内科 林 俊誠	公立藤岡総合病院 大会議室	75	
2月19日	第13回がんセンターボード	症例①抹消性T細胞リンパ腫 症例②胃癌	公立藤岡総合病院 ② 血液内科医員 中山 敬太 ③ 外科医員 熊倉 裕二	公立藤岡総合病院 大会議室	29	
2月19日	第29回画像カンファレンス	読影の基本的講義 各診療科からの興味深い画像の検討	群馬大学医学部核医学学科 教授 対馬 義人	公立藤岡総合病院 大会議室	24	
2月27日	保険診療講習会	当院の入院料の特性 ～包括請求・出来高請求～	公立藤岡総合病院 医事情報課 齋藤 功志	公立藤岡総合病院 大会議室	125	
3月8日	医療倫理研修会	事例検討会と認知症の意思決定支援のガイド ライン	中京大学法科大学院教授 稲葉 一人	公立藤岡総合病院 大会議室	67	
3月14日	第20回M&Mカンファレンス	症例①悪性胸膜中皮腫 症例②くも膜下出血	公立藤岡総合病院 ② 呼吸器内科部長 中川 純一 ③ 脳神経外科部長 若林 和樹	公立藤岡総合病院 大会議室	44	

5. 院内学会

共済組合の福祉事業について

総務課 西脇 愛

【はじめに】

共済組合が行う福利厚生事業（福祉事業）について紹介いたします。

【共済組合の福祉事業】

1. 貯金事業

- ・概要：年利 1.44%と、高い利率が特徴となっている。
- ・当院職員の貯金状況：組合全体の加入率よりも当院加入率は 16%低い。また、貯金者 1 人当たりの平均貯金額について、当院は組合全体とほぼ同じ額である。

2. 人間ドック助成

- ・概要：共済組合からの助成は、1 人当たり 23,500 円。当院で受診する場合は、これに加え、共済会からの助成が 14,000 円を上限として支給されるため、1 人当たり 36,000 円程度の助成となる。
- ・年齢別件数の推移：当院職員で当院にて人間ドックを受診した方について、平成 27 年度～平成 29 年度の人間ドック受診者の年齢別件数の推移を調べた結果、20 代、30 代の受診者数がどの年度でも、全体の 30%程度と受診率が低かった。

3. 貸付・物資事業

- ・貸付事業の概要：組合員の臨時の支出に対し、その資金を低利で貸し付け、組合員の生活の安定を図るため設けられた制度。種類は、普通貸付、住宅貸付、災害貸付、特別貸付等。
- ・物資事業の概要：組合員の生活に必要な物資（住宅、家電、自動車、タイヤ）を市価より低価で供給する事業。信用と実績のある業者を指定して行っている。
- ・貸付・物資の利用状況（平成 27 年度から平成 30 年 9 月現在まで）
貸付は、全体で 12 件の利用。特別貸付の一種である修学貸付が最も多い。物資は、全体で 16 件の利用があり、全ての方が自動車購入のため利用していた。
- ・貸付・物資事業に共通すること
資金の返済は、「毎月の給与のみ」、「ボーナスのみ」または「毎月の給与及びボーナス」から控除にて返済。利用するには、共済組合の審査を通過する必要があるため、利用することが分かった段階で、早めに総務課までご相談下さい。

【まとめ】

共済組合には、組合員の生活を支える様々な福祉事業がある。今回紹介した以外にも、ベネフィットステーションや7月より新しく始まった健康ポイント事業など様々な事業を行っているので、共済だよりや共済組合のホームページをご覧ください、ぜひ活用していただければと思います。

嗜好調査の結果

介護老人保健施設しらさぎの里 渡邊恵子

【はじめに】

利用者の率直な意見を献立や調理方法に反映させ、楽しく食事をすることで喫食のアップを図り栄養がしっかり摂取できるようにする。

【目的】

- ・嗜好調査を継続的に行うことで、利用者の嗜好や食事に対する不満を把握する。
- ・昨年と比較をすることで、利用者のニーズを的確に把握する。
- ・食事に対する満足度を向上させる。

【対象】

1. 調査期間：平成 30 年 1 月 10 日～2 月 12 日
2. 対象者：利用者、家族
3. 方法：無記名記入式

【結果】

1. 炊き方について：丁度よいが 94.8%とおおむね良好だった。
 2. 量について：丁度よいが 83.3%、12.5%が少ないと感じていた。
 3. おかずについて：色どりが良いが昨年 29.5%から今年は 41.2%と改善した。
 4. 好きなおかずについて：入所では魚、野菜（小鉢）が多かった。通所ではカレー、肉料理、卵料理（オムレツなど）、揚げ物（から揚げ、コロッケ）が多かった。
 5. 「意見」について
 - ・麺類の麺の長さ：「麺の長さが短い。うどんやおそばの麺の長さを長めにして箸にかかるようにして下さい」という意見が通所者では多数あった。
 - ・味付けや質について：「鶏肉が硬い」、「汁物がしょっぱい時がある」などの意見があった。
 - ・炊き方について：赤飯のときは水分が多く柔らかくてまずい。
 - ・その他：おやつが楽しみで、おいしい。
- 「意見はありません。スタッフの皆様感謝の言葉と気持ちしかありません」など。

【考察】

ご飯の炊き方については概ね丁度よいという結果であったが、赤飯のときに水っぽいう意見があり水分量の再確認をする。味付けについてはばらつきがあることが示唆されたため、調理工程の見直しと技術の向上に努めていく。色どりについては、昨年に比べ改善がみられた。

【結論】

食事は個人差が大きく、個々に対応した食事を提供することは難しい。しかし、嗜好調査を行い利用者のニーズを把握し、利用者の嗜好をもとに栄養バランスのとれた食事を提供することは必要である。

今後も嗜好調査を継続して満足度の向上に繋げ、利用者に喜んで頂ける食事の提供に努めていきたい。

腎排泄型抗がん薬における投与設計と当院の実態調査

薬剤部 清水祥正

【はじめに】

一般的な薬剤同様、抗がん薬も代謝経路は肝代謝型・腎排泄型・中間型等に大別する事ができる。腎排泄型抗がん薬の代表であるカルボプラチン (CBDCA) は Calvert の式によって投与量の算出が可能である。そのためには式に最も適切な腎機能評価方法を選択する必要があるが、全国的にバラツキがある事が他施設の調査によって明らかにされている。適切でない腎機能の評価によって CBDCA が過量投与となる可能性があるため当院における実態を調査した。

【方法】

電子カルテを用いて後方視的に調査を行い、2017年1月1日～12月31日の1年間に CBDCA を新規に導入した旧東5階・北6階の呼吸器内科入院患者33例(45～83歳、男性25名・女性8名)を調査対象とした。レジメンには CBDCA にアブラキサン、エトポシド、イリノテカン、アリムタ±アバスチン、パクリタキセル、ナベルピン、エスワンタイホウ(内服)を併用しているものが含まれていた。評価項目は①腎機能の評価方法(算出方法について)と、②初回 CBDCA 投与後の血小板数(血小板減少症を CTCAE v4.0-JCOG の Grade で分類)とした。

【結果】

① 腎機能の評価方法(算出方法)について

電子カルテに組み込まれているレジメン機能を利用した腎機能の算出方法である推算クレアチンクリアランス(eCCr)が最も多く、67%に使用されていた。算出式は Cockcroft - Gault の式(C-G式)が用いられていた。次いで24時間蓄尿による実測クレアチンクリアランスが27%、最も少ないものが標準体表面積当たりの推算糸球体ろ過率で6%であった。

② 初回 CBDCA 投与後における血小板減少症の Grade について

多くの患者において血小板数7.5以上の Grade1 であり81%を占めていた。以下 Grade2(5.0 - 7.5)で12%、Grade3(2.5 - 5.0)と Grade4(<2.5)が3%ずつと続いた。

【考察】

Calvert の式において、より適切である腎機能推算方法は血清クレアチニンに0.2を加えて C-G 式で eCCr を求めるか、標準体表面積補正を外した eGFR である事がわかっている。当院の調査結果ではいずれも当てはまらず、CBDCA が初期設定で過量投与となる可能性があった。米国において血清クレアチニンの測定方法が変更された際に腎機能が過大評価された結果、CBDCA の過量投与と血小板減少症が問題となった。そのため今回の調査では血算のうち血小板数のみを調査したが、Grade2 以下の発現数は予想に反して少なく現状で問題となるレベルではなかった。ただし日本腎臓学会の提唱や FDA 等の通知を考慮すると適正使用の面において必ずしも良いとは言えず今後改善を図る必要があると思われる。

管切開患者に対して呼吸機能検査を実施した一例

リハビリテーション室 竹瀬 希恵

【はじめに】

人工呼吸器管理中の患者はベッド上での生活を強いられることが多く、行動範囲が制限され、呼吸筋の萎縮、運動耐容能低下を生じやすいとされている。

呼吸機能評価を数値的に把握するため呼吸機能検査が行われるが、気管切開患者に対し測定した報告は少ない。今回、呼吸機能検査結果を主治医や臨床工学技士に提示し、呼吸器の設定を変更、それに伴い運動耐容能の向上が見られた症例を報告する。

【目的】

- 気管切開患者に対しても呼吸機能を評価できるかを検討する
- 呼吸機能評価結果を確認し、主治医や臨床工学技士と、呼吸器設定の再検討・変更を行う
- 患者様に検査結果をフィードバックし活動意欲を向上させる

【対象】

年齢：80代 性別：男性 身長/体重/BMI：168 cm/43 kg/15.2 kg/m²
診断名：COPD 増悪 既往：心不全
人工呼吸器設定：PSIMV PEEP：5hPa サポート圧：15hPa FiO₂：40% f：5bpm

【方法】

介入期間：4週間 呼吸機能検査（スパイロメータ）：1回/週
測定項目：肺活量、%肺活量、一回換気量、一秒量
リハビリ介入時間：40分/日 リハビリ頻度：5日以上
リハビリテーション内容：呼吸リハ、筋力増強運動、歩行練習、コンディショニング

測定の流れ：MEにて人工呼吸器管理実施→人工呼吸器を気切部より分離→フローセンサーにフィルターを接続→気管切開チューブに接続する→呼吸機能測定を実施（SVC、FEV₁をそれぞれ2回ずつ実施）→終了後、すぐに人工呼吸器開始。呼吸状態に異常がないかを確認

【結果】

呼吸機能検査ではVC：0.77L→1.13L %VC：22.3%→32.7% TV：400ml→450mlへ増量。その他、下肢筋力やBorg Scale、呼吸数、運動後の酸素飽和度、歩行距離が測定前よりも改善を認めた。結果、人工呼吸器設定をSPONTモードへ下げることが可能となった。

【考察・まとめ】

- 慢性COPD患者の運動耐容能は息切れ度合やBS・VC・FEV_{1.0}と密接な関係がある
- 今回の検査結果を医師・臨床工学技士に提示し、他職種が意見交換を行うことで呼吸器の設定を再確認・変更が可能となり、肺胞損傷のリスク軽減や呼吸仕事量軽減が示唆された
- VC・%VC・TVは徐々に改善し、それに伴い運動耐容能の向上がみられ、リハビリ時の各評価に改善がみられた
- FEV_{1.0}・FVCでは改善が見られなかったことから、努力性呼気によりカフから多少の空気漏れが生じている可能性も考えられる

回復期リハビリテーション病棟における身体抑制軽減への取り組み

北2階病棟 中久木 恵子 関口 好美 今井 光 町田 かつ江

【はじめに】

私達は開設当初より看護の質を高めるための取り組みとして「回復期リハ病棟ケアの10項目宣言」を基本とした看護を提供している。協会が提示している「6.二次的合併症を予防し、安全対策を徹底し、可能な限り抑制は止めよう」を常に意識し、身体抑制軽減への取り組み、抑制しない看護を実践しているため報告する。

【目的】

回復期リハビリテーション病棟における身体抑制軽減への取り組みを明らかにする。

【倫理的配慮】 写真掲載について本研究以外に使用しないことを説明し同意を得た。

【取り組み】

1. 転入時のアセスメント

日常生活動作能力のアセスメントを行い、4点柵や床上抑制の軽減、ADLの向上を目的に病室内の環境調整や援助方法の工夫をした。

2. 意識改革

「回復期リハ病棟ケアの10項目宣言」に取り組み、認知症看護の学習を継続することで、病棟スタッフ全体に身体抑制軽減への意識が高まった。

3. 多職種カンファレンス

多職種とのカンファレンスを行うことで情報共有ができ、短期目標が明確になった。認知機能低下、せん妄に対しては徘徊に付き添う看護師、助手の配置など工夫することで抑制をしなくても安全に過ごすことができた。

4. 環境調整

環境チームを中心に動きやすい安全な生活環境を調整している。経管栄養の患者は自己抜去防止のためデイルームでの注入を行った。目が行き届く環境を作ることでミトン抑制や車椅子安全ベルトの中止ができた。

5. 病棟リハビリテーション

病棟リハビリテーションを行うことで、患者自身のリハビリ意欲の向上に繋がった。

【考察】

リハビリテーション看護師としてのプライドを持ち役割と目標を明確にして働くことの重要性を様々な場面で看護師長が示唆したことで、身体抑制軽減への意識が高まったと考える。

リハビリテーションの概念の一つとして「人間らしく生きる権利の回復」という言葉があり、身体抑制を中止したいと考えた。多職種カンファレンスを行い、専門的な能力を活かし連携することでADL向上に繋がると考える。

【結論】

身体抑制軽減への取り組みとして、1. 日常生活動作能力のアセスメント 2. 認知症看護の学習の継続 3. 多職種と連携し、カンファレンスを実施 4. 安全、安楽に配慮した環境調整 5. 病棟リハビリテーションの実施が重要である。

緩和ケアセンターの役割と病床を活用した在宅支援

緩和ケアセンター 古池 きよみ

【はじめに】

緩和ケアセンターは、すべてのがん患者やその家族に対して、診断時からより迅速かつ適切な緩和ケアを切れ目なく提供するために、医師・看護師を中心とし、多職種が連携した質の高いチーム医療を提供する場として新病院開院と共に設立された。がんに関する多くの業務を担い、患者・家族の望む医療が提供できるよう支援していく中で、当院での緩和ケア提供体制のあり方が明確になりつつある。その中でも、緩和ケア病床を活用することで、在宅緩和ケアとの連携がスムーズとなり、患者・家族の望む療養の実現が可能となった。これまでの実績及び関わりを報告する。

【緩和ケア病床開設からこれまでの実績】

緩和ケア病床利用は、登録制とし、緩和ケアセンターで管理を行っている。

平成29年11月1日～平成30年8月31日までの10ヶ月間での病床登録者数は、46名であり、実際の病床利用者数は31名。平均年齢は71歳。外科が18名と最も多く、次いで呼吸器内科10名、血液内科6名、消化器内科5名、婦人科3名、泌尿器科3名、循環器内科1名である。(すべて延べ人数)

登録実人数30名の転帰は、入院死亡12名、自宅死亡8名、転院1名、施設入所2名であり、現在自宅静養中が5名、その他として他院から依頼を受け登録した方が2名であった。平均病床利用日数は12.8日、自宅退院のうちの21名が訪問看護を利用され、在宅主治医も11名が介入となった。

【考察】

緩和ケア病床では、急性期緩和ケアの提供や、終末期がん患者の在宅への移行支援を行っている。自宅退院を希望されても介護力の問題や病状に対する不安などで退院に踏み込めないケースも少なくないが、緩和ケア病床を利用することで在宅療養とのつながりが保証され、いつでも入院できる安心感が与えられると考えている。また、緩和ケアセンターが窓口となることで、訪問看護師や在宅主治医との連携も図りやすく、退院前カンファレンスの実施がスムーズに行えるようになった。在宅看取りが増加しているのもこのような関わりの現れではないかと考える。今後も終末期における地域包括ケアシステムの構築を目指し、患者・家族が望む療養が提供できるよう緩和ケア病床を活用した在宅支援を進めていきたい。

脳定位放射線治療開始に向けた固定精度の検討

放射線治療科 塩谷真里子

【はじめに】

定位放射線照射 (Stereotactic irradiation:STI) は小さな領域に対して、細く絞った放射線ビームを三次元的に多方向から照射し、正常組織の放射線量を小さく抑えながら、病変部に集中的に照射する方法である。定位放射線照射は①定位手術的照射 (Stereotactic radiosurgery:SRS) : 1回照射、②定位放射線治療 (Stereotactic radiotherapy:SRS) : 分割照射に分けられる。

頭蓋内病変においては、腫瘍の近傍に脳幹や視交叉、脳神経、下垂体などのリスク臓器が存在することが多い。

定位放射線照射を正確かつ安全に行うためには、治療装置本体の精度はもちろんのこと、固定具使用の際の位置精度が極めて重要となる。

【目的】

脳定位放射線治療開始に向けて準備するにあたり、現在使用している頭部用固定具の位置精度について検討することが目的である。

【対象】

2017年11月から2018年7月までに頭部用固定具を用い放射線治療を行った患者12例を対象とした。

毎回の治療前に撮影された位置照合 X 線画像と、治療計画 CT 画像から作成された Digital reconstructed radiography (DRR) を用いた骨構造による位置照合で得られた 3 軸方向 (左右、頭尾、腹背方向 : それぞれ X、Y、Z) の位置補正量を測定した。

【結果】

位置誤差の多くは±1mm 以内であった

【考察】

Z 方向の誤差は寝台の沈み込みの影響の可能性があると考えられた。

固定精度をさらに向上させるために、治療装置付属の Cone-Beam CT (CBCT) を用いた 3D/3D match による位置照合、患者の歯型に合わせたバイトブロックや後頭部に合わせた吸引式固定枕の作成が有用な可能性がある。

【結論】

現在使用している頭部用固定具による位置精度は許容範囲内であった。

※順番 : 発表順

6. 看護部院内研修

新人看護職員集合研修

集合教育（基本看護技術）

目的：日常生活援助のための基本的な技術・態度を身につけ、ベツトサイドケアが安全・確実にできる。

日 時	内 容	受講者	講 師
平成 30 年 4 月 2 日 ～5 月 2 日	<p>目標と習得すべき知識・技術、ラダー、研修ファイルの活用方法、メンタルヘルス</p> <p>電子カルテの操作 I (ログイン・検査・看護記録)</p> <p>感染防止対策、スキンケア</p> <p>排泄援助・清潔援助・シーツ交換</p> <p>薬剤の管理、与薬の確認と実際</p> <p>静脈血採血、採尿、検体の取り扱い</p> <p>看護者の倫理綱領、口腔ケアと食事介助</p> <p>酸素器具の取り扱い、酸素療法、吸引</p> <p>接遇研修</p> <p>注射・輸液：5 R、刺入・固定・輸液量の計算</p> <p>ME 機器の取り扱い</p> <p>医療安全(患者誤認防止・針刺し防止・転倒転落予防対策)</p> <p>血糖測定・インスリンの知識、フットケア</p> <p>安全・安楽な体位、体位変換、移乗</p> <p>認知症患者の看護、給与明細の見方</p> <p>夜勤業務の心構え、準夜勤のシャドゥイング</p> <p>心電図モニターの付け方・見方、フジカリアセスメント I</p> <p>重症度・医療・看護必要度、看護記録記載基準について</p> <p>ほうれんそう（報連相）と枕詞</p> <p>病棟リエンテーション</p> <p>新人看護職員とプリセプター顔合わせ</p> <p>環境整備・清拭・寝衣交換・陰部洗浄・体位変換の見学（メンバー・シャドゥイング）</p> <p>環境整備・清拭・寝衣交換・陰部洗浄・体位変換の実際</p> <p>病棟の日勤帯業務（見学・一部実施）</p> <p>基礎看護技術 1 か月評価</p> <p>研修の振り返り、集合研修修了式</p>	15 名	<p>研修責任者 原澤優子</p> <p>接遇：湯浅春代</p> <p>(株)メトリック</p> <p>各担当部署</p> <p>各院内講師</p>

基礎 I 研修

集合研修

目的：1) 安全対策ができ、ベットサイドケアが安全・迅速・確実にできる。

2) リアリティショックを防止できる

日 時	研修内容	受講者	講 師
5月25日	輸血の準備・輸血中と輸血後の観察	15名	主任看護師 栗原愛子
5月26日	1日研修（研修管理センター主催）	15名	おにし野外活動センター 石川裕光
5月30日	フィジカルアセスメント①基礎	15名	集中ケア認定看護師 高橋圭
6月29日	フィジカルアセスメント②呼吸系	14名	集中ケア認定看護師 高橋圭 看護師 伊藤光志
7月2日	基礎 I 研修 3カ月評価	14名	新人研修責任者 原澤優子
7月25日	フィジカルアセスメント③循環系	名	集中ケア認定看護師 高橋圭 看護師 岸安宏
8月24日	フィジカルアセスメント④中枢神経系	14名	集中ケア認定看護師 高橋圭 看護師 鈴木鷹士
9月10日	フィジカルアセスメント⑤人工呼吸器	14名	集中ケア認定看護師 高橋圭 看護師 西澤あゆみ
10月19日	フィジカルアセスメント⑥呼吸系	14名	集中ケア認定看護師 高橋圭
11月30日	心電図①	14名	集中ケア認定看護師 高橋圭
12月7日	救急蘇生法（意識レベルの評価・応援要請・E コール・成人 AED）	14名	集中ケア認定看護師 高橋圭 他4名
12月3日～10日	フォローアップ研修（救急センター）	14名	部署担当者
12月14日	心電図②	14名	集中ケア認定看護師 高橋圭
1月7日～15日	フォローアップ研修（中央手術室）	14名	部署担当者
3月27日	多重課題、基礎 I 看護研修修了式	14名	基礎 I 担当

基礎Ⅱ研修

- 目的：1) 看護実践能力を高める。
2) プリセプターシップを理解することができる。

月 日	内 容	受講者	講 師
7月30日	がん看護①（化学療法含む）	15名	がん化学療法看護認定 看護師 塩野智則
10月11日	がん看護②（緩和ケア）	15名	緩和ケア認定看護師 菅原恵里子
1月25日	メンバーシップとチーム医療	15名	副看護師長 久保愛

基礎Ⅲ研修

- 目的：1) リーダーとしての役割を果たし、日々の業務が遂行できる。
2) 看護研究を通して、自己の看護観を発展させる。

月 日	内 容	受講者	講 師
6月28日	看護研究Ⅰ	8名	群馬医療福祉大学 教授 酒井美子
8月23日	看護研究Ⅱ	8名	群馬医療福祉大学 教授 酒井美子
11月20日	看護研究Ⅲ	8名	看護師長 菊地弘美
2月26日	看護研究発表会	8名	群馬医療福祉大学 教授 酒井美子

基礎Ⅳ研修

- 目的：高度な看護活動が実践でき、かつ他者にモデルを示すことができる。

月 日	内 容	受講者	講 師
12月21日	なりたいリーダーになろう	13名	看護師長 菊地弘美
2月6日	がん性疼痛	15名	がん性疼痛認定看護 師 恩田千栄子

基礎Ⅳ・Ⅴ研修

- 目的：高度な看護活動が実践でき、かつ他者にモデルを示すことができる。

月 日	内 容	受講者	講 師
6月16日	後輩の指導に必要なコミュニケーション の取り方	43名	高崎健康福祉大学 看護学科長 池田優子

熟達者研修

- 目的：部署におけるファシリテーターとして、看護活動を実践できる。

月 日	内 容	受講者	講 師
9月8日	後輩の指導に必要なコミュニケーション の取り方	30名	高崎健康福祉大学 看護学科長 池田優子

プリセプター支援研修

目的：プリセプターシップを円滑に継続するための、フォローアップの機会とする。

月 日	内 容	受講者	講 師
7月17日	プリセプター研修①	14名	看護師 萩原仁美・阿部遥香
10月1日	プリセプター研修③	14名	看護師 萩原仁美・阿部遥香
3月29日	プリセプター研修④	14名	看護師 萩原仁美・阿部遥香

専門コース研修

目的：緩和ケア・認知症看護についての見識を深めることができる。

月 日	内 容	受講者	講 師
1月11日 1月25日 2月13日 2月22日 3月8日 3月26日	「看護師に対する緩和ケア教育テキスト」 ・基本的緩和ケアを担う看護師に求められる役割と実践能力 ・患者の意思決定支援 ・苦痛緩和 ・専門家への橋渡し、連携	8名	緩和ケア認定看護師 古池きよみ がん性疼痛認定看護師 恩田千栄子
12月4日 12月11日 1月15日 1月29日 2月12日 2月26日	認知症の基礎、種類と特徴 認知症の種類と特徴 認知症とせん妄やうつとの違い 環境調整、高齢者の心理的变化とケア コミュニケーションと非薬物療法 認知症患者の食支援	24名	認知症看護認定看護師 黒澤千恵子 富岡幸之 清水仁美

看護師集合研修

目的：看護職として、最善の看護ケアを提供するために必要な看護実践能力の向上を図る。

月 日	内 容	受講者	講 師
4月20日・5月2日 6月28日・7月6日	スキンケア研修会	163名	日本褥瘡学会認定褥瘡看護師 萩原美登利
7月24・27日	重症度、医療・看護必要度研修	284名	看護師長 千木良直子 副看護師長部会
9月18日 10月2・9・26日 11月27日 12月13日	静脈穿刺院内認定制度 第1回～第6回	230名	副看護師長担当者
11月29日	CV ポート、チェストドレーンバッグについて	123名	専従リスクマネージャー 斉藤康行

認知症ケア研修

目的：認知症についての行動・心理症状等を理解し、対応にいかすことができる。

月 日	内 容	受講者	講 師
7月30日 8月3・6日	身体拘束について	195名	認知症看護認定看護師 黒澤千恵子 富岡幸之・清水仁美

看護補助者研修

目的：看護補助者として、役割と業務を理解できる。

月 日	内 容	受講者	講 師
6月1・15日	ME 機器管理システム「Meister」について	21人	臨床工学士 吉田弘
9月19・25日	認知症ケア研修会 「身体抑制について」	23名	認知症看護認定看護師 黒澤千恵子 富岡幸之・清水仁美
10月23・24・25・ 26・30日	看護補助者業務必須研修 (医療制度、病院機能、組織の理解、 医療チーム、医療安全、感染対策 口腔ケア、日常生活に関わる業務)	20名	担当看護師長 専従リスクマネージャー 感染管理認定看護師 担当副看護師長 摂食嚥下障害看護認定看護師
11月6・13日	安全な患者移乗	30名	理学療法士 塚田・片山・齊藤 作業療法士 根岸
12月19日	新入職看護補助者業務必須研修	1名	担当看護師長 専従リスクマネージャー 感染管理認定看護師

臨時職員採用時研修

目的：安全・感染対策が理解でき、日々の業務が遂行できる。

月 日	内 容	受講者	講 師
12月18日	医療安全の基礎 感染対策と手洗い	7名	専従リスクマネージャー 斉藤康行 感染管理認定看護師 千木良悦子

7. 認定看護師の活動記録

がん化学療法看護認定看護師

がん化学療法看護認定看護師 塩野 智則

【実践】

外来化学療法室において、外来薬剤師と協同し、患者およびその家族に対して抗がん薬治療に伴う有害事象に対しての情報提供と医師に有害事象に対する処方提案を行い安全で質の高いケアが提供出来るよう活動した。院外活動として、第24回藤岡がん市民講座にて「自分らしく日常生活をしながら抗がん剤治療と上手に付き合うポイント」と題し講演、第33回がん看護学会学術集会以演題名「歯科受診状況及び歯科受診に対する認識調査」を示説発表した。

【指導】

月日	対象	テーマ	参加者
2018年7月30日	基礎Ⅱ研修	がん看護の基礎と化学療法	15名
2018年8月23日	東5階病棟 2年目看護師	安全・確実・安楽にがん化学療法を実践するには:肺がんに対する化学療法	4～5名
2018年11月20日	群馬医療福祉大学 看護学部 看護学科2年	終末期のがん治療に伴う看護 「化学療法を受ける対象への看護」	90名

【相談】

外来化学療法室に通院中の患者様やその家族を対象に、がんカウンセリングを通して治療法の選択や治療継続について意思決定の支援を行った。さらに副作用対策方法や日常生活上の悩みなど随時相談を受け付け、患者様や家族の生活の質を高める援助を行った。また、外来各診療科看護師や各病棟看護師からがん化学療法に対する質問や相談に随時対応を行った。

【自己啓発活動】

参加日	参加学会及び研修会	開催場所
2018年7月19日～21日	日本臨床腫瘍学会	神戸国際会議場他
2018年10月18日～20日	日本癌治療学会	パシフィコ横浜
2019年2月23日～24日	日本がん看護学会	福岡国際会議場他

がん性疼痛看護認定看護師

がん性疼痛看護認定看護師 恩田 千栄子

【実践】

所属病棟においては、患者の疼痛・身体的苦痛、患者・家族の不安などに対して、緩和ケアチームと連携を取りながら、苦痛の緩和が図れるように主治医に報告し、薬剤の提案などをおこなっている。また、疼痛のある患者に対して、レスキュー薬の服用するタイミングや薬の効果や副作用について薬剤師と協力しながら、セルフコントロールできるような指導を実施している。

毎週木曜日には、緩和ケアセンターにおいて、緩和ケア登録患者のラウンドや医師の痛み止めの調節依頼に対応している。

緩和ケアチームカンファレンスや藤岡緩和ケア研究会・市民講座に参加し、疼痛や症状の緩和について、がん性疼痛認定看護師としての視点から意見を述べている。

*がん看護指導料2 *緩和ケア加算料 を毎週木曜算定している

【教育・指導】

所属病棟では、アブストラル錠やフェントステープの半面貼付の使用法、オピオイドスイッチングのタイミングや換算方法、がん患者との関わり方などがん性疼痛・緩和ケアに関わる勉強会や個別指導をおこない、統一した看護が提供できるようにしている。

また、他病棟からの依頼には、オピオイドについての勉強会をおこなった。

院外では、群馬医療福祉大学、看護学部看護学科2年生に、緩和ケアの身体的ケアの講義をおこなった。院内では、がん性疼痛認定看護師として、基礎Ⅳ研修をおこなった。

【相談】

他部署の看護師より、オピオイドの換算方法・スイッチングのタイミングについて、持続皮下注の方法、緩和ケア認定看護師を通じて疼痛・身体的苦痛に対する相談に随時対応している。所属病棟においては、レスキューのタイミングや貼付剤の貼り方、がん患者との関わり方についての相談に対しては、適宜、対応している。

【自己研鑽】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
H30年6月16日～17日	第23回 日本緩和医療学会学術大会	神戸国際展示場他
H30年9月16日	群馬緩和ケア研究会	角田病院
H30年9月21日～22日	第31回 サイコオンコロジー学会総会	金沢歌劇座他
H30年11月18日	第17回 がん性疼痛看護研究会	ハロー貸会議室八重洲ファーストビル
H30年12月8日～9日	第42回 日本死の臨床研究会年次大会	新潟朱鷺メッセ
H30年4月～3月	WEBセミナー4回. 緩和ケア研究会2回	院内（大会議室・中会議室）

緩和ケア認定看護師

緩和ケア認定看護師 古池 きよみ

【実践】

診断時から適切な緩和ケアを切れ目なく提供するために、専従看護師として、緩和ケアチームラウンドや毎週木曜日 17 時 30 分から緩和ケアチームカンファレンスを開催し、症例検討や、チーム介入患者・家族の情報共有を多職種で行いながら質の高いチーム医療の提供に努めた。また、院内外の医療者を対象とした研修会等の運営に携わり年 6 回開催した。更に昨年度に続き、緩和ケアセンターの充実を目指し、業務内容の見直しやシステムの構築などを行なった。

※緩和ケアチーム新規依頼件数 279 件/年(がん患者指導管理料イ、ロ算定 緩和ケア診療加算算定)

※乳がん患者「なごみの会」毎月第二火曜日がんサロンにて開催 年間延べ参加人数 82 名

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2018 年 9 月 11 日～12 日	群馬県がん分野における中堅看護師	ELNEC-J コアカリキュラム	25 名
2018 年 9 月 25 日～28 日	群馬県がん分野における中堅看護師	実務指導	1 名
2018 年 11 月	本庄児玉看護専門学校 2 年	「終末期患者の看護」6 回	31 名
2018 年 11 月 14 日	群馬医療福祉大学 2 年	緩和ケア	90 名
2019 年 3 月 2 日～3 日	すべての看護師のための看取りのケア研修会 (角田病院にて開催)	ELNEC-J コアカリキュラム	20 名
2019 年 1 月～3 月	院内看護師 5 年目以上	緩和ケア教育 プログラム 6 回	8 名

【相談】

通院中・入院中の患者やその家族の相談（電話・面談）に応じ、適切な情報提供をおこなうことで、納得した意思決定ができるよう支援を行なった。さらに在宅療養へ向けた相談や、在宅療養中の困難についてなど相談を受け、多職種間での連携を行なった。また、緩和ケアリンクナースや各病棟看護師、医師、院内外の病院スタッフからの緩和ケアに関する相談に対応した。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	会場
2018 年 4 月 20 日	平成 30 年度両立支援コーディネーター基礎研修	労働者健康安全機構本部
2018 年 5 月 26 日	第 14 回群馬がん看護フォーラム	県立県民健康科学大学
2018 年 6 月 15 日～17 日	第 23 回日本緩和医療学会	神戸国際会議場他
2018 年 10 月 19 日	第 56 回日本癌治療学会	パシフィコ横浜
2018 年 10 月 26 日	群馬がん看護研究会スキルアップセミナー	県立がんセンター

【実践】

急性期外科に併設される緩和ケア病床において、様々なステージで全人的苦痛を抱える患者と家族に対し、多職種と協働して苦痛緩和のための看護実践を行った。手術や化学療法、放射線療法など癌の3大治療に伴う副作用や、病勢進行に伴う苦痛症状緩和のための薬物の適正使用に努めると同時に、終末期患者およびその家族に対するケアとして積極的に思いの傾聴を行い、精神・スピリチュアルな痛みの低減を図り、より良い療養生活、そして繋がる退院支援を、病棟スタッフや緩和ケアチームスタッフと共に協働した。また、医師等多職種との協働によりがん患者指導管理料イ：5件、ロ：13件の算定に携わった。

【指導・教育】

実施日	対象者	内容	参加者
2018年4月～ 2019年3月	北5階病棟看護師	緩和ケアにおける基本的知識 (症状マネジメント、コミュニケーションスキル、看護倫理、意思決定支援、社会的支援、スピリチュアルペインとそのケア、等々)	日勤スタッフ
2018年10月11日	基礎Ⅱ研修	がん看護における緩和ケア	基礎Ⅱ受講者15名
2019年2月8日	多野藤岡地域の医療・福祉関係職者	第24回藤岡緩和ケア研究会 『人生会議のススメ』	院内・院外スタッフ

【相談】

北5階病棟に於いて、対応に難渋した事例を看護スタッフ間と緩和ケアチームスタッフを交えて検討し、臨床における倫理的課題の検証や家族対応についてディスカッションし、スタッフそれぞれのスキルアップに繋げた。

また、がん患者及びその家族に対し、治療に対する意思決定や今後の在宅療養について相談を受け、必要な情報提供を行うために緩和ケアチームスタッフを中心とした専門職種との協働により、意思決定支援を行った。

【自己啓発活動】

開催日	学会名	会場
2018年6月15.16日	第23回 日本緩和医療学会学術大会	神戸国際展示場・会議場
2018年9月7日	緩和ケア認定看護師フォローアップ研修 『緩和ケア認定看護師としてより緩和ケアの専門性を高めるために～専門看護師から学ぶエビデンス～』	埼玉県立大学
2018年9月30日	群馬県緩和ケアフォローアップ研修会	群馬メディカルセンター
2018年10月6日	リレーフォーライフぐんま	ALSOK 群馬アリーナ
2018年10月27日	平成30年度群馬がん看護スキルアップセミナー 『看護倫理』	群馬県立がんセンター
2018年9月16日、 11月16日	群馬県緩和ケアに関する認定看護師会	角田病院 日高病院
2019年2月16.17日	ELNEC-J コアカリキュラム指導者養成プログラム	東邦大学

集中ケア認定看護師

集中ケア認定看護師 高橋 圭

【実践】

当院での人工呼吸器装着中の患者は、鎮静薬のみの管理が大多数を占めている。過剰鎮静での管理は、人工呼吸器からの離脱が遅延するのみではなく、人工呼吸器装着に伴う肺障害など様々な二次的合併症を併発し、原疾患が治癒しても合併症により日常生活への復帰の妨げとなる。そのため人工呼吸器からの早期離脱を目的に、人工呼吸器装着中から患者を覚醒状態とし、鎮痛管理の導入と鎮静薬の変更を行う必要があった。鎮痛薬の導入と鎮静薬の変更および鎮静深度の見直しを行い、医師に提案し導入に至った。気管チューブ挿入により患者は覚醒しても発語が出来ない状態であり、覚醒後のコミュニケーションの課題や計画外抜管予防のために行っている身体抑制の見直しを看護スタッフと検討し実践した。

また二次的合併症予防のためには早期離床が重要となり、医師へ早期のリハビリ介入を提案を行った。理学療法士を情報共有し、リハビリを行う時間帯や鎮痛薬の追加投与、浅い鎮静状態などの調整を行い、効果的なリハビリが行えるよう多職種連携を行った。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加人数
2018年4月23日	看護部新入職員	バイタルサインの測定	25名
2018年4月23日	看護部新入職・2年目職員	フィジカルアセスメント	25名
2018年4月23日	看護部新入職・2年目職員	フィジカルアセスメント	25名
2018年4月23日	看護部新入職・2年目職員	フィジカルアセスメント	25名
2018年4月23日	看護部新入職・2年目職員	フィジカルアセスメント	25名
2018年4月23日	看護部新入職・2年目職員	人工呼吸器装着中の看護	25名
2018年4月23日	看護部新入職・2年目職員	心電図①	25名
2018年4月23日	看護部・リハビリ新入職員	急変対応コース	25名
2018年4月23日	看護部新入職・2年目職員	心電図②	25名
2018年4月23日	看護部新入職・2年目職員	フィジカルアセスメント	25名
2018年4月23日	HCU、循環器病棟看護師	心電図 伝導障害	15名

【相談】

呼吸不全や意識障害のある患者に対し、呼吸状態の改善や肺合併症予防のためのポジショニングをと体位ドレナージについての相談があった。そのため、モーニングカンファレンスや実践での勉強会を通して、ケアの目的や手順の確認を行った。指導後スタッフは自らポジショニングや体位ドレナージを実践を行うようになった。また、呼吸状態悪化の要因となる腸管内容物の貯留に対しても、日々のケアの中に腹部マッサージや温罨法、医師への整腸剤や下剤の提案などを行い、スタッフ自ら実践につなげられるようになっている。

【自己啓発活動】

開催日	学会名	会場
2018年11月17日	第11回 群馬県クリティカルケア研究会	群馬県サンピア高崎
2019年3月1日～3日	第46回 日本集中治療医学会学術集会	京都府国立京都国際会館

摂食嚥下障害看護認定看護師

摂食嚥下障害看護認定看護師 富山 麻裕子

【実践】

平成 30 年度は歯科口腔外科開設に伴い、周術期等口腔機能管理がスムーズに実施出来るように、院内外の関係機関との調整を行い、システム作りを行った。院外は藤岡歯科医師会・本庄歯科医師会との連携を図り、入院前や退院後も地域医療機関と連携をしながら口腔機能管理が行えるように進めていった。

嚥下・栄養の面に関しては、病棟看護師・言語聴覚士と連携をし、嚥下障害患者に対してスクリーニングや嚥下訓練等の摂食機能療法を行った。また栄養サポートチームで入院患者の栄養評価を行い、栄養介入を行った。病棟看護師や言語聴覚士等と連携を図ることで、日常生活の場面から低栄養患者の抽出をしていただき、介入に繋げる事が出来た。

【指導・教育】

実施日	対象者	内容	参加者数
H30 年 4 月 10 日	看護部新入職者	嚥下障害の看護、ポジショニング	20 名
H30 年 7 月 20 日	群馬県看護協会会員	動画で学ぶ明日から役立つ摂食嚥下の基礎知識	109 名
H30 年 9 月 12 日	NST リンクナース	栄養療法の基礎 ～食事と栄養～	11 名
H30 年 10 月 12 日	群馬医療福祉大学 3 年生	成人看護援助論Ⅳ～嚥下障害の看護～	
H30 年 10 月 16 日	群馬県看護協会会員	ケースで学ぶ摂食嚥下障害の看護	37 名
H30 年 11 月 21 日	NST リンクナース コメディカル	食事姿勢調整の実践	17 名
H31 年 2 月 26 日	認知症ケア研修会参加者	認知症患者の食支援	

【相談】

嚥下評価の方法や経管栄養の選択、口腔ケア方法について病棟看護師・医師からの相談に応じた。また患者家族への退院時指導を行い、退院後の生活の相談に応じた。

【自己啓発活動】

開催日	学会名	会場
H30 年 5 月	第 28 回 群馬NST研究会	ベイシア文化ホール
H30 年 8 月	茨城県立医療大学 フォローアップ研修	前橋赤十字病院
H31 年 2 月	第 34 回 日本静脈経腸栄養学会学術集会 共同演者	グランドプリンスホテル 新高輪
H31 年 3 月	藤岡多野栄養研究会	鬼石多目的ホール

透析看護認定看護師

透析看護認定看護師 櫻井 あかり

【実践】

透析看護認定看護師として主に人工透析室で血液透析看護に関っている。日々の実践では患者様が週3回の透析治療を安全かつ安楽に受けられるよう、透析条件の工夫や日常生活支援を行っている。合併症予防の一環としてフットケアにも継続的に重点を置き、医師と協働しながら全ての患者様に介入できるよう計画を立案した。4月より腹膜透析患者2名の受け入れをはじめ、年度内で新規の腹膜透析導入が3名あり、合計5名の腹膜透析に関わるようになった。また、11月に外来透析患者を対象に災害時教育の講演を行った。

看護研究「当院における外来透析患者への災害教育と今後の課題」「透析患者が使用する経皮麻酔薬の選択」を4人のチームでまとめ、第42回群馬県透析懇話会での発表に至った。同会では一部セッションの座長を務めた。

院外活動では東日本腎不全研究会の役員会（月1回）、臓器移植の院内コーディネーター研修（今年は5回）に参加した。12月に関東甲信越地区の透析看護認定看護師会が群馬で開催され、当番幹事として企画・運営に携わった。

【教育・指導】

実施日	内容	開催場所	参加者
2018年4月23日	新人看護職員研修	院内	20名
2018年5月31日	腹膜透析 外来診察時の観察ポイント	人工透析室	6名
2018年7月3日	透析患者の検査値の理解	人工透析室	5名
2018年7月11日	慢性期疾患看護：腎不全看護 講義	群馬医療福祉大学	90名
2018年8月7日	シャントの観察と看護	人工透析室	6名
2018年11月20日	白癬患者へのフットケア 器具の取り扱い	人工透析室	5名
2019年2月28日	セルフマネジメント支援	人工透析室	6名

【相談】

日々の業務の中では人工透析室の看護師より透析条件や患者対応についての相談を受けている。入院病棟からは長期留置カテーテルの取り扱いについての相談、病状説明時の同席依頼などを受け対応した。フットケアについては1年間に12件の相談を受け、ケアの実施や指導、他科受診への助言を行った。

【自己啓発活動】

実施日	内容	会場
2018/5/12・13	透析看護基礎研修 腹膜透析	昭和大学横浜キャンパス
2018/10/28	まえばし健康フェスタ（スタッフ参加）	前橋プラザ元気21
2018/11/10～11	第21回日本腎不全看護学会 学術集会・総会	長野県ホクト文化ホール
2018/12/3	第13回関東甲信越地区 透析看護認定看護師会	中外製薬 高崎支社
2018/12/6	第54回東日本腎不全研究会	日高病院
2018/12/9	第1回上州PD倶楽部	ホテルラシーネ新前橋
2019/2/17	第42回群馬県透析懇話会	前橋テルサ
2019/3/3	「ケア提供者のケアについて考える」	昭和大学病院

乳がん看護認定看護師

乳がん看護認定看護師 平田 恵美

【実践】

2018年6月より毎週火曜日に緩和ケアセンターでの活動を開始したため、入院患者だけでなく外来通院患者への支援も広く行えるようになった。病名や再発・転移告知時の診察に同席し、告知後の精神的なケアや治療選択について看護支援を行った。所属病棟では、乳がん術後の患者や終末期の患者に対し看護実践を行った。術後の下着や退院後の生活指導、腋窩リンパ節郭清した患者へのリンパ浮腫予防の看護を行った。また、終末期患者の症状コントロールや在宅に向けた支援を主治医や緩和ケアチームと連携し、実践することが出来た。

【教育・指導】

実施日	対象・内容
2018年11、12月	藤岡准看護学校講師 成人看護（外科）
2019年3月	病棟スタッフに乳がん手術後の下着についての勉強会

【相談】

乳がん患者の自壊創部のケアや在宅に向けた支援の相談に応じた。また、手術後の下着の説明の方法等、病棟スタッフからの相談に応じた。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	会場
2018年5月16～19日	第26回日本乳がん学会学術総会	国立京都国際会館
2018年6月16日	第49回埼玉群馬乳腺疾患研究会	ホワイトイン高崎
2018年6月19日	第9回関越がんサポーターケア研究会	ニューサンピア
2018年9月9日	サマースクール HBOC and Beyond	聖路加国際病院
2018年10月5日	日本乳がん看護研究会 CN スキルアップセミナー2018	KFCホール
2018年10月6日	第14回日本乳がん看護研究会	KFCホール
2018年12月24日	アピアランスケア研修会基礎編2018	国立研究センター中央病院
2019年3月6日	情報提供・相談支援部	群馬大学

認知症看護認定看護師

認知症看護認定看護師 黒澤 千恵子

【実践】

脳外科整形外科病棟で実践を通して、認知症看護の質の向上に努めた。当病棟は、認知症自立度判定基準で加算対象となる患者様が6割を超す。入院という急な環境の変化で混乱を招きやすいため安心して過ごせるように、病棟看護師と共に早期からせん妄や行動・心理症状の予防に努めた。行動のアセスメントを行うことで身体拘束が減り、認知症看護の質の向上から加算算定率の向上に繋がっている。院内研修では、身体拘束をしない看護が実践できるように認知症者の倫理面を考慮した研修会を行った。

【指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2018/4/19	新人看護師	認知症患者の看護身体拘束体験	15名
2018/7/30 8/3・6	看護師	身体拘束について	195名
2018/9/19・25	看護助手	身体拘束について	20名
2018/10/9～11/2	高崎健康福祉大学認知症看護認定看護師教育課程3期生	実習指導	2名
2018/12/4・11 2019/1/15・29, 2/12・16	受講希望者	認知症看護 全6回コース	26名
2018/4～2019/3	南5階病棟看護師 認知症ケアチームメンバー	ケア加算について・困難事例カンファレンス・事例検討会	日勤看護師・チームメンバー6名

【相談】

所属病棟および他部署の認知症者の困難事例の相談に対応した。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修名	会場
2018/5/26, 6/30, 7/16 8/4, 9/1 2019/2/23	高崎健康福祉大学看護実践開発センター研修会 身体拘束をしない看護の実践 全6回（最終日：座長）	高崎健康福祉大学看護実践開発センター5号館602・702講義室
2018/6/16	第19回日本認知症ケア学会	新潟朱鷺メッセ
2018/6/23・24	第23回日本老年看護学会	久留米シティプラザ
2018/7/7, 10/13 2019/3/21	群馬県認知症看護認定看護師会 クレインの会 事例検討会	高崎健康福祉大学看護実践開発センター5号館604講義室
2018/7/7, 11/24 2019/3/21	高崎健康福祉大学 倫理の会	高崎健康福祉大学看護実践開発センター5号館603講義室
2018/9/22・23	第20回全国抑制廃止研究会	伊勢崎市民文化会館
2018/10/7	広がる特定行為研修と認定看護師制度の発展	東京ビッグサイト 国際会議場
2019/1/22	群馬県糖尿病療養指導スキルアップセミナー 認知症について	群馬大学医学部附属病院 医学部講義1階基礎中講堂
2019/2/14	群馬県認知症疾患医療センター 合同連携協議会	藤岡市みかぼみらい館

【実践】

平成 30 年 7 月に認知症看護認定看護師の資格を取得し、自病棟において活動を開始した。入院による環境の変化にて認知症症状の悪化やせん妄に対する看護を行った。急性期治療実施中でも身体抑制を軽減するため代替案を提示し病棟で実践した。点滴のライン、ドレーン、NGT の固定方法など病棟スタッフ各自が工夫し不必要な抑制は解除するようになった。病棟で行った身体抑制解除への介入事例を高崎健康福祉大で開催された身体拘束ゼロへの取り組みの研修会にて発表した。院内の認知症ケア専門士などと研修会を開催し院内の認知症対応力向上に他認知症看護認定看護師と共に活動を行っている。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容
2018/7/30, 8/3・6	看護師	身体拘束について
2018/9/19・25	看護助手	身体拘束について
2018/10/9～11/2	高崎健康福祉大 認知症看護認定看護師教育課程 3 回生	臨地実習
2018/10～12	藤岡准看 平成 30 年度 1 年生	老年看護
2018/11/15	南 3 階病棟看護師	せん妄について
2018/12～2019/2	受講希望者	認知症看護 全 6 回コース

【相談】

せん妄やケアの介入に困難な事例に対し相談対応を行っている。また、他 2 名の同分野の認定看護師と相談しながらより良い方法を模索し対応している。

【自己啓発活動】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
2018/6/30	身体拘束をしない看護実践②金沢大学の事例を含め	高崎健康福祉大看護実践開発セミナー
2018/7/16	身体拘束をしない看護実践③「チューブ自己抜去」	高崎健康福祉大看護実践開発セミナー
2018/9/1	身体拘束をしない看護実践⑤ 「医療安全の視点と転倒予防」	高崎健康福祉大看護実践開発セミナー
2018/9/16	第 24 回群馬県認知症医療センター研修会	群馬大学
2018/10/7	認定看護師キャリアアップ研修会	東京ビックサイト
2018/11/22	認知症看護認定看護師教育過程 ケース発表会	高崎健康福祉大看護実践開発セミナー
2019/1/12	安中市公開セミナー 認知症と嚥下障害	安中市役所
2019/1/22	第 37 回群馬県糖尿病療養指導スキルアップ研究会 認知症について学ぼう	群馬大学
2019/1/31	認知症サポーター講座	藤岡公民館
2019/2/14	第 9 回群馬県認知症疾患医療センター篠塚病院 ケア研修会合同連携協議会	みかぼみらい館
2019/2/23	身体拘束をしない看護実践⑥実践報告	高崎健康福祉大看護実践開発セミナー
2019/3/29	認知症者に対する食支援	高崎総合医療センター

【実践】

平成 30 年度 7 月に認知症看護認定看護師の資格を取得した。認知症者の尊厳や倫理的背景に軸を置き、身体拘束体験や身体拘束がもたらす弊害について研修会を行った。

当該病棟においては、身体拘束解除に向けたカンファレンス（1 回/週）を定着させ、代替案を模索しながら職員と早期解除に向けて取り組み、事例を通し実践内容を院内研修会で発表した。また、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準評価を「転入時」「転入後 72 時間以内」、以降「毎週水曜日」に行い、加算漏れ防止に努めた。病棟勉強会では、認知症ケアの根拠に視点を置きながら学習会を開催し、院内では認知症ケアに関わるコアメンバーを育成する目的で、認知症ケア研修会全 6 回コースを実施した。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2018 年 4 月 19 日	新人看護師	認知症患者の看護 拘束体験	15 名
2018 年 7 月 30 日 2018 年 8 月 3・6 日	看護師	身体拘束について	195 名
2018 年 9 月 19・26 日	看護助手	身体拘束について	20 名程度
2018 年 10 月 9 日～ 2018 年 11 月 2 日	高崎健康福祉大学認知症看護認定教育課程 3 期生	実習指導	履修生 2 名
2018 年 10 月～12 月	藤岡准看護学校 1 年生	老年看護学講義（5 回担当）	全 1 年生
2018 年 12 月～ 2019 年 2 月	受講希望者	認知症ケア研修 全 6 回コース	26 名
2018 年 8 月～ 2019 年 3 月	南 7 階病棟看護師	せん妄・記憶障害・DLB 前編・後編・抗精神病薬（計：5 回）	日勤スタッフ

【相談】

所属病棟、及び他部署の認知症患者困難事例、認知症ケア加算 2「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」における評価内容等について、適宜相談に対応した。

【自己啓発活動】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
2018 年 7 月 25 日	老年研究会	老年研究所附属病院
2018 年 5 月～ 2019 年 2 月	高崎健康福祉大学看護実践開発センター研修会 身体拘束をしない看護の実践（計：4 回参加）	高崎健康福祉大学
2018 年 10 月 19 日	認知症 update Seminar	ホテルサンダーソン前橋
2018 年 11 月 22 日	平成 30 年度 ケーススタディ発表会	高崎健康福祉大学
2019 年 2 月 24 日	第 25 回群馬県認知症疾患医療センター研修会	群馬大学医学部記念会館
2019 年 3 月 21 日	クレインの会	高崎健康福祉大学

感染管理認定看護師

感染管理認定看護師 染谷 由香里

【実践】

2018年度は、千木良看護師の専従感染管理者としての活動への支援を行った。新病院に移転して2年目となり、移転時に導入した物品の評価を行った。導入した物品の評価を定期的に行うことで、より感染対策の充実を目指していく。

【教育・指導】

2018年度は、専従を交代して1年が経過したが専従感染管理認定看護師に対する指導を行うとともに、専従感染管理認定看護師と共に院内の指導、教育に携わった。

【相談】

専従感染管理認定看護師不在時、相談に対応した。また、医師から結核に関する問い合わせが2~3件あり対応した。相談内容は、結核検査の進め方、抗酸菌塗抹検査陽性者の対応についてであった。専従感染管理認定看護師から、対応に困った場合相談があり、共に対策を検討し対応した。

【自己啓発活動】

開催日	学会名	会場
2018年5月25日~26日	第7回日本感染管理ネットワーク学術集会 「新たな STAGE へのチャレンジ ~見せましょう、ICNの底力を~」	仙台国際センター
2018年5月9日 8月8日・12月12日 2019年3月6日	群馬県感染症対策連絡協議会 ICN 分科会	群馬県医師会
2018年6月25日	群馬県感染症対策連絡協議会総会 特別講演会	群馬県公社総合ビル
2018年8月29日	第34回北関東病院感染対策懇話会	ベシア文化ホール
2018年9月22日~23日 2019年1月12日~13日	HAICS 研究会 感染管理認定看護師のための キャリアディベロップメント講座	花王すみだ事業所 セミナーハウス
2019年1月23日	第35回北関東病院感染対策懇話会	ベシア文化ホール
2019年2月22~23日	日本環境感染学会・学術集会 「皆で AMR 時代に臨む」	神戸国際展示場 神戸国際会議場 神戸ポートピアホテル

【実践】

平成 30 年度は院内の研修活動として全職員に対しての研修を行った。看護部感染対策リンクナース部会では手指衛生サーベイランスを継続的にリンクナースが実施し、1 人当たりの患者への使用回数病棟別で比較・検討した。年間計画において必要時助言を行った。また、リンクナースのラウンドは、主体をリンクナースとして助言のみ実施した。

ICT の院内ラウンドにおいては、週 1 回実施し、各部署の改善事項を依頼し、改善後確認を行った。また問題点の抽出及び改善するためのアドバイスをを行った。

AST は 7 月から活動を開始し、週 1 回のカンファレンスにて抗菌薬の使用状況を確認した。必要時は医師との連携を図った。

年 3 回開催された藤岡地域感染防止対策カンファレンス、地域連携加算相互チェックへの参加、地域における感染対策の充実に向けて他感染管理認定看護師と共に活動を行っている。

【指導・教育】

実施日	対象者	内容	参加者
平成 30 年 4 月 2 日	新入職員	シミュレーター研修（個人防護具）	44 名
平成 30 年 4 月 6 日	看護部新入職員	病院感染対策	27 名
平成 30 年 5 月 23 日	全職員	正しい検体採取方法と取扱い	115 名
平成 30 年 6 月 1 日、	看護補助者	標準予防策	1 名
平成 30 年 6 月 6 日、 6 月 8 日、6 月 19 日、 6 月 20 日、6 月 27 日	全職員	ICT ラウンド	578 名
平成 30 年 7 月 25 日、	しらさぎの里職員	麻疹	20 名
平成 30 年 8 月 27 日	診療部会	手指衛生	50 名
平成 30 年 8 月 29 日、 8 月 30 日	栄養室	手指衛生	14 名
平成 30 年 9 月 5 日、 9 月 11 日、9 月 14 日 9 月 19 日、9 月 26 日	全職員	インフルエンザの予防と予防投与	563 名
平成 30 年 9 月 21 日	群馬医療福祉大学 （基礎看護学実習 I）	実習オリエンテーション 病院感染予防策	40 名
平成 30 年 10 月 23 日、 10 月 24 日	看護補助者	水回りを中心とした環境管理 病院感染予防策	20 名
平成 30 年 11 月 29 日、 11 月 30 日	鬼石病院	ウイルス感染症	137 名
平成 30 年 12 月 3 日	群馬医療福祉大学	臨床における感染看護	

平成 30 年 12 月 18 日	中途採用看護職員	病院感染予防策	7 名
平成 30 年 12 月 19 日	看護補助者	標準予防策	1 名
平成 31 年 1 月 16 日	全職員	ノロウイルス感染症	170 名
平成 31 年 1 月 25 日	リハビリテーション室	患者さんと自分を守る (手指衛生、個人防護具の着用等)	26 名
平成 31 年 1 月 28 日	診療部	外部講師：耐性菌を作らない抗菌療法	57 名
平成 31 年 2 月 5 日	藤岡准看学校	実習オリエンテーション 病院感染予防策	17 名
平成 31 年 3 月 29 日	HCU	個人防護具着脱訓練	8 名

【相談】

感染症患者及び保菌者の対応について随時対応をしている。
 医師からの抗菌薬の使用についての相談が増えてきた。AST で対応をしている。
 また、地域連携を行っている施設より対策への相談も数件あった。

【自己啓発活動、その他】

平成 30 年 5 月 9 日、 8 月 8 日、10 月 10 日、 平成 31 年 3 月 6 日	群馬県感染症対策連絡協議会 I C N 分科会	群馬メディカルセンター
平成 30 年 6 月 25 日	群馬県感染症対策連絡協議会総会	群馬県公社総合ビル
平成 30 年 8 月 11 日、 12 月 1 日	病院感染制御担当者育成講習会	東京
平成 30 年 8 月 29 日	北関東病院感染対策懇話会	前橋市ベイシア文化ホール
平成 30 年 10 月 26 日	第 67 回日本感染症学会東日本地方会 学術集会	東京
平成 30 年 11 月 2 日	群馬県感染症対策連絡協議会合同カン ファレンス	群馬県公社総合ビル
平成 30 年 11 月 6 日	群馬県感染症研修会	群馬県立県民健康科学大学
平成 30 年 1 月 23 日	北関東病院感染対策懇話会	前橋市ベイシア文化ホール
平成 29 年 12 月 2 日	群馬県感染症対策連絡協議会研修会	群馬県公社総合ビル

8. CPC

【第155回】 開催日：平成30年5月10日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理診断
336	73歳 女性	血液内科 外山耕太郎	福田怜雄 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：悪性リンパ腫（びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫） 病理診断：びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫、化学療法後の状態；後腹 膜原発 腫瘍残存部；中枢神経（くも膜下腔・脳室周囲・脈絡叢）腸間 膜、後腹膜

【第156回】 開催日：平成30年7月12日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理診断
338	85歳 女性	呼吸器内科 中川純一	佐藤広宣 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：胃癌多発肺転移による呼吸不全 病理診断：胃癌（低分化腺癌、転移・播種）
340	87歳 男性	呼吸器内科 中川純一	南雲航 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：心配停止 病理診断：急性心筋梗塞（前壁・貫壁性梗塞+心破裂）

【第157回】 開催日：平成30年9月13日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理診断
341	85歳 男性	呼吸器内科 中川純一	大枝涼平 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：間質性肺炎 病理診断：前立腺癌（中～高分化腺癌、ホルモン療法後、転移なし）、間 質性肺炎+気管支肺炎

【第158回】 開催日：平成30年11月8日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理診断
343	76歳 男性	呼吸器内科 中川純一	萩原舟平 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：右肺下葉腫瘍による腫瘍死 病理診断：右肺混合型小細胞癌（小細胞癌+大細胞神経内分泌癌）、左肺高 分化扁平上皮癌、下咽頭癌（術後放射線治療後、転移・再発なし）
346	82歳 男性	循環器内科 小野洋平	内田美帆 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：末期心不全 病理診断：両心不全、腓神経内分泌腫瘍

【第159回】 開催日：平成31年3月14日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理診断
342	78歳 男性	血液内科 外山耕太郎	木村健人 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：急性白血病、肺炎 病理診断：急性骨髄性白血病

9. 教育実習生・研修生受入実績

受入部署	学校・団体・研修名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考
診療部	群馬大学医学部附属病院	10	200	5/14～7/6	群馬大学医学実習（臨床実習）	20日間/1人
		19	361	1/7～3/29	群馬大学医学実習（臨床実習）	20日間/1人
	群馬大学医学部附属病院・群馬県	10	10	7/30	高校生のための医師職場体験セミナー	1日間/1人
		4	4	8/27	群馬県臨床研修病院等見学バスツアー	1日間/1人
		2	2	8/29	地域医療セミナー	1日間/1人
	小計		45	577		
看護部	藤岡准看護学校	35	1,451	5/7～11/16	成年・老年看護	42日間/1人
		34	219	5/7～11/2	外来看護	8日間/1人
		34	180	5/21～11/2	小児看護	8日間/1人
		34	192	5/7～10/19	母性看護	8日間/1人
		26	390	2/12～3/8	基礎看護実習	15日間/1人
	群馬医療福祉大学看護学科	20	60	9/25～9/26	看護基礎実習Ⅰ	3日間/1人
		20	60	9/27～9/28	看護基礎実習Ⅰ	3日間/1人
		34	272	11/26～12/7	基礎看護学実習Ⅱ	8日間/1人
		34	271	12/10～12/21	基礎看護学実習Ⅱ	8日間/1人
		50	395	5/7～7/26	臨床看護学実習Ⅰ（成人慢性）	8日間/1人
		24	191	10/1～10/30	臨床看護学実習Ⅰ（成人慢性）	8日間/1人
		44	615	5/7～10/24	臨床看護学実習Ⅱ（成人慢性）	14日間/1人
		24	335	10/1～10/27	臨床看護学実習Ⅱ（成人慢性）	14日間/1人
		51	403	5/7～11/8	高齢者看護学実習Ⅱ	8日間/1人
		52	520	5/7～11/8	小児看護学実習	10日間/1人
	上尾中央看護専門学校(通信)	2	4	8/7～8/8	母性看護学実習Ⅱ	2日間/1人
		2	4	8/9～8/10	小児看護学実習Ⅱ	2日間/1人
	群馬パース大学 看護学科	2	120	7/23～10/26	助産実習	60日間/1人
		9	72	8/21～9/13	基礎看護学実習Ⅱ	8日間/1人
	高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科	9	54	11/19～12/13	母性看護学実習	6日間/1人
	藤岡消防署	10	30	5/28～2/8	救命救急士再教育病院研修	3日間/1人
		1	20	11/2～11/30	救命救急士就業前研修	20日間/1人
	吉井消防署	4	12	6/6～12/11	救命救急士再教育病院研修	3日間/1人
	奥多野消防分署	3	9	7/10～10/16	救命救急士再教育病院研修	3日間/1人
	N S T 専門療法士修練実習	5	25	4/2～12/19	施設実習	40時間/1人
	群馬県看護協会藤岡地区支部主催	20	20	4/24	ふれあい看護体験学習	1日間/1人
	がん中堅看護師養成研修	1	4	9/25～9/28	がん分野実務者研修	4日間/1人
	吉井高等学校	5	15	1/22～1/24	職場体験学習	3日間/1人
	認知症看護認定看護師	2	38	10/9～11/2	教育課程臨地実習	19日間/1人
	小計		643	6,397		

受入部署	学校・団体・研修名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考
薬剤部	高崎健康福祉大学	2	108	5/7～7/22	薬剤業務全般	54日間/1人
		2	104	11/5～1/27	薬剤業務全般	52日間/1人
	小計	4	212			
栄養室	高崎健康福祉大学	2	20	6/13～6/26	栄養管理・給食管理（管理栄養士コース）	10日間/1人
	東日本栄養医薬専門学校	1	6	7/24～7/31	給食管理・栄養管理（栄養士コース）	6日間/1人
	明和学園短期大学	1	5	8/27～8/31	給食管理・栄養管理（栄養士コース）	5日間/1人
	小計	4	31			
リハビリテーション室	前橋医療福祉専門学校	1	5	7/30～8/3	理学療法見学実習	5日間/1人
		1	30	10/1～11/12	理学療法総合実習	30日間/1人
		1	12	1/15～1/30	理学療法見学実習	12日間/1人
		1	34	1/21～3/18	理学療法評価実習	34日間/1人
		2	68	5/21～10/11	作業療法総合実習	34日間/1人
		1	12	10/18～11/2	作業療法見学実習	12日間/1人
		1	21	8/22～9/19	言語聴覚士コース	21日間/1人
	高崎健康福祉大学	1	33	8/20～10/5	理学療法総合実習	33日間/1人
		2	10	2/18～2/22	理学療法見学実習	5日間/1人
		1	15	2/25～3/15	理学療法評価実習	15日間/1人
	群馬大学	1	14	2/18～3/7	理学療法評価実習	14日間/1人
		1	15	8/20～9/7	作業療法評価実習	15日間/1人
		1	14	2/12～3/1	作業療法評価実習	14日間/1人
	群馬医療福祉大学	2	78	6/25～8/17	理学療法総合実習	39日間/1人
		2	40	12/3～12/28	理学療法評価実習	20日間/1人
		1	39	6/4～7/27	作業療法総合実習	39日間/1人
		2	6	9/3～9/5	作業療法見学実習	3日間/1人
		1	15	1/14～2/1	作業療法評価実習	15日間/1人
	城西国際大学	1	14	2/4～2/22	理学療法評価実習	14日間/1人
	国際医療福祉大学	1	39	5/28～7/20	言語聴覚士コース	39日間/1人
	社会医学技術学院	1	39	6/11～8/3	理学療法総合実習	39日間/1人
	太田医療技術専門学校	1	42	9/10～11/19	理学療法総合実習	42日間/1人
		1	14	1/7～1/25	理学療法評価実習	14日間/1人
東京医薬専門学校	1	20	11/26～12/21	言語聴覚士コース	20日間/1人	
小計	29	629				
検査室	群馬パース大学	2	80	5/21～7/13	臨床検査実習	40日間/1人
	小計	2	80			
医事情報課	大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校	1	14	7/9～7/27	医療事務	14日間/1人
	高崎商科大学短期大学部	1	5	8/13～8/17	インターンシップ	5日間/1人
	高崎健康福祉大学	1	10	2/25～3/8	診療情報管理士業務	10日間/1人
	前橋医療福祉専門学校	1	10	6/25～7/6	医療事務	10日間/1人
	中央情報経理専門学校	1	5	1/21～1/25	医療事務	5日間/1人
	群馬医療福祉大学短期大学部	1	9	2/12～2/22	医療事務	9日間/1人
	小計	6	53			
合計		733	7,979			

10. 医師臨床研修制度

平成16年4月から厚生労働省は、国民の医療に対する信頼の確保をはじめ、それまで専門分野に偏りがちだった臨床研修を大幅に見直し、専門医となる前の2年間を初期臨床研修と位置づけ必修化しました。臨床医として日常の診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できる基本的で幅広い診療能力（包括的医療）と、患者さんを身体面のみでなく、精神面からも総合的に理解しながらケアできる診療能力（全人的医療）を修得し、さらに、あたたかい人間性と広い社会性を身につけ、地域医療にも貢献できる医師を育てることが目的とされました。

当院におきましては、平成16年3月31日に厚生労働省より、臨床研修病院として認定（厚生労働省発医政第0331050号）を受け、平成27年4月1日付けで卒後臨床研修評価機構の認定病院となりました。

(1) 臨床研修の概況

研修期間割（標準）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科						救急部門			選択必修	選択必修	
2年次	地域医療	選択科目										

※ 内科Ⅰ：循環器・糖尿病 内科Ⅱ：呼吸器、血液 内科Ⅲ：腎臓・リウマチ・消化器

※ 救急は主として救急科・整形外科、脳神経外科、麻酔科で研修。また年間を通じて日直、宿直時の研修も救急研修と位置づける。

※ 選択必修科は外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科のうちから2科選択。

外科 2ヶ月、麻酔科 1ヶ月、小児科 2ヶ月、産婦人科 1ヶ月、精神科（サンピエール病院） 1ヶ月。
選択期間分を利用してさらに長期研修をすることも可能。

※ 地域医療は、附属外来センター等で行う。

※ 選択で協力型病院での研修を行う場合は、最長3ヶ月とする。

協力型病院：群馬大学医学部附属病院、群馬県立小児医療センター、サンピエール病院、公立富岡総合病院・老年病研究所附属病院

協力施設：公立藤岡総合病院附属外来センター、藤岡保健、介護老人保健施設しらさぎの里、藤岡市国民健康保険鬼石病院、緩和ケア診療所・いっぽ

(2) 研修協力

当院は、基幹型臨床研修病院として医師の初期研修に携わるほか、群馬大学医学部附属病院の協力型臨床研修病院として、同院に在籍する研修医の初期研修も行っております。

(3) プログラム責任者

役職：病院長補佐兼研修管理センター長 氏名：塚田 義人

(4) 臨床研修医受入状況

氏名	年次	期間	在籍	修了者	備考
木村 雅文	2	H16.10.1～H17.9.30(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
矢内 有紀	2	H17.4.1～H18.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
梅津 桃	2	H17.4.1～H18.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
喜多川 孝欽	1	H17.4.1～H18.3.31(1年)	群大		
逸見 大造		H17.4.1～H19.3.31(2年)	当院	◎	
長坂 江理	1	H17.4.1～H18.3.31(1年)	群大		
伴野 潤一	2	H18.4.1～H19.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
江原 佳史	1	H18.4.1～H19.3.31(1年)	群大		
中島 久仁子		H18.4.1～H20.3.31(2年)	当院	◎	
矢島 優		H18.4.1～H20.3.31(2年)	当院	◎	
越 浩美		H19.4.1～H21.3.31(2年)	当院	◎	
梅山 敦		H19.4.1～H21.3.31(2年)	当院	◎	
高橋 研吾		H19.4.1～H21.3.31(2年)	当院	◎	
重城 良国		H19.4.1～H21.3.31(2年)	当院	◎	
坂本 亮一郎	1	H19.4.1～H20.3.31(1年)	群大		
金澤 紗恵子	1	H19.4.1～H20.3.31(1年)	群大		
佐藤 成		H20.4.1～H22.3.31(2年)	当院	◎	
堀 瑞子		H20.4.1～H22.3.31(2年)	当院	◎	
廣江 孝	1	H20.4.1～H21.3.31(1年)	群大		
梅元 あずさ	2	H20.5.5～H21.3.31(11ヶ月)	群大		除く1ヶ月地域保健
高橋 駿介		H21.4.1～H23.3.31(2年)	当院	◎	
塚越 律子		H21.4.1～H23.3.31(2年)	当院	◎	
富田 庸介		H21.4.1～H23.3.31(2年)	当院	◎	
竹村 仁男		H21.4.1～H23.3.31(2年)	当院	◎	
鈴山 耕平	1	H21.4.1～H22.3.31(1年)	群大		
諏訪 絢也	1	H21.4.1～H22.3.31(1年)	群大		
日下田 大輔	2	H21.6.1～H22.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
宮地 那実		H22.4.1～H24.3.31(2年)	当院	◎	
高見 尚平	2	H22.4.1～H23.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
中田 聡	2	H22.4.1～H23.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
藍原 和史	1	H23.4.1～H24.3.31(1年)	群大		
友松 佑介		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
江原 玄		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
木村 隼人		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
萩原 慶		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
岡庭 隼		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
安藤 雅泰	2	H24.4.1～H25.3.31(11ヶ月)	群大		除く1ヶ月地域医療
齊藤 千真		H24.4.1～H26.3.31(2年)	当院	◎	

氏名	年次	期間	在籍	修了者	備考
古川 正一郎		H24. 4. 1～H26. 3. 31 (2年)	当院	◎	
小暮 正信		H24. 4. 1～H26. 3. 31 (2年)	当院	◎	
青木 雅典		H24. 4. 1～H26. 3. 31 (2年)	当院	◎	
大嶋 愛沙香	1	H24. 4. 1～H25. 3. 31 (1年)	群大		
山田 宏明	2	H25. 4. 1～H25. 3. 31 (10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地医・核医
荒木 祐樹	2	H25. 6. 1～H25. 3. 31 (9ヶ月)	群大		除く1ヶ月地域医療
寺内 祐理		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
根井 翼		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
佐々木 隆文		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
高野 順子		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
土田 圭祐	1	H25. 4. 1～H26. 3. 31 (1年)	群大		
福田 周一	2	H26. 6. 1～H27. 3. 31 (10ヶ月)	群大		除く1ヶ月藤岡保健所
宮川 真梨江	2	H26. 6. 1～H26. 8. 31 (3ヶ月)	群大		
齋藤 水絵		H26. 4. 1～H28. 3. 31 (2年)	当院	◎	
村主 遼		H26. 4. 1～H28. 3. 31 (2年)	当院	◎	
得居 俊介		H26. 4. 1～H28. 3. 31 (2年)	当院	◎	
本吉谷真理子	1	H26. 4. 1～H28. 3. 31 (1年)	群大		
高木 瑛子		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
金子 裕美		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
金井 杏奈		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
山本 ひとみ		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
船引 亮輔		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
渡邊 嘉一		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
高橋 怜真		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
平形 絢子	2	H27. 5. 1～H28. 3. 31 (11ヶ月)	群大		
木下 優実	2	H27. 6. 1～H28. 8. 31 (3ヶ月)	群大		
長又 亮	2	H27. 8. 1～H27. 10. 31 (3ヶ月)	群大		
平山 結佳子	2	H27. 10. 1～H28. 12. 31 (3ヶ月)	群大		
平山 恭平	2	H27. 12. 1～H28. 2. 29 (3ヶ月)	群大		
周藤 周	1	H28. 4. 1～H30. 3. 31 (1年)	群大		
戸村 琴音		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
板井 美紀		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
道崎 護		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
三森 亮太		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
小川 真一郎		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
丸山 篤造	1	H28. 4. 1～H29. 3. 31 (1年)	群大		
塚田 明彦	1	H28. 4. 1～H29. 3. 31 (1年)	群大		
明石 直樹	2	H28. 5. 1～H29. 3. 31 (11ヶ月)	群大		
佐藤 広宣		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	

氏名	年次	期間	在籍	修了者	備考
福田 怜雄		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
萩原 舟平		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
大枝 涼平		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
南雲 航		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
木村 健人		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
内田 美帆		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
高橋 亜実	1	H29. 4. 1～H30. 3. 31 (1年)	群大		
松本 彬	2	H29. 5. 1～H30. 3. 31 (11ヶ月)	群大		
清水 一輝	1	H30. 4. 1～H31. 3. 31 (1年)	群大		
荒巻 裕人	2	H30. 5. 1～H31. 3. 31 (11ヶ月)	群大		

平成30年度医師臨床研修関係実績

月	日	内 容
4月	2～6	辞令交付式・オリエンテーション
	5	日本光電工場見学・地域関連機関訪問
	11	新入職者接遇マナー研修
	24	グラム染色・血液型・エコー研修
5	8	群馬大学合同ガイダンス
	26	新入職者院外日帰り研修（おにし青少年野外活動センター）
6	6	藤岡多野医師会地域医療連携懇話会
	27	本庄児玉医師会地域医療連携懇話会
7	7	P S L S 講習会
	15	臨床研修病院合同ガイダンス(東京ビックサイト)
	30	医学科を目指す高校生の職場体験セミナー（参加者10名）
8	8	採用試験(1回目実施)
	20	第1回研修管理委員会
	22	採用試験(1回目実施)
	27	群馬大学医学生日帰りセミナー
9	21	マッチング中間発表
	29	群馬県臨床研修指導医養成講習会（～30日）
10	6	リレーフォーライフ（～7日）
	18	マッチング結果発表 救急車同乗実習（1年次7名参加）
11	2	群馬レジデントグランプリ発表
	3	ティアニー先生のケースカンファレンス発表
	5	第2回研修管理委員会
	17	緩和ケア講習会（～18日）
12	6	研修医症例発表会
1	21	臨床研修外部評価訪問審査
	22	基本的臨床能力評価試験実施
2	2・3	群馬大学臨床研修指導医養成講習会
	9・10	第113回 医師国家試験
3	4	第3回研修管理委員会
	10	臨床研修病院合同ガイダンス(東京ビックサイト)
	29	修了証書授与式

平成30年度 研修医研修

	開催日	名称	テーマ・内容	講師
4月	4月12日	モーニングレクチャー	血液内科医に関する最新知識	血液内科 外山医師
	4月19日	モーニングレクチャー	救急科に関する最新知識	救急科 神戸医師
	4月23日	研修医懇談会レクチャー	輸液について	塚田病院長補佐
	4月23日	院内学術集談会	せん妄について	心療内科 五十嵐医師
	4月26日	モーニングレクチャー	糖尿病内科に関する最新知識	糖尿病内科 今村医師
5月	5月10日	モーニングレクチャー	血液内科に関する最新知識	血液内科 外山医師
	5月10日	M&Mカンファレンス	①憩室炎 腹部大動脈破裂 ②誤嚥性肺炎 肺結核	外科 原口医師 呼吸器内科 中川医師
	5月17日	モーニングレクチャー	救急科に関する最新知識	救急科 神戸医師
	5月24日	モーニングレクチャー	糖尿病に関する最新知識	糖尿病内科 今村医師
	5月28日	研修医懇談会レクチャー	小児科救急診療のイロハのロ	小児科 渡部医師
	5月28日	院内学術集談会	带状疱疹ワクチンについて	皮膚科 嶋岡医師
6月	6月7日	モーニングレクチャー	血液内科に関する最新知識	血液内科 外山医師
	6月1日	Training for Safety Use 2018	糸結び 皮膚縫合(皮膚モデル)	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	6月14日	モーニングレクチャー	救急科に関する最新知識	救急科 神戸医師
	6月15日	Training for Safety Use 2018	真皮縫合(豚皮)	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	6月19日	キャンサーボード	①悪性リンパ腫 ②直腸癌、肝転移	血液内科 中山医師 外科 熊倉医師
	6月21日	モーニングレクチャー	糖尿病に関する最新知識	糖尿病内科 今村医師
	6月22日	Training for Safety Use 2018	血管吻合 トロカー固定と小切開閉創	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	6月25日	研修医懇談会レクチャー	「肺炎について」	呼吸器内科 梅津医師
	6月25日	院内学術集談会	口腔癌及び口腔癌の標準治療について	歯科口腔外科 高山医師
	7月	7月5日	モーニングレクチャー	血液内科医に関する最新知識
7月12日		M&Mカンファレンス	①顕微鏡的多発性血管炎、肺胞出血 ②多発腫瘍	腎臓内科 茂木医師 泌尿器科 金山医師
7月12日		モーニングレクチャー	救急科に関する最新知識	救急科 神戸医師
7月13日		Training for Safety Use 2018	真皮縫合(豚皮) 消化管吻合(豚食道)	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
7月19日		モーニングレクチャー	糖尿病に関する最新知識	糖尿病内科 今村医師
7月23日		研修医懇談会レクチャー	診療情報提供書について	外科 森永医師
7月23日		院内学術集談会	妊婦と麻疹	産婦人科 小松医師
8月16日		モーニングレクチャー	NSTに関する最新知識	NST 中村医師
8月	8月21日	キャンサーボード	①肺小細胞癌 ②卵巣がん	呼吸器内科 梅津医師 産婦人科 似内医師
	8月23日	モーニングレクチャー	救急に関する最新知識	救急科 神戸医師
	8月27日	研修医懇談会レクチャー	妊娠と薬剤	産婦人科 似内医師
	8月27日	院内学術集談会		安全・感染研修会
	8月30日	モーニングレクチャー	糖尿病に関する最新知識	糖尿病内科 今村医師
	9月	9月6日	モーニングレクチャー	血液内科に関する最新知識
9月13日		M&Mカンファレンス	①悪性リンパ腫 ②左大腿骨骨折	血液内科 松村医師 整形外科 萩原医師
9月13日		モーニングレクチャー	救急に関する最新知識	救急科 神戸医師
9月20日		モーニングレクチャー	NST	NST 中村医師
9月25日		研修医懇談会レクチャー	術前評価と術前検査	麻酔科 田口医師
9月25日		院内学術集談会	カテーテルトラブル	泌尿器科 金山医師
10月	10月4日	モーニングレクチャー	血液内科に関する最新知識	血液内科 外山医師
	10月11日	モーニングレクチャー	救急に関する最新知識	救急科 神戸医師
	10月12日	緩和ケア研究会		いっぼ 小笠原先生
	10月18日	モーニングレクチャー	NST	NST 中村医師
	10月16日	キャンサーボード	①胸部下部食道癌 ②右頭頂葉腫瘍	放射線科治療医師 塩谷医師 脳外科医師 小島医師
	10月22日	研修医懇談会レクチャー	漢方勉強会	ツムラ担当者
	10月22日	院内学術集談会	当院における緩和ケアについて	緩和ケアセンター 古池師長

	開催日	名称	テーマ・内容	講師
11月	11月1日	モーニングレクチャー	血液内科に関する最新知識	血液内科 外山医師
	11月2日	群馬レジデントグランプリ	発表「先生お腹が痛いんです」	研修医1年次7名
	11月8日	モーニングレクチャー	救急に関する最新知識	救急科 神戸医師
	11月8日	M&Mカンファレンス	①CPA ②ショック	外科 原田医師 循環器内科 小野医師
	11月26日	研修医懇談会レクチャー	けいれん発作について	脳外科 甲賀医師
	11月26日	院内学術集談会	小児の急成虫垂炎の画像診断	外科 菊地医師
12月	12月6日	モーニングレクチャー	血液内科に関する最新知識	血液内科 外山医師
	12月13日	モーニングレクチャー	救急科に関する最新知識	救急科 神戸医師
	12月18日	キャンサーボード	①転移性腎癌 ②肺腺癌	泌尿器科 金山医師 呼吸器内科 内田医師
	12月20日	モーニングレクチャー	NST	NST 中村医師
	12月25日	研修医懇談会レクチャー	頻尿症状（本当は怖い頻尿）	泌尿器科 坂本医師
	12月25日	院内学術集談会	頭部単純CT	脳神経外科 小島医師
1月	1月10日	モーニングレクチャー	血液内科に関する最新知識	血液内科 外山医師
	1月17日	モーニングレクチャー	救急科に関する最新知識	救急科 神戸医師
	1月24日	モーニングレクチャー	NST	NST 中村医師
	1月28日	研修医懇談会レクチャー	当院における急性冠症候群冠動脈CTの有効利用	循環器内科 井上医師
	1月28日	院内学術集談会	院内感染について	前橋日赤病院 林医師
2月	2月7日	モーニングレクチャー	血液内科に関する最新知識	血液内科 外山医師
	2月19日	キャンサーボード	①末梢性T細胞リンパ腫 ②胃癌	血液内科 中山医師 外科 熊倉医師
	2月21日	モーニングレクチャー	救急科に関する最新知識	救急科 神戸医師
	2月25日	研修医懇談会レクチャー	ヘリコバクターピロリ感染症について	消化器内科 山口医師
	2月25日	院内学術集談会	薬剤によってひきおこされる腎機能障害	腎臓内科 松崎医師
3月	3月7日	モーニングレクチャー	血液内科に関する最新知識	血液内科 外山医師
	3月14日	モーニングレクチャー	救急科に関する最新知識	救急科 神戸医師
	3月14日	M&Mカンファレンス	①悪性胸膜中皮腫 ②くも膜下出血	呼吸器内科 中川医師 脳神経外科 若林医師
	3月25日	研修医懇談会レクチャー	特発性膝骨壊死について	整形外科 萩原医師
	3月25日	院内学術集談会	嚥下内視鏡検査と嚥下造影検査	リハビリテーション科 有井医師
	3月28日	モーニングレクチャー	NST	NST 中村医師

第 1 3 回公立藤岡総合病院研修医症例発表会抄録

平成 30 年 12 月 6 日 (木) 19:00~

公立藤岡総合病院 大会議室

1. 左前下行枝に亜完全閉塞を伴った 33 歳急性下壁心筋梗塞の一例

半田 敬祐

【症例】33 歳、男性【主訴】前胸部痛【現病歴】20XY 年 10 月中旬より 1 日 1 回程度胸を締め付けられるような前胸部痛を生じるようになった。症状は体動・安静に関わらず出現し、5 分程度で改善した。同月 27 日 15:00 頃より同様の胸痛が出現し、1 時間近く持続したため当院を受診した。【臨床経過】来院時の心電図でⅡ、Ⅲ、aVf、V5、V6 の ST 上昇を認め、心エコーでは下壁～後側壁の収縮能低下を認めた。造影 CT で大動脈解離を否定し緊急心臓カテーテル検査を施行した。左前下行枝(LAD)#7 に 99%の亜完全閉塞、左回旋枝(LCX)#13 に 100%の完全閉塞を認めた。同日 LCX に経皮的冠動脈インターベンション(PCI)による再灌流療法(LCX#13:100%→0%)を行い、入院 20 日目に LAD に PCI を行い治療した(LAD#7:99%→0%)。良好に経過し入院 24 日目に退院した。

【考察】40 歳未満で急性心筋梗塞(AMI)を発症するのは一般的に男性が 1.2%、女性が 0.2%と比較的稀であると報告されている。最近 6 年間で当院に入院した AMI の 522 症例を検討すると、40 歳未満の症例は 12 例であった。個々の症例の特徴を検討すると 10 例は通常の動脈硬化性病変、もう 1 例は川崎病、もう 1 例は何らかの血管炎を示唆する冠動脈所見であった。本症例の冠動脈は通常の動脈硬化像を呈していた。

2. 自己免疫性血球減少との鑑別に苦慮した血栓性血小板減少性紫斑病

反町 隼人

【症例】61 歳、男性。【主訴】黒色便、倦怠感。【現病歴】20XY 年 7 月 9 日から倦怠感を自覚していた。11 日に黒色便を認めた。12 日、近医の血液検査で WBC 12300/ μ L、Hb 12.5g/dL、Plt. 4.9 万/ μ L と汎血球減少を認め当院紹介、緊急入院となった。【臨床経過】初診時の検査では血小板減少、溶血性貧血、直接 Coombs 試験陽性、破碎赤血球を認めず、免疫性血小板減少症(ITP)と自己免疫性溶血性貧血(AIHA)を合併した Evans 症候群と診断し治療を開始した。消化管出血のためステロイドの使用が難しいため第 4 病日より大量 γ グロブリン療法を開始し、GIF で消化性潰瘍の止血を確認後、第 6 病日から PSL1 mg/kg/day を開始した。しかし血小板減少や溶血所見の改善は認めなかった。第 11 病日に動揺性精神神経症状が出現し、頭部 MRI では右小脳に微小脳梗塞を認めた。第 12 病日の末梢血スメアで破碎赤血球を認め、ADAMTS13 の活性を提出したところ ADAMTS13 活性 1%、ADAMTS13 抗体陽性であった。以上より後天性 TTP の診断となり、第 13 病日より血漿交換を開始した。治療後は一過性に改善を認めたが不応性となり、難治性 TTP の状態と考え、リツキシマブによる治療のため第 19 病日に大学病院へ転院となった。【考察】初診時の検査で Coombs 試験陽性で破碎赤血球を認めない TTP 症例を経験した。TTP と Evans 症候群の鑑別に苦慮した場合は ADAMTS13 の検査を早急に行うことで、TTP の早期発見および治療に結びつくものと考えられる。

3. 間質性肺炎の経過中に急性呼吸不全を呈した1例

根岸 佳那

【症例】78歳男性【主訴】労作時呼吸困難【現病歴】X-5年、間質性肺炎の診断で呼吸器内科通院。X-1年にHOT導入、X年1月、抗線維化薬ピルフェニドンを内服開始した。2月より進行性の呼吸困難を自覚し、10月29日当院を臨時受診した。血液検査では炎症反応の上昇を認め、単純CTでは一部すりガラス状陰影の増加があり、間質性肺炎の増悪、細菌性肺炎の合併が考えられた。D-dimerは1.5 µg/mlと軽度の上昇であったが、心電図・心エコーでD-sharp等右室負荷所見を認め、造影CTを施行したところ左肺動脈に造影欠損像を認めた。抗凝固薬の投与により造影欠損像は縮小傾向となった。心エコーでも心負荷所見は軽減がみられた。【考察】間質性肺炎の経過中、急性呼吸不全を呈した症例を経験した。当初、原病の増悪を疑ったが肺血栓塞栓症を合併していた。既往疾患にとらわれることなく、各種検査から疑わしい所見が得られた際には、積極的に他疾患も鑑別にあげることが重要であり、文献的考察とともに報告する。

4. 下腿浮腫の症状から診断に至った全身性エリテマトーデスの症例

河野 慧

【症例】43歳女性【主訴】両下腿浮腫【現病歴】2ヶ月前より咳嗽と前胸部の皮疹が出現し、10日前より両下腿に浮腫が出現した。前医で尿蛋白を指摘され両下腿浮腫と蛋白尿の精査目的に当院紹介受診となった。【現症】血圧151/91 mmHg, 体温37.3℃, 顔面の蝶形紅斑, 前胸部の紅斑, 下腿に著明な浮腫を認めた。【検査】総蛋白4.8 g/dL, アルブミン1.5 g/dL, T-Chol 234 mg/dL, 抗核抗体640倍, 抗dsDNA抗体400 IU/mL以上, 抗SS-A抗体377 U/mL, 尿蛋白/Cr 6.31 g/gCr, 胸部CTで両側胸水貯留, 心嚢水貯留を認めた。【経過】アメリカリウマチ学会SLE診断基準7項目/11項目を満たし, 全身性エリテマトーデス(SLE)と診断し, 腎生検でループス腎炎Class IV-G A/Cと診断された。メチルプレドニゾロン(mPSL) 500 mg 3日間のパルス療法施行後, 後療法としてPSL 40 mg/日, ミコフェノール酸モフェチル(MMF) 500 mg/日の内服を開始した。その後, MMFは1500 mg/日まで増量, ヒドロクロロキン(HCQ) 200/400 mg 隔日内服を開始した。治療開始後, 浮腫は消失し全身状態は改善傾向にある。【考察】SLEの治療は, 近年様々な免疫抑制剤の開発により治療の選択肢が増え, 高い寛解率を達成することが可能となっている。今回の症例においても新規治療薬であるMMF, HCQを使用し, 臨床症状が改善傾向にある。

5. 可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎・脳症を合併した急性巣状細菌性腎炎の男児例

青木 友紀

はじめに、可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎・脳症（MERS）はウイルス感染が原因となる場合が多く、細菌感染が原因のものは稀である。今回、MERSを合併した急性巣状細菌性腎炎の症例を経験した。

症例は8歳男児。入院前日からの発熱と炎症反応の著明高値のため、紹介入院となった。身体所見、検査所見で明らかな感染源は特定できなかった。不明熱としてCTX 1.5g/dayで治療を開始したが、同日夜より尿失禁・見当識障害等の意識障害を生じた。熱源検索目的に腹部CT、意識障害の原因検索目的に頭部MRI検査を行い、それぞれ左腎の巣状に広がる造影低下域と拡散強調画像での脳梁膨大部の高信号領域を認めた。以上より、急性巣状細菌性腎炎とMERSと診断した。その後は抗菌薬の治療の継続で意識状態の回復と解熱が得られた。入院9日目のMRIでは脳梁膨大部病変は消失していた。その後は全身状態も良好で入院10日目に外泊後、退院とした。

脳炎・脳症を合併した急性巣状細菌性腎炎の症例の報告は少ないものの散見されており、今回文献的考察を加えてここに報告する。

6. 膵臓癌に合併した肺髄膜腫様結節の1例

坂本 康大

【症例】71歳女性【主訴】全身倦怠感、黄疸【現病歴】2週間前より持続する倦怠感のため前医を受診。血液検査で肝胆道系酵素の上昇、腹部エコーで胆管拡張を認め、精査加療目的に当院外科紹介受診。【検査】血液検査でT-Bil 4.3mg/dl、AST 359 IU/L、ALT 460 IU/L、ALP 1978 IU/L、 γ -GTP 1044 IU/Lと肝胆道系酵素の上昇を認め、腫瘍マーカーはCA19-9 977.1 U/ml、CEA 19.2ng/mlと上昇を認めた。腹部CTでは膵頭部に造影効果のある腫瘤性病変を認め、膵癌の診断となり、明らかなリンパ節転移は認めなかった。胸部CTでは両側肺野にびまん性の小結節影を多数認め、画像からは細気管支炎、血行性転移の可能性が示唆された。【経過】膵癌治療方針決定のために肺結節の精査が必要であり、胸腔鏡下肺部分切除術を施行し、微小肺髄膜腫様結節の診断となった。肺結節は良性疾患であり、転移ではなかったため、肺切除13日後に膵癌に対して膵頭十二指腸切除術を施行した。病理ではpT3N1M0 StageIIBの診断となった。【考察】肺髄膜腫様結節は画像検査で偶発的に発見されることのある疾患であり、画像所見からは血行性転移との鑑別を要する。本症例では胸腔鏡下で肺生検を行い、髄膜腫瘍結節の診断を行い、早期に膵癌の治療を行うことができた。本症は癌との合併も多く、肺癌、乳癌、甲状腺癌、大腸癌との合併の報告はあるが、膵癌との合併の報告はなく、本症例は希少な症例と思われる。

7. 再発を繰り返す脳梗塞の診断と治療 塞栓源不明脳梗塞の1例

清水 一輝

【症例】86歳男性【主訴】右上肢麻痺、失語、構音障害【現病歴】2018年X月Y日、8時30分に歯磨きをしていたところ突然の右上肢動作不良を自覚したため当院へ救急搬送となった。【既往歴】脳梗塞3回(2002年:左後頭葉梗塞 2005年:右後頭葉梗塞 2006年:TIA)、高血圧、糖尿病【内服】バイアスピリ、プレタール、アムロジピン、エナラプリルマレイン酸【ADL】自立【来院時経過】神経所見として右上肢軽度麻痺・感覚障害、構音障害、視野障害を認め、NIHSS 8点であった。頭部CT/MRIでは多発する陳旧性皮質梗塞と左中心領域の新規皮質梗塞を認めた。脳血管に閉塞・狭窄はなし。血液検査ではBNP、D-dimerなどの異常所見を認めなかった。tPA禁忌項目なく、10時25分からtPA静注療法を開始し神経所見は改善を認めた。【入院後経過】画像所見から塞栓性脳梗塞と判断し、塞栓源検索、凝固異常精査を行った。心エコー検査では軽度左心房拡大を認めたがその他に所見なく、心電図/ホルター心電図では不整脈を検出しなかった。CTAで動脈に異常はなく、凝固検査でも異常を認めなかった。塞栓源不明脳梗塞(ESUS)と考え抗血小板剤を抗凝固剤に変更し第10病日に独歩退院とした。【考察】脳梗塞で原因が特定できないものは全体の約25%程度と言われている。その多くは塞栓性の機序と考えられ、ESUSという疾患概念が提唱されている。原因として潜在性発作性心房細動が高頻度と考えられており、本症例のように再発を繰り返す例も少なくない。病型診断が再発予防治療の選択に非常に重要となることを学べた一例を報告する。

8. MEN1を併存疾患にもつ左尿管癌の1例

荒巻 裕斗

多発神経内分泌腫瘍症1型(MEN1)を併存疾患に持つ左尿管癌の症例を経験した。

症例は69歳女性。甲状腺腫の術後フォロー中のCTで左尿管に腫瘍性病変を指摘され当院泌尿器科を受診した。細胞診や経尿道的膀胱腫瘍切除術の結果左尿管癌と診断され手術目的に入院となった。

併存疾患としてMEN1による成長ホルモン産生性下垂体腫瘍、副甲状腺機能亢進症(甲状腺術後により低下症となっている)や高血圧症、2型糖尿病、甲状腺機能低下症、統合失調症など多数の疾患を有していたが周術期に各診療科に併診していただいたことで、大きな問題なく左腎尿管全摘術を施行することができた。多数の並存疾患を有する患者に手術療法を行う際には各診療科と協力し合いながら周術期管理を行なっていくことが大切だと考える。

VI 購入図書

国内雑誌

雑誌名	
1. 外科	23. Lisa
2. 麻酔	24. 消化器内視鏡
3. 周産期医学	25. 地域医療連携入退院支援
4. 手術	26. ナースマネージャー
5. 腎と透析	27.
6. レジデントノート	28. 小児内科
7. 臨床婦人科産科	29. 日経DI
8. Journal of clinical rehabilitation	30. 胸部外科
9. メディカルテクノロジー	31. 小児科
10. 病理と臨床	32. 画像診断
11. インナービジョン	33. 臨床画像
12. 映像情報 Medical	34. 月刊新医療
13. 医薬ジャーナル	35. 心臓
14. 日本医事新報	36. メディカルテストジャーナル
15. エキスパートナース	37. 切り抜き速報 医療と安全総集編
16. 医事業務	38. 呼吸器内科
17. ペインクリニック	39. 臨床精神薬理
18. NHK 今日の健康	40. 緩和ケア
19. ヘルスケアレストラン	41. 心エコー
20. 月刊保険診療	42. 栄養と料理
21. Coronary Intervention	43. 地方公務員月報
22. クリニカルエンジニアリング	44. プロフェッショナルがんナーシング

国外雑誌

雑誌名
1. American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine
2. Arthritis and Rheumatism
3. Blood
4. British Journal of Hematology :bjh
5. Circulation
6. The Journal of Pediatrics
7. The New England Journal of Medicine
8. Journal of American College of Cardiology : JACC
9. Journal of American Society of Nephrology :JASN
10. Leukemia
11. Pediatrics
12. The American Journal of Surgical Pathology
13. The Lancet
14..Journal of Orthopaedic Science
15.The Journal of Bone & Joint Surgery:A
16.The Journal of Bone & Joint Surgery:B
17.Chest
18.Journal of Neurosurgery(Spine,Pediatrics)

VII 経営状況

1. 損益計算書

(単位：千円、%)

区分	平成28年度	平成29年度		平成30年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
病院事業収益	10,869,484	10,897,284	100.3	11,020,247	101.1
医業収益	10,228,894	10,053,982	98.3	10,414,999	103.6
入院収益	6,656,404	6,536,773	98.2	6,794,663	103.9
外来収益	3,110,564	3,043,872	97.9	3,099,348	101.8
その他医業収益	461,926	473,337	102.5	520,988	110.1
医業外収益	606,262	774,581	127.8	476,140	61.5
受取利息及び配当金	2,871	227	7.9	243	107.0
補助金	36,709	37,129	101.1	42,714	115.0
他会計負担金	202,465	244,213	120.6	160,551	65.7
長期前受金戻入	293,900	405,952	138.1	212,613	52.4
その他医業外収益	70,317	87,060	123.8	60,019	68.9
特別利益	34,328	68,721	200.2	129,107	187.9
固定資産売却益	56	0	—	0	—
過年度損益修正益	0	29	—	0	—
その他特別利益	34,272	68,692	200.4	129,107	188.0
病院事業費用	10,674,358	11,676,257	109.4	11,249,232	96.3
医業費用	10,010,315	10,434,447	104.2	10,757,716	103.1
給与費	5,206,586	5,297,257	101.7	5,437,804	102.7
材料費	2,457,853	2,555,768	104.0	2,549,677	99.8
経費	1,552,928	1,564,757	100.8	1,487,396	95.1
減価償却費	730,382	797,584	109.2	1,226,186	153.7
資産減耗費	11,045	174,232	1,577.5	9,064	5.2
研究研修費	31,095	24,423	78.5	27,161	111.2
長期前払消費税償却	20,426	20,426	100.0	20,426	100.0
医業外費用	662,945	1,241,414	187.3	491,245	39.6
支払利息及び企業債取扱諸費	127,314	147,515	115.9	171,088	116.0
雑損失	1,135	21,200	1,867.8	100	0.5
雑支出	534,496	1,072,699	200.7	320,057	29.8
特別損失	1,098	396	36.1	271	68.4
固定資産売却損	0	0	—	0	—
過年度損益修正損	1,098	396	36.1	271	68.4
その他特別損失	0	0	—	0	—
収支差引	195,126	△ 778,973	—	△ 228,985	—

2. 貸借対照表

(単位：千円、%)

区分	平成28年度	平成29年度		平成30年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
固定資産	12,106,985	21,110,590	174.4	19,915,614	94.3
有形固定資産	11,381,078	20,308,091	178.4	19,151,204	94.3
土地	1,525,191	1,738,571	114.0	1,738,571	100.0
建物	12,778,637	22,665,336	177.4	22,665,336	100.0
構築物	601,740	785,449	130.5	913,339	116.3
器械備品	5,704,407	5,289,082	92.7	5,334,658	100.9
車両	10,917	10,811	99.0	10,811	100.0
リース資産	424,027	204,069	48.1	204,069	100.0
減価償却累計額	12,290,345	10,507,057	85.5	11,715,580	111.5
建設仮勘定	2,626,504	121,830	4.6	0	—
無形固定資産	5,685	102,703	1,806.6	85,040	82.8
投資	720,222	699,796	97.2	679,370	97.1
流動資産	7,178,277	6,609,504	92.1	6,385,012	96.6
現金預金	4,999,504	4,484,919	89.7	4,339,506	96.8
未収金	2,031,618	1,983,227	97.6	1,922,189	96.9
有価証券	1,000	1,000	100.0	1,000	100.0
貯蔵品	135,587	129,277	95.3	111,641	86.4
前払費用	10,568	11,081	104.9	10,676	96.3
資産合計	19,285,262	27,720,094	143.7	26,300,626	94.9
固定負債	9,899,839	20,483,552	206.9	19,033,790	92.9
企業債	7,293,173	18,112,689	248.4	16,843,558	93.0
リース債務	4,815	0	—	0	—
退職者給与引当金	2,601,851	2,370,863	91.1	2,190,232	92.4
流動負債	3,755,339	2,387,415	63.6	2,613,051	109.5
企業債	2,542,996	845,021	33.2	1,269,132	150.2
リース債務	7,303	4,815	65.9	0	—
未払金	876,367	1,191,856	136.0	935,723	78.5
引当金	285,648	298,911	104.6	314,192	105.1
その他流動負債	43,025	46,812	108.8	94,004	200.8
繰延収益	876,807	852,195	97.2	851,663	99.9
長期前受金	6,604,862	7,054,894	106.8	7,396,083	104.8
長期前受金収益化累計額	△ 5,728,055	△ 6,202,699	—	△ 6,544,420	—
資本金	959,515	959,515	100.0	959,515	100.0
自己資本金	959,515	959,515	100.0	959,515	100.0
剰余金	3,793,762	3,037,417	80.1	2,842,607	93.6
資本剰余金	1,846,069	1,874,282	101.5	1,902,872	101.5
利益剰余金	1,947,693	1,163,135	59.7	939,735	80.8
負債資本合計	19,285,262	27,720,094	143.7	26,300,626	94.9

3. 経営分析

区分	備考	平成28年度	平成29年度	平成30年度
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$	24.6%	14.4%	17.7%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	191.1%	276.8%	244.4%
現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	133.1%	187.9%	166.1%
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	101.8%	93.3%	98.0%
医業収支比率	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$	102.2%	96.4%	96.8%
病床利用率	一般	89.2%	86.4%	89.9%
1日平均患者数	入院	348.6人	337.6人	326.8人
	入院診療日数	365日	365日	365日
	外来	881.9人	858.0人	819.2人
	外来診療日数	243日	242日	244日
患者1人1日当り診療収入	入院	56,014円	57,088円	56,966円
	外来	14,515円	14,659円	15,506円
医業収益に対する割合	職員給与費	50.9%	52.7%	52.2%
	薬品費	16.2%	16.6%	16.6%
患者1人1日当り薬品費	投薬	674円	750円	755円
	注射	3,528円	3,499円	3,602円

VIII 業務統計

1. 入院・外来患者の状況

(1) 入院延べ患者数

(単位：人)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
内科	4,567	4,491	4,249	4,604	4,615	4,278	4,266	4,399	4,369	4,625	4,455	4,330	53,248	145.9
小児科	282	327	334	424	414	356	416	343	442	275	286	276	4,175	11.4
外科	1,432	1,330	1,221	1,496	1,610	1,407	1,426	1,565	1,607	1,440	1,400	1,396	17,330	47.5
整形外科	1,451	1,349	1,440	1,260	1,560	1,289	1,252	1,479	1,397	1,313	1,088	1,297	16,175	44.3
産婦人科	361	300	249	474	404	300	301	235	294	266	214	253	3,651	10.0
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
脳外科	1,150	1,471	1,562	1,679	1,730	1,710	1,569	1,369	1,427	1,784	1,445	1,355	18,251	50.0
眼科	9	15	21	13	16	12	11	18	14	22	14	19	184	0.5
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
泌尿器科	370	326	386	426	450	272	392	331	367	450	370	315	4,455	12.2
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
皮膚科	22	37	11	41	12	30	5	0	0	0	0	13	171	0.5
放診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
救急科	131	92	167	120	119	146	130	140	86	93	109	119	1,452	4.0
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
放治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
歯科口腔外科	0	3	13	21	14	20	21	33	30	7	4	17	183	0.5
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	9,775	9,741	9,653	10,558	10,944	9,820	9,789	9,912	10,033	10,275	9,385	9,390	119,275	326.8
1日平均	325.8	314.2	321.8	340.6	353.0	327.3	315.8	330.4	323.6	331.5	335.2	302.9	326.8	
新生児	127	71	54	126	91	92	84	82	82	77	60	74	1,020	2.8

(2) 入院実患者数

(単位：人)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
内科	296	313	290	349	283	276	312	316	289	321	295	310	3,650	10.0
小児科	41	48	49	56	74	61	52	47	66	57	39	40	630	1.7
外科	133	140	126	142	150	116	139	147	133	144	119	122	1,611	4.4
整形外科	80	63	70	77	76	58	76	83	80	62	72	91	888	2.4
産婦人科	47	38	36	53	51	37	43	38	45	43	26	35	492	1.3
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
脳外科	50	63	50	44	58	55	49	45	69	64	47	64	658	1.8
眼科	9	15	21	13	16	12	11	18	14	22	14	19	184	0.5
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
泌尿器科	47	50	49	55	56	42	50	44	50	52	41	43	579	1.6
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
皮膚科	1	1	2	1	3	0	0	0	0	0	0	2	10	0.0
放診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
救急科	16	12	15	15	12	12	13	13	7	16	13	12	156	0.4
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
放治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
歯科口腔外科	0	1	4	4	2	4	3	6	3	3	2	4	36	0.1
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	720	744	712	809	781	673	748	757	756	784	668	742	8,894	24.4
1日平均	24.0	24.0	23.7	26.1	25.2	22.4	24.1	25.2	24.4	25.3	23.9	23.9	24.4	

(3) 診療科別延べ入院患者数

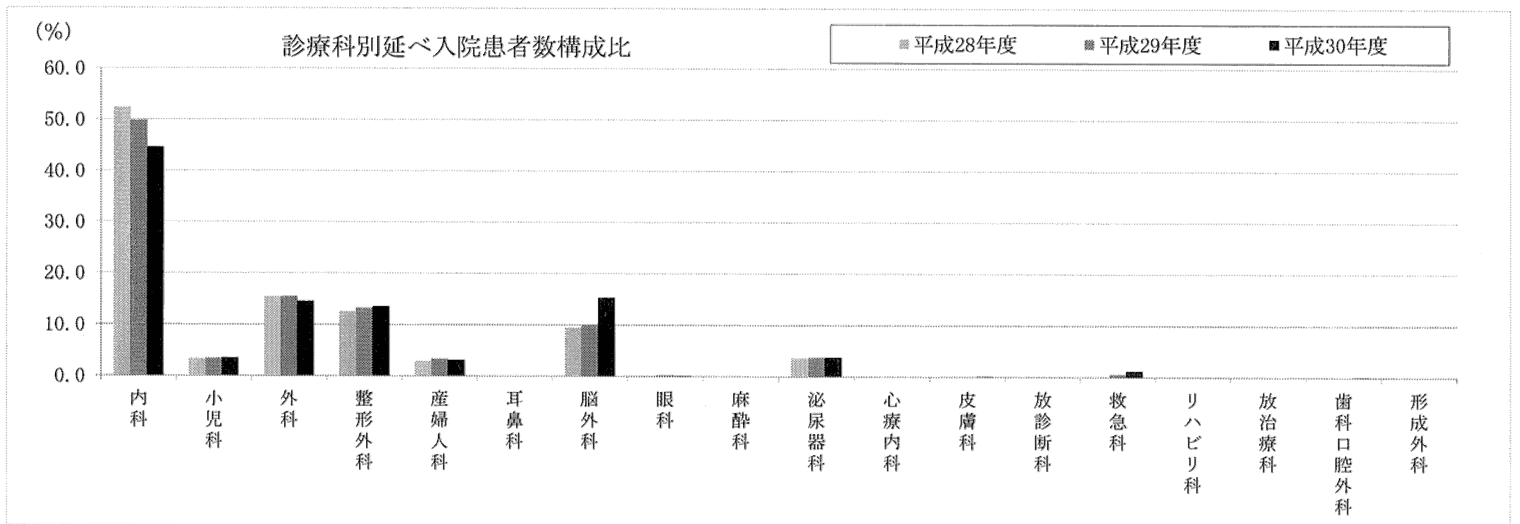
(単位：人)

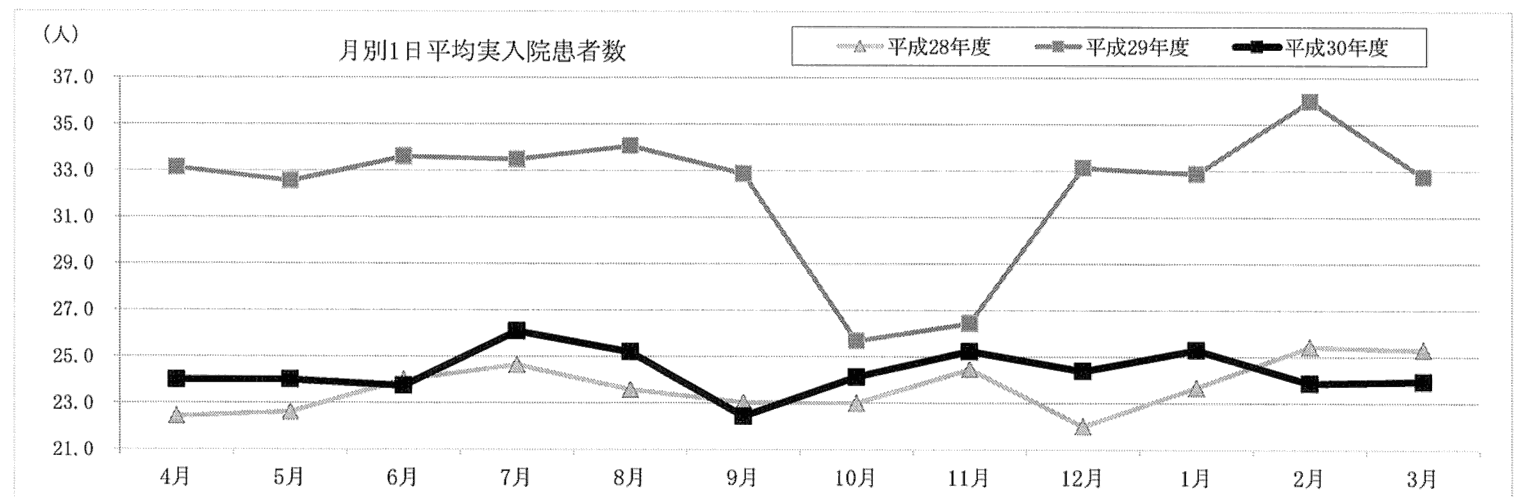
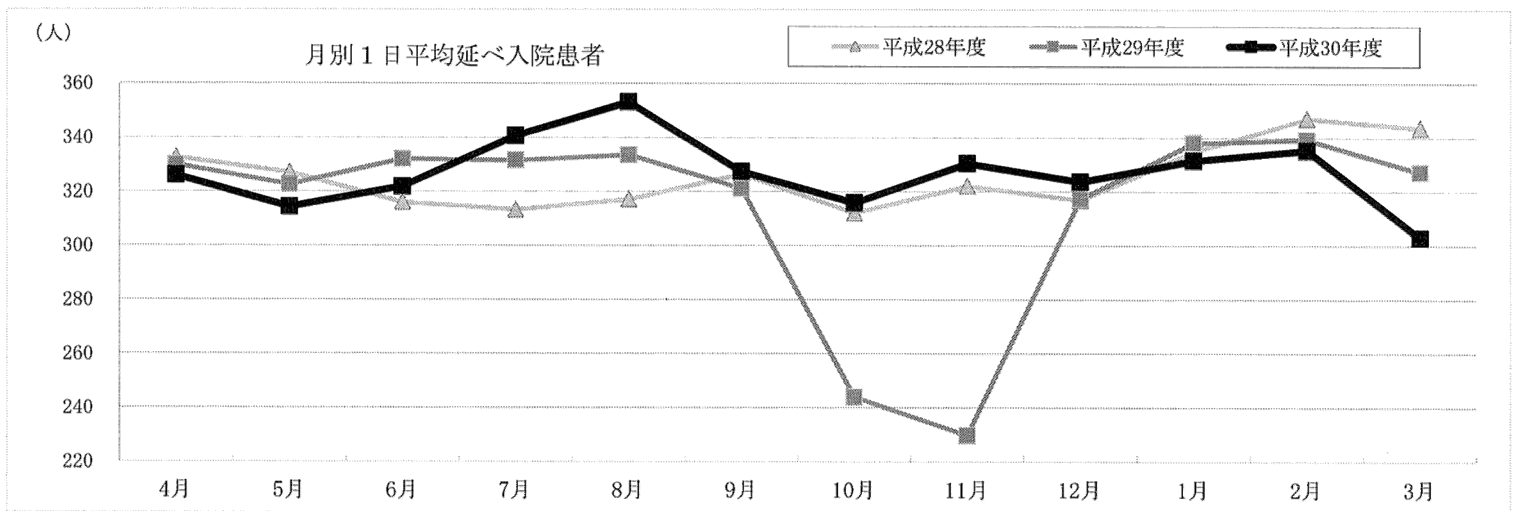
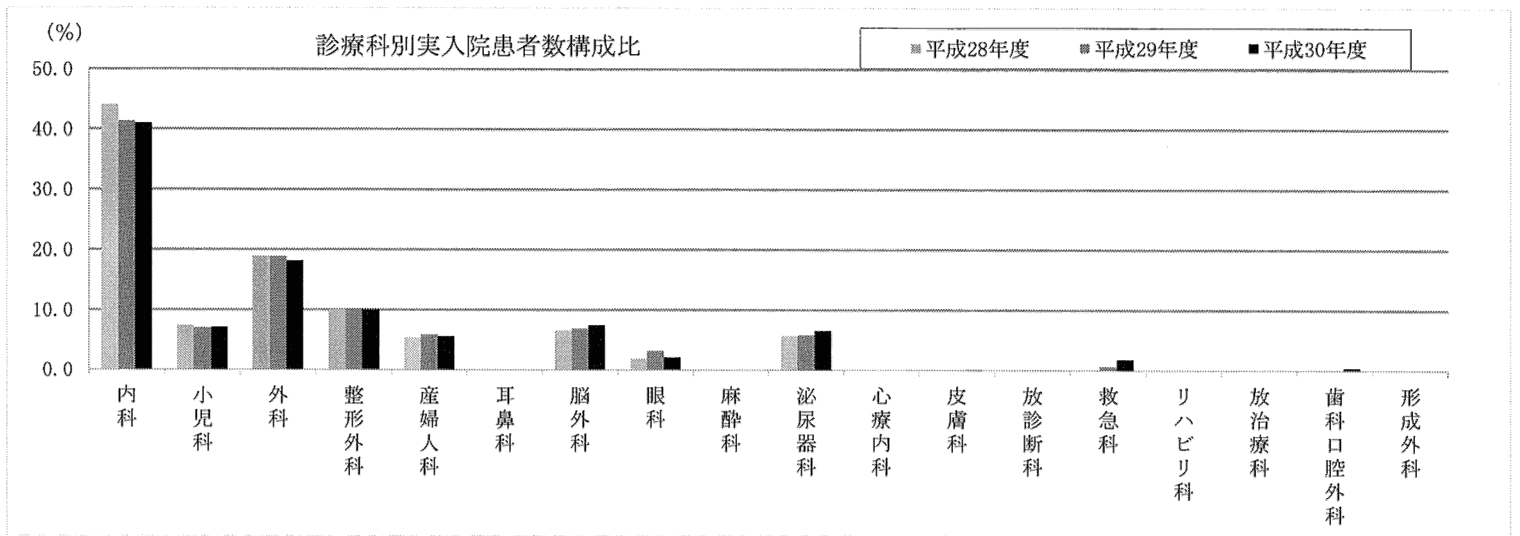
		内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放治療科	歯科口腔科	形成外科	合計	
28年度	患者数	62,319	3,960	18,350	14,958	3,472	0	11,242	310	0	4,223	0	0	0	0	0	0	0	0	0	118,834
	1日平均	170.7	10.8	50.2	40.9	9.5	0.0	30.8	0.8	0.0	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	325.6
	構成比(%)	52.4	3.3	15.4	12.6	2.9	0.0	9.5	0.3	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
29年度	患者数	57,081	3,929	17,753	15,168	3,898	0	11,425	302	0	4,274	0	35	0	624	14	0	0	0	0	114,503
	1日平均	156.4	10.8	48.7	41.6	10.7	0.0	31.3	0.8	0.0	11.7	0.0	0.1	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	313.7
	構成比(%)	49.9	3.4	15.5	13.2	3.4	0.0	10.0	0.3	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
30年度	患者数	53,248	4,175	17,330	16,175	3,651	0	18,251	184	0	4,455	0	171	0	1,452	0	0	183	0	0	119,275
	1日平均	145.9	11.4	47.5	44.3	10.0	0.0	50.0	0.5	0.0	12.2	0.0	0.5	0.0	4.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	326.8
	構成比(%)	44.6	3.5	14.5	13.6	3.1	0.0	15.3	0.2	0.0	3.7	0.0	0.1	0.0	1.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	100.0

(4) 診療科別実入院患者数

(単位：人)

		内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放治療科	歯科口腔科	形成外科	合計	
28年度	患者数	3,806	637	1,636	872	466	0	569	155	0	498	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,639
	1日平均	10.4	1.7	4.5	2.4	1.3	0.0	1.6	0.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.7
	構成比(%)	44.1	7.4	18.9	10.1	5.4	0.0	6.6	1.8	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
29年度	患者数	3,682	627	1,679	897	522	0	610	286	0	516	0	2	0	59	1	0	0	0	0	8,881
	1日平均	10.1	1.7	4.6	2.5	1.4	0.0	1.7	0.8	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.3
	構成比(%)	41.4	7.1	18.9	10.1	5.9	0.0	6.9	3.2	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
30年度	患者数	3,650	630	1,611	888	492	0	658	184	0	579	0	10	0	156	0	0	36	0	0	8,894
	1日平均	10.0	1.7	4.4	2.4	1.3	0.0	1.8	0.5	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	24.4
	構成比(%)	41.0	7.1	18.1	10.0	5.5	0.0	7.4	2.1	0.0	6.5	0.0	0.1	0.0	1.8	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	100.0





(5) 外来患者数

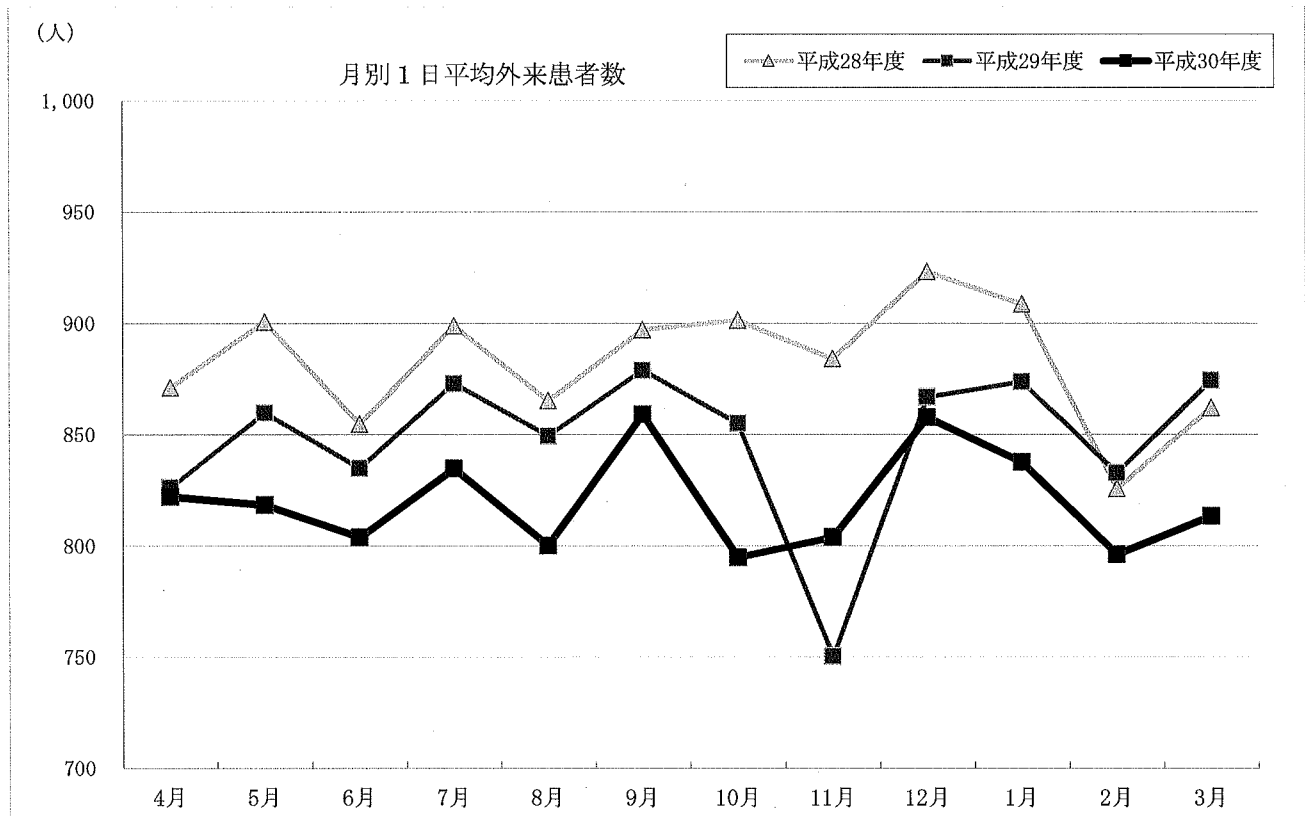
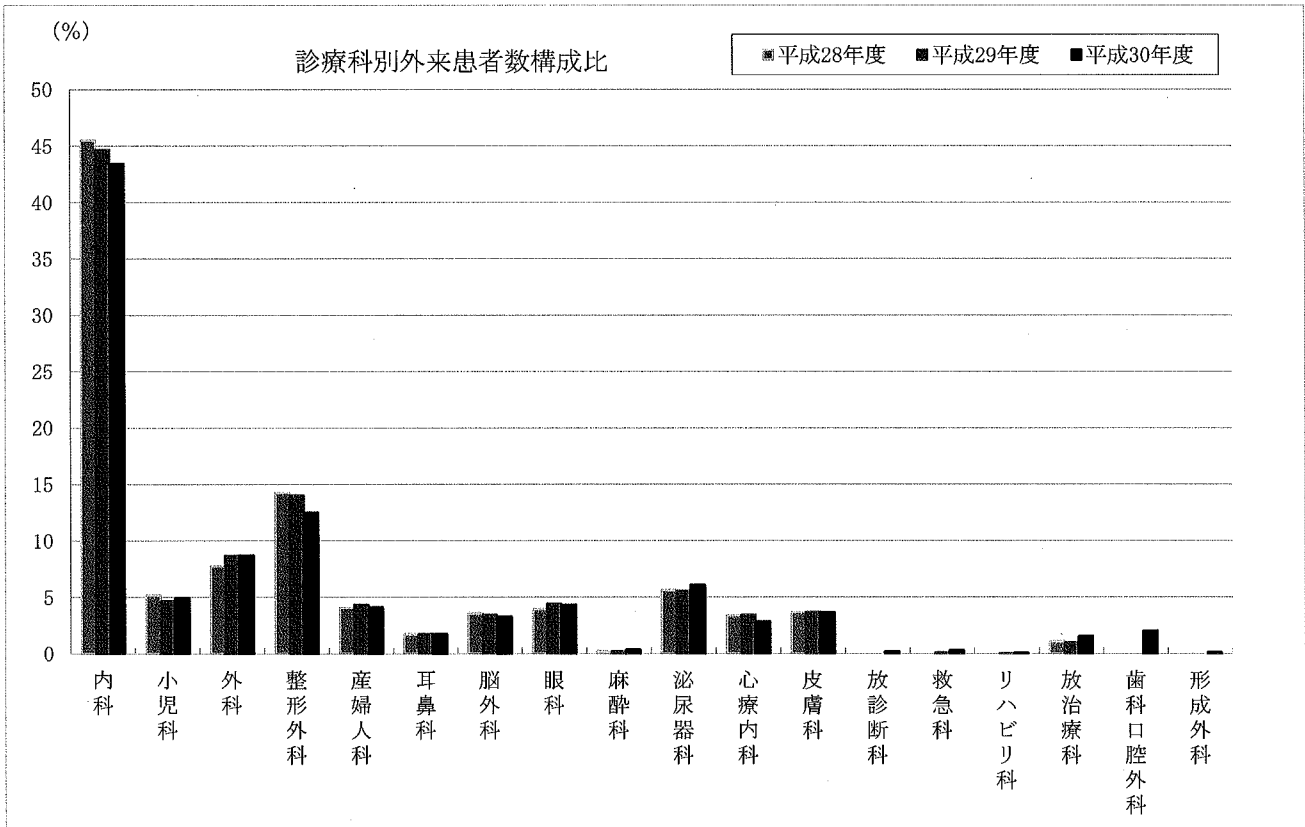
(単位：人)

科別	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
内科		6,992	7,187	7,350	7,405	7,784	6,820	7,617	7,514	7,190	7,264	6,626	7,099	86,848	355.9
小児科		718	717	743	971	1,046	835	790	799	866	847	673	847	9,852	40.4
外科		1,432	1,488	1,476	1,554	1,536	1,363	1,589	1,515	1,343	1,326	1,358	1,413	17,393	71.3
整形外科		2,250	2,441	2,224	2,236	2,330	1,924	2,197	2,022	1,945	1,821	1,702	1,897	24,989	102.4
産婦人科		697	706	695	731	742	641	748	656	665	551	606	605	8,043	33.0
耳鼻科		345	323	268	305	334	267	292	259	263	265	250	256	3,427	14.0
脳外科		553	593	576	549	552	524	568	496	556	502	531	586	6,586	27.0
眼科		749	781	734	733	824	638	710	738	690	660	623	700	8,580	35.2
麻酔科		47	56	65	71	59	52	65	57	60	63	65	68	728	3.0
泌尿器科		1,002	1,024	972	1,096	1,101	916	1,086	1,013	1,005	934	908	1,046	12,103	49.6
心療内科		519	558	470	564	556	435	541	401	425	411	396	356	5,632	23.1
皮膚科		655	688	650	661	740	488	593	563	547	555	556	579	7,275	29.8
放診断科		29	53	36	48	38	39	33	27	31	15	25	31	405	1.7
救急科		54	56	50	58	69	50	48	43	45	57	39	40	609	2.5
リハビリ科		10	6	4	15	7	6	11	2	10	10	13	15	109	0.4
放治療科		288	256	254	218	278	134	220	334	228	238	327	268	3,043	12.5
歯科口腔外科		99	243	300	297	385	317	350	423	402	374	412	432	4,034	16.5
形成外科		4	9	14	18	21	14	28	18	28	23	15	28	220	0.9
合計		16,443	17,185	16,881	17,530	18,402	15,463	17,486	16,880	16,299	15,916	15,125	16,266	199,876	819.2
1日平均		822.2	818.3	803.9	834.8	800.1	859.1	794.8	803.8	857.8	837.7	796.1	813.3	819.2	

(6) 診療科別外来患者数

(単位：人)

		内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放治療科	歯科口腔外科	形成外科	合計
		患者数	97,539	11,118	16,660	30,519	8,738	3,662	7,643	8,458	473	11,991	7,285	7,900	0	0	0	2,308	0	0
28年度	1日平均	401.3	45.7	68.5	125.5	35.9	15.0	31.4	34.8	1.9	49.3	29.9	32.5	0.0	0.0	0.0	9.4	0.0	0.0	881.9
	構成比(%)	45.5	5.2	7.8	14.2	4.1	1.7	3.6	3.9	0.2	5.6	3.4	3.7	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	100.0
29年度	患者数	92,794	9,726	17,997	29,143	8,970	3,651	7,156	9,157	463	11,554	7,109	7,614	0	228	24	2,061	0	0	207,647
	1日平均	383.4	40.2	74.4	120.4	37.1	15.1	29.6	37.8	1.9	47.7	29.4	31.5	0.0	0.9	0.1	8.5	0.0	0.0	858.0
30年度	構成比(%)	44.7	4.7	8.7	14.0	4.3	1.8	3.4	4.4	0.2	5.6	3.4	3.7	0.0	0.1	0.0	1.0	0.0	0.0	100.0
	患者数	86,848	9,852	17,393	24,989	8,043	3,427	6,586	8,580	728	12,103	5,632	7,275	405	609	109	3,043	4,034	220	199,876
30年度	1日平均	355.9	40.4	71.3	102.4	33.0	14.0	27.0	35.2	3.0	49.6	23.1	29.8	1.7	2.5	0.4	12.5	16.5	0.9	819.2
	構成比(%)	43.5	4.9	8.7	12.5	4.1	1.7	3.3	4.3	0.4	6.1	2.8	3.6	0.2	0.3	0.1	1.5	2.0	0.1	100.0



(7) 地域別入院患者数

(単位：人)

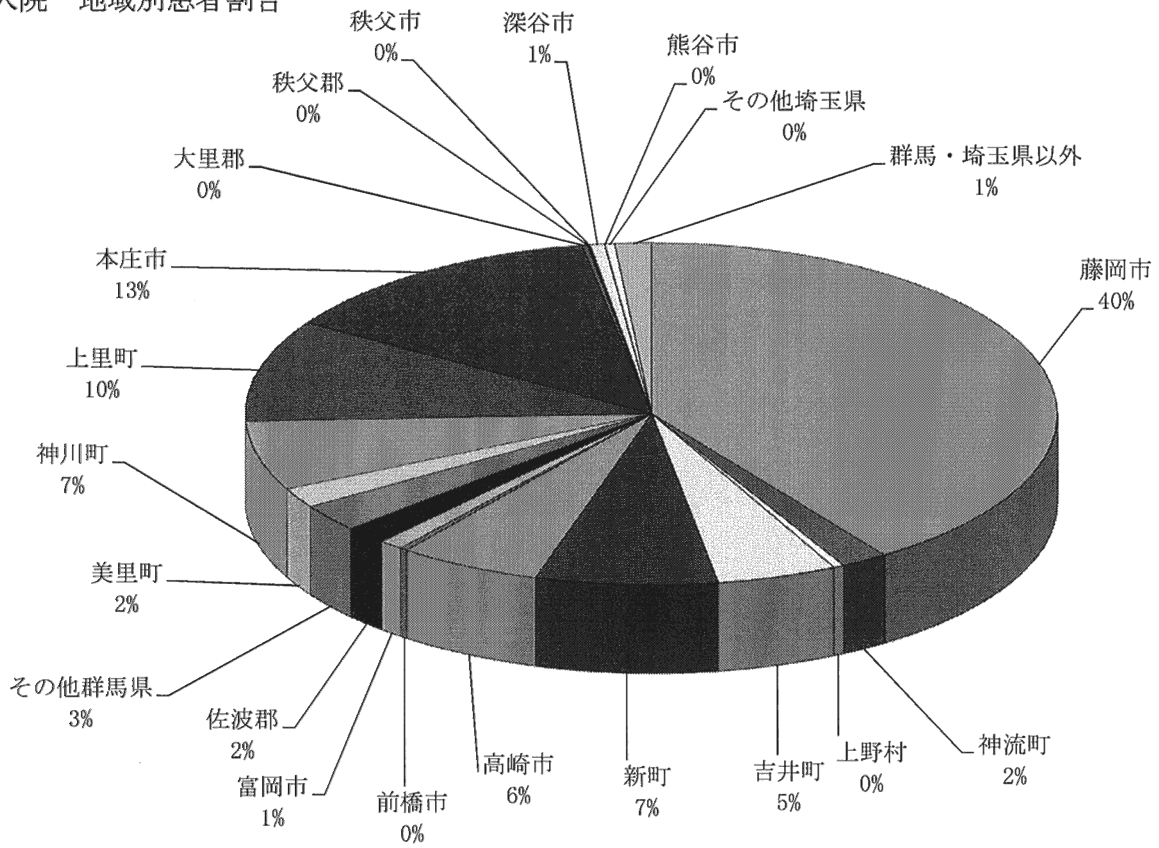
地域	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線	ペイン	救急科	リハビリ科	放治療	緩和ケア	歯科	形成外科	合計
群馬県 藤岡市	20,858	0	0	0	1,236	6,349	7,849	7,253	112	1,991	1,653	104	0	0	0	659	0	0	0	97	0	48,161
神流町	1,078	0	0	0	42	110	393	357	1	144	75	4	0	0	0	24	0	0	0	0	0	2,228
上野村	158	0	0	0	2	68	96	142	0	20	6	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	495
高崎市 吉井町	2,311	0	0	0	161	834	732	1,089	0	174	153	14	0	0	0	186	0	0	0	8	0	5,662
計	24,405	0	0	0	1,441	7,361	9,070	8,841	113	2,329	1,887	124	0	0	0	869	0	0	0	106	0	56,546
高崎市 新町	3,995	0	0	0	178	1,348	1,024	1,463	0	319	132	7	0	0	0	106	0	0	0	12	0	8,584
高崎市	3,370	0	0	0	668	602	1,084	664	0	196	146	0	0	0	0	55	0	0	0	8	0	6,793
前橋市	123	0	0	0	62	45	47	20	0	3	50	1	0	0	0	25	0	0	0	0	0	376
富岡市	682	0	0	0	37	54	131	223	0	0	11	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1,142
佐波郡	915	0	0	0	34	158	639	109	0	55	101	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2,013
その他 群馬県	1,965	0	0	0	156	54	207	545	0	24	96	1	0	0	0	27	0	0	0	11	0	3,086
計	11,050	0	0	0	1,135	2,261	3,132	3,024	0	597	536	10	0	0	0	216	0	0	0	33	0	21,994
小計	35,455	0	0	0	2,576	9,622	12,202	11,865	113	2,926	2,423	134	0	0	0	1,085	0	0	0	139	0	78,540
埼玉県 美里町	898	0	0	0	71	530	259	158	0	270	51	2	0	0	0	10	0	0	0	0	0	2,249
神川町	3,314	0	0	0	228	1,440	656	1,416	0	483	175	16	0	0	0	65	0	0	0	0	0	7,793
上里町	4,970	0	0	0	278	2,276	993	2,310	22	283	236	16	0	0	0	79	0	0	0	24	0	11,487
本庄市	7,200	0	0	0	780	3,021	1,791	2,203	7	411	372	16	0	0	0	133	0	0	0	18	0	15,952
大里郡	141	0	0	0	44	41	0	0	0	6	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	245
秩父郡	28	0	0	0	12	0	2	2	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	63
秩父市	8	0	0	0	5	8	0	0	0	15	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61
深谷市	269	0	0	0	18	246	42	77	0	10	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	682
熊谷市	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
その他 埼玉県	125	0	0	0	60	15	30	70	29	0	114	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	462
群馬県 埼玉県 以外	839	0	0	0	103	130	198	150	0	34	214	0	0	0	0	61	0	0	0	0	0	1,729
小計	17,793	0	0	0	1,599	7,708	3,973	6,386	58	1,529	1,228	50	0	0	0	367	0	0	0	44	0	40,735
合計	53,248	0	0	0	4,175	17,330	16,175	18,251	171	4,455	3,651	184	0	0	0	1,452	0	0	0	183	0	119,275

(8) 地域別外来患者数

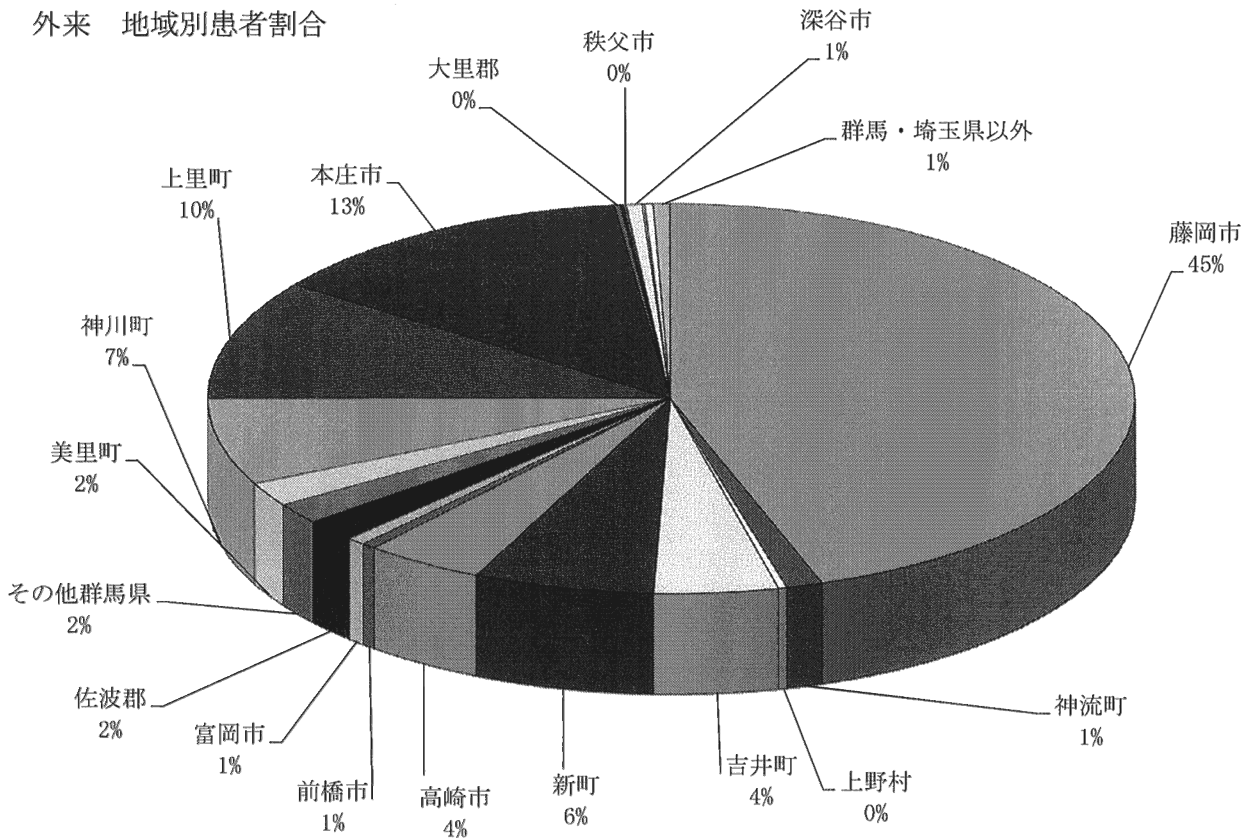
(単位：人)

地域	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線	ペイン	救急科	リハビリ科	放治療	緩和ケア	歯科	形成外科	合計
群馬県 藤岡市	36,887	2,992	1,587	0	3,551	7,292	12,455	2,933	3,535	5,372	3,087	4,015	1,568	185	354	249	65	1,481	0	1,667	98	89,373
神流町	898	61	30	0	33	268	332	75	128	324	97	154	54	4	9	7	0	1	0	44	1	2,520
上野村	207	16	7	0	11	47	59	37	26	73	13	66	10	4	8	0	0	0	0	4	0	588
高崎市 吉井町	3,720	282	226	0	335	634	1,049	382	350	415	256	521	149	13	31	30	2	54	0	170	12	8,631
計	41,712	3,351	1,850	0	3,930	8,241	13,895	3,427	4,039	6,184	3,453	4,756	1,781	206	402	286	67	1,536	0	1,885	111	101,112
高崎市 新町	5,605	463	239	0	455	1,258	1,586	374	397	756	389	382	179	47	5	46	7	231	0	189	16	12,624
高崎市	3,589	208	122	0	938	405	1,000	307	264	399	300	233	163	15	25	47	18	64	0	191	14	8,302
前橋市	366	29	20	0	60	84	113	46	51	56	81	38	13	2	18	6	0	0	0	32	1	1,016
富岡市	518	38	9	0	244	39	198	44	22	29	25	37	21	0	4	3	0	0	0	50	1	1,282
佐波郡	1,412	137	61	0	110	223	804	66	133	151	217	58	67	4	38	12	0	113	0	49	5	3,660
その他 群馬県	1,279	94	37	0	498	119	516	143	87	119	120	113	45	3	13	18	0	19	0	236	3	3,462
計	12,769	969	488	0	2,305	2,128	4,217	980	954	1,510	1,132	861	488	71	103	132	25	427	0	747	40	30,346
小計	54,481	4,320	2,338	0	6,235	10,369	18,112	4,407	4,993	7,694	4,585	5,617	2,269	277	505	418	92	1,963	0	2,632	151	131,458
埼玉県 美里町	1,526	39	90	0	221	560	408	87	96	378	195	137	61	2	35	13	0	80	0	72	2	4,002
神川町	5,959	310	304	0	598	1,388	1,408	479	601	985	669	796	236	39	51	42	5	241	0	215	3	14,329
上里町	8,331	384	358	0	802	2,161	2,233	620	673	1,422	928	758	289	61	15	36	9	401	0	360	25	19,866
本庄市	11,568	526	504	0	1,809	2,641	2,383	798	783	1,421	1,396	1,156	475	23	79	58	2	327	0	587	36	26,372
大里郡	133	21	5	0	65	28	34	19	8	53	17	16	0	0	0	0	0	0	0	16	0	415
秩父郡	62	0	2	0	31	2	21	10	3	16	6	13	3	0	43	1	0	3	0	8	0	224
秩父市	73	13	4	0	6	15	4	4	14	12	14	1	1	0	0	2	0	8	0	0	0	171
深谷市	437	2	1	0	92	133	103	28	34	67	55	45	54	0	0	2	0	0	0	57	3	1,113
熊谷市	69	5	3	0	5	16	18	17	7	14	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	164
その他 埼玉県	172	5	19	0	67	29	86	23	14	12	64	18	3	2	0	13	0	0	0	66	0	593
群馬県 埼玉県 以外	387	7	22	0	121	51	179	94	49	29	109	20	34	1	0	24	1	20	0	21	0	1,169
小計	28,717	1,312	1,312	0	3,617	7,024	6,877	2,179	2,282	4,409	3,458	2,963	1,158	128	223	191	17	1,080	0	1,402	69	68,418
合計	83,198	5,632	3,650	0	9,852	17,393	24,989	6,586	7,275	12,103	8,043	8,580	3,427	405	728	609	109	3,043	0	4,034	220	199,876

入院 地域別患者割合



外来 地域別患者割合



(9) 年齢別・性別・診療科別 延べ入院患者数

(単位:人)

年齢別	性別	内科	心療内科	神経内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放診所科	ペイン	救急科	リハビリ科	放治療科	歯科	形成外科	合計
0日～28日未満	男	0	0	0	424	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	424
	女	0	0	0	422	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	422
	小計	0	0	0	846	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	846
28日～2歳未満	男	0	0	0	644	0	4	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	651
	女	0	0	0	627	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	627
	小計	0	0	0	1,271	0	4	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,278
2歳～4歳未満	男	0	0	0	270	0	44	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	316
	女	0	0	0	236	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	242
	小計	0	0	0	506	0	50	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	558
4歳～6歳未満	男	0	0	0	375	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	379
	女	0	0	0	173	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	173
	小計	0	0	0	548	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	552
6歳～10歳未満	男	0	0	0	190	1	16	27	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	236
	女	0	0	0	217	0	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	231
	小計	0	0	0	407	1	29	28	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	467
10歳～20歳未満	男	99	0	0	224	56	142	2	0	17	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	550
	女	55	0	0	352	32	159	14	0	4	21	0	0	0	0	18	0	0	0	0	655
	小計	154	0	0	576	88	301	16	0	21	21	0	0	0	0	28	0	0	0	0	1,205
20歳～30歳未満	男	164	0	0	0	100	264	1	0	26	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	579
	女	150	0	0	21	58	104	18	0	0	1,019	0	0	0	0	80	0	0	0	0	1,450
	小計	314	0	0	21	158	368	19	0	26	1,019	0	0	0	0	104	0	0	0	0	2,029
30歳～40歳未満	男	388	0	0	0	146	307	48	0	3	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	897
	女	159	0	0	0	145	63	32	0	3	1,406	0	0	0	0	3	0	0	6	0	1,817
	小計	547	0	0	0	291	370	80	0	6	1,406	0	0	0	0	8	0	0	6	0	2,714
40歳～50歳未満	男	1,267	0	0	0	324	480	896	7	160	0	1	0	0	0	33	0	0	6	0	3,174
	女	738	0	0	0	367	128	221	0	137	309	0	0	0	0	26	0	0	22	0	1,948
	小計	2,005	0	0	0	691	608	1,117	7	297	309	1	0	0	0	59	0	0	28	0	5,122
50歳～60歳未満	男	2,288	0	0	0	654	736	805	0	55	0	1	0	0	0	35	0	0	24	0	4,598
	女	888	0	0	0	596	397	382	7	4	296	0	0	0	0	35	0	0	9	0	2,614
	小計	3,176	0	0	0	1,250	1,133	1,187	7	59	296	1	0	0	0	70	0	0	33	0	7,212
60歳～65歳未満	男	2,385	0	0	0	1,065	652	1,069	0	261	0	3	0	0	0	22	0	0	0	0	5,457
	女	993	0	0	0	530	188	232	0	51	155	4	0	0	0	26	0	0	0	0	2,179
	小計	3,378	0	0	0	1,595	840	1,301	0	312	155	7	0	0	0	48	0	0	0	0	7,636
65歳～70歳未満	男	3,848	0	0	0	1,556	311	928	0	408	0	9	0	0	0	42	0	0	25	0	7,127
	女	2,320	0	0	0	638	1,015	732	0	116	143	10	0	0	0	83	0	0	0	0	5,057
	小計	6,168	0	0	0	2,194	1,326	1,660	0	524	143	19	0	0	0	125	0	0	25	0	12,184
70歳～75歳未満	男	5,236	0	0	0	1,775	494	1,596	0	564	0	16	0	0	0	75	0	0	4	0	9,760
	女	3,023	0	0	0	1,421	1,303	583	0	70	188	30	0	0	0	21	0	0	31	0	6,670
	小計	8,259	0	0	0	3,196	1,797	2,179	0	634	188	46	0	0	0	96	0	0	35	0	16,430
75歳～80歳未満	男	4,512	0	0	0	2,019	1,197	2,396	0	691	0	17	0	0	0	77	0	0	0	0	10,909
	女	3,814	0	0	0	890	1,034	1,144	22	75	24	38	0	0	0	63	0	0	12	0	7,116
	小計	8,326	0	0	0	2,909	2,231	3,540	22	766	24	55	0	0	0	140	0	0	12	0	18,025
80歳～85歳未満	男	4,623	0	0	0	1,375	676	1,930	52	730	0	15	0	0	0	188	0	0	14	0	9,603
	女	3,480	0	0	0	1,121	1,576	1,744	0	96	64	19	0	0	0	130	0	0	21	0	8,251
	小計	8,103	0	0	0	2,496	2,252	3,674	52	826	64	34	0	0	0	318	0	0	35	0	17,854
85歳～90歳未満	男	3,476	0	0	0	903	845	1,372	46	540	0	5	0	0	0	101	0	0	1	0	7,289
	女	4,051	0	0	0	861	2,352	946	2	150	26	10	0	0	0	155	0	0	8	0	8,561
	小計	7,527	0	0	0	1,764	3,197	2,318	48	690	26	15	0	0	0	256	0	0	9	0	15,850
90歳～95歳未満	男	1,786	0	0	0	210	283	298	0	151	0	1	0	0	0	93	0	0	0	0	2,822
	女	2,443	0	0	0	433	1,187	386	35	73	0	4	0	0	0	88	0	0	0	0	4,649
	小計	4,229	0	0	0	643	1,470	684	35	224	0	5	0	0	0	181	0	0	0	0	7,471
95歳～100歳未満	男	269	0	0	0	31	0	168	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	481
	女	642	0	0	0	23	173	251	0	51	0	1	0	0	0	19	0	0	0	0	1,160
	小計	911	0	0	0	54	173	419	0	64	0	1	0	0	0	19	0	0	0	0	1,641
100歳以上	男	12	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
	女	139	0	0	0	0	8	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	175
	小計	151	0	0	0	0	22	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	201
男計	30,353	0	0	2,127	10,215	6,469	11,537	105	3,625	0	68	0	0	0	705	0	0	74	0	65,278	
女計	22,895	0	0	2,048	7,115	9,706	6,714	66	830	3,651	116	0	0	0	747	0	0	109	0	53,997	
合計	53,248	0	0	4,175	17,330	16,175	18,251	171	4,455	3,651	184	0	0	0	1,452	0	0	183	0	119,275	

※退院数を含む。

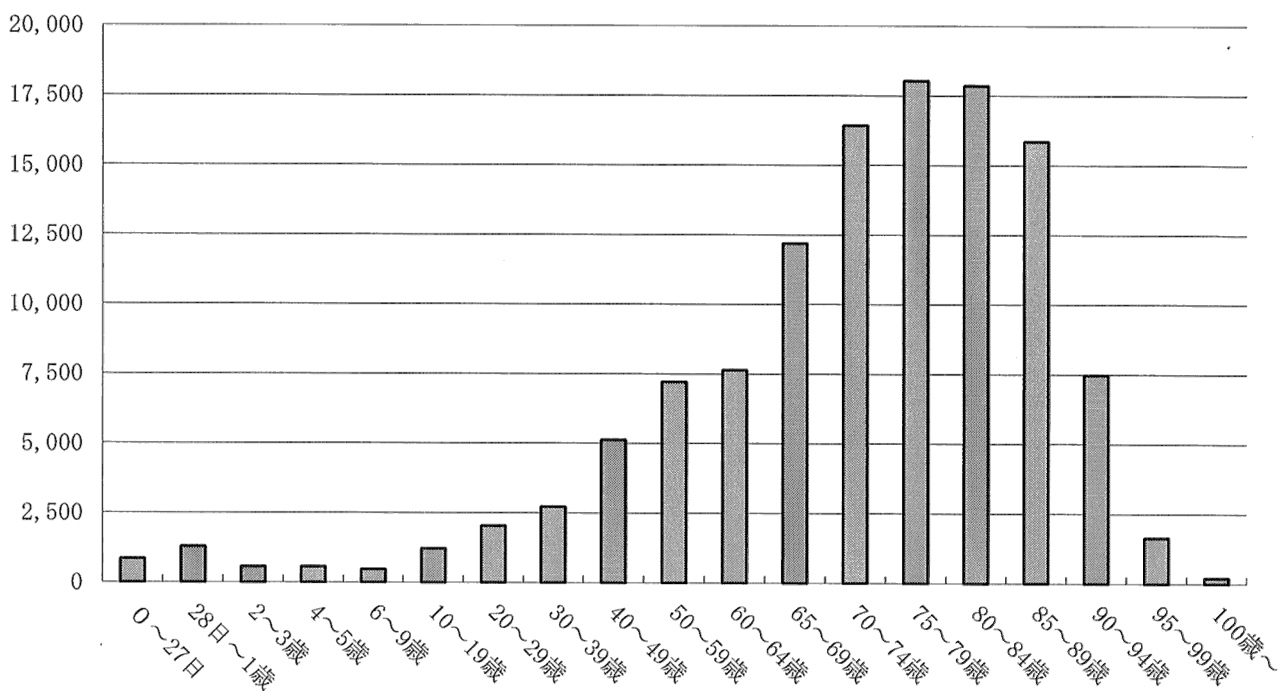
(10) 年齢別・性別・診療科別 延べ外来患者数

(単位:人)

年齢別	性別	内科	心療内科	神経内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放診断科	ペイン	救急科	リハビリ科	放射線科	歯科	形成外科	合計
0日～28日未満	男	0	0	0	162	0	3	1	0	0	0	4	1	0	0	2	0	0	0	0	173
	女	0	0	0	175	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	179
	小計	0	0	0	337	0	4	2	1	0	0	4	2	0	0	2	0	0	0	0	352
28日～2歳未満	男	0	0	0	1,364	1	25	50	24	21	0	22	37	0	0	3	0	0	6	0	1,553
	女	0	0	0	999	12	26	31	19	0	7	32	33	0	0	0	0	0	2	3	1,164
	小計	0	0	0	2,363	13	51	81	43	21	7	54	70	0	0	3	0	0	8	3	2,717
2歳～4歳未満	男	0	0	0	720	0	63	69	40	22	7	26	10	0	0	2	0	0	1	2	962
	女	0	0	0	592	1	16	56	15	0	0	5	19	0	0	0	0	0	1	8	713
	小計	0	0	0	1,312	1	79	125	55	22	7	31	29	0	0	2	0	0	2	10	1,675
4歳～6歳未満	男	0	0	0	512	2	25	40	16	9	0	35	16	0	0	1	0	0	5	0	661
	女	0	0	0	509	5	21	30	17	1	0	15	21	0	0	2	0	0	7	1	629
	小計	0	0	0	1,021	7	46	70	33	10	0	50	37	0	0	3	0	0	12	1	1,290
6歳～10歳未満	男	1	0	0	1,082	7	97	48	45	16	4	44	12	0	0	5	0	0	13	2	1,376
	女	0	8	0	843	2	108	37	41	4	6	37	19	0	0	3	0	0	5	0	1,113
	小計	1	8	0	1,925	9	205	85	86	20	10	81	31	0	0	8	0	0	18	2	2,489
10歳～20歳未満	男	476	21	39	1,645	62	864	197	62	40	9	84	65	4	0	17	0	0	21	9	3,615
	女	274	28	24	1,208	40	521	58	74	19	97	60	30	7	0	19	0	0	34	1	2,494
	小計	750	49	63	2,853	102	1,385	255	136	59	106	144	95	11	0	36	0	0	55	10	6,109
20歳～30歳未満	男	793	124	74	2	97	566	83	79	62	0	26	31	0	8	30	0	0	35	0	2,010
	女	794	187	39	21	129	316	105	100	26	950	54	55	2	0	31	0	0	119	6	2,934
	小計	1,587	311	113	23	226	882	188	179	88	950	80	86	2	8	61	0	0	154	6	4,944
30歳～40歳未満	男	1,289	200	73	1	235	847	209	176	129	3	73	50	1	0	30	2	0	88	8	3,414
	女	1,655	400	42	0	278	404	118	156	48	1,578	91	62	7	0	38	2	28	104	14	5,025
	小計	2,944	600	115	1	513	1,251	327	332	177	1,581	164	112	8	0	68	4	28	192	22	8,439
40歳～50歳未満	男	3,261	392	108	0	272	1,094	281	210	335	0	198	97	9	26	44	5	7	166	11	6,516
	女	2,924	513	83	1	993	828	301	264	123	1,927	229	165	15	9	24	2	126	201	19	8,747
	小計	6,185	905	191	1	1,265	1,922	582	474	458	1,927	427	262	24	35	68	7	133	367	30	15,263
50歳～60歳未満	男	4,877	353	158	6	745	1,407	370	355	537	8	436	135	15	23	31	0	50	413	15	9,934
	女	4,596	410	133	3	1,220	1,252	341	344	225	1,319	403	205	25	46	20	1	138	217	12	10,910
	小計	9,473	763	291	9	1,965	2,659	711	699	762	1,327	839	340	40	69	51	1	188	630	27	20,844
60歳～65歳未満	男	4,561	168	189	5	775	1,152	396	308	732	0	313	128	21	39	18	15	181	154	17	9,172
	女	3,045	271	138	0	1,020	1,071	225	241	232	494	366	132	26	9	11	11	82	135	7	7,516
	小計	7,606	439	327	5	1,795	2,223	621	549	964	494	679	260	47	48	29	26	263	289	24	16,688
65歳～70歳未満	男	8,139	234	219	0	1,487	1,057	403	470	1,366	6	619	255	30	49	29	2	246	292	18	14,921
	女	5,440	326	276	0	1,162	1,855	324	378	297	548	673	223	26	28	16	21	254	185	7	12,039
	小計	13,579	560	495	0	2,649	2,912	727	848	1,663	554	1,292	478	56	77	45	23	500	477	25	26,960
70歳～75歳未満	男	8,208	221	303	0	1,609	1,205	469	574	1,850	0	721	357	32	11	28	6	214	300	2	16,110
	女	4,535	463	232	0	1,349	2,375	341	441	388	549	807	291	35	38	16	7	304	319	15	12,505
	小計	12,743	684	535	0	2,958	3,580	810	1,015	2,238	549	1,528	648	67	49	44	13	518	619	17	28,615
75歳～80歳未満	男	7,688	243	306	0	1,484	1,220	453	656	1,922	0	727	224	29	157	33	4	254	297	11	15,708
	女	5,100	330	324	0	1,060	1,774	356	475	273	239	739	212	35	44	22	1	229	258	12	11,483
	小計	12,788	573	630	0	2,544	2,994	809	1,131	2,195	239	1,466	436	64	201	55	5	483	555	23	27,191
80歳～85歳未満	男	5,060	175	295	0	1,174	799	293	535	1,687	0	454	157	22	21	31	5	410	174	2	11,294
	女	3,457	247	215	0	798	1,787	313	379	232	183	523	153	23	25	25	3	182	148	7	8,700
	小計	8,517	422	510	0	1,972	2,586	606	914	1,919	183	977	310	45	46	56	8	592	322	9	19,994
85歳～90歳未満	男	2,503	91	175	0	528	462	203	258	943	0	255	84	15	37	15	2	227	105	4	5,907
	女	2,448	131	130	0	514	1,115	210	219	182	73	327	86	12	136	28	5	68	152	3	5,839
	小計	4,951	222	305	0	1,042	1,577	413	477	1,125	73	582	170	27	173	43	7	295	257	7	11,746
90歳～95歳未満	男	701	25	44	0	109	144	68	124	253	0	47	22	6	0	8	5	40	17	0	1,613
	女	1,098	54	28	2	205	415	63	140	54	36	110	31	6	17	20	10	3	39	4	2,335
	小計	1,799	79	72	2	314	559	131	264	307	36	157	53	12	17	28	15	43	56	4	3,948
95歳～100歳未満	男	91	0	0	0	10	4	15	11	61	0	7	0	0	0	3	0	0	5	0	207
	女	171	12	3	0	5	62	28	28	14	0	17	8	2	5	4	0	0	14	0	373
	小計	262	12	3	0	15	66	43	39	75	0	24	8	2	5	7	0	0	19	0	580
100歳以上	男	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	女	11	5	0	0	3	7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	29
	小計	13	5	0	0	3	8	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	32
男計	47,650	2,247	1,983	5,499	8,597	11,035	3,648	3,943	9,985	37	4,091	1,681	184	371	330	46	1,629	2,092	101	105,149	
女計	35,548	3,385	1,667	4,353	8,796	13,954	2,938	3,332	2,118	8,006	4,489	1,746	221	357	279	63	1,414	1,942	119	94,727	
合計	83,198	5,632	3,650	9,852	17,393	24,989	6,586	7,275	12,103	8,043	8,580	3,427	405	728	609	109	3,043	4,034	220	199,876	

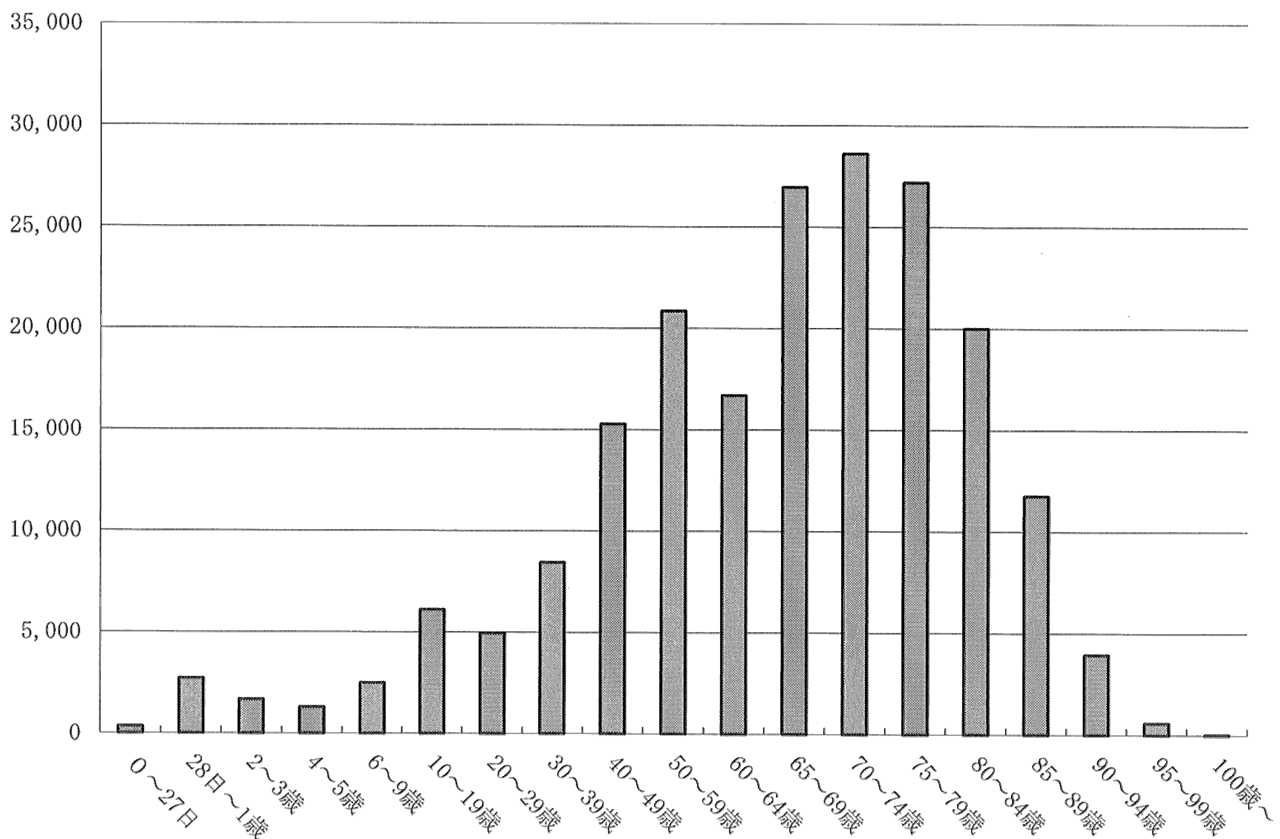
入院 年齢別構成

(単位：人)



外来 年齢別構成

(単位：人)



(11) 病棟別病床稼働率

(単位：%)

病棟別	病床数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
北2階	48	59.4	69.8	76.8	75.7	80.2	74.4	66.3	69.9	66.8	77.0	72.7	55.5	70.4
北4階	38	55.6	51.4	51.8	68.2	63.2	54.6	58.5	60.5	63.2	55.8	60.1	50.9	57.8
北5階	46	87.8	84.1	80.9	88.7	93.3	86.9	88.6	88.0	87.8	86.5	89.4	81.8	87.0
北6階	47	94.0	87.9	85.6	91.2	93.0	89.1	87.9	91.6	87.2	91.1	92.7	88.5	90.0
南3階 HCU	24	71.7	57.9	53.8	68.0	77.2	52.6	58.7	74.2	72.3	75.8	70.7	58.1	65.9
南4階	47	93.0	94.1	86.9	92.2	94.9	93.1	91.6	91.4	90.0	93.7	93.0	87.9	91.8
南5階	47	86.5	88.9	85.9	84.9	92.6	87.9	85.8	89.2	90.5	90.7	90.9	88.6	88.5
南6階	46	85.0	79.2	90.5	89.2	87.7	85.4	84.9	82.8	81.8	84.9	86.0	77.1	84.5
南7階	47	87.7	75.2	87.0	89.5	93.3	87.2	67.7	77.8	78.6	79.1	82.0	73.2	81.5
感染症	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	394	80.2	77.3	78.8	83.4	86.3	80.3	77.3	80.6	79.8	81.7	82.2	74.1	80.2

*人間ドック5床を除く

(12) 平均在院日数

*DPC

(単位：日)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	13.4	12.6	12.2	11.8	13.4	13.6	12.3	12.9	12.5	13.4	13.0	11.6	12.7
小児科	7.7	7.2	7.1	7.5	5.4	6.4	7.6	8.2	6.3	4.6	7.0	6.0	6.6
外科	9.9	8.9	8.9	9.8	11.1	10.5	10.6	9.7	9.8	10.0	10.5	10.5	10.0
整形外科	10.9	11.5	11.1	9.8	11.6	11.8	11.1	11.4	10.0	12.7	8.9	10.7	10.9
産婦人科	8.5	8.1	8.7	10.1	8.7	9.6	8.3	7.0	6.7	5.9	8.6	8.5	8.2
脳神経外科	10.3	11.1	13.1	14.7	12.9	13.3	13.4	10.2	12.6	14.5	15.1	10.4	12.6
泌尿器科	9.4	6.9	7.7	9.6	8.1	6.0	7.1	8.2	6.6	8.7	7.4	7.2	7.7
皮膚科	44.0	36.0	7.3	20.0	4.0	---	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	16.7
救急科	8.1	6.4	10.3	6.2	9.3	6.1	6.4	10.4	10.1	5.8	7.3	7.8	7.7
歯科口腔外科	0.0	3.0	3.3	6.0	5.6	6.7	6.0	5.5	8.6	2.3	2.0	4.9	5.2
全科合計	11.7	11.1	10.9	11.2	11.7	11.8	11.3	11.4	10.8	11.7	11.6	10.6	11.3

*包括ケア

(単位：日)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	9.5	7.4	8.6	7.1	10.3	9.4	7.9	7.8	8.4	8.1	8.9	8.7	8.4
外科	11.6	7.9	6.2	5.9	4.4	3.8	3.3	4.8	5.3	4.6	4.8	5.9	5.4
整形外科	19.9	13.5	19.3	19.2	17.3	19.4	16.5	10.2	11.7	14.8	13.1	12.4	15.7
産婦人科	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	5.0	15.0	0.0	0.0	9.5
脳神経外科	5.9	6.3	7.2	11.4	9.3	13.0	8.9	11.4	9.9	7.1	7.3	8.1	8.9
泌尿器科	5.2	5.0	7.8	5.0	6.5	9.2	8.8	1.7	6.4	11.4	8.7	4.7	7.0
皮膚科	0.0	1.0	0.0	11.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0
救急科	5.0	4.0	8.0	4.2	5.3	14.7	13.3	6.3	6.0	30.0	3.1	2.0	6.8
全科	10.8	8.1	9.7	8.5	10.5	10.3	8.4	7.5	7.8	8.3	8.1	8.4	8.8

*回復期リハ

(単位：日)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	54.0	0.0	37.0
外科	0.0	0.0	46.0	60.0	0.0	0.0	16.0	---	24.5	41.0	10.0	36.0	37.1
整形外科	44.5	54.7	34.7	48.9	63.8	62.9	39.6	56.8	44.0	78.8	53.8	67.0	51.9
脳神経外科	47.2	50.8	54.9	92.5	85.4	100.2	71.0	51.3	57.1	98.0	61.7	57.6	66.1
全科	46.2	51.9	48.1	80.4	79.6	89.3	59.8	54.4	48.5	81.9	59.2	61.2	61.0

*平均在院日数の計算式 (24時入院患者数) ÷ ((新入院患者数 + 新退院患者数) ÷ 2)

*平均在院日数の計算には、事故・労災・分娩は含まれません。

*基準別患者数

(単位：人)

月別 基準	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
D P C	7,390	7,313	6,987	7,756	7,987	7,189	7,464	7,419	7,602	7,678	7,013	7,160	88,958
包括ケア	1,237	1,096	1,227	1,304	1,360	1,230	986	1,097	1,145	1,152	1,079	1,067	13,980
回復期リハ	855	1,038	1,106	1,126	1,194	1,072	987	1,007	994	1,146	977	826	12,328
合計	9,482	9,447	9,320	10,186	10,541	9,491	9,437	9,523	9,741	9,976	9,069	9,053	115,266

2. 診療請求の現況

(1) 診療科別請求額

(単位：千円、%)

区分	診療科	平成28年度	平成29年度		平成30年度	
		診療稼働額	診療稼働額	前年比	診療稼働額	前年比
入院	内科	3,363,601	3,072,760	91.4	2,928,833	95.3
	小児科	209,506	208,539	99.5	228,143	109.4
	外科	1,120,418	1,140,213	101.8	1,181,706	103.6
	整形外科	814,195	871,788	107.1	872,275	100.1
	脳神経外科	655,629	668,248	101.9	924,911	138.4
	皮膚科	0	1,707	—	6,239	365.5
	泌尿器科	217,175	216,904	99.9	249,329	114.9
	産婦人科	224,406	257,910	114.9	240,406	93.2
	眼科	35,160	63,518	180.7	35,794	56.4
	救急科	—	29,249	—	77,607	265.3
	リハビリ科	—	873	—	—	—
	歯科口腔外科	—	—	—	14,072	—
	全科	6,640,090	6,531,709	98.4	6,759,315	103.5
外来	内科	1,887,799	1,876,560	99.4	1,851,317	98.7
	心療内科	41,378	38,673	93.5	33,484	86.6
	小児科	90,516	76,721	84.8	78,020	101.7
	外科	390,436	385,590	98.8	418,007	108.4
	整形外科	178,522	173,786	97.3	159,158	91.6
	脳神経外科	90,463	88,874	98.2	83,737	94.2
	皮膚科	21,877	21,719	99.3	21,087	97.1
	泌尿器科	183,369	180,698	98.5	194,740	107.8
	産婦人科	74,336	81,049	109.0	73,734	91.0
	眼科	89,326	90,280	101.1	80,562	89.2
	耳鼻咽喉科	21,818	21,698	99.4	22,410	103.3
	放射線診断科	—	—	—	10,456	—
	ペイン	2,247	2,271	101.1	2,568	113.1
	救急科	—	4,698	—	10,829	230.5
	リハビリ科	—	73	—	351	480.8
	放射線治療科	70,517	59,349	84.2	62,542	105.4
	歯科口腔外科	—	—	—	25,588	—
形成外科	—	—	—	1,889	—	
全科	3,142,604	3,102,039	98.7	3,130,479	100.9	
合計	内科	5,251,400	4,949,320	94.2	4,780,150	96.6
	心療内科	41,378	38,672	93.5	33,484	86.6
	小児科	300,022	285,260	95.1	306,163	107.3
	外科	1,510,854	1,525,804	101.0	1,599,713	104.8
	整形外科	992,717	1,045,574	105.3	1,031,433	98.6
	脳神経外科	746,092	757,122	101.5	1,008,648	133.2
	皮膚科	21,877	23,426	107.1	27,327	116.7
	泌尿器科	400,544	397,603	99.3	444,069	111.7
	産婦人科	298,742	338,959	113.5	314,139	92.7
	眼科	124,486	153,798	123.5	116,356	75.7
	耳鼻咽喉科	21,818	21,698	99.4	22,410	103.3
	放射線診断科	—	—	—	10,456	—
	ペイン	2,247	2,271	101.1	2,568	113.1
	救急科	—	33,947	—	88,437	260.5
	リハビリ科	—	946	—	351	37.1
	放射線治療科	70,517	59,349	84.2	62,542	105.4
	歯科口腔外科	—	—	—	39,660	—
形成外科	—	—	—	1,889	—	
全科	9,782,694	9,633,748	98.5	9,889,794	102.7	

(2) 診療報酬請求状況

(単位：件、点、%)

	診療科	入院					外来				
		28年度	29年度		30年度		28年度	29年度		30年度	
			前年比	前年比	前年比	前年比		前年比	前年比		
請求件数	内科	5,442	5,147	94.6	5,006	97.3	72,386	68,336	94.4	62,522	91.5
	精神科	0	0	—	0	—	6,037	6,020	99.7	4,689	77.9
	小児科	743	735	98.9	745	101.4	8,656	7,605	87.9	7,549	99.3
	外科	1,953	2,011	103.0	1,979	98.4	11,743	12,354	105.2	11,782	95.4
	整形外科	1,324	1,348	101.8	1,402	104.0	17,566	16,628	94.7	15,219	91.5
	脳神経外科	922	964	104.6	1,243	128.9	5,686	5,406	95.1	5,249	97.1
	皮膚科	0	3	—	17	—	5,669	5,630	99.3	5,596	99.4
	泌尿器科	619	637	102.9	685	107.5	9,853	9,559	97.0	9,914	103.7
	産婦人科	533	609	114.3	566	92.9	6,093	6,223	102.1	5,690	91.4
	眼科	133	217	163.2	131	60.4	7,351	7,753	105.5	7,452	96.1
	耳鼻咽喉科	0	0	—	0	—	2,717	2,726	100.3	2,706	99.3
	放射線診断科	0	0	—	0	—	0	0	—	382	—
	麻酔科	0	0	—	0	—	333	298	89.5	370	124.2
	救急科	0	75	—	203	270.7	0	213	—	567	266.2
	リハビリ科	0	1	—	0	—	0	16	—	80	500.0
	放射線治療科	0	0	—	0	—	685	617	90.1	502	81.4
	歯科口腔外科	0	0	—	41	—	0	0	—	2,051	—
	形成外科	0	0	—	0	—	0	0	—	165	—
全科	11,669	11,747	100.7	11,977	102.0	154,775	149,384	96.5	139,767	93.6	
1人1日当たり診療点数	内科	5,090	5,058	99.4	5,152	101.9	1,935	2,022	104.5	2,132	105.4
	精神科	0	0	—	0	—	568	544	95.8	595	109.3
	小児科	4,559	4,572	100.3	4,753	104.0	814	789	96.9	792	100.4
	外科	5,640	5,891	104.5	6,272	106.5	2,344	2,143	91.4	2,403	112.1
	整形外科	5,158	5,442	105.5	5,119	94.1	585	596	101.9	637	106.9
	脳神経外科	5,554	5,561	100.1	4,899	88.1	1,184	1,242	104.9	1,271	102.4
	皮膚科	0	4,613	—	3,466	75.1	277	285	102.9	290	101.7
	泌尿器科	4,624	4,555	98.5	4,971	109.1	1,529	1,564	102.3	1,609	102.9
	産婦人科	5,701	5,843	102.5	5,818	99.6	851	904	106.3	917	101.4
	眼科	7,578	10,802	142.5	9,727	90.0	1,056	956	90.5	939	98.2
	耳鼻咽喉科	0	0	—	0	—	596	594	99.7	654	110.1
	放射線診断科	0	0	—	0	—	0	0	—	2,582	—
	麻酔科	0	0	—	0	—	480	491	102.3	353	71.9
	救急科	0	4,346	—	4,844	111.5	—	2,060	—	1,775	86.2
	リハビリ科	0	5,818	—	0	—	261	304	116.3	322	105.8
	放射線治療科	0	0	—	0	—	3,055	2,880	94.3	2,055	71.4
	歯科口腔外科	0	0	—	6,455	—	0	0	—	634	—
	形成外科	0	0	—	0	—	0	0	—	859	—
全科	5,219	5,302	101.6	5,302	100.0	1,466	1,494	101.9	1,494	100.0	

(3) 診療行為別請求額

(単位：千円、%)

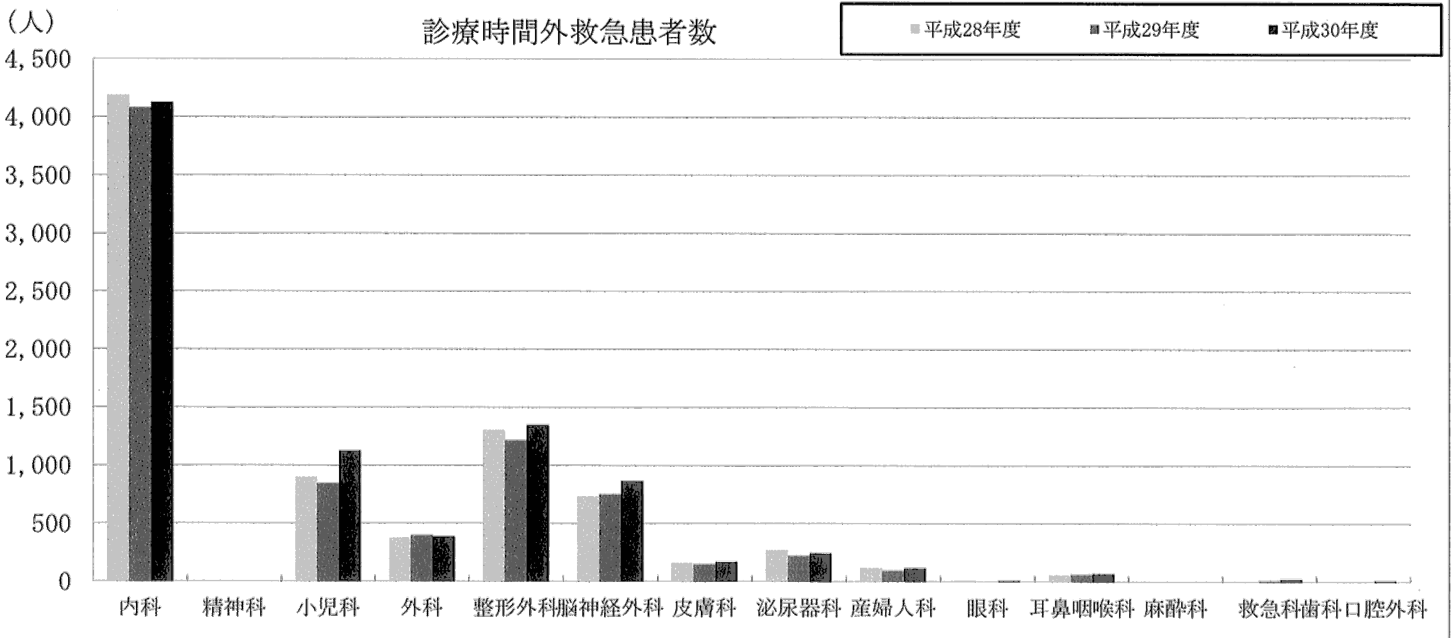
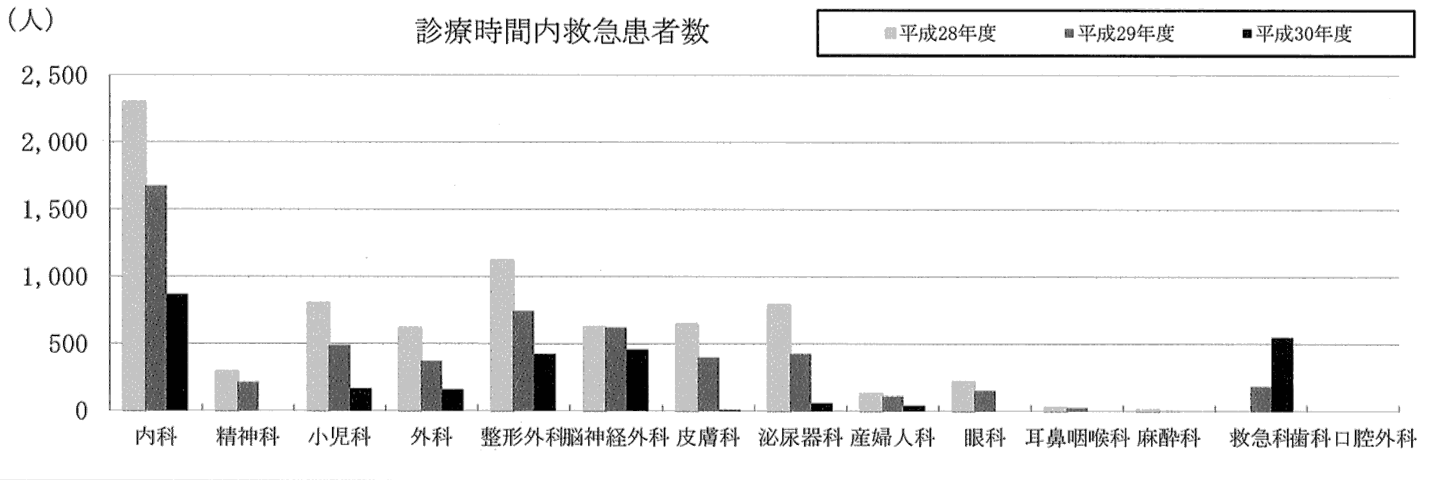
診療行為別	入院					外来				
	28年度	29年度		30年度		28年度	29年度		30年度	
		前年比	前年比	前年比	前年比		前年比	前年比		
初診料	12,183	12,102	99.3	12,617	104.3	65,153	54,183	83.2	49,369	91.1
再診料	—	—	—	—	—	169,539	149,690	88.3	118,179	78.9
入院料	557,196	552,196	99.1	505,376	91.5	—	—	—	—	—
指導料	71,735	68,339	95.3	68,776	100.6	189,554	157,062	82.9	131,177	83.5
在宅療養料	11,023	7,336	66.6	9,273	126.4	230,944	215,119	93.1	196,265	91.2
投薬料	63,594	52,389	82.4	36,564	69.8	88,564	122,986	138.9	121,210	98.6
注射料	152,447	111,447	73.1	54,934	49.3	627,676	674,985	107.5	772,651	114.5
処置料	52,968	37,160	70.2	32,177	86.6	300,896	297,596	98.9	319,052	107.2
手術輸血料	1,060,889	1,070,575	100.9	1,128,927	105.5	114,614	105,127	91.7	117,153	111.4
麻酔料	135,093	141,008	104.4	152,760	108.3	2,055	2,066	100.5	2,219	107.4
検査料	65,874	67,630	102.7	64,539	95.4	767,024	748,434	97.6	719,713	96.2
画像診断料	9,176	8,923	97.2	8,479	95.0	368,587	381,267	103.4	410,946	107.8
理学療法料	260,817	276,637	106.1	210,601	76.1	42,228	41,288	97.8	31,335	75.9
処方箋料	—	—	—	—	—	95,847	82,512	86.1	65,840	79.8
その他	48	385	802.1	166	43.1	79,924	69,724	87.2	75,369	108.1
食事料	164,326	153,309	93.3	140,738	91.8	—	—	—	—	—
分娩介補料	48,768	51,968	106.6	50,691	97.5	—	—	—	—	—
DPC包括額	3,546,764	3,395,814	95.7	3,326,811	98.0	—	—	—	—	—
包括ケア病棟	427,189	436,270	—	504,424	115.6	—	—	—	—	—
回復期リハ病棟	—	88,221	—	451,463	511.7	—	—	—	—	—
合計	6,640,090	6,531,709	98.4	6,759,316	103.5	3,142,605	3,102,039	98.7	3,130,478	100.9

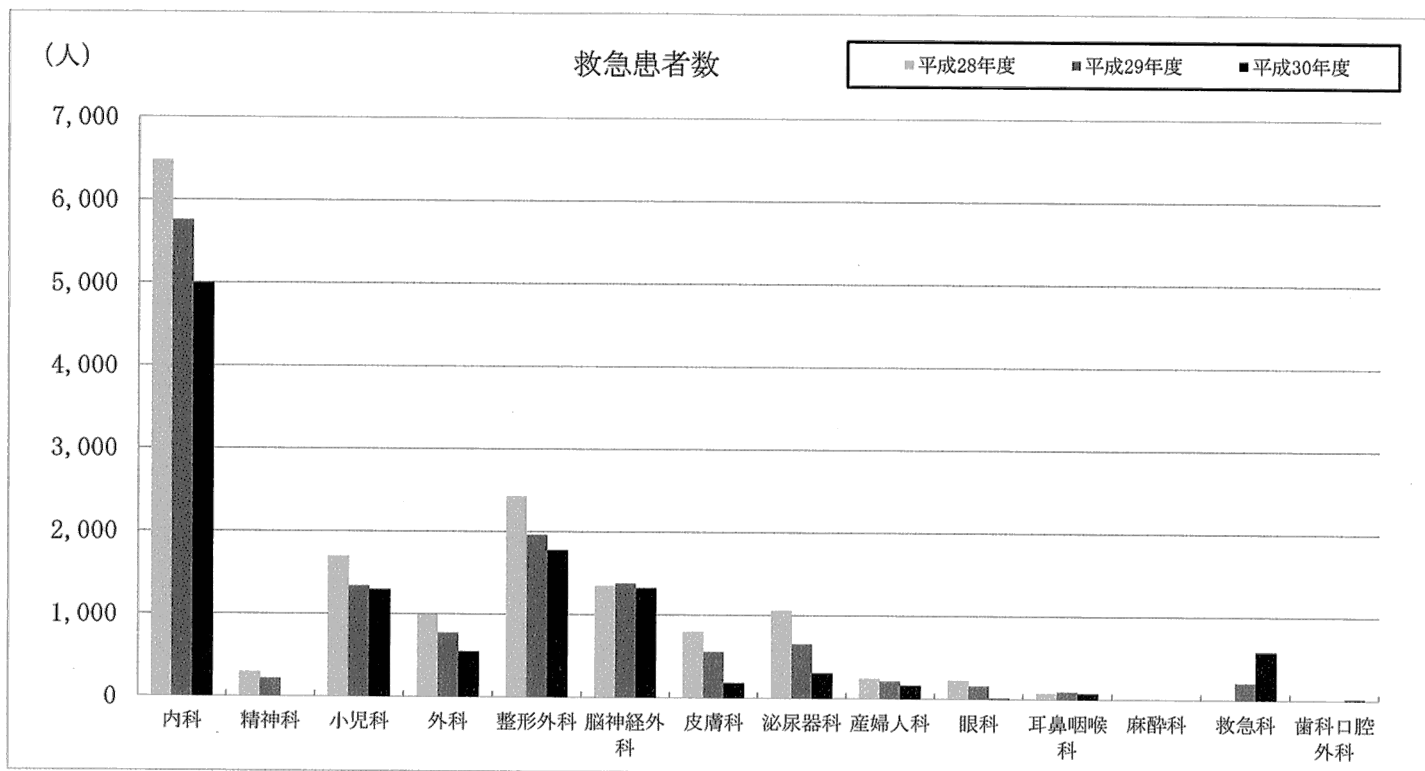
3. 救急患者の状況

(1) 救急患者数

(単位：人)

	内科	精神科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	麻酔科	救急科	歯科 口腔外科	合計
平成28年度	6,484	291	1,697	988	2,421	1,351	800	1,060	247	224	77	10	—	—	15,650
時間内	2,296	291	800	614	1,119	619	643	788	128	218	23	10	—	—	7,549
時間外	4,188	0	897	374	1,302	732	157	272	119	6	54	0	—	—	8,101
平成29年度	5,757	215	1,337	773	1,961	1,378	555	651	210	159	93	5	204	—	13,298
時間内	1,675	215	488	373	743	623	401	426	114	156	27	5	187	—	5,433
時間外	4,082	0	849	400	1,218	755	154	225	96	3	66	0	17	—	7,865
平成30年度	4,995	1	1,294	548	1,775	1,324	181	305	161	12	74	2	579	14	11,265
時間内	868	1	166	159	425	457	9	59	44	0	3	1	551	1	2,744
時間外	4,127	0	1,128	389	1,350	867	172	246	117	12	71	1	28	13	8,521

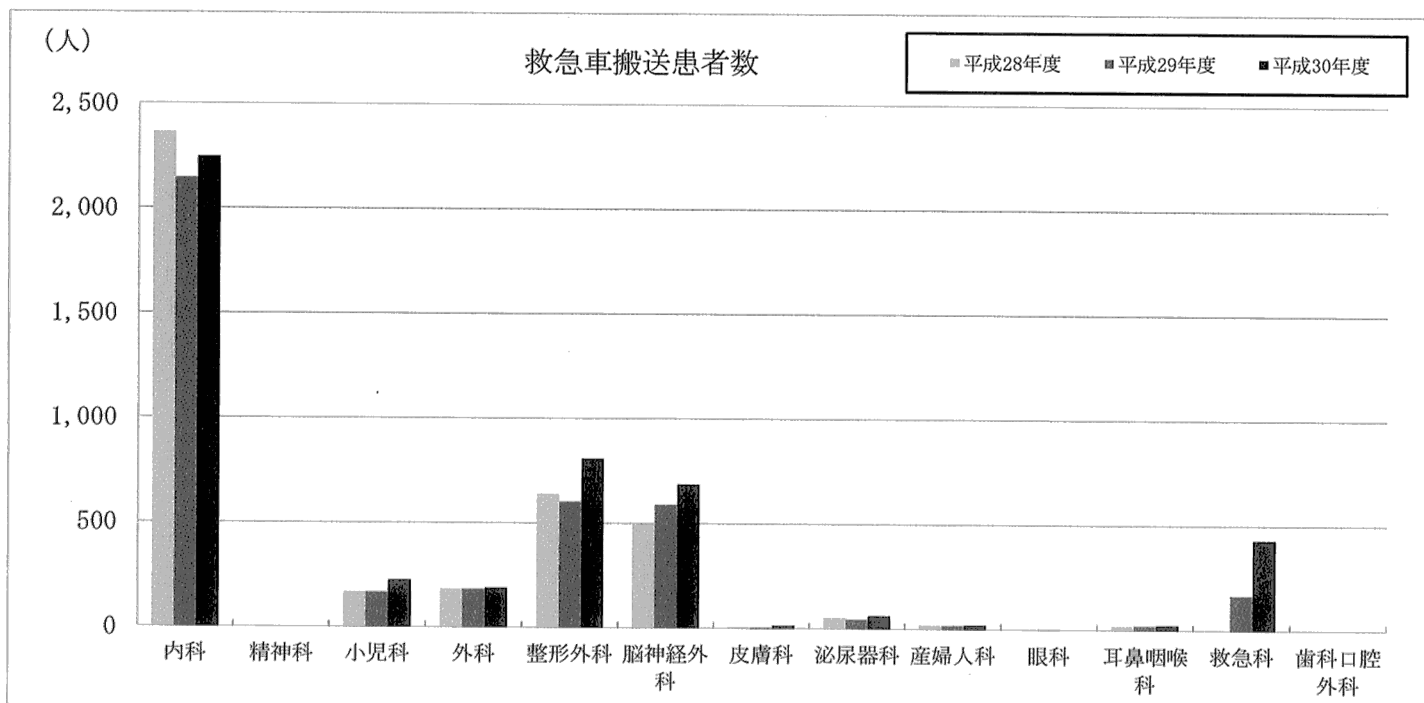




(2) 救急車搬送患者数

(単位：人)

	内科	精神科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	救急科	歯科口腔外科	合計
平成28年度	2,361	2	166	183	640	495	7	52	18	0	18	—	—	3,942
平成29年度	2,144	0	168	184	603	591	6	46	20	3	23	167	—	3,955
平成30年度	2,245	0	226	189	808	687	15	62	21	0	25	432	2	4,712



4. 分娩件数

(単位：件)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
分娩件数	単胎	249	271	264
	双胎	0	0	0
	三胎	0	0	0
	計	249	271	264
児体数	生産	246	270	261
	死産23W以前	1	1	3
	死産23W以後	2	0	0
	計	249	271	264

5. 剖検数

(単位：件)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
死亡件数	470	500	549
剖検数	9	5	5
剖検率 (%)	1.91	1.00	0.91

6. 内視鏡件数

(単位：件)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
検査	上部消化管検査	5,679	5,825	6,278
	下部消化管検査	1,595	1,519	1,620
	膵・胆管ファイバー	77	67	63
	胆道ファイバー	1	2	1
	気管支ファイバー	199	186	108
	膀胱鏡	439	558	593
	計	7,990	8,157	8,663
処置	静脈瘤結紮術	2	1	5
	ポリペクトミー上部・EMR	21	13	17
	ポリペクトミー下部・EMR	389	378	401
	超音波内視鏡	23	20	23
	止血術	527	508	505
	内視鏡的拡張術	17	29	39
	点墨・色素散布	133	120	165
	EST (内視鏡的乳頭括約筋切開術)	35	42	35
	麻酔法	0	0	0
	マーキングクリップ	49	57	93
	PEG (内視鏡的胃瘻造設術)	20	18	13
	内視鏡的胆道胆汁ドレナージ	21	17	20
	イレウス管挿入	29	32	46
	異物摘出術	18	16	12
	経肛門的減圧術	5	3	8
	留置スネア	8	7	12
	SBチューブ挿入	0	0	2
内視鏡的粘膜下層剥離術	13	9	12	
ポリープ焼灼	0	0	0	
計	1,310	1,270	1,408	

7. 循環器科

(単位：件)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
非 観 血 的 検 査	冠動脈CT	349	394	383	
	心筋シンチ	73	88	76	
	塩化タリウム	52	64	34	
	MIBG	6	14	29	
	MIBI	9	4	1	
	BMIPP	6	6	12	
観 血 的 検 査 ・ 治 療	冠動脈造影	515	516	432	
	うち アセチルコリン負荷試験	21	41	34	
	右心カテーテル	22	34	24	
	スワンガンツカテーテル	22	34	24	
	電気生理学的検査	1	0	0	
	心筋生検	9	11	15	
	冠動脈カテーテル治療	271	233	199	
	うち待機	158	138	99	
	うち緊急	113	95	100	
	内 訳	バルーンのみ	45	42	35
		ステント併用	226	191	164
		冠動脈内血栓溶解術併用	0	0	0
		血栓吸引術併用	86	70	67
		大動脈内バルーンパンピング併用	22	23	22
	末梢血管形成術	47	50	60	
	下肢動脈	26	26	18	
	シャント血管	21	24	42	
	下大静脈フィルター	1	2	5	
	一時的ペーシング	39	55	48	
	ペースメーカー	58	51	68	
新規植込み	41	35	58		
電池消耗による交換	17	16	10		

8. 手術件数

(1) 麻酔種別手術件数

(単位：件)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
全身麻酔	1,128	1,205	1,278
腰椎麻酔	375	410	380
伝達麻酔	84	87	100
静脈内麻酔	0	0	2
局所麻酔	445	600	502
無麻酔	75	69	74
硬膜外麻酔	89	96	119
その他	0	4	5
合計	2,196	2,471	2,460

(2) 手術別件数

手術名	28年度	29年度	30年度
皮膚・皮下組織			
創傷処理（長径5cm未満・筋肉、臓器に達するもの）	35	49	66
創傷処理（長径5cm未満・筋肉、臓器に達するもの・真皮縫合）	0	2	3
創傷処理（直径5cm～10cm未満・筋肉、臓器に達するもの）	18	17	20
創傷処理（長径5cm以上10cm未満・筋肉、臓器に達するもの・真皮縫合）	2	3	3
創傷処理（長径10cm以上・筋肉、臓器に達するもの）	0	18	13
創傷処理（長径5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの）	325	350	397
創傷処理（長径5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの・真皮縫合）	8	8	15
創傷処理（長径5cm～10cm未満・筋肉・臓器に達しないもの）	30	30	35
創傷処理（長径5cm以上10cm未満・筋肉、臓器に達しないもの・真皮縫合）	3	3	3
創傷処理（長径10cm以上・筋肉・臓器に達しないもの）	7	3	5
小児創傷処理（長径2.5cm未満・筋肉、臓器に達するもの）	3	2	7
小児創傷処理（長径2.5cm以上、5cm未満・筋肉、臓器に達するもの）	2	1	5
小児創傷処理（直径2.5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの）	20	18	29
小児創傷処理（直径2.5cm以上5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの）	6	4	6
小児創傷処理（長径5cm以上10cm未満・筋肉、臓器に達しないもの）	0	0	0
皮膚切開（長径10cm未満）	17	57	59
皮膚切開（長径10cm以上20cm未満）	0	0	1
皮膚切開（長径20cm以上）	0	3	3
皮下血管腫瘍摘出術（露出部）（長径3cm未満）	0	0	1
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	0	0	0
皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	3	17	20
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	1	18	26
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm以上4cm未満）	0	0	0
皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm以上4cm未満）	1	3	4
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm以上4cm未満）	1	1	7
皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径4cm以上）	1	1	3
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径4cm以上）	0	2	1
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm未満）	0	0	0
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm未満）	4	15	10
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm未満）	1	6	7
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm以上6cm未満）	0	0	0
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm以上6cm未満）	1	2	4
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm以上6cm未満）	2	2	5
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径6cm以上）	0	0	0
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径6cm以上12cm未満）	1	2	1
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（12cm以上）	0	1	1
皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術（良性皮膚腫瘍）（長径3cm未満）	0	64	35
皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術（良性皮膚腫瘍）（長径3cm以上6cm未満）	0	1	0
皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	0	11	11
形 成			
分層植皮術（25cm ² 未満）	0	0	1
全層植皮術（25cm ² 未満）	0	0	0
分層植皮術（25cm ² ～100cm ² 未満）	0	1	0
全層植皮術（25cm ² ～100cm ² 未満）	2	3	0
全層植皮術（100cm ² 以上200cm ² 未満）	1	2	0
皮弁作成・移動・切断（25cm ² 未満）	1	0	7

手術名	28年度	29年度	30年度
皮弁作成・移動・切断 (25cm ² ~100cm ²)	1	0	1
動脈(皮)弁術	0	0	0
筋膜・筋・腱・腱鞘			
腱鞘切開術(関節鏡下によるものを含む)	3	20	45
腱鞘切開術(関節鏡下によるものを含む)(指)	36	19	2
筋膜移植術(その他)	0	0	2
筋肉内異物摘出術	6	2	0
四肢・躯幹部腫瘍摘出術(躯幹)	2	5	1
四肢・躯幹部腫瘍摘出術(肩)	1	0	1
四肢・躯幹部腫瘍摘出術(上腕)	1	1	0
四肢・躯幹部腫瘍摘出術(前腕)	3	1	1
四肢・躯幹部腫瘍摘出術(大腿)	0	1	0
四肢・躯幹部腫瘍摘出術(下腿)	0	1	1
四肢・躯幹部腫瘍摘出術(手)	4	2	3
四肢・躯幹部腫瘍摘出術(足)	2	0	1
腱切除術	0	1	0
腱滑膜切除術	2	5	1
腱縫合術	9	11	29
腱縫合術(指)	1	3	2
アキレス腱断裂手術	9	10	7
腱移植術(指(手, 足))	0	0	0
腱移植術(その他)	0	1	0
腱移行術(指(手, 足))	0	1	0
腱移行術(その他)	1	0	0
腱縫合術(指)	0	0	1
腱縫合術	0	0	1
指伸筋腱脱臼観血的整復術	1	0	0
四肢骨			
骨搔爬術(下腿)	0	0	0
骨搔爬術(手)	1	1	0
骨搔爬術(足, その他)	0	1	0
骨髄炎手術(骨結核手術を含む)(足, その他)	2	0	0
骨穿孔術	0	0	1
骨折非観血的整復術(上腕)	4	6	7
骨折非観血的整復術(大腿)	1	0	0
骨折非観血的整復術(前腕)	31	46	52
骨折非観血的整復術(下腿)	1	4	2
骨折非観血的整復術(鎖骨)	7	4	3
骨折非観血的整復術(膝蓋骨)	0	1	0
骨折非観血的整復術(手)	13	15	10
骨折非観血整復術(足, その他)	3	6	3
骨折経皮的鋼線刺入固定術(上腕)	1	0	1
骨折経皮的鋼線刺入固定術(前腕)	4	4	7
骨折経皮的鋼線刺入固定術(下腿)	0	2	3
骨折経皮的鋼線刺入固定術(手)	3	2	2
骨折経皮的鋼線刺入固定術(足)	2	0	4
骨折経皮的鋼線刺入固定術(指(手・足))	11	5	3
骨折観血的手術(肩甲骨)	2	0	1
骨折観血的手術(上腕)	17	22	24

手術名	28年度	29年度	30年度
骨折観血の手術（大腿）	109	101	115
骨折観血の手術（前腕）	44	69	68
骨折観血の手術（下腿）	38	37	38
骨折観血の手術（手舟状骨）	6	2	3
骨折観血の手術（鎖骨）	17	12	16
骨折観血の手術（膝蓋骨）	8	10	8
骨折観血の手術（手（舟状骨を除く））	2	4	8
骨折観血の手術（足）	9	5	7
骨折観血の手術（指（手，足）	13	8	21
観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの）（大腿）	0	0	2
観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの）（前腕）	0	0	1
一時的創外固定骨折治療術	0	0	10
難治性骨折超音波治療法（一連につき）	0	1	11
超音波骨折治療法（一連につき）	2	16	17
骨内異物（挿入物）除去術（肩甲骨）	1	0	0
骨内異物（挿入物）除去術（上腕）	9	4	15
骨内異物（挿入物）除去術（大腿）	7	5	4
骨内異物（挿入物）除去術（前腕）	39	48	46
骨内異物（挿入物）除去術（下腿）	40	25	33
骨内異物（挿入物）除去術（鎖骨）	13	12	8
骨内異物（挿入物）除去術（膝蓋骨）	3	3	7
骨内異物（挿入物）除去術（手）	3	7	11
骨内異物（挿入物）除去術（足）	3	3	7
骨内異物（挿入物）除去術（指（手・足））	9	11	10
骨部分切除術（大腿）	0	0	0
骨部分切除術（前腕）	1	1	0
骨部分切除術（足）	1	0	0
骨部分切除術（指（手，足））	1	0	0
骨部分切除術（手）	0	1	0
腐骨摘出術（大腿）	1	0	0
骨腫瘍切除術（指）	0	0	0
骨切り術（大腿）	0	1	0
骨切り術（指）	0	0	0
偽関節手術（下腿）	0	0	1
偽関節手術（膝蓋骨）	0	0	1
偽関節手術（手（舟状骨））	0	0	1
偽関節手術（前腕）	0	1	0
偽関節手術（指（手，足））	0	1	0
偽関節手術（手（舟状骨を除く））	0	0	0
骨長調整手術（骨延長術）（指以外）	0	0	0
変形治癒骨折矯正手術（前腕）	0	0	1
変形治癒骨折矯正手術（指（手，足））	0	1	0
骨移植術（軟骨移植術を含む）（自家骨移植）	11	14	5
骨移植術（軟骨移植術を含む）（同種骨移植、非生体、その他）	0	2	0
骨移植術（軟骨移植を含む）（自家骨・非生体同種骨及び人工骨移植の併施）	0	3	2
四肢関節・靭帯			
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（肩）	3	0	1
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（膝）	0	0	1
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（股）	0	1	0

手術名	28年度	29年度	30年度
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（肘）	0	1	0
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（足）	0	1	0
関節脱臼非観血的整復術（肩）	12	11	15
関節脱臼非観血的整復術（股）	7	3	3
関節脱臼非観血的整復術（膝）	1	1	1
関節脱臼非観血的整復術（肘）	1	4	4
関節脱臼非観血的整復術（手）	1	0	0
関節脱臼非観血的整復術（足）	1	2	0
関節脱臼非観血的整復術（肩鎖）	2	0	0
関節脱臼非観血整復術（指・手・足）	4	6	4
関節脱臼非観血的整復術（小児肘内障）	18	20	17
関節脱臼観血的整復術（肩）	0	1	0
関節脱臼観血的整復術（足）	1	0	0
関節脱臼観血的整復術（肘）	0	0	1
関節脱臼観血的整復術（手）	0	0	1
関節脱臼観血的整復術（肩鎖）	1	0	0
関節脱臼観血的整復術（指・手）	1	0	1
関節滑膜切除術（膝）	0	1	2
関節鏡下関節滑膜切除術（膝）	3	2	2
関節鏡下関節鼠摘出手術（膝）	3	0	1
関節鏡下半月板切除術	6	15	10
関節鏡下半月板縫合術	1	1	0
ガングリオン摘出術（手）	1	1	1
ガングリオン摘出術（足）	1	1	2
ガングリオン摘出術（その他）	1	2	0
関節内骨折観血的手術（肩）	0	1	0
関節内骨折観血的手術（膝）	4	6	8
関節内骨折観血的手術（肘）	3	7	14
関節内骨折観血的手術（手）	3	0	1
関節内骨折観血的手術（足）	0	1	1
関節内骨折観血的手術（指・手）	0	1	1
関節鏡下関節内骨折観血的手術（膝）	0	0	1
靭帯断裂縫合術（指（手，足）	2	4	1
靭帯断裂縫合術（その他の靭帯）	0	5	4
関節鏡下靭帯断裂縫合術（十字靭帯）	1	0	0
観血的関節授動術（肘）	1	0	0
観血的関節授動術（指・手）	0	2	0
観血的関節制動術（膝）	1	1	1
観血的関節固定術（手）	0	1	0
観血的関節固定術（指・手）	1	1	2
靭帯断裂形成手術（十字靭帯）	0	1	2
靭帯断裂形成手術（その他の靭帯）	1	0	0
関節鏡下靭帯断裂形成術（十字靭帯）	2	1	0
関節形成手術（膝）	0	2	1
関節形成手術（手）	0	2	2
関節形成手術（指・手）	0	1	0
人工骨頭挿入術（股）	45	57	47
人工骨頭挿入術（肩）	1	0	1
人工骨頭挿入術（肘）	0	2	2

手術名	28年度	29年度	30年度
人工関節置換術（膝）	11	11	12
人工関節置換術（肘）	1	0	0
鋼線等による直達牽引	5	3	14
四肢切断・離断・再接合			
四肢切断術（大腿）	3	4	4
四肢切断術（下腿）	9	4	6
四肢切断術（足）	3	3	0
四肢切断術（指）	0	0	0
四肢切断術（手）	0	1	0
四肢切断術（手・指）	2	3	0
四肢切断術（足・指）	3	2	6
断端形成術（軟部形成のみ）（指）	0	0	0
断端形成術（軟部形成のみ）（手・指）	1	0	1
断端形成術（骨形成を要す）（指）	0	0	0
断端形成術（骨形成を要す）（手・指）	5	4	5
断端形成術（骨形成を要す）（足・指）	0	1	1
切断四肢再接合術（手・指）	0	0	1
手・足			
爪甲除去術	2	2	10
陥入爪手術（簡単なもの）	0	0	1
手根管開放手術	14	16	20
手掌遺物摘出術	0	0	1
足底異物摘出術	2	1	1
指癒痕拘縮手術	0	1	0
多指症手術（骨関節形成を要す）	0	0	1
デュプイトレン拘縮手術（1指）	1	1	0
デュプイトレン拘縮手術（2指から3指）	0	2	0
デュプイトレン拘縮手術（4指以上）	0	1	0
母指対立再建術	0	0	0
第一足指外反症矯正手術	0	0	0
脊 柱 ・ 骨 盤			
腸骨翼骨折観血の手術	0	1	0
骨盤骨折観血の手術（腸骨翼及び寛骨臼骨折観血の手術を除く）	0	1	0
脊椎内異物（挿入物）除去術	3	5	0
黄色靭帯骨化症手術	1	0	0
椎間板摘出術（後方摘出術）	7	5	0
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方又は後側方固定）	53	11	0
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方椎体固定）	12	3	0
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（前方後方同時固定）	0	0	0
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓切除）	23	31	0
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓形成）	31	25	0
脊椎骨（軟骨）組織試験採取術（その他）	0	0	1
体外式脊椎固定術（ベスト式のもの）	2	1	0
頭 蓋 ・ 脳			
穿頭脳室ドレナージ術	13	2	7
穿頭術（トレビナチオン）	2	2	1
試験開頭術	0	1	0
減圧開頭術（キアリ奇形、脊髄空洞症の場合）	0	0	0
減圧開頭術（その他の場合）	1	2	0

手術名	28年度	29年度	30年度
脳膿瘍排膿術	0	1	1
定位脳腫瘍生検術	0	1	0
頭蓋内血腫除去術（開頭・硬膜外）	0	1	0
頭蓋内血腫除去術（開頭・硬膜下）	5	6	4
頭蓋内血腫除去術（開頭・脳内）	3	2	8
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	49	44	54
定位的脳内血腫除去術	1	0	0
内視鏡下脳内血腫除去術	4	2	2
頭蓋内腫瘍摘出術	1	0	0
頭蓋内腫瘍摘出術（その他）	5	3	6
経鼻的下垂体腫瘍摘出術	0	2	0
内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術（下垂体腫瘍）	0	1	1
脳動静脈奇形摘出術	0	0	0
水頭症手術（シャント手術）	7	1	3
髄液シャント抜去術	1	0	0
脳動脈瘤流入血管クリッピング開頭（1箇所）	1	0	0
脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）	13	11	8
脳動脈瘤頸部クリッピング（2箇所以上）	0	0	1
脳血管内手術（1箇所）	12	7	9
脳血管内手術（2箇所以上）	0	0	0
脳血管内手術（脳血管内ステントを用いるもの）	0	1	0
経皮的脳血管形成術	4	3	5
経皮的脳血栓回収術	17	20	18
髄液漏閉鎖術	0	0	0
頭蓋骨形成手術（頭蓋骨のみ）	0	0	0
頭蓋骨形成手術（硬膜形成を伴う）	3	0	3
脊 髄 ・ 末梢神経 ・ 交感神経			
神経縫合術（指（手，足））	4	9	12
神経縫合術（その他）	1	1	6
神経剥離術（その他のもの）	5	6	5
レックリングハウゼン病偽神経腫切除術（露出部）直径2cm未満	0	0	0
レックリングハウゼン病偽神経腫切除術（露出部）直径2cm以上4cm未満	0	1	0
レックリングハウゼン病偽神経腫切除術（露出部）直径4cm以上	0	0	0
レックリングハウゼン病偽神経腫切除術（露出部以外）直径6cm以上	0	2	0
胸腔鏡下交感神経節切除術（両側）	1	1	0
眼 瞼			
麦粒腫切開術	0	0	0
霰粒腫摘出術	0	0	1
眼瞼膿瘍切開術	0	0	1
涙点プラグ挿入術、涙点閉鎖術	0	19	16
眼瞼内反症手術（縫合法）	8	4	3
結 膜			
結膜腫瘍摘出術	2	0	0
結膜縫合術	0	1	2
結膜結石除去術（少数のもの）（1眼瞼ごと）	0	3	1
結膜下異物除去術	0	4	0
翼状片手術（弁の移植を要するもの）	0	0	1
角膜・強膜異物除去術	0	5	4
眼 房 ・ 網 膜			

手術名	28年度	29年度	30年度
虹彩光凝固術	0	17	22
網膜光凝固術（通常のもの・一連につき）	0	43	32
網膜光凝固術（その他特殊なもの・一連につき）	1	19	14
水晶体・硝子体			
水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合・その他のもの）	157	281	184
水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合・縫着レンズを挿入するもの）	0	1	0
水晶体再建術（眼内レンズを挿入しない場合）	1	4	0
後発白内障手術	0	56	40
外 耳			
鼓膜切開術	0	3	1
外耳道異物除去術（単純なもの）	0	0	1
鼻			
鼻腔粘膜焼灼術	1	4	3
鼻骨骨折徒手整復術	0	1	0
内視鏡下鼻・副鼻腔手術2型（副鼻腔単洞手術）	0	0	0
上顎洞根治手術	0	0	2
鼻茸摘出術	0	1	1
咽 頭 ・ 扁桃			
咽頭異物摘出術（簡単）	0	2	1
喉 頭 ・ 気 管			
気管切開術	19	6	9
口 ・ 舌			
頬粘膜腫瘍摘出術	0	0	3
頬粘膜悪性腫瘍手術	0	0	1
舌腫瘍摘出術（その他のもの）	0	0	4
舌悪性腫瘍手術（切除）	0	0	7
口唇腫瘍摘出術（その他）	0	0	5
顔面骨・顎関節			
顎関節脱臼非観血的整復術	2	4	0
下顎骨折観血的手術（片側）	0	0	1
顎関節脱臼非観血的整復術	0	0	2
下顎骨悪性腫瘍手術（切除）	0	0	1
唾石摘出術（一連につき）（表在性のもの）	0	0	1
甲状腺・副甲状腺（上皮小体）			
甲状腺腫瘍摘出術（片葉）	1	1	2
甲状腺部分切除術（片葉）	1	3	2
甲状腺部分切除術、甲状腺腫瘍摘出術（両葉）	1	0	0
バセドウ甲状腺全摘術（両葉）	1	0	0
甲状腺悪性腫瘍手術（切除）	3	4	1
甲状腺悪性腫瘍手術（全摘）	2	0	1
副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術（摘出術）	1	1	0
頸嚢摘出術	0	1	0
乳 腺			
乳腺膿瘍切開術	1	0	1
乳腺腫瘍摘出術（長径5cm未満）	11	28	12
乳腺腫瘍摘出術（長径5cm以上）	0	1	2
乳管腺葉区域切除術	0	1	1
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術	0	29	29
乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）	10	11	17

手術名	28年度	29年度	30年度
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・腋窩部郭清を伴わないもの）	11	21	22
乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴う）（内視鏡下によるものを含む）	2	0	1
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除併施しない）	5	7	4
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施する）	1	1	6
胸 壁			
胸壁腫瘍摘出術	0	0	1
胸 腔 ・ 胸 膜			
胸腔鏡下試験開胸術	0	0	3
胸腔内（胸膜内）血腫除去術	0	0	0
胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	2	2	4
胸郭形成手術（膿胸手術）（肋骨切除）	0	0	1
膿胸腔有茎筋肉弁充填術	0	1	0
胸郭形成手術（膿胸手術）（肋骨切除を主とする）	1	0	0
縦 隔			
胸腺摘出術	1	1	0
縦隔悪性腫瘍手術（単純摘出）	0	0	0
縦隔悪性腫瘍手術（広汎摘出）	0	0	1
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	2	1	1
気管支 ・ 肺			
気管支瘻閉鎖術	1	0	0
気管支鏡下レーザー腫瘍焼灼術	0	1	0
肺切除術（1側肺全摘）	1	0	0
肺切除術（肺葉切除）	0	2	1
胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除によるもの）	21	19	16
胸腔鏡下肺切除術（その他のもの）	6	3	1
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	1	1	1
肺悪性腫瘍手術（区域切除）	0	1	0
肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）	4	6	6
肺悪性腫瘍手術（肺全摘）	3	0	0
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）	4	10	11
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）	1	0	0
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）	19	15	21
食 道			
食道縫合術（開胸手術）	1	0	1
食道狭窄拡張術（内視鏡によるもの）	0	1	1
食道狭窄拡張術（拡張用バルーンによるもの）	1	1	12
食道ステント留置術	0	0	2
内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜切除術）	1	0	0
内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）	1	3	3
食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（頸部、胸部、腹部の操作）	0	2	0
食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（腹部の操作）	0	0	1
食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（胸部・腹部の操作）	0	1	3
内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	2	3	5
食道裂孔ヘルニア手術（経腹）	0	1	0
食道裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）	0	1	0
心 ・ 心膜 ・ 肺動静脈 ・ 冠血管等			
経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞に対するもの）	8	5	3
経皮的冠動脈形成術（不安定狭心症に対するもの）	2	2	6
経皮的冠動脈形成術（その他のもの）	32	40	26

手術名	28年度	29年度	30年度
経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞に対するもの）	51	37	30
経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症に対するもの）	19	16	21
経皮的冠動脈ステント留置術（その他のもの）	154	139	111
冠動脈内血栓溶解療法	0	0	0
経皮的冠動脈血栓吸引術	2	2	0
胸腔鏡下心膜開窓術	0	0	1
経皮的冠動脈粥腫切除術	0	0	1
体外ペースメーカー術	1	2	1
ペースメーカー移植術（経静脈電極）	42	43	56
ペースメーカー交換術	17	8	10
大動脈バルーンパンピング（初日）	18	19	18
大動脈バルーン法（2日目以降）	154	110	98
植込型心電図記録計移植術	0	0	1
経皮的心肺補助法（初日）	6	3	2
経皮的心肺補助法（2日目以降）	0	0	0
動 脈			
血管結紮術（その他）	0	0	1
血管縫合術（簡単）	0	0	1
動脈塞栓除去術（その他）（観血的）	0	0	1
動脈血栓内膜摘出術（内頸動脈）	2	2	0
経皮的頸動脈ステント留置術	6	15	10
動脈形成術（頭蓋内動脈）	1	0	1
動脈吻合術（頭蓋内動脈）	0	0	0
動脈吻合術（指（手、足）の動脈）	4	7	8
動脈形成術、吻合術（その他の動脈）	0	0	4
内シャント設置術	40	42	32
四肢の血管吻合術	1	0	0
抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置（頭頸部その他）	36	36	31
腎血管性高血圧症手術（経皮的腎血管拡張術）	1	0	0
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（止血術）	1	3	3
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（選択的動脈化学塞栓術）	1	3	2
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（その他）	1	0	3
四肢の血管拡張術・血栓除去術	27	24	17
経皮的血管内異物除去術	0	0	1
経皮的シャント拡張術・血栓除去術	19	26	39
静 脈			
中心静脈注射用植込型カテーテル設置（四肢）	1	0	1
中心静脈注射用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	0	3	8
中心静脈栄養植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	2	0	0
下大静脈フィルター留置術	1	2	4
下大静脈フィルター除去術	0	0	1
リンパ管・リンパ節			
リンパ管腫摘出術（長径5cm以上）	0	1	0
リンパ節摘出術（長径3cm未満）	13	9	12
リンパ節摘出術（長径3cm以上）	5	3	6
腹 壁 ・ ヘルニア			
腹壁膿瘍切開術	0	2	0
腹壁膿瘍摘出術（形成手術を必要としないもの）	0	1	1
腹壁膿瘍摘出（形成手術を必要とするもの）	0	0	0

手 術 名	28年度	29年度	30年度
腹壁瘻手術（腹腔に通ずるもの）	0	0	1
ヘルニア手術（腹壁瘢痕ヘルニア）	6	3	3
ヘルニア手術（白線ヘルニア）	0	0	0
ヘルニア手術（臍ヘルニア）	1	6	2
ヘルニア手術（鼠径ヘルニア）	77	64	89
ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	3	2	7
ヘルニア手術（骨盤部ヘルニア・閉鎖孔ヘルニア）	3	0	1
ヘルニア手術（内ヘルニア）	0	0	0
腹腔鏡下ヘルニア手術（閉鎖孔ヘルニア）	0	0	1
腹腔鏡下ヘルニア手術（腹壁瘢痕ヘルニア）	2	2	0
腹腔鏡下ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	3	0	2
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	24	45	13
腹膜・後腹膜・腸間膜・網膜			
胸水・腹水濾過濃縮再静注法	2	7	0
試験開腹術	2	3	4
腹腔鏡下試験開腹術	0	1	0
腹腔鏡下試験切除術	0	1	0
限局性腹腔膿瘍手術（ダグラス窩膿瘍）	0	0	0
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	0	1	0
骨盤腹膜外膿瘍切開排膿術	1	0	0
急性汎発性腹膜炎手術	8	9	8
腸間膜損傷手術（腸管切除を伴う）	1	0	0
大網切除術	0	0	1
大網腫瘍摘出術（腸切除を伴わないもの）	0	0	1
後腹膜腫瘍摘出術（腸切除を伴わないもの）	1	0	0
後腹膜腫瘍摘出術（腸切除を伴うもの）	1	0	0
胃 ・ 十二指腸			
胃縫合術（大網充填術又被覆術を含む）	3	1	0
内視鏡的胃ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜切除術）	6	3	2
内視鏡的胃ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）	12	8	9
内視鏡的胃ポリープ・粘膜切除術（その他のポリープ・粘膜切除術）	16	9	14
内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術	1	0	0
内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	8	12	10
内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術	0	1	0
内視鏡的消化管止血術	50	55	70
胃血管結紮術（急性胃出血手術）	0	0	2
胃縫合術（大網充填術又は被覆術を含む）	0	0	4
腹腔鏡下胃・十二指腸潰瘍穿孔縫合術	0	0	1
内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	0	0	5
胃局所切除術	1	0	0
胃切除術（単純）	0	0	0
胃切除術（悪性腫瘍）	17	24	22
腹腔鏡下胃切除術（単純）	0	1	0
腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍）	5	5	13
噴門側胃切除術（悪性腫瘍）	0	2	3
胃全摘術（単純）	0	0	0
胃全摘術（悪性腫瘍）	14	16	15
腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍）	0	1	1
胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む）	3	7	9

手術名	28年度	29年度	30年度
経皮的内視鏡下胃瘻造設術	15	5	8
胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	4	8	5
胆嚢・胆道			
胆管切開結石摘出術（胆嚢摘出を含む）	1	0	1
胆嚢摘出術	55	53	56
腹腔鏡下胆嚢摘出術	49	69	74
総胆管拡張症手術	0	0	0
胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢に限局する）	2	0	0
胆管形成手術（胆管切除術を含む）	0	1	0
胆嚢外瘻造設術	4	1	1
胆管外瘻造設術（経皮経肝）	0	0	0
経皮的胆管ドレナージ術	3	5	1
内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術（ENBD）	0	0	1
内視鏡的胆道結石除去術（胆道碎石術を伴うもの）	1	0	1
内視鏡的胆道結石除去術（その他のもの）	1	0	3
内視鏡的胆道拡張術	0	0	0
内視鏡的乳頭切開術（乳頭括約筋切開のみのもの）	21	13	9
内視鏡的乳頭切開術（胆道碎石を伴う）	3	14	8
内視鏡的胆道ステント留置術	37	31	35
肝			
経皮的肝膿瘍ドレナージ術	2	4	2
肝切除術（部分切除）	2	2	3
肝切除術（1区域切除（外側区域切除を除く））	1	0	0
肝切除術（2区域切除）	0	0	0
腹腔鏡下肝嚢胞切開術	0	0	1
肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（一連として）（2cm以内のもの）（その他）	1	0	0
膵			
膵体尾部腫瘍切除術（膵尾部切除術）（脾同時切除）	2	0	2
膵頭部腫瘍切除術（膵頭十二指腸切除術）	1	2	5
膵頭部腫瘍切除術（十二指腸温存膵頭切除術）	0	0	0
膵頭部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）	0	0	0
膵頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う）	0	1	2
膵頭部腫瘍切除術（血行再建を伴う場合）	0	0	0
膵頭部腫瘍切除術（周辺臓器の合併を伴う）	0	1	0
膵全摘術	0	1	0
内視鏡的膵管ステント留置術	2	3	5
脾			
脾摘出術	0	0	1
空腸・回腸・盲腸・虫垂・結腸			
破裂腸管縫合術	0	0	0
腸管癒着症手術	13	8	13
腹腔鏡下腸管癒着剝離術	1	1	0
腸重積症整復（非観血的なもの）	4	3	2
小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）	14	21	20
小腸切除術（悪性腫瘍手術）	0	2	3
虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	0	0	0
虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	1	0	1
腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）	1	1	1
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	24	33	30

手術名	28年度	29年度	30年度
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	11	17	24
結腸切除術（小範囲切除）	6	13	18
結腸切除術（結腸半側切除）	1	1	2
結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）	47	54	62
腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）	1	1	4
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	14	20	14
内視鏡的大腸粘膜切除術（長径2cm未満）	19	6	41
内視鏡的大腸粘膜切除術（長径2cm以上）	2	0	5
内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径2cm未満）	32	346	325
内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径2cm以上）	4	18	30
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	0	0	0
小腸結腸内視鏡的止血術	8	7	13
小腸腫瘍摘出術	0	0	1
腸吻合術	0	2	2
腸瘻造設術	2	0	0
人工肛門造設術	9	5	13
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴わないもの）	2	0	0
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴うもの）	10	3	1
小腸・結腸狭窄部拡張術（内視鏡）	1	3	2
下部消化管ステント留置術	1	0	1
直 腸			
直腸腫瘍摘出術（経肛門）	3	7	4
低侵襲経肛門的局所切除術（M I T A S）	0	2	0
直腸切除・切断術（切除術）	16	11	19
直腸切除・切断術（低位前方切除術）	8	11	15
直腸切除・切断術（超低位前方切除術）	1	0	0
直腸切除・切断術（切断術）	1	4	2
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）	3	2	2
腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）	6	5	12
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）	1	2	5
直腸脱手術（経会陰）（腸管切除を伴わないもの）	0	5	0
肛 門 ・ その周辺			
痔核手術（硬化療法（四段階注射法によるもの）	1	0	1
痔核手術（結紮術）	0	0	1
痔核手術（血栓摘出術）	1	0	0
肛門周囲膿瘍切開術	0	7	5
痔瘻根治手術（単純）	0	2	3
痔瘻根治手術（複雑）	1	0	0
肛門悪性腫瘍手術（切除）	0	0	0
肛門形成手術（肛門狭窄形成手術）	0	0	0
肛門形成手術（直腸粘膜脱形成手術）	1	0	0
毛巣洞手術	0	0	0
腎 ・ 腎 盂			
腹腔鏡下副腎摘出術	1	1	1
腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術	0	1	1
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術（一連につき）	36	35	25
腹腔鏡下腎摘出術	0	0	0
腹腔鏡下腎部分切除術	0	1	0
腎（尿管）悪性腫瘍手術	0	2	2

手術名	28年度	29年度	30年度
腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	14	15	14
経皮的腎（腎盂）瘻造設術	8	6	13
尿管			
経尿道的尿路結石除去術（その他のもの）	4	7	18
経尿道的尿管狭窄拡張術	0	1	0
経尿道的尿管ステント留置術	139	110	90
経尿道的尿管ステント抜去術	2	18	18
尿管膀胱吻合術	0	0	1
膀胱			
膀胱内凝血除去術	0	10	3
膀胱異物摘出術（経尿道的手術）	1	1	0
膀胱結石摘出術（経尿道的手術）	9	11	11
膀胱結石摘出（膀胱高位切開術）	1	0	0
経尿道的電気凝固術	1	1	1
膀胱悪性腫瘍手術（切除）	1	1	4
膀胱悪性腫瘍手術（全摘・尿管S状結腸吻合利用し尿路変更を行う）	1	0	0
膀胱悪性腫瘍手術（全摘・回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行う）	3	0	5
膀胱悪性腫瘍手術（全摘・代用膀胱を利用し尿路変更を行う）	0	0	1
膀胱悪性腫瘍手術（全摘・腸管等利用し尿路変更を行わない）	0	2	0
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術・電解質溶液利用のもの）	41	67	73
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（その他）	18	4	1
尿膜管摘出術	1	2	1
腹腔鏡下尿膜管摘出術	1	0	0
膀胱瘻造設術	0	3	1
膀胱陰瘻閉鎖術	1	0	0
尿道			
外尿道口切開術	0	0	0
外尿道腫瘍切除術	2	2	0
尿道狭窄内視鏡手術	2	0	0
尿道狭窄拡張術（尿道バルーンカテーテル）	1	5	3
尿道異物摘出術（前部尿道）	0	0	1
尿道結石摘出術（後部尿道）	0	0	1
女子尿道脱手術	0	0	1
陰茎			
陰茎尖圭コンジローム切除術	1	0	0
包茎手術（背面切開術）	1	0	1
包茎手術（環状切除術）	5	3	8
陰囊・精巣・精巣上体・精管・精索			
精巣摘出術	13	11	9
精巣外傷手術（陰囊内血腫除去術）	1	0	0
精巣悪性腫瘍手術	1	2	4
陰囊水腫手術（交通性陰囊水腫手術）	0	1	0
陰囊水腫手術（その他）	0	4	2
停留精巣固定術	6	0	2
精索捻転手術（対側精巣固定術を伴う）	0	0	0
精索捻転手術（その他のもの）	1	0	0
精巣・前立腺			
経尿道的前立腺手術（その他のもの）	17	6	12
前立腺悪性腫瘍手術	0	0	0

手術名	28年度	29年度	30年度
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	13	8	10
前立腺被膜下摘出術	0	0	1
前立腺悪性腫瘍手術	0	0	1
外 陰 ・ 会 陰			
外陰・膣血腫除去術	0	0	0
バルトリン腺嚢胞腫瘍摘出術（造袋術を含む）	0	0	1
女子外性器腫瘍摘出術	0	0	1
膣			
処女膜切開術	0	1	0
膣閉鎖術（中央膣閉鎖術（子宮全脱））	0	1	0
膣壁形成手術	0	2	0
膣ポリープ切除術	1	0	0
膣壁尖圭コンジローム切除術	6	0	1
子 宮			
子宮内膜搔爬術	6	3	6
子宮脱手術（膣壁形成手術・子宮全摘術）	4	9	3
子宮頸管ポリープ切除術	1	37	26
子宮頸部（膣部）切除術	20	19	13
子宮息肉様筋腫摘出術（膣式）	1	2	1
子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）	2	0	1
子宮全摘術	25	35	26
腹腔鏡下膣式子宮全摘術	1	0	1
子宮悪性腫瘍手術	3	5	3
妊娠子宮摘出術（ポロー手術）	0	0	1
子宮附属器			
卵巣部分切除術（開腹）	0	0	1
卵管結紮術（両側，開腹）	7	0	6
子宮附属器腫瘍摘出術（両側・開腹）	25	38	35
卵管全摘除術（両側，開腹）	1	1	1
子宮附属器悪性腫瘍手（両側）	4	3	2
産科手術			
吸引娩出術	11	9	8
鉗子娩出術（低位（出口）鉗子）	6	3	1
鉗子娩出術（中位鉗子）	1	1	5
会陰（陰門）切開及び縫合術（分娩時）	1	0	0
会陰（膣壁）裂創縫合術（分娩時・肛門に及ぶ）	1	3	2
会陰（膣壁）裂創縫合（分娩時・膣門蓋に及ぶ）	2	3	6
頸管裂創縫合術（分娩時）	0	4	3
帝王切開術（緊急切開）	18	28	26
帝王切開術（選択切開）	35	42	34
胎盤用手剥離術	0	0	2
子宮頸管縫縮術（シロッカー法）	0	1	0
流産手術（妊娠11週まで）	22	24	17
子宮内容除去術（不全流産）	3	3	1
胞状奇胎除去術	0	0	0
子宮外妊娠手術（開腹）	1	1	3
子宮外妊娠手術（腹腔鏡）	1	2	1
新生児仮死蘇生術（仮死2度）	0	0	0
歯科口腔外科手術			

手術名	28年度	29年度	30年度
後出血処置	0	0	1
拔牙手術・乳歯	0	0	2
拔牙手術・前歯	0	0	59
拔牙手術・臼歯	0	0	166
ヘミセクション（分割拔牙）	0	0	3
拔牙手術・埋伏歯	0	0	76
口腔内消炎手術（骨膜下膿瘍・口蓋膿瘍等）	0	0	4
口腔内消炎手術（顎炎・顎骨髄炎等） 1 / 3 顎未満	0	0	2
顎骨腫瘍摘出術（3cm未満）	0	0	7
顎骨腫瘍摘出術（3cm以上）	0	0	1
歯肉・歯槽部腫瘍手術（軟組織）	0	0	2
歯根嚢胞摘出手術（歯冠大）	0	0	16
歯根嚢胞摘出手術（拇指頭大）	0	0	3
歯根端切除手術（2以外の場合）	0	0	1
口腔内縫合術（小深）	0	0	1
がま腫切開術	0	0	1
がま腫摘出術	0	0	1
舌腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	0	0	1
口蓋腫瘍摘出術（口蓋粘膜）	0	0	4
口唇腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	0	0	1
顎関節脱臼非観血的整復術	0	0	4
口腔内軟組織異物（人工物）除去術（困難・深在性）	0	0	1
歯周外科手術・歯肉剥離搔爬手術	0	0	4
腐骨除去手術（歯槽部）	0	0	1
腐骨除去手術顎骨（片側1 / 3未満）	0	0	9
顎骨嚢胞開窓術	0	0	1
歯の再植術（外傷性脱臼歯）	0	0	2
頬骨骨折観血的整復術	0	0	1
口腔外縫合術（小深）	0	0	4
癒痕性拘縮に対する癒痕拘縮形成手術	0	0	1
下顎隆起形成術（両側）	0	0	1
顎骨内異物除去術（困難・顎骨2 / 3未満）	0	0	2
術後性上顎嚢胞摘出術（上顎に限局するもの）	0	0	1
歯根端切除手術（1歯につき）（歯科用3次元エックス線断層撮影装置及び手術用顕微鏡を用いた場合）	0	0	4
加 算			
超音波凝固切開装置等加算	297	343	398
手指の創傷に係る機能回復指導加算	0	0	16
創外固定器加算	0	3	1
イオントフォレーゼ加算	0	2	1
自動縫合器加算	654	235	293
自動吻合器加算	63	59	78
乳がんセンチネルリンパ加算1	19	30	35
デブリードマン加算（健保用）	55	0	0
デブリードマン加算200点	4	0	0
デブリードマン加算（汚染された挫創）	0	40	45
デブリードマン（100㎡未満）	1	0	1
デブリードマン（100㎡以上3000㎡未満）	1	0	0
深部デブリードマン加算	0	1	0
術中血管等描出撮影加算	8	14	10

手術名	28年度	29年度	30年度
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	21	16	35
人工肛門造設加算（直腸切除・切斷術）	0	0	2
周術期口腔機能管理後手術加算	16	5	86
バルーン内視鏡加算	0	2	1
術中透視装置使用加算	0	4	14
乳児加算（手術）	0	3	1
幼児加算（手術）	0	27	45
3才未満幼児加算（手術）	0	25	30
麻酔加算（MRSA, B型・C型肝炎, 結核患者）	0	42	22
時間外特例医療機関加算2（処置・手術）	0	15	76
複雑加算（帝王切開術）	0	28	31
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	0	0	0
真皮縫合加算	0	0	9
骨吸収抑制薬関連顎骨壊死又は放射線性顎骨壊死加算	0	0	9
下顎水平埋伏智歯加算	0	0	56
難抜歯加算（臼歯）	0	0	30

※1. この件数は、医事算定データから抽出したものです。

9. 薬剤部

(1) 処方箋

(単位:枚)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
入院	38,694	38,913	39,481
外来	8,549	55,053	115,688
院内	5,392	7,267	9,919
院外	3,157	47,786	105,769
院外処方箋発行率%	37	59	91
計	47,243	93,966	155,169

(2) 調剤

(単位:件)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
入院	81,342	78,512	77,482
外来	7,294	18,355	19,379
計	88,636	96,867	96,861

調剤の内訳	平成28年度	平成29年度	平成30年度
内服	75,292	73,335	72,208
外用	12,701	14,789	16,472
頓服	8,209	8,742	9,246

(3) 薬剤管理指導

(単位:件)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
入院	13,647	13,121	12,417

(4) 混注(ミキシング)状況

(単位:件)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ミキシング	5,367	8,469	5,085
IVH	1,454	1,559	1,555
抗悪性腫瘍	3,724	3,836	3,530
その他	189	74	0
セット	255,128	253,591	230,149

(5) 病棟薬剤業務実施加算

(単位:件)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
DPC対象患者	18,323	17,962	18,513
出来高算定患者	889	844	1,333
計	19,212	18,806	19,846

(6) 採用医薬品

(単位:品)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
採用薬品数	1,544	1,577	1,694
新規院内採用数	64	79	117
新規院外採用数	35	18	34

(7) 製剤状況

剤形	製剤名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
内用液剤	ATRA乳剤	100ml	0	0	0
	DMSOシロップ (内服)	47ml	0	0	0
	ルゴール液 (内服用)	100ml	0	0	0
アンプル	無水エタノールアンプル	1A	0	0	0
	1%ピオクタニンアンプル	1A	0	0	0
	墨汁アンプル	1A	66	4	7
	1%メチレンブルーアンプル	1A	0	0	0
点眼剤	生食点眼液	5ml	0	0	0
	0.5%アトロピン点眼液	5ml	0	0	0
	ジフルカン点眼液0.2%	5ml	0	0	0
	マイトマイシン点眼液	5ml	0	0	0
点耳	鼓膜麻酔液	10ml	0	0	0
	ファンギゾン点耳液	5mL	0	0	0
	フロリード点耳液	5mL	0	0	0
	インプレトール	1A	0	0	0
吸入剤	耳鼻科用吸入液	50ml	0	64	51
	ファンギゾン吸入液	100ml	0	0	0
	カナマイシン吸入液	100ml	0	0	0
外用液剤	ロビオン含嗽水	100ml	0	0	0
	アロプリノール含嗽水	500ml	0	0	0
	ファンギゾン含嗽水	500ml	0	0	0
	ポラプレジック含嗽水	100ml	12	71	12
	スペシャル含嗽水	500ml	15	12	21
	DMSO膀胱注入液	80ml	0	0	0
	LPA注腸液	100ml	0	0	0
		50ml	0	0	0
	安息香酸ベンジルローション	100ml	0	0	0
	20%塩化アルミニウム液	100ml	0	0	0
	10%塩化アルミニウム液	100ml	0	0	0
	1%ピオクタニン (外用)	100ml	0	2	12
	5000倍ボスミン液	100ml	104	120	63
50000倍ボスミン液	100ml	0	0	0	
坐剤	リンコデ坐剤	1個	0	0	0
軟膏	硫酸ポリミキシンB軟膏	500g	0	0	0
	γ-BHC	100g	0	0	0
	0.1%ポリミキシンB軟膏	500g	0	8	1
	モーズペースト	100g	7	2	4
	オバホルモン軟膏	20g	0	0	0
その他	4%カリ石ケン	18L	0	0	0
	滅菌ハイアミン入りグリセリン	100ml	0	0	0
	ボール水	500ml	0	0	0
	10%ホルマリン液	500ml	0	0	0
	10%ホルマリン液	18L	0	0	0
	20%ホルマリン液	18L	0	0	0
	滅菌グリセリン	100ml	0	0	0
	2%チオ硫酸ナトリウム	500ml	0	0	0
	グリセリン・ヘキサックアルコール	500ml	0	0	0
	ナーベル散	1g	0	0	0
	10%硝酸銀液	100ml	5	5	9
	20%硝酸銀液	100ml	0	0	0
	ルゴール液 (染色用)	50ml	4	7	13
	ロイコボリン含嗽水	500ml	0	1	6
	メトロニゾール軟膏	500g	15	0	6
	3%酢酸液	500ml	0	0	4
0.5%ヒピテン液	500ml	0	0	3	

(8) 麻薬

製剤名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
塩酸モルヒネ注10mg	A	1,069	837	816
塩酸モルヒネ注50mg	A	98	459	278
塩酸モルヒネ注200mg	A	2	175	102
フェンタニル注	A	2,742	5,310	4,623
塩酸モルヒネ錠	錠	0	0	0
オピスタン注	A	33	ペチジンへ変更	ペチジンへ変更
ペチジン注	A	43	74	75
塩酸モルヒネ末	g	0	0	0
塩酸モルヒネ10倍散	g	0	0	0
塩酸コカイン10倍散	g	0	0	0
MSコンチン10mg	錠	334	907	812
MSコンチン30mg	錠	0	0	135
MSコンチン60mg	錠	0	0	0
オキシコンチン5mg	錠	8,191	10,191	6,313
オキシコンチン20mg	錠	5,468	3,306	2,748
オキシコンチン40mg	錠	-	2,127	3,063
オプソ5mg	包	765	707	1,053
オプソ10mg	包	172	260	68
アンペック坐剤10mg	個	278	53	60
アンペック坐剤20mg	個	65	30	0
アンペック坐剤30mg	個	10	56	18
オキノーム散2.5mg	包	2,421	2,227	2,959
オキノーム散5mg	包	2,360	2,121	2,169
オキノーム散10mg	包	-	2,438	2,620
オキノーム散20mg	包	-	1,286	2,069
パシーフカプセル30mg	C	0	0	0
パシーフカプセル60mg	C	0	0	0
パシーフカプセル120mg	C	0	0	0
アルチバ2mg	V	1,292	レミフェンタニルへ変更	レミフェンタニルへ変更
レミフェンタニル2mg	V	-	1,311	1,240
フェントステープ1mg	枚	1,320	1,411	985
フェントステープ2mg	枚	961	676	634
フェントステープ4mg	枚	203	333	292
フェントステープ6mg	枚	79	74	51
フェントステープ8mg	枚	25	21	37
オキファスト注10mg	A	451	654	520
オキファスト注50mg	A	35	88	270
アブストラル舌下錠100 μ g	錠	154	340	354
アブストラル舌下錠200 μ g	錠	55	14	30
アブストラル舌下錠400 μ g	錠	0	0	0
タペンタ錠50mg	錠	-	201	0
タペンタ錠25mg	錠	-	193	0

10. 放射線室

(1) 種別部位別

*入院棟

種別	部位	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
		人数	件数	回数	人数	件数	回数	人数	件数	回数
一般撮影	頭部	49	51	90	35	47	65	41	69	73
	胸部	8,407	8,418	9,040	8,528	8,620	8,953	9,701	10,680	10,712
	腹部	3,104	3,116	5,251	2,539	3,059	4,014	2,556	4,261	4,263
	四肢	1,369	1,600	3,558	1,520	2,249	3,551	1,785	3,684	4,032
	脊椎・骨全般	1,728	2,072	4,054	1,853	2,863	3,936	1,519	3,021	3,026
	計	14,657	15,257	21,993	14,475	16,838	20,519	15,602	21,715	22,106
TV系	消化器系	176	212	1,021	219	268	955	328	359	1,003
	外科系	235	254	914	180	190	785	70	70	311
	尿路系	73	73	440	45	45	193	43	43	115
	呼吸器・血管・産婦人科系	0	0	0	51	53	52	128	130	140
	整形外科系	226	230	388	200	202	287	69	73	91
	その他	54	54	81	30	31	54	14	14	21
計	764	823	2,844	725	789	2,326	652	689	1,681	
手術室	胸部ポータブル	487	487	488	536	536	547	704	729	732
	腹部ポータブル	373	374	379	486	490	503	630	631	633
	四肢ポータブル	414	441	860	353	516	740	401	805	828
	脊椎・骨全般ポータブル	70	74	133	190	305	377	171	332	334
	骨透視	301	306	306	319	321	244	408	418	352
	胸部透視	42	45	46	38	38	30	33	33	23
	腹部透視	147	149	363	134	134	341	142	142	227
	その他透視	0	0	0	0	0	0	1	2	2
計	1,834	1,876	2,575	2,056	2,340	2,782	2,490	3,092	3,131	
その他	ポータブル	9,838	9,862	10,007	9,035	9,066	9,144	9,136	9,214	9,231
	コピー	2,173	2,173	1,362	2,321	1,429	1,864	2,469	2,506	2,516
	計	12,011	12,035	11,369	11,356	10,495	11,008	11,605	11,720	11,747
合計	29,270	29,995	38,789	28,617	30,467	36,645	30,349	37,216	38,665	

*外来棟

種別	部位	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
		人数	件数	回数	人数	件数	回数	人数	件数	回数
一般撮影	頭頸部	47	49	81	27	34	52	43	69	71
	胸部	18,277	18,298	23,742	19,290	21,735	25,021	14,268	16,394	16,547
	腹部	2,407	2,409	3,710	2,325	2,790	3,586	2,316	3,532	3,533
	四肢	3,418	3,740	9,147	3,390	4,528	8,205	3,702	7,924	8,784
	脊椎・骨全般	3,599	4,216	10,866	3,439	6,325	10,212	2,695	6,353	6,460
	乳房	3,081	3,081	9,744	2,900	2,923	6,618	706	707	707
	バイオプシー	16	16	28	34	42	39	26	35	35
計	30,845	31,809	57,318	31,405	38,377	53,733	23,756	35,014	36,137	
TV系	消化器系	1,639	1,639	1,719	1,604	1,604	1,611	196	196	196
	尿路系	26	26	50	24	25	135	62	64	77
	整形外科系	10	10	14	43	44	51	42	43	58
	その他	8	8	9	1	1	1	4	4	4
計	1,683	1,683	1,792	1,672	1,674	1,798	304	307	335	
顎口腔	デンタル	—	—	—	—	—	—	159	232	232
	コンビームCT	—	—	—	—	—	—	32	42	42
	パノラマ	—	—	—	—	—	—	646	647	647
	計	—	—	—	—	—	—	837	921	921
骨密度	1,271	1,272	31	1,208	1,227	498	512	512	512	
コピー	2,895	2,897	1,262	2,561	2,563	1,468	2,579	2,581	2,592	
合計	36,694	37,661	60,403	36,846	43,841	57,497	27,988	39,335	40,497	

(2) CT検査

種別	部位	平成28年度				平成29年度				平成30年度			
		人数	件数		枚数	人数	件数		枚数	人数	件数		枚数
			単純	造影			単純	造影			単純	造影	
入院棟	頭部	3,301	3,345	200	3,804	3,192	3,376	322	3,867	3,592	4,070	497	4,567
	頸部	75	75	14	128	274	404	117	556	662	1,116	427	1,543
	胸部	970	971	231	1,638	1,806	2,267	1,107	3,681	3,350	4,606	2,915	7,521
	腹部	432	432	307	682	805	715	851	1,562	1,488	1,340	1,857	3,197
	骨盤部	104	104	13	172	249	382	124	569	355	647	239	886
	脊椎・脊髄	154	159	7	327	173	308	7	426	81	241	0	241
	範囲指定	3,463	3,570	1,692	6,726	2,293	2,418	1,205	4,511	304	549	1	550
	四肢	214	221	65	422	207	365	64	509	208	612	112	724
	(データ)	—	137	104	254	—	153	104	153	—	0	0	0
計	8,713	8,877	2,529	13,899	8,999	10,235	3,797	15,681	10,040	13,181	6,048	19,229	
			11,406				14,032				19,229		
外来棟	頭部	976	979	65	1,130	1,125	1,148	114	1,311	1,339	1,503	298	1,801
	頸部	26	26	13	51	152	140	208	356	315	264	402	666
	胸部	1,306	1,306	365	2,292	1,935	2,117	1,146	3,768	3,205	4,166	2,455	6,621
	腹部	293	293	213	571	973	541	1,444	1,995	2,594	1,407	4,000	5,407
	骨盤部	17	17	2	33	255	181	308	505	609	427	1,046	1,473
	脊椎・脊髄	59	60	1	120	84	133	0	203	50	152	0	152
	範囲指定	4,065	4,076	3,029	8,119	2,606	2,611	1,840	5,210	0	0	0	0
	四肢	252	262	110	440	260	410	76	541	204	654	110	764
	(データ)	—	0	0	0	—	54	12	66		279	0	279
計	6,994	7,019	3,798	12,756	7,390	7,281	5,136	13,889	8,316	8,573	8,311	16,884	
			10,817				12,417				16,884		
合計	頭部	4,277	4,324	265	4,934	4,317	4,524	436	5,178	4,931	5,573	795	6,368
	頸部	101	101	27	179	426	544	325	912	977	1,380	829	2,209
	胸部	2,276	2,277	596	3,930	3,741	4,384	2,253	7,449	6,555	8,772	5,370	14,142
	腹部	725	725	520	1,253	1,778	1,256	2,295	3,557	4,082	2,747	5,857	8,604
	骨盤部	121	121	15	205	504	563	432	1,074	964	1,074	1,285	2,359
	脊椎・脊髄	213	219	8	447	257	441	7	629	131	393	0	393
	範囲指定	7,528	7,646	4,721	14,845	4,899	5,029	3,045	9,721	304	549	1	550
	四肢	466	483	175	862	467	775	140	1,050	412	1,266	222	1,488
	(データ)	—	137	104	254	—	207	116	219	—	279	0	279
合計	15,707	15,896	6,327	26,655	16,389	17,516	8,933	29,570	18,356	21,754	14,359	36,113	
			22,223				26,449				36,113		

(3) MRI検査

種別	部位	平成28年度				平成29年度				平成30年度			
		人数	件数		枚数	人数	件数		枚数	人数	件数		枚数
			単純	造影			単純	造影			単純	造影	
入院棟	脳	1,157	1,169	160	7,591	1,223	3,555	375	8,131	1,501	8,957	1,306	10,263
	脊椎・脊髄	478	489	31	795	435	495	16	881	616	624	15	639
	頭頸	14	14	3	14	20	21	3	24	36	73	6	79
	胸部	22	22	16	22	20	18	20	33	27	21	35	56
	腹部	190	195	55	229	170	167	34	206	210	170	43	213
	骨盤	120	121	31	186	124	116	45	178	174	122	66	188
	四肢	147	152	15	226	120	127	13	222	271	299	14	313
	(データ)	—	129	1	247	—	68	0	200	—	67	0	67
	計	2,128	2,162	311	9,063	2,112	4,499	506	9,675	2,835	10,266	1,485	11,751
			2,473				5,005				11,751		

外来棟	脳	1,227	1,231	258	7,788	1,463	4,568	1,130	10,065	1,279	6,939	1,716	8,655
	脊椎・脊髄	605	609	27	754	648	753	24	1,182	377	556	11	567
	頭頸	43	43	9	65	45	80	27	112	74	69	69	138
	胸部	182	182	156	190	124	91	102	142	120	9	114	123
	腹部	269	283	117	359	326	310	136	413	309	221	94	315
	骨盤	369	369	268	429	388	282	274	456	297	76	229	305
	四肢	342	344	32	422	364	412	41	668	184	199	38	237
	(データ)	—	0	0	0	—	13	2	6	—	30	0	13
	計	3,037	3,061	867	10,007	3,358	6,496	1,734	13,038	2,640	8,069	2,271	10,340
	人間ドック(脳)	233	233	0	1,361	139	139	0	827	228	228	0	1,368
計	3,270	3,294	867	11,368	3,497	6,635	1,734	13,865	2,868	8,297	2,271	11,708	
			4,161				8,369				10,568		
合計	脳	2,384	2,400	418	15,379	2,686	8,123	1,505	18,196	2,780	15,896	3,022	18,918
	脊椎・脊髄	1,083	1,098	58	1,549	1,083	1,248	40	2,063	993	1,180	26	1,206
	頭頸	57	57	12	79	65	101	30	136	110	142	75	217
	胸部	204	204	172	212	144	109	122	175	147	30	149	179
	腹部	459	478	172	588	496	477	170	619	519	391	137	528
	骨盤	489	490	299	615	512	398	319	634	471	198	295	493
	四肢	489	496	47	648	484	539	54	890	455	498	52	550
	(データ)	—	129	1	247	—	81	2	206	—	97	0	80
	計	5,165	5,223	1,178	19,070	5,470	10,995	2,240	22,713	5,475	18,335	3,756	22,091
	人間ドック(脳)	233	233	0	1,361	139	139	0	827	228	228	0	1,368
合計	5,398	5,456	1,178	20,431	5,609	11,134	2,240	23,540	5,703	18,563	3,756	23,459	
			6,634				13,374				22,319		

(4) 循環器

種別	部位	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
		人数	件数	枚数	人数	件数	枚数	人数	件数	枚数
循環器	心カテ(診断)		760	775		807	882		831	831
	心カテ(治療)	522	583	583	579	505	623	547	654	654
	血管治療	418	460	460	261	280	280	119	127	127
	頭頸部	68	202	229	101	287	312	70	291	291
	胸部	30	33	33	27	29	29	7	8	8
	腹部	9	13	13	10	26	67	19	42	42
	四肢	21	21	21	49	55	55	56	61	61
	静脈・その他	0	0	0	1	1	1	2	2	2
	合計	1,068	2,072	2,114	1,028	1,990	2,249	820	2,016	2,016

(5) RI・PET

種別	部位	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
		人数	件数	回数	人数	件数	回数	人数	件数	回数
RI	脳	176	176	177	181	181	181	119	119	119
	甲状腺	12	12	12	11	11	11	9	9	9
	肺	9	9	9	8	8	8	5	5	5
	心臓	67	67	67	82	82	82	63	63	63
	腎	39	39	39	30	30	30	28	29	29
	肝・胆道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腫瘍	8	8	8	16	16	17	10	10	10
	骨	372	372	372	380	380	380	391	391	391
	その他	44	44	44	54	54	54	53	53	53
	(データ)	—	4	4	—	3	3	—	5	5
合計	727	727	728	762	762	763	678	679	679	
PET	全身	—	—	—	154	154	154	415	415	415
	(データ)	—	—	—	—	—	—	—	4	4
	合計	—	—	—	154	154	154	415	415	415

(6) 治療 (ライナック)

区分		平成28年度			平成29年度			平成30年度		
		X線	電子線	合計	X線	電子線	合計	X線	電子線	合計
患者数	入院	1,475	0	1,475	1,376	3	1,379	1,407	70	1,477
	外来	1,618	16	1,634	1,244	32	1,276	1,837	161	1,998
	合計	3,093	16	3,109	2,620	35	2,655	3,244	231	3,475
照射門数	入院	5,423	0	5,423	4,616	3	4,619	4,104	90	4,194
	外来	4,551	16	4,567	3,805	42	3,847	5,245	171	5,416
	合計	9,974	16	9,990	8,421	45	8,466	9,349	261	9,610

区分		平成28年度			平成29年度			平成30年度		
		入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
疾患別件数	脳・脊髄腫瘍	94	0	94	27	25	52	60	0	60
	頭頸部腫瘍	0	103	103	0	24	24	0	216	216
	食道癌	152	109	261	61	33	94	118	35	153
	肺がん (原発)	574	96	670	916	183	1,099	834	301	1,135
	乳がん (原発)	185	1,011	1,196	65	545	610	108	761	869
	胃がん (原発)	0	0	0	0	0	0	0	37	37
	肝がん (原発)	44	61	105	0	22	22	0	0	0
	大腸がん (原発)	213	71	284	64	123	187	97	200	297
	婦人科腫瘍	0	29	29	43	40	83	0	20	20
	泌尿器系腫瘍	183	181	364	226	126	352	190	160	350
	造血器リンパ系腫瘍	134	61	195	108	185	293	245	202	447
	皮膚・骨・軟部腫瘍	14	24	38	56	30	86	32	153	185
	その他がん	45	175	220	91	19	110	68	103	171
	合計	1,638	1,921	3,559	1,657	1,355	3,012	1,752	2,188	3,940

(7) その他

(単位：件)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
結石破碎	92	105	79

1 1. 検査室

(1) 検査件数

(単位：件)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
臨床化学	1,364,170	1,451,975	1,465,352
血清	190,491	190,792	195,692
血液	255,377	273,795	267,298
尿糞便	83,671	95,704	97,523
細菌	27,405	25,755	27,906
生理	49,860	41,543	64,444
病理	13,364	12,683	12,740
外注	46,949	50,087	51,413
採血	301,708	304,637	311,406
計	2,332,995	2,446,971	2,493,774

(2) 検査項目別件数

(単位：件)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
臨床 化学	TP	58,054	60,224	61,140
	ALB	58,124	60,052	59,825
	T-Bil	63,066	66,795	69,084
	D-Bil	12,695	11,898	12,112
	AST(GOT)	84,008	86,240	85,430
	ALT(GPT)	85,314	88,830	89,782
	LDH	76,078	79,511	80,398
	CK	49,080	52,740	53,961
	CK-MB	2,647	2,789	2,674
	ALP	67,023	69,282	70,778
	γ-GTP	59,504	64,343	64,452
	Che	10,545	9,712	8,120
	ZTT	4,048	4,074	3,890
	T-CHO	15,644	15,771	18,157
	HDL-C	34,719	35,293	32,541
	LDL-C	33,488	34,956	33,405
	TG	37,159	37,835	36,503
	フェリチン	4,416	5,429	5,256
	プレアルブミン	1,818	1,518	298
	C3	755	1,106	1,147
	C4	753	1,105	1,145
	NH3	1,181	1,347	1,584
	トロポニンT	1,400	1,616	1,655
	PCT	3,905	3,372	2,630
	Na	76,196	81,062	83,199
	K	76,224	81,077	83,250
	Cl	69,291	72,486	73,182
	Ca	28,717	29,879	31,383
	P	5,095	5,452	6,367
	Mg	2,415	2,488	2,922
	Zn	1,877	1,597	852
	Fe	4,939	5,386	4,475
	UIBC	4,604	4,964	4,073
	BUN	82,411	85,393	86,651
	S-Cr	85,867	89,695	91,177
	U-Cr	4,624	9,915	10,588
	UA	41,654	44,306	45,143
	S-AMY	28,394	28,813	29,149
	U-AMY	65	58	65
	ICG	5	13	7
	血糖	54,427	56,864	58,500
	HbA1C	29,427	30,734	28,244
	ペプシノーゲン	1,598	1,688	1,737
	KL6	2,059	3,289	3,062
	グリコアルブミン	48	799	999
	血清補体価		1,556	1,543
	血清浸透圧		1,047	1,663
尿浸透圧		281	354	
尿蛋白定量	4,711	9,806	11,396	
計	1,370,072	1,444,486	1,455,948	

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
免	ASO	427	421	318	
	CRP	59,351	61,245	61,229	
	RF	1,600	1,800	1,837	
	IgG	2,684	3,052	3,212	
	IgA	2,274	2,456	2,356	
	IgM	2,144	2,341	2,267	
疫	HBs抗原	13,136	14,003	14,550	
	HBs抗体	1,080	1,464	1,526	
	HBc抗体	267	568	551	
	RPR	12,407	13,355	13,885	
	TPHA	12,409	13,354	13,869	
	HCV抗体	12,992	13,884	14,375	
	HIV抗体	10,823	11,878	12,348	
	輸血後H I V抗体	6	15	11	
	寒冷凝集反応	34	41	34	
	TSH	5,700	5,536	5,783	
	FT3	4,323	4,553	5,186	
清	FT4	5,643	5,518	5,767	
	PSA	3,618	4,106	4,462	
	CEA	7,732	8,056	8,440	
	CA19-9	5,591	5,922	6,374	
	AFP	1,679	1,643	1,558	
	BNP	12,677	14,655	14,594	
	テオフィリン血中濃度	54	43	38	
	バルプロ酸血中濃度	279	246	206	
	フェニトイン	66	75	52	
	フェノバル	53	69	60	
	カルバマゼピン	387	332	280	
	炭酸リチウム	87	70	30	
	バンコマイシン	139	84	72	
	マイコプラズマ抗体(抗原)	232	86	112	
	計	179,894	190,871	195,382	
	血	血算	91,387	95,435	96,709
		網赤血球	4,665	4,859	4,384
血液像		55,287	58,801	58,873	
血液像目視		1,183	859	982	
出血時間		41	42	22	
液		PT	23,778	25,051	22,738
		APTT	20,668	22,272	20,067
		Fib	14,137	15,287	13,287
		FDP	15,185	16,791	14,874
検		Dダイマー	16,699	20,023	18,402
		ATIII	650	800	665
査		ヘパプラスチン	176	183	0
		ABO式血液型	2,867	3,396	3,619
		Rh式血液型	2,864	3,386	3,607
	血沈	5,434	5,659	6,146	
	骨髄検査	356	299	294	
計	255,377	273,143	264,669		

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般検査	沈渣	20,882	25,549	26,854
	尿定性検査	44,430	49,217	49,290
	尿糖定量	32	46	80
	HCG定量	71	50	26
	妊娠反応	187	193	173
	虫卵	10	4	11
	ヒトヘモグロビン	11,931	11,924	12,556
	ロタウイルス	68	119	43
	レジオネラ	262	261	288
	肺炎球菌	338	321	340
	インフルエンザウイルス	1,872	2,098	1,750
	RSウイルス	198	216	197
	アデノウイルス	534	456	359
	ストレプト	452	343	321
	マイコプラズマ抗原	232	86	112
	クラミジア	222	248	283
	CDトキシン	1	177	193
	ノロ抗原定性	8	14	23
	髄液検査	104	61	54
	穿刺液検査	86	122	86
計		81,920	91,419	93,039
生理検査	心電図	20,912	24,924	22,759
	負荷心電図	255	292	235
	脳波	341	300	296
	肺機能	1,295	1,443	1,052
	聴力	6,790	7,031	7,077
	重心動揺	151	170	173
	パワーベクトル	151	170	173
	ABI	659	511	742
	トレッドミル	13	5	2
	ホルター心電図	340	462	474
	リアルタイム心電図	0	0	0
	新生児ABR	239	269	257
	心臓カテーテル	748	722	646
	超音波	12,272	13,877	23,716
	心エコー	(3,428)	(3,692)	(3,875)
	腹部エコー	(5,563)	(7,883)	(5,876)
	甲状腺エコー	(439)	(378)	(406)
	頰動脈エコー	(451)	(552)	(385)
	乳腺エコー	(1,057)	(840)	(12,330)
	下肢血管エコー	(1,322)	(449)	(520)
腎エコー	(6)	(41)	(139)	
経食道エコー	(6)	(8)	(27)	
その他エコー		(34)	(158)	
肺拡散能検査	81	145	170	
呼吸中NO(一酸化窒素)濃度	797	972	387	
血液ガス	5,751	5,901	6,124	
神経伝導速度	46	87	84	
簡易型睡眠時無呼吸検査	65	53	45	
計		50,906	57,334	64,412
病理	組織診	3,077	3,200	3,539
	迅速組織診断	83	93	129
	細胞診	7,105	5,268	5,547
	免疫染色	3,090	3,069	3,517
	剖検数	9	5	8
	合計	13,364	11,635	12,740
細菌	一般塗抹	7,234	6,473	7,542
	一般培養	8,779	8,211	8,892
	嫌気培養	1,075	764	734
	感受性テスト	8,358	7,837	8,441
	TB塗抹	961	961	985
	真菌培養	944	940	937
	結核菌DNA	46	26	29
	合計	27,397	25,212	27,560

(3) 血液製剤

(単位：件)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
照射赤血球RCC	4,785	4,201	4,512
照射洗浄赤血球	0	0	0
照射白血球除去赤血球	0	0	0
照射濃厚血小板	9,690	8,325	10,740
照射濃厚血小板HLA	100	40	0
新鮮凍結血漿	819	702	1,010

(4) 循環器科 (非観血的検査)

(単位：件)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
負荷心電図	154	292	235
ホルター心電図	287	440	474
リアルタイム心電図	0	0	0
24時間血圧測定	0	0	0
血圧脈波検査	242	511	742
心エコー図	1,900	3,692	3,875
経食道エコー	0	8	27
計	2,583	4,943	5,353

12. リハビリテーション室

【入院】

(1) 延患者数 (単位：人)

区分	28年度	29年度	30年度
理学療法	45,662	45,315	53,407
作業療法	32,380	31,514	27,475
言語聴覚療法	11,535	9,544	12,185
合計	89,577	86,373	93,067

(2) 療法単位数

(単位：件)

区分	平成28年度				平成29年度				平成30年度			
	理学	作業	言語		理学	作業	言語		理学	作業	言語	
脳血管 (1単位)	10,611	4,235	4,059	2,317	8,859	3,223	3,280	2,356	10,458	4,326	3,217	2,915
脳血管 (2単位)	11,087	4,577	4,014	2,496	12,241	5,284	4,594	2,363	17,187	7,741	5,632	3,814
脳血管 (3単位)	1,460	690	341	429	3,885	2,117	1,501	267	8,972	4,355	3,993	624
脳血管 (4単位)	2	2	0	0	156	145	11	0	427	289	126	12
廃用 (1単位)	19,575	8,896	7,383	3,296	20,080	9,985	7,176	2,919	15,957	9,230	3,948	2,779
廃用 (2単位)	13,264	6,584	4,242	2,438	14,735	8,301	4,522	1,912	9,938	5,709	2,576	1,653
廃用 (3単位)	608	465	86	57	893	676	181	36	657	419	170	68
廃用 (4単位)	1	1	0	0	3	1	1	1	2	1	1	0
運動器 (1単位)	5,583	3,102	2,481	—	5,002	2,801	2,201	—	3,951	2,680	1,271	—
運動器 (2単位)	8,326	5,831	2,495	—	9,461	6,541	2,920	—	9,477	7,464	2,013	—
運動器 (3単位)	955	871	84	—	2,852	2,329	523	—	3,579	3,179	400	—
運動器 (4単位)	13	13	0	—	39	39	0	—	76	72	4	—
呼吸器 (1単位)	3,345	1,867	1,478	—	663	365	298	—	690	591	99	—
呼吸器 (2単位)	2,611	1,766	845	—	522	317	205	—	617	504	113	—
呼吸器 (3単位)	272	245	27	—	34	19	15	—	18	16	2	—
がんリハ (1単位)	6,451	3,776	2,523	152	6,289	3,771	2,421	97	6,290	4,207	1,834	249
がんリハ (2単位)	2,669	1,394	1,179	96	3,405	1,665	1,670	70	2,558	1,276	1,232	50
がんリハ (3単位)	55	46	0	9	155	74	78	3	145	75	68	2
心大血管 (1単位)	1,381	717	664	—	680	365	315	—	1,494	901	593	—
心大血管 (2単位)	958	554	404	—	560	317	243	—	518	343	175	—
心大血管 (3単位)	50	39	11	—	30	19	11	—	12	9	3	—
摂食機能療法	385	—	—	385	6	—	—	6	18	—	—	18
総合計画評価	4,630	2,177	2,201	252	4,587	2,644	1,669	274	4,978	3,160	1,557	261
早期リハビリ加算	87,698	44,878	29,939	12,881	61,087	32,262	21,015	7,810	53,623	30,071	15,702	7,850
退院前訪問指導	28	9	19	—	40	16	24	—	83	50	33	—
合計	182,018	92,735	64,475	24,808	156,264	83,270	54,874	18,114	151,725	86,668	44,762	20,295

(3) 診療科別新患者数

(単位：人)

区分	平成28年度				平成29年度				平成30年度			
	理学	作業	言語		理学	作業	言語		理学	作業	言語	
内科	1388	1337	1124	466	1382	1333	980	472	3394	1431	1413	550
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	9	4	4	1
外科	401	357	288	29	432	380	267	20	1135	544	550	41
整形外科	522	501	357	24	550	520	324	38	1230	585	579	66
脳神経外科	420	412	410	389	496	489	491	465	1632	546	549	537
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	32	32	23	2	47	46	33	2	107	49	49	9
産婦人科	5	5	4	0	5	4	4	1	23	11	11	1
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2,768	2,644	2,206	910	2,912	2,772	2,099	998	7,530	3,170	3,155	1,205

(4) 疾患別新患者数

(単位：人)

区分	28年度	29年度	30年度
脳血管疾患	509	559	582
廃用症候群	1,047	1,159	1,210
運動器	564	580	531
呼吸器	159	106	95
がんリハ	418	472	556
心大血管疾患	71	64	148
その他	0	0	1
合計	2,768	2,940	3,123

【外来】

(1) 延患者数 (単位：人)

	28年度	29年度	30年度
理学療法	7,173	7,166	4,761
作業療法	5,317	5,362	4,057
言語聴覚療法	1,531	1,008	443
訪問 (はるかぜ)	3,352	4,866	4,042
訪問 (外来)	696	0	1,899

(2) 療法単位数

(単位：件)

区分	平成28年度			平成29年度			平成30年度					
	理学	作業	言語	理学	作業	言語	理学	作業	言語			
脳血管 (1単位)	947	369	403	175	519	323	131	65	203	39	152	12
脳血管 (2単位)	1,305	382	217	706	1,146	389	108	649	864	155	347	362
脳血管 (3単位)	463	27	7	429	223	18	27	178	103	7	48	48
廃用 (1単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃用 (2単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃用 (3単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運動器 (1単位)	7,990	4,476	3,514	—	4,962	3,373	1,589	—	5,263	2,766	2,497	—
運動器 (2単位)	2,684	1,512	1,172	—	2,037	1,533	504	—	2,144	1,226	918	—
運動器 (3単位)	14	14	0	—	34	29	5	—	166	71	95	—
呼吸器 (1単位)	349	333	16	—	482	482	0	—	364	364	0	—
呼吸器 (2単位)	53	53	0	—	67	67	0	—	113	113	0	—
呼吸器 (3単位)	2	2	0	—	0	0	0	—	18	18	0	—
摂食機能療法	157	—	—	157	114	—	—	114	21	—	—	21
総合計画評価	2,026	1,120	702	204	2,077	1,201	734	142	1,577	740	775	62
外来リハ診療料1	—	377	545	85	527	116	399	12	3	0	3	0
外来リハ診療料2	—	67	78	120	236	42	52	142	12	3	0	9
合計	15,990	8,732	6,654	1,876	12,424	7,573	3,549	1,302	10,851	5,502	4,835	514

(3) 診療科別新患者数

(単位：人)

区分	平成28年度			平成29年度			平成30年度					
	理学	作業	言語	理学	作業	言語	理学	作業	言語			
内科	64	35	18	17	79	41	5	33	208	133	57	18
小児科	4	2	2	2	15	5	4	6	25	13	5	7
外科	58	44	13	1	55	39	15	1	92	69	22	1
整形外科	465	299	204	0	640	371	267	2	1,190	609	581	0
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	3	0	0	3	3	0	0	3
脳神経外科	49	23	32	22	74	17	40	17	210	31	130	49
泌尿器科	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	1	1	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0
リハビリテーション科	0	0	0	0	6	4	1	1	0	0	0	0
透析科	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
計	641	404	269	42	875	480	332	63	1,734	861	795	78

(4) 疾患別新患者数

(単位：人)

区分	28年度	29年度	30年度
脳血管疾患	85	49	72
廃用症候群	0	0	0
運動器	473	337	351
呼吸器	60	27	57
摂食嚥下療法	23	11	11
合計	641	424	491

13. 栄養室

(1) 患者食延数

(単位：人)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
常食	72,382	77,552	73,577
軟食	78,941	74,636	84,149
流動食	18,998	16,239	17,839
特別食	109,193	102,932	111,842
調乳	868	1,128	949
合計	280,382	272,487	288,356

(2) 栄養指導

(単位：件)

区分	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
栄養指導	1,015	783	1,798	988	842	1,830	1,229	896	2,125
集団栄養指導（糖尿病）	—	56	56	—	28	28	—	0	0
栄養管理計画書	3,845	—	3,845	3,686	—	3,686	3,451	—	3,451
病棟訪問	8,989	—	8,989	8,186	—	8,186	9,056	—	9,056
糖尿病透析 予防指導	—	55	55	—	18	18	—	8	8
人間ドック	—	190	190	—	163	163	—	139	139
母親学級	—	20	20	—	23	23	—	28	28
在宅酸素外来栄養相談	—	115	115	—	75	75	—	0	0
特定検診	—	0	0	—	0	0	—	0	0
緩和ケア個別栄養食事加算	—	—	0	—	—	0	116	—	116
合計	13,849	1,219	15,068	12,860	1,149	14,009	13,852	1,071	14,923

(3) 栄養指導件数内訳

(単位：件)

区分	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
糖尿病	239	404	643	190	350	540	170	369	539
腎臓病	156	145	301	139	224	363	131	219	350
消化器	210	16	226	217	39	256	100	12	112
心臓病	154	6	160	125	22	147	142	11	153
脂質異常症	71	139	210	52	98	150	114	109	223
癌	—	—	0	—	—	0	324	106	430
その他	185	73	258	265	109	374	248	65	313
合計	1,015	783	1,798	988	842	1,830	1,229	891	2,120

14. 人工透析室

(1) 患者延数

(単位：人)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
年間透析回数	12,885	12,869	13,537
入院	1,480	1,417	1,233
外来	11,405	11,452	12,304
昼間	11,290	11,353	12,238
出張	115	99	66

15. 患者支援センター

(1) 紹介患者状況

(単位：件)

区分	平成28年度			平成29年度				平成30年度
	入院棟	外来C		入院棟	外来C	新病院		
被紹介	8,124	3,209	4,915	8,721	1,979	3,311	3,431	10,516
戻し紹介	1,969	1,002	967	1,451	397	357	697	2,184
逆紹介	6,028	2,636	3,392	6,456	1,287	2,028	3,141	7,971

(2) 診療科別紹介患者状況

(単位：件)

区分	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	被紹介	戻し紹介	逆紹介	被紹介	戻し紹介	逆紹介	被紹介	戻し紹介	逆紹介
内科	2,388	469	2,292	3,025	339	2,675	3,879	872	3,087
心療内科	71	1	54	74	2	75	69	5	247
神経内科	236	48	263	215	3	349	179	5	93
循環器科	894	278	605	319	81	278	内科統合		
小児科	797	313	260	805	460	233	1,165	270	399
外科	882	169	606	1,033	48	700	1,120	209	819
整形外科	753	68	738	874	25	850	919	114	1,443
脳神経外科	510	129	524	554	73	575	546	106	708
皮膚科	111	3	15	166	0	16	212	7	18
泌尿器科	457	72	255	507	38	237	695	100	229
産婦人科	419	20	188	504	0	131	493	12	150
眼科	106	3	150	109	2	138	181	10	154
耳鼻咽喉科	72	8	50	82	0	58	123	1	63
放射線科	420	387	27	243	236	27			
放射線診断科				142	134	0	393	376	0
放射線治療科				5	3	12	21	15	40
麻酔科	8	1	1	9	0	1	7	0	1
救急科				52	7	101	104	29	245
リハビリ科				3	0	0	2	2	4
歯科口腔外科							370	0	258
形成外科							38	51	13
合計	8,124	1,969	6,028	8,721	1,451	6,456	10,516	2,184	7,971

(3) 地域別紹介患者状況

(単位：件)

区分	平成28年度			平成29年度				平成30年度
	入院棟	外来C		入院棟	外来C	新病院		
藤岡市	2,828	1,242	1,586	3,167	787	1,142	1,238	3,697
多野郡	153	81	72	143	47	43	53	167
前橋市	447	95	352	541	74	241	226	778
高崎市	1,480	609	871	1,533	346	551	636	1,872
富岡市	121	48	73	130	26	50	54	141
伊勢崎・佐波	177	47	130	163	32	78	53	244
その他県内	179	52	127	218	37	92	89	225
本庄市	1,203	476	727	1,224	279	471	474	1,525
児玉郡	1,106	465	641	1,111	278	428	405	1,281
その他埼玉県	217	46	171	238	34	97	107	323
その他県外	213	48	165	253	39	118	96	263
合計	8,124	3,209	4,915	8,721	1,979	3,311	3,431	10,516

(4) 医療相談実数

(単位：件)

区分	平成28年度			平成29年度				平成30年度
	入院棟	外来C		入院棟	外来C	新病院		
医療相談	14,984	14,373	611	16,407	9,077	451	6,879	24,178

16. 健診センター

(1) 人間ドック

(単位：件)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1泊2日ドック	181	161	134
日帰りドック	3,469	3,660	3,825
脳ドック	92	77	90
PET-CT	—	—	11
計	3,742	3,898	4,060

(2) 健康診断

(単位：件)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
生活習慣病	1,782	1,822	1,844
企業健診	2,644	2,538	2,938
就業・入学	342	387	337
乳・甲状腺	536	545	544
婦人科検診	—	—	292
特定健診	239	243	214
特定保健指導	37	32	46
計	5,580	5,567	6,215

17. 母親学級 (マザーズクラス)

(1) 開催内容

課程	担当	日時	場所	内容	延べ人数
1回目	助産師 栄養士	第1金曜日 13:30~16:00 13:30~16:00	公立藤岡総合病院 中会議室1 第1会議室	妊娠中の生活 乳房の手入れ 妊娠中の栄養	34人
2回目	助産師	第2金曜日 13:30~16:00	公立藤岡総合病院 中会議室1 第1会議室	お産の準備 入院の時期 入院中の生活 諸届 赤ちゃんの準備 沐浴実施指導	61人
3回目	助産師	第3金曜日 13:30~16:00	公立藤岡総合病院	分娩の進行と呼吸法 分娩時補助動作 病棟見学	66人

IX 群馬県立赤城特別支援学校公立藤岡総合病院内教室

(1) 開設までの経緯

昭和 53 年 6 月、小児科病棟が開設。

昭和 54 年 4 月 1 日から、小児科慢性疾患等による長期入院患者を受け入れる。それに伴い、群馬県立東毛養護学校前橋日赤分校による当院への訪問教育が始まる。

地域住民から就学に対する不安の解消、入院設備の充実などを理由として、養護学校設立と小児科病棟増床の請願書が出される。

昭和 59 年からの病院増床に伴い、昭和 60 年 4 月 1 日、群馬県立西毛養護学校多野総合病院分教室として開設される。

(2) 沿革

年 月 日	記 事
昭和 54 年 4 月 1 日	群馬県立東毛養護学校前橋日赤分校に訪問教育部が開設され、多野総合病院への訪問教育開始。 教職員数 非常勤講師 1 名
昭和 56 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 1 名、非常勤講師 1 名
昭和 57 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 2 名
昭和 60 年 4 月 1 日	多野総合病院内西 2 階病棟 3 部屋 56.00 m ² (共用部分を含む)を多野総合病院内分教室として建物使用許可。 群馬県立西毛養護学校多野総合病院内分教室開設 許可学級数 3(小学部 2、中学部 1) 教職員数 教諭 3 名、応援教諭 1 名(本校より) 教室等 普通教室 2、職員室 1
昭和 60 年 4 月 10 日	群馬県立西毛養護学校多野総合病院内分教室開校式
昭和 61 年 1 月 21 日	校舎移動(西 2 階病棟の 2 部屋へ) 教室等 普通教室 2、職員室 0
昭和 61 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 3 名、非常勤講師 1 名
昭和 61 年 6 月 13 日	校舎移動(西 2 階病棟の 4 部屋 75.66 m ² へ) 教室等 普通教室 3、職員室 1
昭和 62 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 4 名
平成 2 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 5 名
平成 4 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 6 名
平成 6 年 4 月 1 日	許可学級数 4(小学部 2、中学部 2)
平成 9 年 4 月 1 日	群馬県立西毛養護学校と群馬県立東毛養護学校が統合され、群馬県立赤城養護学校が開校。

平成 13 年 4 月 1 日	群馬県立赤城養護学校公立藤岡総合病院分教室に改称。 許可学級数 5 (小学部 3、中学部 2) 教職員数 教諭 7名
平成 14 年 8 月 12 日	校舎移動(事務棟 140.18 m ² へ) 教室等 普通教室 5、職員室 1、多目的室 1
平成 16 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 6名
平成 21 年 12 月 1 日	テレビ会議システムの導入
平成 25 年 4 月 1 日	許可学級数 6 (小学部 3 + 重複学級 1、中学部 2) 教職員数 教諭 5名
平成 27 年 4 月 1 日	群馬県立赤城特別支援学校公立藤岡総合病院内教室に改称。 許可学級数 5 (小学部 3、中学部 2)
平成 29 年 11 月 8 日	病院移転に伴い、新病棟で授業開始。
平成 30 年 2 月 9 日	校舎移転 (外来棟 32 m ²) 普通教室 1、職員室 1

(3) 児童生徒数 (年度内在籍児童生徒数)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
児童生徒数	6	11	10	11	11	4	4

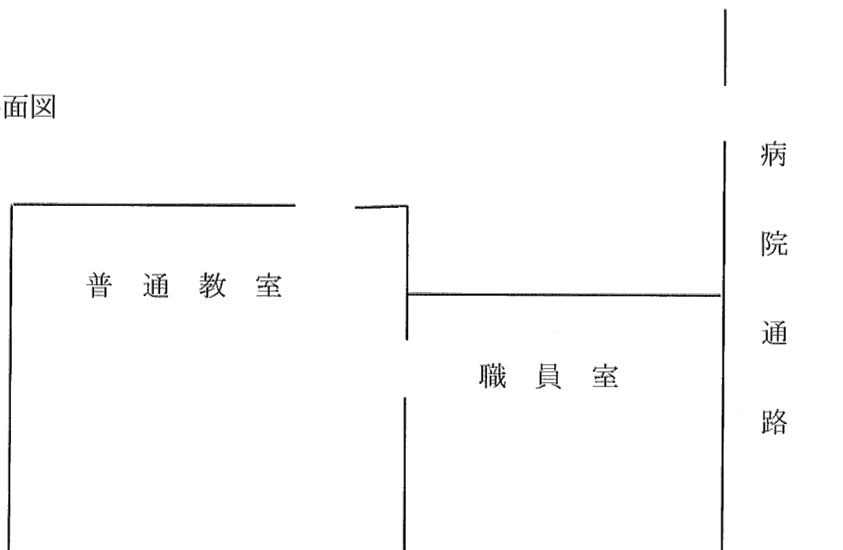
(4) 教育目標

児童生徒一人一人が自己を大切にするとともに明日への希望を持ち、好ましい人間関係のもとで笑顔を絶やさず、自ら考えて学ぶことを通じて、社会の一員として自立し社会参加する力を養い、明るく元気で朗らかに生きる児童生徒の育成を目指す。

(5) 学校病棟連絡会議

学校病棟連絡会議は学校教職員と病院小児科担当医師、小児科看護師長等が参加し、学校・病院運営の相互の理解、学校行事、学習指導、生活指導、児童生徒の病状等の事項を連絡協議して連携を図るものである。

(6) 校舎平面図



介護老人保健施設事業

介護老人保健施設

【しらさぎの里】

訪問看護ステーション

【はるかぜ】

基 本 理 念

利用者本位のサービス

基 本 方 針

1. 利用者の気持ちに立ち、常に思いやりの心で接します。
2. 利用者の自立への手助けし、心和む空間を提供します。
3. 利用者の生活機能維持・向上をめざし、他機関・家族と共に連携を密にしていきます。

I 施設の現況

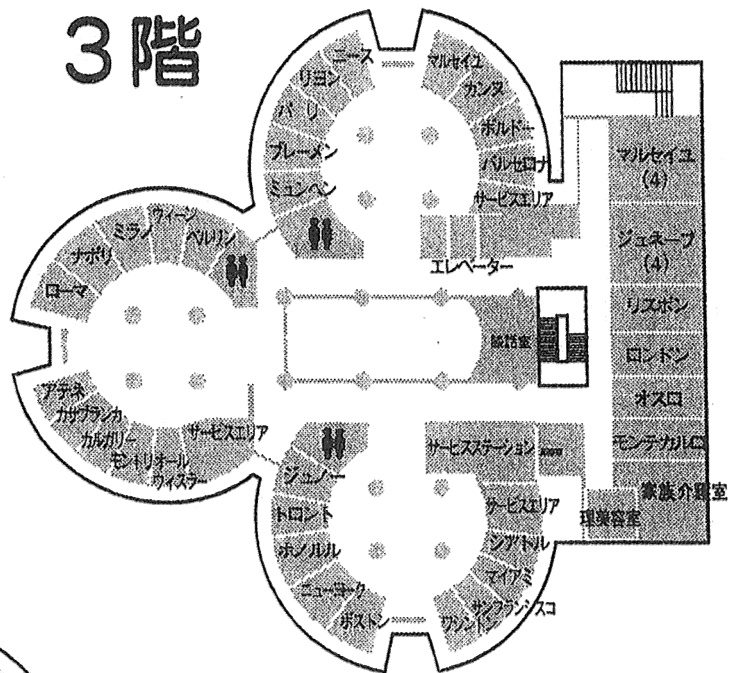
1. 施設の概要 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

名 称	介護老人保健施設しらすぎの里		
所 在 地	群馬県藤岡市中栗須 519 番地 2		
電話番号等	TEL : 0274 (24) 6633 (代表) FAX : 0274 (24) 6634 E-mail : sirasagi@fujioka-hosp.or.jp URL : http://www.fujioka-hosp.or.jp/shirasagi/		
開 設 者	多野藤岡医療事務市町村組合 管理者 新 井 雅 博		
設立年月日	平成 9 月 7 月 1 日		
構成市町村	藤岡市、上野村、神流町、高崎市		
施 設 長	河 合 弘 進		
利 用 定 員	入所定員 80 名 (うちショートステイ 20 名) 一般療養棟 40 名 認知症専門棟 40 名 通所定員 50 名 (送迎あり)		
介護サービス種類	介護老人保健施設 指定居宅サービス 通所リハビリテーション 短期入所療養介護 指定介護予防サービス 介護予防通所リハビリテーション 介護予防短期入所療養介護 居宅介護支援事業所		平成 9 年 7 月 1 日許可 平成 9 年 7 月 1 日許可 平成 9 年 7 月 1 日許可 平成 9 年 7 月 1 日許可 平成 9 年 7 月 1 日許可 平成 11 年 9 月 30 日指定
面積及び構造	敷地面積 5,017 m ² 建物面積 4,300 m ² 内訳 1階 1,587 m ² 管理部門・デイケア部門 2階 1,363 m ² 一般療養棟部門 3階 1,350 m ² 認知症専門棟部門 構 造 鉄筋コンクリート造 3 階建		
訪問看護	訪問看護ステーション「はるかぜ」 (公立藤岡総合病院内)		

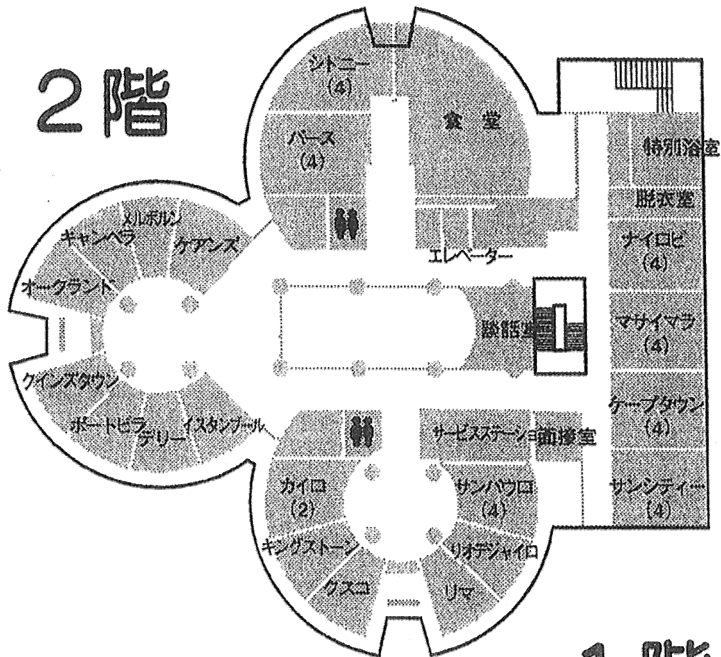
平面図

敷地面積	5,017 m ²
延べ床面積	約 4,300 m ²
3階	1,350 m ²
2階	1,363 m ²
1階	1,587 m ²

3階

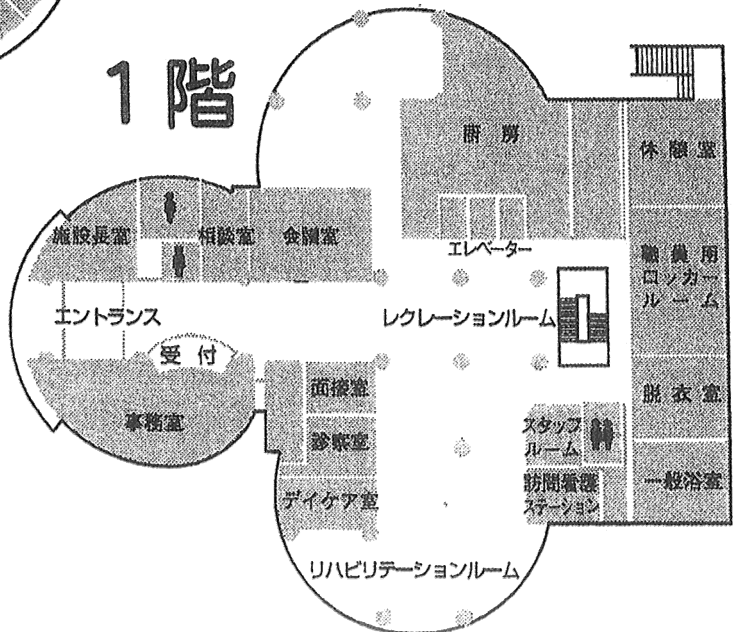


2階



注. 入所定員40名 () 内に数字の入っていない部屋はすべて個室です。

1階



2. 歴史と沿革

平成 8年 8月 16日	土地収用法による事業（新築工事）認定（用第252号）
8月 23日	老人保健施設建築工事着工
平成 9年 5月 30日	老人保健施設建築工事竣工
7月 1日	老人保健施設開設許可（群馬県指令高第67号） 老人保健施設分 40人、痴呆加算対象分 40人、デイケア 40人
8月 1日	初代老人保健施設長 大野 治俊（群馬県指令高第68号） 痴呆専門棟入所者基本施設療養費加算 届出受理（高第171号） 生活保護法による医療機関指定（藤第86号） 老人訪問看護ステーション指定（高第249号）
平成 10年 2月 27日	老人保健施設入所者基本施設療養費（Ⅱ）届出受理（高第571号）
5月 28日	老人保健施設痴呆性老人通所加算 届出受理（高第169号） 通所定員40人中10人
10月 20日	老人保健施設痴呆性老人通所加算 変更届出受理（高第392号） 通所定員40人中10人 ⇒ 20人
12月 1日	老人保健施設開設許可事項の変更 ショートステイ5床⇒20床
平成 11年 4月 1日	第2代老人保健施設長 栗原 寛（群馬県指令高第3号） 老人保健施設開設許可事項の変更 デイケア 40⇒50
9月 30日	指定居宅介護支援事業者指定（群馬県指令高第124-199号）
平成 12年 4月 1日	介護保険法施行に伴う名称変更 （介護老人保健施設、訪問看護ステーション） 生活保護法による介護機関指定 （介護老人保健施設）（介み藤第86号） （通所リハビリテーション 短期入所療養介護）（藤介第13号） （居宅介護支援事業）（藤介第13号）
平成 13年 5月 1日	原子爆弾被爆者一般疾病医療費の支払を受ける医療機関 （介護老人保健施設用）指定（保予第164号）
平成 17年 10月 1日	訪問リハビリテーション開始
平成 19年 4月 1日	栄養管理体制及び栄養ケア・マネジメントに関する届出
10月 1日	第3代介護老人保健施設長 田中 壯佑（群馬県指令介高第608-31号）
平成 20年 3月 21日	祭日通所リハビリテーションの実施
3月 31日	指定居宅介護支援事業者指定更新（群馬県指令介高第30133-55号） 平成20年4月1日～平成26年3月31日
5月 30日	介護老人保健施設開設許可更新（群馬県指令介高第608-22号） 平成20年4月1日～平成26年3月31日
6月 12日	生活保護法による介護機関指定（藤介第13号）
3月 3日	（介護予防通所リハビリテーション 介護予防短期入所療養介護）
3月 31日	口腔機能向上体制加算の届出 平成21年4月介護報酬改定に伴う届出 通所リハビリテーションの算定区分 確認 大規模型（Ⅰ）（751～900人）
平成 21年 7月 21日	サービス提供体制強化加算（Ⅰ）に関する届出 （（介護予防）通所リハビリテーション事業所） （（介護予防）短期入所療養介護事業所・介護老人保健施設） 夜勤職員配置加算に係る届出 （（介護予防）短期入所療養介護事業所・介護老人保健施設） 特定事業所加算に係る届出（居宅介護支援事業所）
10月 1日	原子爆弾被爆者一般疾病医療費の支払を受ける医療機関指定 （群馬県指令保予第722-36号）
平成 23年 3月 30日	事業所評価加算の届出（介護予防通所リハビリテーション事業所）
平成 24年 11月 1日	在宅復帰・在宅療養支援機能加算の届出
平成26年 3月 12日	登録喀痰吸引等（特定行為）事業者登録（介高第30243-9号） 在宅強化型介護老人保健施設の届出 介護老人保健施設開設許可更新（群馬県指令介高第608-15号） 平成26年4月1日～平成32年3月31日
4月 23日	指定居宅介護支援事業者指定更新（群馬県指令介高第30221-1号） 平成26年4月1日～平成32年3月31日
平成27年 4月 2日	サービス提供体制強化加算（Ⅰ）に関する届出 （（介護予防）通所リハビリテーション事業所） （（介護予防）短期入所療養介護事業所・介護老人保健施設）
10月 21日	禁煙認定施設 屋内禁煙（建物全体）の認定
平成28年 8月 1日	在宅復帰・在宅療養支援機能加算介護老人保健施設の届出
平成29年 4月 1日	第4代介護老人保健施設長 河合 弘進（群馬県指令介高第608-18号）
平成30年 4月 1日	在宅復帰・在宅療養支援機能加算（Ⅰ）の届出

Ⅱ 職員の現況

1. 職員数

職員の年度別推移（各年度末）

*介護老人保健施設「しらさぎの里」

(単位：人)

部門・職種別	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	職員	臨時職員		職員	臨時職員		職員	臨時職員	
診療部 医 師	1		1	1	1		1		1
	1		1	1	1		1		1
診療技術部 理学療法士	2	2		2	2		2	2	
	2	2		2	2		2	2	
	1	1		1	1		1	1	
	5	5		5	5		5	5	
看護部 看護師 再任用	4	4		5	5		5	5	
							1	1	
	6	5	1	6	6		5	5	
							1	1	
	21	20	1	18	18		19	19	
介護福祉士 介護員	8	2	6	8	2	6	6	1	5
	39	31	8	37	31	6	37	32	5
経営管理部 事務員 再任用	2	2		1	1		1	1	
				1	1		1	1	
	5	5		5	5		5	5	
	7	7		7	7		7	7	
合計	52	43	9	50	44	6	50	44	6

*訪問看護ステーション

(単位：人)

部門・職種別	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	職員	臨時職員		職員	臨時職員		職員	臨時職員	
看護部 看護師 再任用	9	6	3	9	6	3	10	7	3
				1	1				
合計	9	6	3	10	7	3	10	7	3

2. 主要役職員名簿

*介護老人保健施設「しらさぎの里」

職名	氏名	職名	氏名
施設長	河合 弘進	経営管理部 しらさぎ管理課長	中里 光夫
看護部 看護師長	武井 浩之	しらさぎ管理 GL	中野 俊幸
介護グループ GL	金田 夏樹	支援相談員	島田 将司
診療支援部 リハビリテーション室GL	品田 さゆり	施設介護支援専門員	柳井 紀道
栄養室 管理栄養士	渡邊 恵子	居宅介護支援事業所管理者 支援相談担当 GL	松原 一重

*訪問看護ステーション

職名	氏名
看護部 看護師長	黒澤 磨由美
副看護師長	山口 明子

Ⅲ 学会及び研修会

名称	開催場所	開催月	参加者数
し ら さ ぎ の 里			
第115回日本内科学会総会・講演会	京都府	4月	1人
高齢者看護学実習Ⅰ(高齢者介護施設)実習リエンテーション	藤岡市	4月	1人
平成30年度福祉事業部スキルアップ研修会	東京都	4月	1人
第21回群馬県老人保健施設作品展(搬入)	高崎市	5月	4人
第21回群馬県老人保健施設作品展(搬出)	高崎市	5月	4人
接遇研修会	藤岡市	5月	16人
平成30年度臨床実習指導者会議	前橋市	5月	1人
安全衛生研修会(ストレスチェックについて)	藤岡市	5月	10人
介護保険施設に係る説明会(集団指導)	前橋市	5月	1人
看護・介護職員研修運営委員会	前橋市	5月	1人
職業人から話を聞く会講演	藤岡市	5月	1人
医療安全・感染対策必須研修会①	藤岡市	6月	7人
医療安全・感染対策必須研修会②	藤岡市	6月	12人
医療安全・感染対策必須研修会③	藤岡市	6月	2人
医療安全・感染対策必須研修会④	藤岡市	6月	11人
医療安全・感染対策必須研修会⑤	藤岡市	6月	2人
医療安全・感染対策必須研修会⑥	藤岡市	6月	7人
医療安全・感染対策必須研修会⑧	藤岡市	6月	3人
第61回日本腎臓学会学術総会	新潟県	6月	1人
全国看護師交流集会Ⅱ	神奈川県	6月	1人
階層別研修	藤岡市	6月	2人
栄養担当職員研修会	前橋市	6月	1人
老健管理医師総合診療研修会(第Ⅰ期)①	東京都	6月	1人
老健管理医師総合診療研修会(第Ⅰ期)②	東京都	7月	1人
安全運転管理者講習	藤岡市	7月	1人
多野藤岡地域リハビリ研究会アサスト研修会	藤岡市	8月	1人
平成30年度看護・介護職員研修会運営委員	前橋市	8月	1人
看護・介護職員研修会(管理職・中堅職対象)	前橋市	8月	2人
医療安全・感染対策必須研修会①	藤岡市	9月	8人
医療安全・感染対策必須研修会②	藤岡市	9月	21人
医療安全・感染対策必須研修会③	藤岡市	9月	2人
医療安全・感染対策必須研修会④	藤岡市	9月	3人
医療安全・感染対策必須研修会⑥	藤岡市	9月	8人
医療安全・感染対策必須研修会⑦	藤岡市	9月	1人
医療安全・感染対策必須研修会⑧	藤岡市	9月	1人
平成30年度第1回給食関係者講習会	藤岡市	9月	2人
老健管理医師総合診療研修会(第Ⅱ期)①	東京都	9月	1人
老健管理医師総合診療研修会(第Ⅱ期)②	東京都	9月	1人
平成30年度介護保険事業所苦情処理研修会	前橋市	9月	1人
群馬県介護支援専門員専門研修2018①	前橋市	10月	1人
群馬県介護支援専門員専門研修2019①	前橋市	10月	1人
第8回院内学会	藤岡市	10月	9人
リレーフォーライフジャパン2017ぐんま	前橋市	10月	5人
第23回藤岡緩和ケア研究会	藤岡市	10月	1人
群馬県介護支援専門員専門研修2020②	前橋市	10月	1人
平成30年度第28回群馬県老人保健施設大会	前橋市	10月	11人
群馬県介護支援専門員専門研修2021②	前橋市	10月	1人
群馬県介護支援専門員専門研修2022③	前橋市	10月	1人
病院マネジメント研修 診療報酬改定と医療政策	藤岡市	10月	3人
群馬県介護支援専門員専門研修2023③	前橋市	11月	1人
高齢者の権利擁護等における看護実務者研修①	前橋市	11月	1人
群馬県介護支援専門員専門研修2024④	前橋市	11月	1人
第24回老人保健施設医師研修会	前橋市	11月	1人
看護管理者等セミナー 地域包括ケアシステムの構築と在宅医療	前橋市	11月	1人
群馬県介護支援専門員専門研修2025④	前橋市	11月	1人
講義派遣(高齢者に関わる医療)	高崎市	11月	1人
藤岡市認知症短期集中支援チームの活動について	藤岡市	11月	1人
高齢者の権利擁護等における看護実務者研修②	前橋市	12月	1人
平成30年度難病患者療養支援実務者研修会	安中市	12月	1人
シブシブ研修会(第2回支援相談員研修会)	前橋市	12月	1人
群馬県介護支援専門員専門研修2026⑤	前橋市	12月	1人
群馬県介護支援専門員専門研修2027⑤	前橋市	12月	1人
平成30年度藤岡多野地区「食を支える多職種連絡協議会」	藤岡市	12月	1人
平成30年度疥癬研修会	藤岡市	1月	1人
不在者投票事務説明会	前橋市	2月	1人
平成30年度第8回藤岡多野医師会・歯科医師会との交流会	藤岡市	2月	1人
医療倫理研修会	藤岡市	3月	1人
訪 問 看 護			
訪問看護ステーション連絡協議会研修会	前橋市	4月	2人
第2回看護研究セミナー	前橋市	5月	1人
地域包括ケアシステムの構築と在宅医療	前橋市	11月	1人
群馬県訪問看護ステーション連絡協議会	前橋市	10月	1人
訪問看護事業者(管理者)大会	東京都	3月	1人

平成 30 年度 施設内研修会

日 時	内 容	講 師	受講者
4 月	平成 30 年度介護報酬改定に伴う介護報酬算定項目と要件の概要説明(居宅、栄養、通所、入所、短期入所)	①支援相談担当 GL 松原一重 ②管理栄養士渡邊恵子 ③リハビリテーション室 GL 品田さゆり ④支援相談員柳井紀道	25 人
5 月	紙おむつ取扱等説明会①、②	株式会社リヴドゥコーポレーション リフレ・サポーター 高野里美	19 人
5 月	平成 30 年度介護保険施設に係る説明会(集団指導)の伝達講習	施設長 河合弘進	30 人
6 月	排泄支援加算の算定について I	看護師長 武井浩之	20 人
7 月	①施設における感染対策に関する研修 ②施設における安全対策に関する研修	①感染管理認定看護師 千木良悦子 ②専任リスクマネジャー 斉藤康行	20 人
8 月	医療安全管理に関する研修(酸素ボンベの取扱いについて)	株式会社星医療酸器 北関東事業所 課長 齋藤康二	23 人
9 月	①第 28 回群馬県老人保健施設大会予演 ②看護・介護職員研修伝達講習	①管理栄養士 渡邊恵子 ②介護福祉士 新井論史、石川公一	27 人
10 月	排泄支援加算の算定について II	看護師長 武井浩之	29 人
11 月	口腔機能維持研修	むらかわ歯科院長 村川正紀	17 人
12 月	認知症と向き合うヒント	施設長 河合弘進	24 人
2 月	転倒予防について ～リハビリテーションの視点から～	理学療法士 水間武央、黒澤匠太 作業療法士 品田さゆり	24 人
3 月	嗜好調査の結果	管理栄養士 渡邊恵子	23 人
3 月	御利用者様の満足度を上げるために ～レクリエーションを通じ充実した時間を～	介護福祉士 山田健司	23 人
3 月	さまざまな障壁のある利用者の在宅復帰への取り組み ～施設と居宅介護支援の連携～	施設介護支援専門員 長坂美樹 支援相談担当 松原一重、渡邊晴美、 島田将司、柳井紀道	23 人
3 月	食べ物レクリエーションの取り組み～利用者アンケートを実施して～	介護福祉士 新井論史	30 人
3 月	QOL 向上を目指した経口摂取の取り組み ～食べたい気持ちに添えて～	介護福祉士 秋山博之	30 人
3 月	車椅子シーティングについて ～段ボールを使用したシーティングの実践～	理学療法士 水間武央	30 人
3 月	半固形栄養食品(アクトエールアクア)について アクトエールアクアの商品紹介及び加圧バッグ使用方法	株式会社クリニコ 渡部さおり	9 人
3 月	施設内の感染予防と事故予防	看護師長 武井浩之	21 人

IV 教育実習生・研修生受入実績

*介護老人保健施設「しらすぎの里」

学校・団体・研修名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考
藤岡准看護学校	33	247	5/7～11/16	臨地実習	7～8日間/1人
群馬医療福祉大学	1	36	4/23～6/15	理学療法専攻4年生臨床実習	36日間/1人
	51	199	5/7～11/2	高齢者看護学実習I	3～4日間/1人
	1	37	9/10～11/2	作業療法臨床総合実習	37日間/1人
	1	15	11/26～12/14	作業療法臨床評価実習	15日間/1人
前橋医療福祉専門学校	1	29	8/6～9/18	理学療法学科(4年課程)臨床実習	29日間/1人
	1	12	2/12～2/27	理学療法学科(4年課程)臨床実習	12日間/1人
高崎健康福祉大学	47	47	9/27～11/22	理学療法学科早期体験実習	1日間/1人
群馬県立藤岡北高等学校	2	6	11/20～11/22	介護職員初任者研修現場実習	3日間/1人
群馬県立万場高等学校	3	3	11/7～11/9	介護職員初任者研修現場実習	1日間/1人
群馬県社会福祉協議会	1	5	12/10～12/14	介護等体験	5日間/1人
藤岡市立小野中学校	10	10	11/13	第1学年 総合的な学習の時間に係る施設見学・体験	1日間/1人
群馬県老人保健施設協会	2	2	11/22～11/25	看護・介護実地研修	1日間/1人
合 計	154	648			

*訪問看護ステーション「はるかぜ」

学校・団体・研修名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考
藤岡准看護学校	40	40	5/10～10/27	外来看護（訪問看護）	1日間/1人
群馬医療福祉大学 看護学科	19	129	5/7～11/9	在宅看護論	7日間/1人
上尾中央看護専門学校通信学科	1	2	8/20～8/21	訪問看護	2日間/1人
合 計	60	171			

VI 経営状況

1. 損益計算書

*介護老人保健施設「しらすぎの里」

(単位：千円、%)

区分	平成28年度	平成29年度		平成30年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
施設運営事業収益	476,050	475,273	99.8	451,515	95.0
事業収益	473,143	471,832	99.7	448,403	95.0
施設介護収益	265,967	265,198	99.7	253,127	95.4
居宅介護収益	84,371	86,432	102.4	81,454	94.2
居宅介護支援収益	18,090	17,597	97.3	16,510	93.8
施設介護利用料収益	78,362	80,445	102.7	75,910	94.4
居宅介護利用料収益	18,184	18,359	101.0	17,977	97.9
その他事業収益	8,169	3,801	46.5	3,425	90.1
事業外収益	2,907	3,441	118.4	3,112	90.4
受取利息及び配当金	2	1	50.0	1	100.0
長期前受金戻入	1,602	1,602	100.0	1,602	100.0
その他事業外収益	1,303	1,838	141.1	1,509	82.1
特別利益	0	0	—	0	—
過年度損益修正益	0	0	—	0	—
施設運営事業費用	481,698	486,785	101.1	486,275	99.9
事業費用	466,057	472,504	101.4	473,099	100.1
給与費	338,012	340,826	100.8	333,368	97.8
材料費	33,783	35,362	104.7	36,494	103.2
経費	35,527	37,938	106.8	42,853	113.0
委託費	35,083	34,891	99.5	35,993	103.2
減価償却費	22,397	22,118	98.8	22,501	101.7
資産減耗費	0	0	—	443	—
研究研修費	255	369	144.7	447	121.1
長期前払消費税償却	1,000	1,000	100.0	1,000	100.0
事業外費用	15,641	14,281	91.3	13,176	92.3
支払利息及び企業債取扱諸費	15,641	14,281	91.3	13,176	92.3
雑損失	0	0	—	0	—
特別損失	0	0	—	0	—
固定資産売却損	0	0	—	0	—
過年度損益修正損	0	0	—	0	—
その他特別損失	0	0	—	0	—
収支差引	△ 5,648	△ 11,512	203.8	△ 34,760	△ 301.9

*訪問看護ステーション「はるかぜ」

(単位：千円、%)

区分	平成28年度	平成29年度		平成30年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
訪問看護事業収益	107,769	121,427	112.7	126,048	103.8
事業収益	107,335	120,887	112.6	125,811	104.1
訪問看護療養収益	65,116	63,644	97.7	70,914	111.4
介護保険訪問看護療養収益	32,729	45,817	140.0	41,505	90.6
居宅介護支援収益	0	0	—	0	—
訪問看護利用料収益	5,209	5,902	113.3	8,391	142.2
介護保険利用料収益	4,281	5,524	129.0	5,001	90.5
事業外収益	434	540	124.4	237	43.9
受取利息及び配当金	277	211	76.2	162	76.8
その他事業外収益	157	329	209.6	75	22.8
特別利益	0	0	—	0	—
過年度損益修正益	0	0	—	0	—
訪問看護事業費用	63,132	69,895	110.7	72,045	103.1
事業費用	63,092	69,877	110.8	71,904	102.9
給与費	56,388	61,996	109.9	60,923	98.3
材料費	24	138	575.0	250	181.2
経費	4,686	5,681	121.2	7,855	138.3
減価償却費	1,884	1,884	100.0	2,644	140.3
資産減耗費	0	0	—	206	—
研究研修費	110	178	161.8	26	14.6
事業外費用	40	18	45.0	141	783.3
支払利息及び企業債取扱諸費	40	18	45.0	141	783.3
雑損失	0	0	—	0	—
特別損失	0	0	—	0	—
固定資産売却損	0	0	—	0	—
過年度損益修正損	0	0	—	0	—
その他特別損失	0	0	—	0	—
収支差引	44,637	51,532	115.4	54,003	104.8

2. 貸借対照表

*介護老人保健施設事業

(単位：千円、%)

区分	平成28年度	平成29年度		平成30年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
固定資産	805,944	780,943	96.9	770,348	98.6
有形固定資産	801,792	777,791	97.0	768,196	98.8
土地	82,546	82,546	100.0	82,546	100.0
建物	1,338,367	1,338,367	100.0	1,338,367	100.0
構築物	68,028	68,028	100.0	68,028	100.0
器械備品	44,786	44,786	100.0	44,786	100.0
車両	3,762	3,762	100.0	3,762	100.0
リース資産	31,553	31,553	100.0	34,773	110.2
減価償却累計額	767,250	791,251	103.1	804,066	101.6
無形固定資産	364	364	100.0	364	100.0
投資	3,788	2,788	73.6	1,788	64.1
流動資産	544,218	561,068	103.1	561,790	100.1
現金預金	444,411	463,683	104.3	471,788	101.7
未収金	99,807	97,385	97.6	90,002	92.4
資産合計	1,350,162	1,342,011	99.4	1,332,138	99.3
固定負債	694,235	644,569	92.8	603,985	93.7
企業債	488,912	441,376	90.3	392,574	88.9
リース債務	5,323	3,193	60.0	11,411	357.4
他会計借入金	200,000	200,000	100.0	200,000	100.0
流動負債	88,794	91,890	103.5	104,961	114.2
企業債	46,302	47,535	102.7	48,802	102.7
リース債務	3,313	2,282	68.9	4,893	214.4
未払金	13,473	12,646	93.9	12,320	97.4
引当金	23,582	26,861	113.9	34,309	127.7
その他流動負債	2,124	2,566	120.8	4,637	180.7
繰延収益	58,562	56,960	97.3	55,358	97.2
長期前受金	89,000	89,000	100.0	89,000	100.0
長期前受金収益化累計額	△ 30,438	△ 32,040	△ 105.3	△ 33,642	△ 105.0
資本金	413,500	413,500	100.0	413,500	100.0
自己資本金	413,500	413,500	100.0	413,500	100.0
剰余金	95,071	135,092	142.1	154,334	114.2
資本剰余金	10,149	10,149	100.0	10,149	100.0
利益剰余金	84,922	124,943	147.1	144,185	115.4
負債資本合計	1,350,162	1,342,011	99.4	1,332,138	99.3

3. 経営分析

*介護老人保健施設「しらさぎの里」

区分	備考	平成28年度	平成29年度	平成30年度
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	37.7%	40.9%	42.6%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	612.9%	610.6%	535.2%
現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	500.5%	504.6%	449.5%

介護老人保健施設

区分	備考	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	98.8%	97.6%	92.9%
事業収支比率	$\frac{\text{事業収益}}{\text{事業費用}} \times 100$	101.5%	99.9%	94.8%
利用率	一般	89.8%	93.8%	91.4%
1日平均利用者数	入所	71.8人	75.0人	73.1人
	入所日数	365日	365日	365日
	通所	42.4人	42.5人	41.9人
	通所日数	257日	256日	256日
1人1日当り診療収入	入所	13,133円	12,625円	12,328円
	通所	9,411円	9,634円	9,261円
事業収益に対する割合	職員給与費	71.4%	72.2%	74.3%

*訪問看護ステーション「はるかぜ」

区分	備考	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	170.7%	173.7%	175.0%
事業収支比率	$\frac{\text{事業収益}}{\text{事業費用}} \times 100$	170.1%	173.0%	175.0%
1日平均利用件数	看護	35.8人	39.0人	41.9人
	リハビリ	13.8人	19.6人	16.6人
	訪問実日数	243日	245日	244日
事業収益に対する割合	職員給与費	52.5%	51.3%	48.4%

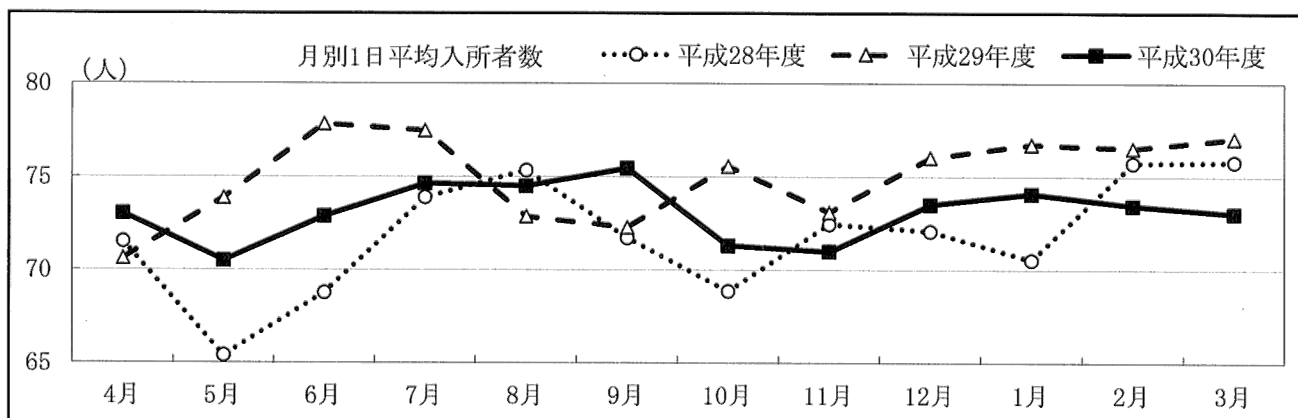
V 業務統計

1. 介護老人保健施設「しらさぎの里」

(1) 施設サービス (入所者数)

(単位：人)

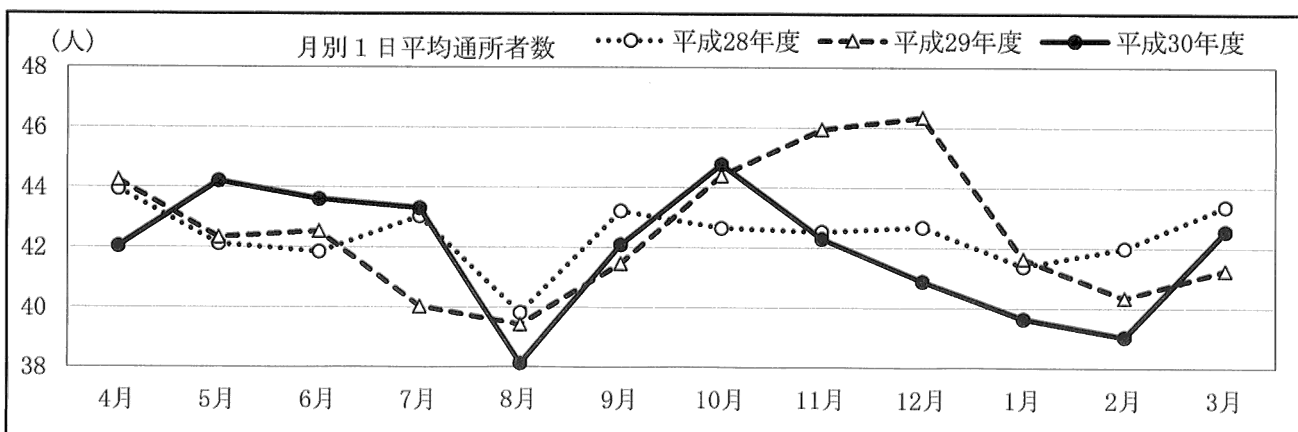
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	2,146	2,028	2,064	2,291	2,336	2,152	2,135	2,174	2,235	2,187	2,121	2,350	26,219
内リハ数	1,146	1,005	1,028	1,229	940	992	1,027	855	1,107	1,128	1,146	1,258	12,861
1日平均	71.5	65.4	68.8	73.9	75.4	71.7	68.9	72.5	72.1	70.5	75.8	75.8	71.8
平成29年度	2,119	2,290	2,335	2,402	2,259	2,169	2,343	2,193	2,357	2,379	2,143	2,389	27,378
内リハ数	1,183	1,216	1,314	1,222	1,264	1,164	1,251	1,180	1,201	1,215	1,160	965	14,335
1日平均	70.6	73.9	77.8	77.5	72.9	72.3	75.6	73.1	76.0	76.7	76.5	77.1	75.0
平成30年度	2,191	2,186	2,187	2,314	2,310	2,264	2,211	2,130	2,279	2,297	2,057	2,264	26,690
内リハ数	1,113	1,106	1,120	1,143	1,235	1,057	1,089	1,071	1,040	1,005	932	941	12,852
1日平均	73.0	70.5	72.9	74.6	74.5	75.5	71.3	71.0	73.5	74.1	73.5	73.0	73.1



(2) 居宅サービス (通所リハビリテーション利用者数)

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	923	927	921	904	916	951	896	936	854	828	840	998	10,894
1日平均	44.0	42.1	41.9	43.0	39.8	43.2	42.7	42.5	42.7	41.4	42.0	43.4	42.4
平成29年度	885	974	936	841	907	871	977	1,011	927	833	807	908	10,877
1日平均	44.3	42.3	42.5	40.0	39.4	41.5	44.4	46.0	46.4	41.7	40.4	41.3	42.5
平成30年度	883	1,017	916	953	877	842	1,030	931	818	793	781	894	10,735
1日平均	42.0	44.2	43.6	43.3	38.1	42.1	44.8	42.3	40.9	39.7	39.1	42.6	41.9



(3) 居宅サービス（ショートステイ利用者数）

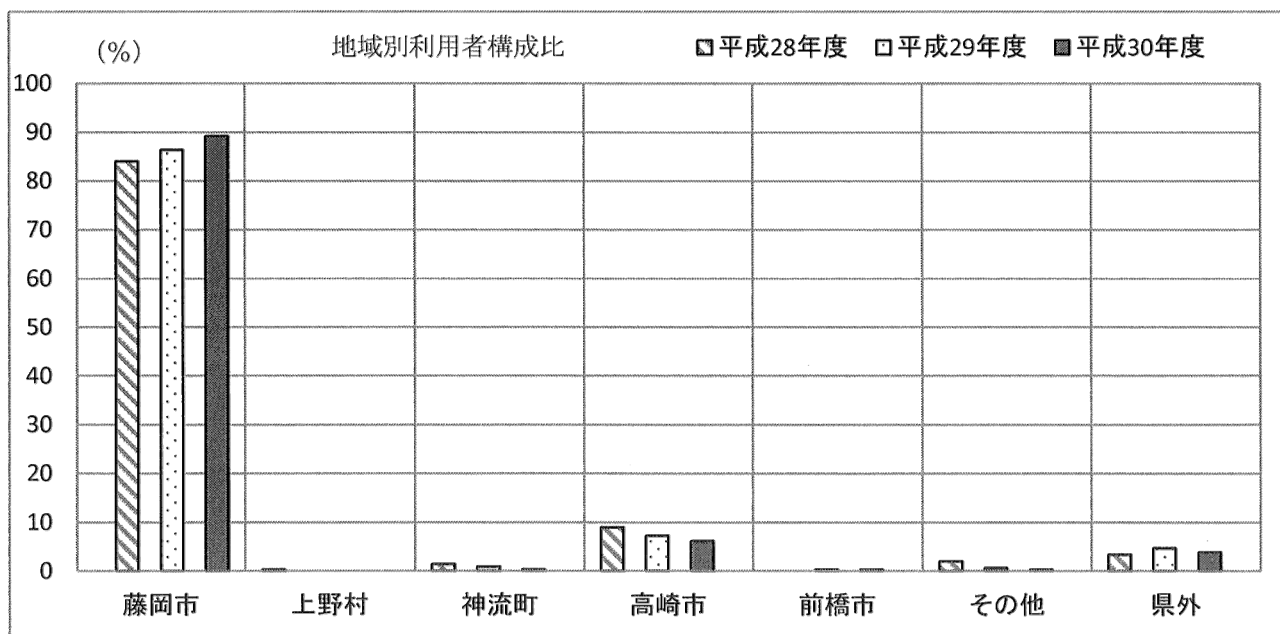
(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	20	23	15	8	0	6	11	21	27	0	6	8	145
平成29年度	11	45	26	0	0	0	14	19	16	20	10	0	161
平成30年度	4	11	15	18	38	13	9	7	2	14	0	5	136

(4) 地域別利用者数

(単位：人)

区分		県内										県外	合計
		藤岡市	上野村	神流町	高崎市	小計	伊勢崎市	その他	小計				
28年度	利用者数	345	300	1	5	32	338	0	7	7	12	357	
	入所者数	138	117	1	2	17	137	0	1	1	0	138	
	ショートステイ	9	8	0	0	1	9	0	0	0	3	12	
	通所リハビリ	198	175	0	3	14	192	0	6	6	9	207	
	構成比 (%)	96.6	84.0	0.3	1.4	8.9	94.6	0.0	2.0	2.0	3.4	100.0	
29年度	利用者数	328	297	0	3	25	325	1	2	3	16	344	
	入所者数	124	98	0	3	21	122	1	1	2	15	139	
	ショートステイ	15	14	0	0	1	15	0	0	0	0	15	
	通所リハビリ	189	185	0	0	3	188	0	1	1	1	190	
	構成比 (%)	95.3	86.3	0.0	0.9	7.2	94.4	0.3	0.6	0.9	4.7	100.0	
30年度	利用者数	330	306	0	1	21	328	1	1	2	13	343	
	入所者数	119	98	0	1	18	117	1	1	2	11	130	
	ショートステイ	9	9	0	0	0	9	0	0	0	1	10	
	通所リハビリ	202	199	0	0	3	202	0	0	0	1	203	
	構成比 (%)	96.2	89.2	0.0	0.3	6.1	95.6	0.3	0.3	0.6	3.8	100.0	

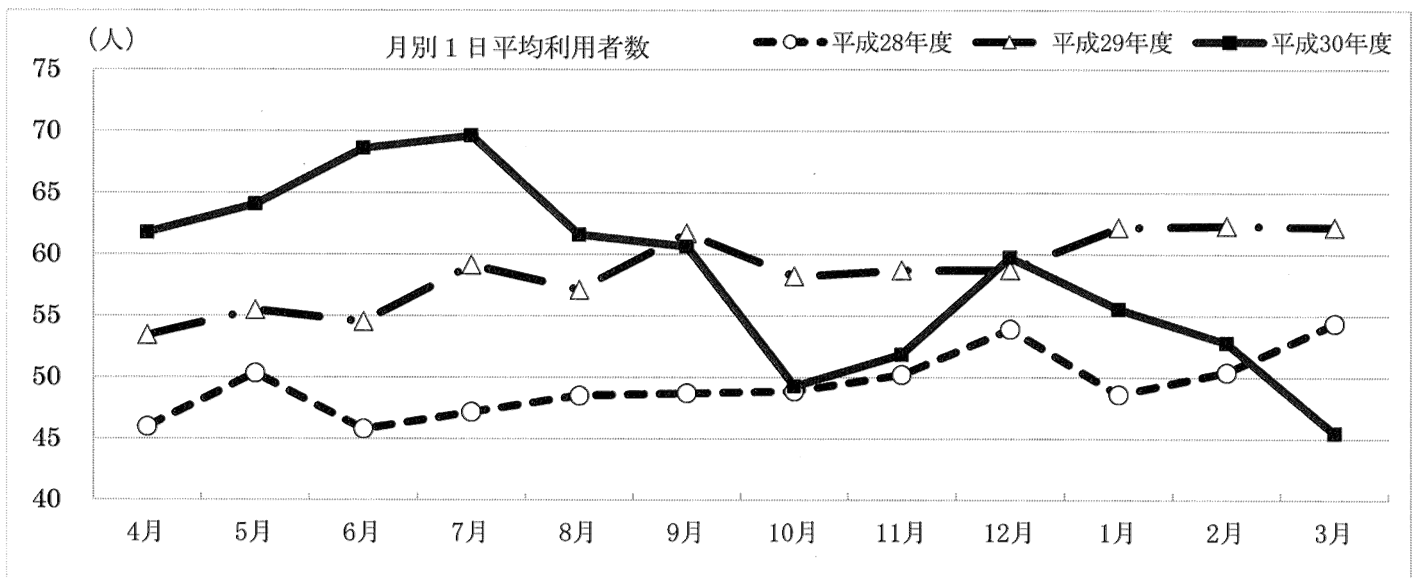


2. 訪問看護ステーション「はるかぜ」

(1) 月別利用者数

(単位：人)

区分	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数		1,235	1,345	1,441	1,462	1,416	1,091	1,084	1,089	1,135	1,055	1,003	909	14,265
	看護	791	849	940	972	1,026	850	835	831	871	805	769	687	10,226
	リハビリテーション	444	496	501	490	390	241	249	258	264	250	234	222	4,039
1日平均利用者数		61.8	64.0	68.6	69.6	61.6	60.6	49.3	51.9	59.7	55.5	52.8	45.5	58.5
	看護	39.6	40.4	44.8	46.3	44.6	47.2	38.0	39.6	45.8	42.4	40.5	34.4	41.9
	リハビリテーション	22.2	23.6	23.8	23.3	17.0	13.4	11.3	12.3	13.9	13.1	12.3	11.1	16.6
利用者数		197	199	192	197	173	150	150	154	162	158	156	144	2,032
	看護	196	191	188	170	171	145	147	154	162	158	155	143	1,980
	リハビリテーション	106	111	110	107	81	57	51	53	59	58	54	52	899
	併用	105	103	106	80	79	52	48	53	59	58	53	51	847



(2) 地域別利用者数

(単位：人、%)

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	利用者数	構成比	利用者数	構成比	利用者数	構成比
藤岡市	204	63.4	247	68.1	241	66.9
高崎市(吉井町)	13	4.0	9	2.5	7	1.9
高崎市	35	10.9	39	10.7	42	11.7
県内その他	2	0.6	3	0.8	5	1.4
県外	68	21.1	65	17.9	65	18.1
計	322	100.0	363	100.0	360	100.0

(3) 休日・祭日・緊急訪問集計(看護師)

(単位：人)

区分	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
休日・祭日訪問		76	80	82	96	87	119	64	53	103	100	62	40	962
緊急訪問		42	39	71	51	60	47	22	36	34	28	43	25	498

業 務 概 要

業務概要

1. 診療部

(1) 総合診療科

1. スタッフ

常勤医師：神保貴宏

2. 診療業務の現況

月・火・金 午前の新患

月・火・水・木 午後の再来

の診療を行っています。

新患については、「総合診療科」宛の紹介患者のほか、内科系紹介患者の初期対応を中心に診療し、必要に応じて各専門科に紹介するようにしています。

また、内科・循環器科のカンファレンスに参加して診療内容の検討を行っています。

3. 今後の目標

全人的な診療を心がけ、地域の医療機関と当院の各専門科との橋渡しをスムーズに行うことで、地域医療に貢献していきたいと考えています。

(文責：神保 貴宏)

(2) 精神科

1. スタッフ

常勤医師： 医長 1名、パート 1名

2. 診療業務の現況

外来診療は月～金の午前、火、木の午後に行っている。

病棟患者の往診業務は月、水、金の午後に行っている。

3. 今後の目標

a. チーム医療の確立

現在、当科は常勤医師 1名、非常勤医師 2名のみ体制であり、専任の看護師・臨床心理士も不在である。メンタルヘルスの問題は地域中核の総合病院として不可避であり、かつ病棟でも一般的に認められる頻度の多い事象である。従って、常勤医師 1名のみ対応では限界があり、メンタルヘルスに関してはチーム医療で対処する必要がある。外来のみならず病棟でのコンサルテーション・リエゾンに関しても、成果を上げていくためには他職種との関与が必須である。

b. 他地域医療機関および公的機関との連携によるパブリックメンタルヘルスの向上

公立病院の使命として地域医療圏に存在する患者のメンタルヘルスについては責務を負わなければならない立場にある。その一環として行政や保健所での健康相談に出向き、うつ病の早期発見・早期治療などは諸機関との連携を密にして行っていく必要がある。

c. 他科との連携の推進・緩和ケアに対する取り組み

総合病院精神科として他科との連携を深めていく必要があり、緩和ケアにおいては患者を全人的に捉えていく必要があり、精神科の関与は重要と考えられる

d. EBMに基づいた医療

現在は各種精神疾患の治療、特に向精神病薬を用いた治療については EBM に基づいた治療が基本であり、各種ガイドラインを常に意識した global-standard で通用する医療を推進してい

く。せん妄に関しては各種ガイドラインを参考にしながら当院独自の実用的なガイドラインを確立していく。

e. 漢方医療の積極的な推進

不安障害の治療に関してはベンゾジアゼピン系化合物が一般的に使用されているが短期的には眠気・集中力の低下、長期的には依存形成の問題がある。また、いわゆる不定愁訴と俗称さる身体表現性障害に属する

患者においては症状の緩和にベンゾジアゼピン系化合物は一般的には無効である。適切な漢方薬の使用により、QOLを低下させずに身体表現性障害の改善が見込まれることから、積極的に漢方方剤を使用していく。

(文責：五十嵐 孝)

(3) 消化器内科

1. スタッフ

壁谷 建志、山口 泰子

2. 業務の現況

上記の2名体制です。

当科では主に消化管疾患の診断、治療を行っています。また、外来では肝疾患の診断、治療を行っています。

入院棟では消化管出血に対する緊急内視鏡処置およびポリープ、早期胃がんの内視鏡的治療を行い、また進行胃がんの化学療法をしております。

外来では主として消化器外来、外来患者および検診受診者の内視鏡検査を実施しており、そのほか検診胃透視の読影を担当しています。

外来での対応疾病としては消化性潰瘍、逆流性食道炎、炎症性腸疾患、慢性肝炎が主体で、そのほか検診二次の需要が増えております。目立ったところではピロリ菌感染胃炎の除菌治療や、C型慢性肝炎の抗ウイルス治療が増えております。

3. 今後の目標

検診の需要が増えてきており、スタッフ、機器の充実を図り需要増加に対応できるようにしていきたいと思っております。

(文責：壁谷 建志)

(4) 循環器内科

1. スタッフ

入院は 井上雅浩・間渕由紀夫・植田哲也・高松寛人・小野洋平・の5名になります。

外来は入院スタッフに加え、外来のみで診療に当たる鈴木忠・飯島徹・山岸美保・長谷川寛(不整脈外来)になります。

2. 業務の現況

当科では、虚血性心疾患(心筋梗塞・狭心症)・心不全・不整脈・心筋症(拡張型・肥大型・二次性)・心臓弁膜症・高血圧症などを中心に、大動脈疾患(胸部および腹部大動脈瘤・大動脈解離)閉塞性動脈硬化症・肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症・成人先天性心疾患などの診断・治療を行っています。

冠血管カテーテル治療としては、ステント留置術・バルーン血管形成術・冠動脈内血栓吸引術などを行なっております。急性冠症候群(急性心筋梗塞・不安定狭心症)に対する冠動脈カテーテ

ル治療は 24 時間体制で対応し、毎年 100 例前後の緊急カテーテル治療を行っております。

血管内超音波検査を使用し、適切で安全な治療を心がけています。冠動脈 C T による冠動脈病変の評価システムが軌道に乗り、低侵襲で診断される症例が増加してきております。

肺血栓塞栓症に対する下大静脈フィルター留置・閉塞性動脈硬化症に対する下肢動脈血管治療・透析患者さんに対するシャント血管治療・徐脈性不整脈に対するペースメーカーの植え込みなども行っています。

不整脈に対するカテーテル治療・植え込み型除細動器・両室ペーシング・冠動脈バイパス術・弁置換術・大血管の手術が必要な場合には、群馬県立心臓血管センター・伊勢崎市民病院・群馬大学医学部附属病院などと連携をとって診療にあたっております。

3. 今後の目標

- 1 丁寧な病状説明と診療記録を心がけ、患者・家族が納得できる医療を提供する。
- 2 医療圏の循環器疾患をすべて受け入れる。
- 3 カテーテル検査・カテーテル治療を積極的に行い、より多くの患者に最新医療を提供する。
- 4 地域医療連携を活用し、スムーズな退院指導を行うことで平均在院日数の短縮に努める。
- 5 インシデント・アクシデントレポートを積極的に提出し、医療事故を未然に防ぐ。
- 6 臨床研修医にトレーニングの場を提供し、循環器診療に必要な考え方・基本技術を身に付けた医師を育てる。

(文責：井上 雅浩)

(5) 呼吸器内科

1. スタッフ

中川純一、池田香菜、内田恵、梅津和恵、(須賀達夫、竹村仁男・山口公一 田口浩平)

2. 業務の現況

平成 30 年は高野先生、田口先生が退職され、新たに梅津先生が加わり常勤医 4 人体制でスタートした。1 年前と比べ 2 人少ない人数で病棟・外来を維持することは難しく、非常に厳しい業務が続いた。池田先生は外来と人間ドックを中心とした業務、非常勤医師の須賀先生には引き続き呼吸器カンファレンスと回診、外来、木曜の気管支鏡をお手伝いいただいた。さらに、群馬大学附属病院から竹村先生と山口先生に気管支鏡検査や病棟業務を、田口先生は水曜日のカンファレンスと回診、外来のサポートしていただいた。

担当する疾患としては、肺がんや間質性肺炎など専門性の高い疾患の他、誤嚥性肺炎や体動困難・認知症などの疾患がさらに増えたが、MSW の介入により以前よりもスムーズに転院できるようになった。

肺がん症例では、進行がんや高齢で全身状態が悪くなって受診する場合も相変わらず多く、気管支狭窄や上大静脈症候群に対する緊急放射線治療や疼痛緩和目的の放射線治療をした症例も多かった。また、免疫チェックポイント阻害剤の登場などにより化学療法の選択肢が増え、外来化学療法を続ける症例も増えた。

睡眠時無呼吸の精査入院は中断していたが、検査を外部に委託し再開した。

3. 今後の目標

新たな抗がん剤が登場し肺がん診療ガイドラインも年に数回変更となるため、引き続き必要な検査および薬剤が使えるようしっかりと準備をしていく。

また、免疫チェックポイント阻害剤は種々の副作用が出うるため、今まで以上に他科との連携をしっかりとって対処したい。

(文責：中川 純一)

(6) 血液内科

1. スタッフ

外山耕太郎、斉藤明生、松村郁子、中山敬太

2. 業務の現況

引き続き4人体制で群馬県全域及び埼玉県北部の二次医療圏を超えた範囲からの血液疾患症例を受け入れている。基幹病院としての特性から積極的な治療を必要とする患者から Best supportive care の対象となる高齢者まで、幅広い年齢層の症例が集まっている。当院の特色として外科、循環器科、整形外科、透析科、放射線科などの他科との連携が容易であり、他の病院では対応できない数多くの合併症を持った患者に対応している。

無菌病棟が充実し、急性白血病症例や、強度の強い治療を必要とするリンパ腫症例数が増加しており、無菌病床はすでに不足している状況となっている。

濾胞性リンパ腫の FOREST 試験や、Hodgkin リンパ腫の HORIZON 試験、JALSG の CS-17 といた全国規模の臨床試験に積極的に参加を行っている。

また、群馬大学血液内科と共同で高齢者リンパ腫における治療についての前向き観察試験を行い、新規の Evidence 構築に向け邁進している。

3. 今後の目標

同種移植が必要な患者に関しては、群馬大学血液内科や済生会前橋病院と連携をとり治療にあたっていく。

各種新規薬剤、レジメンの導入を遅滞なく行い、複雑化する血液内科の最新治療に対応していく。研修指定病院としての役割で投下の果たす役割は多くはないが、当院の特色ある研修の一つとして研修医の指導に当たっていく。

4. 業務実績

新規患者数

急性骨髄性白血病 13 例、急性リンパ性白血病 1 例、骨髄異形成症候群 5 例、悪性リンパ腫 44 例、形質細胞性腫瘍 18 例、慢性骨髄性白血病 4 例、真性多血症 2 例、本態性血小板血症 4 例、Post-ET MF 2 例、慢性骨髄単球性白血病 1 例、免疫性血小板減少症 9 例、血栓性血小板減少性紫斑病 1 例、自己免疫性溶血性貧血 2 例、悪性貧血 3 例、ビタミン B12 欠乏性貧血（胃全摘後）1 例、葉酸欠乏性貧血 2 例、銅欠乏性貧血 1 例、自己免疫性好中球減少症 1 例、特発性好酸球增多症 1 例、伝染性単核球症 1 例、βサラセミア 1 例、キャスルマン病 1 例、TAFRO 症候群 1 例
自家末梢血造血幹細胞移植 2 例

(文責：外山 耕太郎)

(7) 腎臓・リウマチ内科

1. スタッフ

平成 30 年度は、前年同様 5 人のスタッフで診療を行った。若手医師には腎臓リウマチ分野の診療の他、救急外来での初期対応や内科外来での初診外来も担当してもらい、幅広い知識・経験を積めるようにしている。

2. 業務内容

腎疾患診療については検尿異常から慢性腎臓病、急性腎障害などの患者さんの診療に対応している。30 年度は 30 例の腎生検を行った。

透析診療に関しては、透析室の 29 床のベッドを効率的に活用し、維持外来血液透析患者さんだけでなく、新規導入や他院からの紹介の患者さんにも対応している。30 年度は 27 例の新規血液透析導入を行った。患者さんの病状に応じてオンライン血液透析やプログラム補液・プログラム除水などの多彩な透析処方も行っている。またエコーや造影検査で内シャントの状態把握に努め、血管形成術でのシャント管理も行っている。さらに今年度より腹膜透析診療を開始し、他院からの紹介患者さん 2 例の受け入れの他、3 例の新規導入を行った。他科からの依頼によりエンドトキシン吸着療法や血漿交換、顆粒球除去療法などの血液浄化治療を行う他、難治性腹水に対する腹膜濾過濃縮再静注療法にも対応している。

リウマチ・膠原病に関しては県内のみならず、埼玉北部からも広く患者さんが紹介されている。この数年でリウマチだけでなく膠原病にも生物学的製剤の適応が広がってきており、副作用に留意しつつ疾患の寛解を目指して積極的に治療に当たっている。

3. 研究業績

対外的には群馬県透析懇話会に 1 題演題を発表した。

4. 目標

現行の診療体制を維持しつつ、地域の腎臓/リウマチ膠原病に関して診療の幅を広げていきたい。慢性腎臓病の進行予防・透析予防にも積極的に取り組んでいきたい。

(文責：太田 史絵)

(8) 糖尿病内科

1. スタッフ

常勤医：今村 誠

2. 業務内容

外来診察、および病棟業務を行っている。その他、糖尿病教室を年 4 回ほど開催、参加している。外来診察は糖尿病外来を週 3 回、甲状腺外来を週 1 回行っている。病棟業務としては糖尿病治療、内分泌疾患診察治療のほか、他科より血糖コントロールの依頼を受けることも多いため、必要に応じて行っている。

3. 今後の目標

入院患者を増やす。

糖尿病スタッフを増やす。

(文責：今村 誠)

(9) 小児科

1. スタッフ

昨年度末で長く小児科を率いてくださった深澤信博先生が御停年退任され、今年度より渡部登志雄が引き継ぐことになりました。今年は渡部と小山晴美、相馬洋紀、岩脇史郎の常勤 4 人体制。非常勤として岡田恭典（循環器、発達）、川嶋伸明（神経、発達）、田部井容子（内分泌・代謝）、鈴木信（外科・消化器）各先生の援助を受け小児疾患の広い分野をカバーしています。（敬称略）

2. 業務内容

平成 30 年度は、入院実数 745（29 年度 735 人）、外来実数 7549 人（29 年度 7605 人）と少子化にあらがって前年度を維持しています。当院の特徴である腎疾患について腎生検 10 件、腎シンチ 27 件、膀胱造影 30 件、リツキシマブ投与 1 件と順調に症例数を重ねていま

す。もう一つの柱のアレルギー疾患についても昨年から始めた重症の食物アレルギーについて入院での食物負荷試験は8件施行いたしました。それ以外にも内分泌負荷試験10例含め各種検査を行いました。また、当院は休日夜間の小児診療について西毛地区の輪番病院の一翼を担っておりますが、今年度より高崎中央病院の撤退に伴い輪番日に第3,5木曜が追加となりました。新生児については院内出生の34週以降の早期産児。呼吸障害、感染症、初期嘔吐、新生児黄疸等の疾患につき110例の入院加療を行いました。内DPAP装着3例、挿管管理（転送含む）3例の管理を行いました。

3. 目標

次年度も感染症疾患に加え腎臓、アレルギー、新生児の疾患を軸に藤岡多野地域だけでなく埼玉県北部を中心に更に広いエリアからの紹介を得るように努力して行きたいと思っております。また、新生児蘇生講習会を院内で開催できるようにして新生児医療技術の底上げをはかって行きたいと思っております。

(文責：渡部 登志雄)

(10) 外科

1. スタッフ

石崎政利、設楽芳範、中村卓郎、森永暢浩、中里健二、加藤寿英、松本明香、矢野間透、熊倉裕二、菊地健太、原田祥恵

2. 施設認定

- ① 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ② 日本消化器外科学会専門医修練施設
- ③ 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ④ 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ⑤ 日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設
- ⑥ 日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
- ⑦ 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ⑧ 日本消化器内視鏡学会専門医制度認定施設
- ⑨ 日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設

3. 診療内容

- ① 消化器外科：消化器の良性・悪性疾患
- ② 呼吸器外科：肺、縦隔、胸膜、胸壁の疾患
- ③ 乳腺・内分泌外科：乳腺、甲状腺の疾患
- ④ 小児外科：小児ヘルニア
- ⑤ 一般外科：虫垂炎、成人ヘルニア、リンパ節、皮下腫瘍

4. 目標

安全を確保できるシステムで標準的な治療を提供する。

- ① 医師の能力向上に努める
- ② 学術的診療業務への取り組み
- ③ 外科医療の質改善に努める
- ④ がん地域連携パスの推進

(文責：設楽 芳範)

(11) 整形外科

1. スタッフ

常勤医師：萩原明彦、中島大輔、土田ひとみ、永井彩子、丹下沙羅、島田剛志

非常勤医師（外来のみ）：勝見賢、関隆致、三枝徳栄

2. 業務の現況

常勤医 6 名と外来のみの非常勤医 3 名で診療を行っています。外来は月曜日から金曜日までの午前一般外来、火曜日午後脊椎外来を行っています。

診療内容は整形外科領域全般にわたっており、特に手外科領域に関しては 2 次医療圏を超えた広い範囲からの紹介があるのが特徴であります。

手術に関しましては、骨折や軟部組織損傷などの外傷手術が多いのが当院の特徴であり、緊急手術も含め手術件数が増加傾向となっています。

毎週月曜日には術前術後のカンファレンスや、多職種カンファレンスを開いており、治療方針などの情報共有をはかっています。

当科では治療の標準化、入院期間の短縮などを目的としてクリニカルパスを積極的に使用しております。また大腿骨近位部骨折や脊椎圧迫骨折については地域連携パスがあり、急性期治療終了後に近隣病院へ円滑に転院できるような体制を整えております。

3. 今後の目標

- ・地域中核病院として安全で質の高い医療を提供すること
- ・地域関係機関と連携し急性期病院としての機能をはたすこと
- ・年間手術件数の増加
- ・学術活動への積極的な参加
- ・整形外科専門医、手外科専門医の養成

4. 業務実績

平成 30 年度手術総件数 762 件（内緊急手術 59 件）であり年々増加傾向であります。

主要手術件数は、大腿骨近位部骨折 147 件（頸部骨折骨接合術 19 件、頸部骨折人工骨頭置換術 45 件、転子部骨折 79 件、転子下骨折 4 件）、膝関節周囲外傷 34 件、足関節周囲外傷 29 件（内足関節脱臼骨折 22 件）、人工膝関節置換術 12 件、膝前十字靭帯再建術 3 件、下肢切断術 15 件、肩甲帯～上腕骨幹部外傷 35 件、肘関節周囲外傷 35 件（内小児肘外傷 11 件）、前腕骨幹部～手指外傷 122 件（内橈骨遠位端骨折 46 件、顕微鏡下神経血管修復術 23 件）、内シヤント造設術 33 件、腱鞘炎手術 46 件（ばね指 43 件、ドゥケルバン病 3 件）、絞扼性神経障害手術 25 件（手根管症候群 20 件、肘部管症候群 5 件）、緊急創外固定設置 11 件、骨内異物除去術 120 件などとなっております。

（文責：中島 大輔）

(12) 脳神経外科

1. スタッフおよび人事

病棟スタッフは前年同様に甲賀英明（副院長、患者支援センター長）、若林和樹（部長）のに加え H29. 4. 1 より吉澤将士医師が赴任し、三人常勤体制となった。吉澤医師は H30 年 9 月 30 日に退職し佐久総合病院へ異動

H30 年 10 月 1 日より小島丈夫医師が赴任した

なお、2017 年 11 月 1 日より回復期リハビリテーション病棟（北二階）が開設された。

2. 外来体制

病棟外来分離によるスタッフ不足のため、H21年4月以降外来センターは午前だけの診療体制で継続。午後は休診 医師数減員に伴い木曜日外来を休診とした。外来センター診療体制は月曜日（若林）火曜日（交代）水曜日午前（甲賀、田村）、木曜日（小島）金曜日（甲賀）、である。

3. 待機救急体制

24時間365日rt-P A 静注療法に対応するために、体制を組んでいる。

業務実績

入院実績

平成30年度総入院件数は654件（H21年度592件、H22年度627件、H23年度689件、H24年度574件 平成25年度561件 平成26年度612件 平成27年度 平成28年度566件 平成29年度604件）であった。 男性400名、女性254名 群馬県422名、埼玉県217名（33%）、平均年齢72.9歳であった

<第一診断分類>

第一診断病名は脳腫瘍26件、脳出血98件、くも膜下出血25件、脳梗塞295件、外傷128件（前年比-48）、てんかん発作45件であった

<退院先分類>

自宅退院56%、他院回復期転院8%、療養11%、介護施設11%、死亡43件（6.6%）であった。

（文責：甲賀 英明）

（13）皮膚科

- ① スタッフ
- ② 常勤医師：部長1名
- ③ 診療業務の現況：外来診療は、月曜日から金曜日の午前と、木曜日の午後に行っている。また、火、水曜日の午後は外来にて日帰り手術を行っている。病棟患者の往診業務は月曜日、水曜日の午後に行い、金曜日の午後に病棟患者の褥瘡回診を行っている。
- ④ 今後の目標：入院患者を増加させることにより、収益の増加を目指す。群馬大学との連携を継続し、人員増加を図りたい。

（文責：嶋岡 正利）

（14）泌尿器科

スタッフ 常勤医師3名
非常勤医師1名

業務内容 外来診療は水曜、木曜は午前のみだが、月曜、火曜、金曜は午前、午後ともに診療している。泌尿器科一般（尿路性器がん、尿路結石、尿路性器感染症等）の診療を行っている。

入院診療では水曜、木曜、金曜（午前）に手術を行っている。水曜には長時間の開放手術や経尿道的手術を行い、木曜に鏡視下手術を主に行っている。また月曜、火曜、金曜には通院で体外衝撃波結石破砕術（ESWL）を行っている。毎週月曜日に病棟カンファレンスを行っている。

目標 泌尿器科がんの標準的な治療（手術、放射線療法、化学療法）は当院で行えるようにしたい。またH24年度より低侵襲手術（鏡視下副腎、腎摘出手術）を導入し、H26年度より鏡視下前立腺全摘除術を開始した。（H27年3月に腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術の施設認定が受理されました）病棟ではスタッフ教育のための勉強会を継続して

行い、泌尿器科チームとして質の高い、満足してもらえる医療を提供したい。

業務実績

手術件数（平成 30 年 1 月～12 月）

病名	術名	件数
副腎腫瘍	腹腔鏡下副腎摘除術	2
腎癌	腹腔鏡下根治的腎摘出術	3
	根治的腎摘出術（開腹）	1
	腹腔鏡下腎部分切除術	4
腎良性腫瘍	腹腔鏡下腎部分切除術	2
腎盂尿管癌	腹腔鏡下腎尿管全摘除術	4
	腎尿管全摘除術（開腹）	2
腎盂尿管癌疑い	尿管鏡	5
	逆行性腎盂造影	0
膀胱癌	膀胱全摘除術＋回腸導管造設	4
	膀胱部分切除	5
	経尿道的膀胱腫瘍切除術	72
膀胱癌疑い	膀胱生検	4
S 状結腸癌膀胱浸潤	骨盤内臓全摘＋回腸導管造設	1
前立腺癌	腹腔鏡下前立腺全摘	9
	前立腺全摘（開放）	1
	去勢術	9
前立腺癌疑い	前立腺生検	149
精巣癌	高位精巣摘除	5
前立腺肥大症	経尿道的前立腺切除	8
	前立腺被膜下摘除術	1
尿管狭窄	D-J ステンント留置	85
	腎瘻造設（腎瘻拡張）	12（4）
停留精巣	精巣固定（停留精巣）	2
尿管結石	経尿道的尿管結石破砕術	17
膀胱結石	経尿道的膀胱結石摘出	10
包茎	環状切除	8
	背面切開	1
膀胱出血	膀胱止血術（内視鏡的）	2
腎尿管結石	体外衝撃波結石破砕術	96（新規 32）
慢性腎不全	腹膜透析用カテーテル留置	2
その他	膀胱瘻造設	1
	陰嚢水腫根治術	4
	カルンクルス切除	1
	精索腫瘤切除	1
	鼠径部腫瘤切除	1

	腎生検（針生検）	1
	腎生検（開放）	1
	陰茎生検	1
	尿管膀胱再吻合	1

（文責：武井 智幸）

（15）産婦人科

1. スタッフ

診療科長 1 名、3 名の常勤医（1 名は産休中）、群馬大学からの応援派遣非常勤医師が、水曜～金曜に各 1 名で、日常診療に加えて、24hr、365 日の産科・産直体制を支えている。病棟では、29 年 11 月より、小児科と合同で周産期病棟を形成して、師長を含む助産師 11 名、看護師 16 名、保育士 1 名、看護助手 1 名で、年中無休の分娩、小児・新生児医療体制を支えている。

2. 業務概要

外来業務を、月曜日～金曜日の午前／午後を産科／婦人科を分けて、二つの診察室で行っている。主に、超ベテランの吉田医師が対外的な顔として、延命医師が女性希望のニーズに応えるべく、健診センターの婦人科検診業務も合わせて行っている。

病棟では、年間 185 件に及ぶ手術室手術（分娩室等での手術は含まない）と、264 件の分娩が、67 件の帝王切開（平成 29 年）を含めて行われている。母体と胎児・新生児の若い 2 つの命に関わる高度なストレスの中、昼夜分かたず連携して、途切れない安全を維持するべく頑張っている現状である。

3. 今後の目標

風の前でゆれ続ける藤岡・多野地域の産科の灯を、何とか消さないよう頑張るのみです。このためには、今後も医師・助産師も含めた後達の育成が求められ、若い医療者に選択される魅力を次々と発信していかなければならない。

（文責：遠藤 究）

（16）リハビリテーション科

1. スタッフ

リハビリテーション科の医師は常勤 2 名、群馬大学からの非常勤医師 1 名、療法士は理学 30 名、作業 16 名、言語聴覚 6 名でリハビリを実施しています。

2. 業務の状況

リハビリテーション科は疾病に伴う患者の障害を評価し、社会的背景を考慮して、到達目標を設定し、患者の社会復帰や障害の克服を手助けする役割を担っています。

当院のリハビリは急性期入院部門、外来部門、回復期病棟部門があり、「脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）」「運動器リハビリテーション料（Ⅰ）」「呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）」「がん患者リハビリテーション」、「心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）」、「廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）」の施設基準で、回復期病棟では回復期リハビリテーション病棟入院料 1 の施設基準で運用しています。

平成 30 年度リハビリの新規依頼件数は、入院患者では総数 3122 件、内訳は脳血管疾患等リハビリ 582 件、運動器リハビリ 1210 件、呼吸器疾患リハビリ 95 件、がん患者リハビリ 556 件、心大血管疾患リハビリ 148 件、廃用症候群リハビリ 1210 件でした。外来患者では総数 491 件、内訳は脳血管疾患等リハビリ 72 件、運動器リハビリ 351 件、呼吸器疾患リハビリ 57 件、摂食機能療法 11 件、診断書に関わる身体計測は 23 件でした。回復期病棟への新規入棟患者は 210 件でした。入院部門では、急性期からのリハビリの重要性が周知され、がんのリハビリテーション、内部疾患に対するリハビリの介入が入院期間の短縮につながっており、入院患者のほぼ半数がリハビリを受けています。

外来部門では運動器リハビリが大半を占めますが、がん患者の術前指導訓練や慢性閉塞性肺疾患患者の呼吸理学療法や、高齢者の誤嚥に対する摂食嚥下機能療法、脳卒中患者の失語症リハビリ、顔面神経麻痺のリハビリ、小児の発達障害に対するリハビリも行っています。

回復期リハビリテーション病棟では、脳血管疾患や骨折など発症し急性期治療後に病状が安定した患者に引き続き集中的なリハビリを行うことで、機能回復や日常生活での必要な動作の改善を図り、社会や家庭への復帰を促進します。そのために医師、看護師、療法士、社会福祉士、栄養士、薬剤師など多職種が密に連携して、円滑な業務を行っています。

訪問リハビリは訪問看護ステーション「はるかぜ」と連動し、在宅でのリハビリを提供しています。主治医からの依頼で、通院困難な患者の訪問リハビリも行っています。

3. 今後の目標

地域の医療機関や施設と連携し、入院リハビリ、外来リハビリ、訪問リハビリをおこなっていきます。入院患者には病初期からリハビリが介入し早期退院、回復期リハビリへの移行をすすめ、在院日数の短縮をはかります。また終末期がん患者のリハビリに積極的に関わっていきます。外来では通院可能な患者の職場復帰や社会活動への参加をめざし、機能向上、廃用防止につとめます。訪問リハビリでは、在宅でのリハビリを希望する利用者を支えていく体制を整えていきたいと考えています。

今後も、利用者にとって満足度の高い医療を提供することを心がけていきます。

(文責：清水 透)

(17) 放射線治療科

1. スタッフ

常勤 1 名、非常勤 2 名（水曜日午後、金曜日午後）

2. 業務内容

外来診療、放射線治療計画、放射線治療。

重粒子線治療、定位放射線治療、強度変調放射線治療、密封小線源治療等が必要な場合には群馬大学医学部附属病院や群馬県・埼玉県内などの近隣の放射線治療施設へ御紹介させていただきます。

3. 業務実績

平成 30 年度の治療患者数（新患+再診）は 168 例でした。

4. 今後の目標

他科との連携をとりつつ、患者様の状態やご意向に沿った適切な治療を提供するよう努めていきたいと思っております。

(文責：塩谷 真里子)

(18) 放射線診断科

1. スタッフ

神宮晶子、熊坂百香の常勤2名。週3日半日は大学から非常勤医師の応援

2. 業務内容

CT、MRI、核医学検査の読影。CTガイド下での生検やドレナージ、出血等の緊急血管造影・治療。

3. 業務実績

平成30年度の実施件数はCT 18356件、MRI 5475件、RI 678件、PET 415件、CTガイド下生検およびドレナージ・緊急血管造影併せて26件でした。

4. 今後の目標

迅速で正確な読影をすることで、各科の診療・患者様の治療方針等に貢献できるようにしていきたいと思います。各診療科とも連絡を取り合いながら、画像診断に取り組みたいと考えています。夜間や休日の急ぎの読影や血管造影は、大学からの応援も受けつつ、引き続き対応していきたいと思います。

(文責：神宮 晶子)

(19) 麻酔科

1. スタッフ

昨年に引き続き、麻酔科指導医荒井、牛込、金井、麻酔科専門医田口、萩原の5名で手術麻酔全般を担当しています。その日の待機者が手術室リーダー看護師と相談して手術室の割り振りや手術開始時間を調整しています。

2. 診療業務の現況

局所麻酔以外のすべての手術麻酔を管理しています。緊急手術は24時間いつでも対応できる体制をとっています。昨今は重症患者も多く、麻酔管理に難渋することも多くなりました。そのほかに、ペインクリニック外来を月曜日と木曜日の午前中に開いており、主に帯状疱疹関連痛、慢性疼痛、顔面けいれんなどを扱っています。

最近では筋肉由来の疼痛、例えば重症な肩こりや腰痛に対して、筋膜リリースが即効性があり患者さんに感謝されています。

昨年の麻酔科管理は1884例で内訳は全身麻酔(硬膜外麻酔併用を含む)1282例、腰椎麻酔406例、硬膜外麻酔112例、伝達麻酔57例でした。このうち、緊急手術は239例でした。前年より190例ほど増加しました。また、90歳以上は55例でここでも高齢化が窺えます。

3. 今後の目標

手術部門システムの導入により効率的な手術運営及び医療の質、安全性の向上を図ることができるようになりました。このシステムに甘んずることなく、細心の注意を払い日々の麻酔を心がけたいと思います。

(文責：荒井 賢一)

(20) 歯科口腔外科

1. スタッフ

高山 優、大隅麻貴子、飯沼 瞳(歯科衛生士)、安井由佳(歯科衛生士)

2. 業務の現況

平成 30 年 4 月に歯科口腔外科が新設され、歯科医師 2 名、歯科衛生士 2 名の 4 人の体制で診療を行っております。

月曜日～金曜日の午前は初診患者を中心とした診療、月曜日および木曜日の午後は全身麻酔下の手術、火曜日・水曜日・金曜日の午後は再診患者および外来小手術（埋伏智歯抜歯等）を行っています。

対象疾患につきましては、顎口腔領域の炎症（点滴加療や口腔外切開が必要な場合）、顎口腔領域の外傷（軟組織損傷・顎骨骨折）、顎口腔領域の粘膜疾患・腫瘍・嚢胞、顎関節疾患、顎変形症等です。局所麻酔で可能なものは外来、侵襲の大きなものは全身麻酔下で行っております。当院手術患者の周術期等口腔機能管理も行っており、術後合併症予防や在院日数短縮に寄与するよう努めております。

3. 業務実績

外来：初診患者数は 969 人、周術期等口腔機能管理患者初診総数は 171 人（手術：127 人、化学療法：44 人）でした。外来局所麻酔下の高頻度手術である普通抜歯は 170 例、埋伏抜歯は 87 例、生検・腫瘍摘出は 74 例でした。

入院：入院患者総数は 35 人、全身麻酔下手術症例は 22 例でした。手術症例内訳は、悪性腫瘍 7 例（舌癌 5 例、下顎歯肉癌 1 例、頬粘膜癌 1 例）、良性腫瘍 2 例、顎骨嚢胞 3 例、上顎洞疾患 3 例、抜歯 3 例、骨折 1 例、抜釘 2 例、頸部リンパ節摘出が 1 例でした。

4. 今後の目標

臨床では、外来患者および手術件数増加、周術期等口腔機能管理の院内対象患者の全例介入を目標と考えております。前者につきましては地域医療機関との連携を深めると共に、安全で確実な治療をすることで信頼を高め、増加させたいと考えております。後者についてにつきましては、依頼医師の負担がなく、円滑に介入出来るようなシステムを再構築しようと考えております。来年度、以降は歯科医師臨床研修医の受け入れ可能となったため、教育の面でも貢献して行きたいです。

（文責：高山 優）

（21）健康管理センター

1. スタッフ

人間ドック：飯島徹、田村勝、塚田義人、中村卓郎、壁谷健志、神保貴宏、池田香奈
山岸美保（非常勤）、

脳ドック：田村勝

2. 業務内容

一泊 2 日ドック、日帰りドック、脳ドック、肺ドック、PET がん健診、生活習慣病健診、特定健康診査／保健指導、就業・入学健診、企業健診、乳がん・甲状腺がん検診、予防接種等
業務実績

一泊 2 日ドック 117 件、日帰りドック 3,745 件、脳ドック 187 件、生活習慣病健診 1,844 件、企業健診 2,938 件、特定健診 214 件、特定保健指導 46 件、乳がん・甲状腺がん検診 544 件など

収益は平成 29 年度と比較し 5.3%増だった。

3. 今後の目標

来年度、人間ドック健診機能評価 ver. 4 を受審予定。

（文責：飯島 徹）

2. 薬剤部

1. スタッフ

公立藤岡総合病院：薬剤部長 1名 室長 1名 グループリーダー 3名
薬剤員 17名（再任用 1名、臨時職員 1名を含む） 薬剤助手 3名

2. 業務の現況

薬剤部では、「責任ある薬物治療の提供」を理念とし、以下を基本方針として多野藤岡地区の医療に貢献できるよう努力している。

1. 常に最適な薬物治療を提供する。
2. 患者さんと共に薬物治療に向かい合い、指導する。
3. 薬剤師としての考えをしっかりと持ち、チーム医療をささえる。

全病棟に専任薬剤師を配置し、きめ細かい薬剤調整と服薬指導を行っている。入院時にはすべての患者に対して持参薬調査を行い服薬計画を提案している。

2018年度の実績は、薬剤管理指導件数は 1,035 件/月、病棟薬剤業務実施加算件数 1,654 件/月、退院時薬剤情報管理指導件数 171 件/月という算定に至った。院内感染対策チーム (ICT)、抗菌薬適正使用支援チーム (AST)、栄養サポートチーム (NST)、医療安全、緩和医療、褥瘡対策、糖尿病教室などのチーム医療に、薬剤師の意見を反映できるよう取り組んでいる。高額な医薬品が増えつつあるが、医薬品の採用、購入、在庫管理において細心の注意を払い経済損失リスクの管理に取り組んでいる。日々更新される医薬品情報の管理はDIを通じて、安全性情報、DI ニュースの発行等でその発信に注力している。薬学部学生の育成に対する取り組みとして、長期実務実習は 4 名の実習生を受け入れ、未来の薬剤師の育成および薬学生実務実習受け入れ施設としての役割を果たすことができた。

全病棟および部門の救急カートの管理、毒薬、劇薬、向精神薬の管理、カリウム製剤の管理、また HCU・中央手術室・救急センターにおける麻薬管理など医薬品リスクマネジメント管理において重要な役割を担っている。

外来化学療法室においては、薬剤師による抗がん剤のレジメンチェック、ミキシング、個々の患者への説明・服薬指導および副作用のモニタリング等を行い外来がん化学療法の中心的役割を担っている。医薬分業関連では、医薬連絡協議会による問題点の検討、薬薬連携カンファレンスによる化学療法レジメンの勉強会や解説を行いながら地域薬剤師会との連携をはかり安全な院外処方にも努めている。また、後発医薬品の普及促進のため一般名処方も可能にしている。治験業務においては、治験 CRC との連携の下、心筋梗塞後の心血管イベント再発予防、高コレステロール血症薬の治験を継続。医薬品市販後調査については、17 件の調査協力を行った。

3. 今後の目標

業務の特性として、元来ジェネラリストである薬剤師も、次第にスペシャリストとしての分野を持ちつつある。専門薬剤師や認定薬剤師等の資格を取得し薬剤師としてのモチベーションを向上させ、チーム医療を成すためにしっかりと意見できる薬剤師の育成を目指している。チーム医療が本来の威力を発揮できるよう努力したい。

(文責：小幡 輝夫)

3. 診療支援部

(1) 放射線室

1. スタッフ

診療放射線技師 22名（内 1 名育休中） 看護師 1名 受付事務 1名

2. 平成 30 年度事業目標

- ① 口腔外科開設に伴う歯科撮影室の立ち上げを円滑に行う。

- ② PET 健診のスタートを円滑に進めていく。
- ③ 入院棟 CT・MRI 及び核医学やその他の検査について円滑運用体制を構築する。

3. 平成30年度事業目標達成状況

- ① 歯科撮影室では、パノラマ撮影とデンタル撮影を実施している。特に、デンタル撮影が、歯科口腔外科医師との連携が重要で、連絡を取りながら確実な撮影・画像の提供に心がけている。撮影実績は、パノラマ撮影が 645 件（月平均 53.8 件）、デンタル撮影が 187 件（月平均 15.6 件）であった。
- ② PET 健診は、4 月からスタートし、年 11 名が実施した。しかし、2 月、3 月が 0 件であり、伸び悩んでいる。積極的な広報活動などの検討が必要に思われる。
- ③ 入院棟 CT・MRI 及び核医学に、看護師の常設配置の希望は叶わなかった。従来通りの運用のままであり、効率のよい検査体制は先送りとなった。

4. 今後の課題

- ① 入院棟 CT・MRI への看護師常設配置は、検査効率もさることながら、安全・安心の検査体制に欠かすことが出来ないと考えている。前処置の完全実施、ラインの安定確保により、造影剤漏出などの危険因子を、最小限に抑えることが期待されていて、最重要課題ととらえているが、他部門との温度差が残念である。
- ② 病院が統合され、運用面での効率アップを行っているが、従来以前の体制からなかなか変革できていない。一部では実施出来ている午前・午後で人員配置を換えていくことや、忙しい部署に人を投入していくことなどを行うことで、結果として残業時間の短縮をはかり、業務改善を進めていきたい。
- ③ 1) 患者の氏名確認。2) 注意事項の確認。3) 検査内容の確認。について確認作業を徹底することで、引き続き安全安心の検査を実施できるように努めていく。
- ④ 使用している放射線量の管理を適正化し、より少ない被ばく線量で最大限の効果が生まれるように、安全・安心の放射線診断・治療を目指す。
- ⑤ 講習会等への自主的に参加していない技師へ、参加促進を働きかけて、各自の弱点克服、技術格差の是正に努め、放射線室全体のレベルの向上をはかっていきたい。

(文責：櫻井 敏男)

(2) 検査室

1. スタッフ

入院棟；総数 13 名 検体検査 7 名 生理機能検査 3 名 総括 1 名（産休 1 名） 臨時 1 名
外来棟；総数 14 名 検体検査 3 名 生理機能検査 5 名 臨時 6 名（週一日 2 名を含む）

2. 業務の現況

検査室の理念は「迅速且つ正確なデータの提供」であり、正確で素早い報告を目標に持ちつつ、臨床医の要望にも出来る限り応えたいとの思いで業務を行って来ました。そして、臨床医の要望に応えるべく新規項目を検討し導入して来ました。確かに以前は新規検査項目の導入や充実を考えていれば良い時代もありましたが、分析機への搭載項目数の限界や新規検査導入の効果やコスト削減などを考えながら今後は慎重に行って行きたいと考えています。また、自動分析機の故障や更新問題、そして保守料を含め嵩む経費を抑えるためにも自動分析機の集約化と整理を考えなければならない時期に来ていると考えています。現時点においては、ある程度検査項目は充実したと考えているので、今後は新規導入項目を極力抑えつつ病院経営を優先的に考えたいと思います。

3. 今後の目標

病院が統合された事によるメリットとして、他職種の方と会話がしやすくなりました。またICT・AST・NSTなどのチーム医療の効果もあり今までになかった連携が生まれつつあると感じています。チーム医療を通して、他職種が抱えている問題や業務内容を知りつつ、より患者のために医療を行えるよう努めます。

2年前より、乳腺エコーの認定資格保持者を増やしております。また、糖尿病指導療法士に糖尿病教室で活躍してもらっています。来年度以降は認定輸血検査技師も増やすことが出来ると思っております。細胞検査士も人数を増やせるよう努力します。

生理機能検査においては、医師より求められる部分に答えるべく、新しい知識や技術を習得しながら、今後の生理機能検査を維持できるよう新たな技師育成も目指します。

研修医へは、検査に関するさまざまな決まりや院内ルールなども含め指導にあたりたいと考えています。

今後ますます需要が増える遺伝子検査の外注項目の取り入れや外注検査項目の充実、電子カルテにおいてもストレス無く検査依頼が行えるよう最適化を目標にします。

これらにより、業務負担軽減の一助となれるよう、検査業務に努めたいと考えています。

(文責：柴崎 洋一)

(3) リハビリテーション室

1. スタッフ

公立藤岡総合病院	医師（兼務）14名	理学療法士24名	作業療法士13名
	言語聴覚士7名	看護師1名	
訪問リハビリ部門	理学療法士4名	作業療法士1名	
介護老人保健施設	理学療法士2名	作業療法士2名	

2. 業務の状況

病院部門は平成30年1月より回復期リハビリテーション病棟を30床より開設したことで急性期部門、回復期リハビリ部門、外来部門に分かれています。急性期は発症早期からの介入により、早期離床・廃用予防を促し最終的な機能的予後を高めるよう努めると共に、他職種との連携を密に取りながら入院期間の短縮に貢献できるよう努めております。また、院内の栄養サポート・がん緩和医療・糖尿病・褥瘡等チーム医療にも参加しております。必要な患者様には土日祝日のリハビリ提供も行っております。回復期リハビリは、より濃密なりハビリが提供できるよう人員を増やし患者様個人のレベルに合わせ職場復帰や自動車運転の練習など社会復帰に向けたサポートを他職種と連携し行っています。外来では回復期・生活期のリハビリを担当しており、機能的改善と、より快適な仕事や趣味などを含めた在宅生活を送っていただけるよう努めております。また、一泊ドックご利用者の健康増進を目的とした運動指導の実施をおこない予防の視点でも関与しています。

訪問リハビリ部門では、通院でのリハビリが困難な患者様を対象に、直接ご自宅にお伺いしリハビリを提供しております。介護保険と医療保険のどちらでも対応が可能な体制をとっております。現在、藤岡市内・旧新町・旧吉井町・埼玉県北部地域等を対象地域として実施しております。地域包括ケアシステム構築に向けて、今後さらなる充実が必要な部門です。

介護老人保健施設では生活期のリハビリを担当しており、入所・通所でのリハビリを実施しております。医療機関から家庭復帰への橋渡しを行うと共に、ご利用者がより快適な在宅生活をより長く送れるよう努めております。この部門も地域包括ケアシステム構築に向けて、今後さ

らなる充実が必要な部門です。

リハビリテーション室は「患者様の立場に立ったリハビリテーションの実施」を基本理念とし、スタッフ一同日頃より臨床・地域貢献・研究・教育に邁進しております。

(文責：関根 圭介)

(4) 栄養室

1. スタッフ

公立藤岡総合病院

管理栄養士 6名

業務委託職員 22名 (管理栄養士 3名、栄養士 2名、調理師 6名、調理補助 11名)

介護老人保健施設しらさぎの里

管理栄養士 1名

業務委託職員 6名 (栄養士 1名、調理師 3名、調理補助 3名)

2. 栄養室目標

『食べる楽しみ』『生きる喜び』につながる栄養管理

基本方針 ① 患者さん個人にあつた食事を提供します。

② 信頼される食のエキスパートを目指します。

3. 事業目標

① 栄養指導の実績をあげる。(栄養指導件数の増加)

② 診療報酬改定に伴う業務の拡大と業務の効率を図る。

4. 業務の現況

(入院棟)

① 給食管理業務

② 個人栄養指導・・・前年度比 24.3%増

③ 他部門との連携に努め、栄養管理実施加算、NST、褥瘡、緩和等のチーム医療にも積極的に参加しています。

④ 特別食割合・・・前年度比 1.2%増

(外来棟)

① 個別栄養指導・・・前年度比 5.8%増

② 糖尿病透析予防管理料・・・前年度比 44.4%減

③ 人間ドック講和・・・テーマ「外食時の注意と工夫」

④ 母親学級栄養講和

⑤ 糖尿病患者会「カンナの会」・・・食事会

⑥ 糖尿病教室「糖尿病の食事療法について」

⑧ 糖尿病教室「糖尿病の食事療法について」

(介護老人保健施設しらさぎの里)

入所時に、管理栄養士が食事内容の聞き取りを行い、楽しく美味しく食事ができるように対応しています。食欲不振や嚥下障害のある利用者には、多職種にてミールラウンドを行い適切な食事を検討しています。また、低栄養、褥瘡、疾病等にも状態に合わせた食事の提供をしています。

5. 今後の目標

平成 30 年度診療報酬改定により回復期リハビリテーション病棟入院料 I、緩和ケア診療加算を算定するうえで管理栄養士の参画が必要とされ取り組んでいます。患者の症状や希望に応じた栄養管理・食事管理を委託職員と連携し行っています。

入院棟・しらさぎの里の各部署に於いて他部門との連携に積極的に参加し、今後も職員のスキルアップに努めます。

多年にわたる保健事業の功績が報われ特定給食施設部門において「知事表彰」を受ける事が出来ました。この賞を糧に「食べる楽しみ」「生きる喜び」につながる栄養管理に努めます。

(文責：福田 智春)

(5) 臨床工学室

1. スタッフ

臨床工学技士 7名

2. 業務内容

ME 機器管理部門では6月より機器管理システムが稼働し、これまで使用者がME 機器の貸借時に感じていた不備や手間が解消され、貸借記録のミスが減少し確実な機器管理が実施できるようになった。またセンチネル機能により病棟からも一目で機器管理状況を確認できるため、機器の在庫確認の問合せの必要もなく、使用者の時間も節約でき適格な行動ができていると感じた。機器メンテナンスにおいては日々及び月間点検機器予定がポップアップされるので、確実な定期点検が実施でき使用者と利用者の安全を保つことができていると考えられる。12月にはペースメーカーのプログラムの不具合が公表され、約50名がソフトウェアのアップグレードが必要となりPM 外来時での実施に追われました。血液浄化部門では過去最多延べ透析回数を更新する月が度々みられ、年間最多回数を更新することが出来ました。

3. 目標

ME 機器管理部門では、今年度認定を得た人工呼吸器の院内 Preventive Maintenance を実施し、定期点検のコストを軽減する。また体温管理システムの定期的なメンテナンスを実施し、緊急使用時にもトラブルが発生することが無いような状態を維持したい。血液浄化部門では患者の病態に合わせた On-lineHDF や i-HDF を多用し、患者サービスや収益増を図りたい。そして今後も保守管理業務を強化し、修理費等の経費削減も図っていく。臨床工学技士全員がME 機器の先には常に患者様がいることを意識し、安全管理を第一に考えME 機器を最良の状態に維持していくことで医療サービスの充実を図ることに努めます。

4. 業務実績

<臨床業務>

1. 血液浄化：透析療法年間回数 13,531 回、出張透析 73 回、腹水濾過濃縮再静注法 0 回、PMX 2 回、血漿交換 28 回、血液浄化新規導入数 49 人、血液浄化機器メンテナンス回数 508 件
2. 人工呼吸器：年間稼働日数 1,758 日、NPPV 年間稼働日数 775 日、HFT 年間稼働日数 243 日
3. ペースメーカー：新規埋め込み 59 件、ジェネレータ交換 9 件、フォローアップ 506 件、臨時チェック 92 件、計 666 件。
4. 夜間休日緊急呼び出し：49 回【血液浄化 28 回、人工呼吸器 1 回、ME 機器関連 (PM・ECMO 等) 20 回】
5. ME 機器：年間メンテナンス回数 172 件、14.3 件/月。

<保守管理ME機器>

1. 人工呼吸器：計 22 機 C1 9 機、bellavista 5 機、V60 5 機、Oxilog30002 機、SLE5000 1 機
2. テレメータ：合計 269 機
【入院棟】セントラル 18 機、ベッドサイドモニタ 104 機、送信機 124 機、計 246 機

- 【外来棟】 ベッドサイド 23 機、計 23 機
3. IABP : 計 4 機 コラート BP1 α 1 機、BP21 2 機、BP21T 1 機
4. 除細動機 : 合計 17 機
- 【入院棟】 経皮ペースティング機能付 AED 12 機、AED 1 機 計 13 機
- 【外来棟】 経皮ペースティング機能付 2 機、AED 1 機、他 1 機 計 4 機
5. 輸液ポンプ : 合計 173 機
- 【入院棟】 165 機 (中央化 131 機、専属部門 34 機)、【外来棟】 8 機
6. シリジンポンプ : 合計 67 機
- 【入院棟】 66 機 (中央化 32 機、専属部門 34 機)、【外来棟】 1 機
7. 人工透析装置 : 計 34 機 RO 装置 2 機 (個人用 1 機)、供給装置 1 機、透析液溶解装置 1 機
透析監視装置 3 機、個人用 HDF 装置 6 機、多用途透析監視装置 21 機
8. アナライザー : 計 8 機 フローアナライザー 1 機、ETCO₂・Spo₂ チェッカー 2 機、シリンジポンプチェッカー 1 機、漏れ電流チェッカー 1 機、エネルギーチェッカー 1 機、デジタルマルチテスタ 1 機、酸素モニタ 1 機
9. 超音波ネブライザー : 計 6 機 【入院棟】 5 機 【外来棟】 1 機
10. 保育器 : 計 14 機 Incu i 9 機、V-707 1 機、Infa Warmer 4 機
11. PCPS : テルモキャピオックス EBS 2 機
12. 麻酔器 : 計 7 機 AESTIVA/5 3 機、Care station cs650 4 機
13. 体温管理システム : 計 13 機 ArcticSun2000 1 機、ArcticSun5000 2 機、他 10 機
14. 自動心臓マッサージシステム : LUCAS2 1 機
15. 高流量酸素療法器 : AIRVO2 4 機
16. Spo₂ モニタ : 7 機
17. 電気メス他 : 18 機
18. PCA ポンプ : 計 5 機 (シリンジタイプ 2 機、カートリッジタイプ 3 機)

合計 671 機

(文責 : 金子 修)

(6) 視能訓練室

1. スタッフ

視能訓練士 2 名

2. 業務内容

診療日である月曜日・木曜日・金曜日(午前)は主に眼科一般検査(視力・屈折検査、眼圧検査)や眼底写真検査(デジタル・自発蛍光眼底造影)、光干渉断層計検査、角膜内皮細胞検査などを行っております。

診療日以外である火～水曜日、医師が手術を行っている金曜日午後は眼鏡処方検査・視野検査(静的視野検査・動的視野検査・両眼単一視野)や斜視弱視検査及び訓練、網膜電位図検査や眼筋機能検査、白内障手術で使用する眼内レンズの度数測定などの手術前検査等専門的で時間を要する特殊検査を行っております。

3. 業務実績

眼科一般検査 : 視力検査 7,417 件・眼圧検査 6,794 件・屈折及び角膜曲率半径検査 4,363 件

眼科特殊検査 : 視野検査 761 件・斜視弱視検査及び訓練 117 件・眼球運動検査 26 件・眼鏡検査 160 件・光干渉断層計検査 2,520 件・眼底写真撮影(自発蛍光撮影を含む) 773 件・網膜電位図 7 件・色覚検査 12 件・角膜内皮細胞検査 328 件・角膜形状解析

検査 9 件・眼軸長測定 133 件 等

H30 年度は H29 年度と同様に診察日は 3 日間ですが診療体制が変わりました。診療日による医師の数は減少しましたが、一般検査総数は 18,574 件と前年度と同様多い件数となっています。信頼性のある検査結果を患者様の待ち時間を少しでも短くして行える様、「スピーディでなおかつ精度高い検査を安全に」を目標に日々切磋琢磨して行いました。また、H27 年 5 月から抗 VEGF 治療（硝子体注射）が始まり、H30 年度も光干渉断層計検査（OCT）や眼底写真（通常撮影及び自発 蛍光撮影）等の特殊検査数が 3,293 件とかなり多い件数となっています。

4. 今後の目標

診察日は 3 日間ですが、新しい治療法を取り入れるなどの試みも行い複雑な症例の紹介患者が増えています。それに伴い検査の重要性も増し、専門的 special 検査の件数が大幅に増加しています。今まで以上に検査技術の向上、新しい知識の習得に取り組み安全で精度の高い高品質な医療を患者様に提供出来るよう努めていきます。

（文責：宮本 恵子）

（7）歯科衛生室

1. スタッフ

歯科衛生士 2 名

2. 業務内容

1) 歯科診療補助

歯科口腔外科診療日の午前中は主に外来・入院の初診患者、午後は外来・入院の再診患者、入院患者の往診での診療補助を行っております。また、近医歯科医院等より紹介のある智歯の抜歯や全身疾患を有する患者の抜歯、顎口腔領域の粘膜疾患・腫瘍・嚢胞の組織検査や治療、顎口腔領域の軟組織損傷・顎骨骨折など、局所麻酔下での処置が可能な場合は外来で外科処置が行われるため、その補助を行っております。全身麻酔下の手術は、月曜日と木曜日の午後に行われるため、その手術補助を行っております。

2) 歯科予防処置、歯科保健指導

当院で肺癌や消化器癌、乳癌等の手術を施行される患者の周術期において、気管挿管時の歯牙脱落や術後誤嚥性肺炎、創部感染、菌性感染による敗血症や感染性心内膜炎などの発症予防を目的とした口腔機能管理を行っております。また、化学療法や放射線治療中に起こる口内炎や粘膜炎などの口腔内有害事象発現の予防や軽減を目的とした口腔機能管理も行っております。さらに、口腔衛生管理を必要とする入院患者に対しても歯石除去、歯面清掃などの口腔ケア、歯ブラシやその他補助清掃用具の使用方法などセルフケアについて指導を行っております。

3) その他

器材を含めた歯科口腔外科診察室の管理を行っております。また、患者からの問い合わせや予約などの電話対応や病棟との連絡調整も行っております。

さらに、水曜日の午後は栄養サポートチームに歯科医師の先生方とともに参加させて頂いております。

3. 業務実績

歯科衛生業務：診療補助 3735 件、外来外科処置補助 336 件、全身麻酔下での手術補助 22 件、歯周検査 243 件、歯石除去 496 件、機械的歯面清掃 332 件、歯科保健指導 127 件、歯面清掃や粘膜清掃などの口腔ケア 299 件

周術期等口腔機能管理：Ⅰ（術前）74件（術後）31件、Ⅱ（術前）119件（術後）225件、Ⅲ（化学療法）254件（放射線治療）39件（緩和ケア）0件

2018年4月に歯科口腔外科が新設され、7月に周術期等口腔機能管理が本稼働しました。院内・外ともに紹介患者も段々と増加し、それに伴い外来外科処置や全身麻酔下の手術、周術期等口腔機能管理の件数も段々と増加しております。

4. 今後の目標

1) 業務の効率化

現在、歯科衛生士2名で各自の認識や判断で歯科衛生士業務を分担しております。また、歯科衛生士の業務範囲外の対応を求められることや歯科口腔外科スタッフ4名がそれぞれ診察しており周辺業務が後回しになってしまうことなどから、スタッフの少ない当科では患者へスムーズな対応が難しい場面も少なくないのが現状です。これらを踏まえ歯科衛生士の業務のスリム化や効率化に繋がるよう、業務マニュアルを作成する予定です。同時にそれぞれの業務を明確にしていきたいと考えております。

2) 円滑な医療連携

医療連携を円滑に進めていく上で、歯科口腔外科専門職として歯科衛生士が連携・調整を担う役割は重要と考えます。まずは当院における歯科衛生士の専門性や役割を院内のスタッフに少しでも知って頂けるよう努めて参ります。

（文責：安井 由佳）

4. 看護部

(1) 看護部長室

看護部事業目標

1. 1) 医療機能強化

(1) 急性期医療を充実し急性期以降の需要に応える

- ①救急からの受け入れ率の向上 受け入れ率 90%以上
- ②回復期リハビリ病棟と地域包括ケア病棟を効果的に運用する
- ③訪問看護、老健施設との連携強化

(2) 医療安全対策

- ①薬剤誤投与防止 1000あたり3.5以下
- ②転倒転落防止 1000あたり3.5以下
- ③褥瘡院内発生防止
- ④ドレーンチューブ自己(事故)抜去 1000あたり2.5以下

(3) 感染防止対策の徹底

- ①接触感染防止 MRSA院内発生35%以下
- ②標準予防策の徹底 手指衛生サーベイランスの実施

(4) 小児・周産期医療の充実

- ①ハイリスク妊婦の支援強化
- ②小児科との連携

1) 看護専門外来の確立

- ①現看護外来の充実
- ②がん看護専門外来の開設

2. 最高品質の医療サービスを提供する

- 1) 患者支援を強化する
 - ①入退院調整システムを効率的に活用する
 - ②入退院支援室・総合相談室・緩和ケアセンターと協同し支援する
 - ③緩和ケア病床の効果的運用
 - ④入院アメニティセットを導入
 - 2) 接遇強化(患者満足度の向上)
 - ①患者満足度調査結果の「満足・やや満足」評価 90%以上
 - ②投書ご意見に対して改善策を提示し実施する
 - ③モデル病棟を選択
 - 3) クリニカルパスを活用し医療の質を改善する
 - ①診療プロセスの標準化 新パスの作成・稼働数の増加
3. 健全経営
- 1) 診療報酬改定の算定要件を満たし、急性期病棟を維持する(入院基本料7:1)
 - ①夜間看護配置加算 16:1を取得
 - ②重症度、医療・看護必要度評価 25%以上を維持
 - ③訪問看護、しらさぎの里、地域医療機関と連携し機能分化を進める
在宅復帰率 80%以上
 - 2) 勤務負担軽減
 - ①勤務環境の改善
 - ②看護業務改善
 - 3) 他職種協働によるチーム医療の推進
 - ①チーム医療の活動支援(チーム加算の取得体制支援)

4. 人材育成

- 1) 看護職員の院内教育の充実
 - ①新人教育プログラムの見直し
 - ②看護部クリニカルラダーの見直し
 - ③看護管理者(看護師長・副看護師長)の育成
 - ④認定看護師・資格取得の支援
- 2) 人事評価制度を精緻化し適切に能力・業績評価ができる

2. 業務の概要

平成30年度は、看護部長の交代、新しく教育担当副看護部長が1名就任し、総括副看護部長、教育担当副看護部長、病床担当副看護部長の4名の新しい体制でスタートした。

新人看護職員の研修プログラムの見直し、急性期医療の充実を図るため、急性期病棟の在院日数短縮に向けて地域包括ケア病棟や回復期リハビリ病棟の効果的活用、病棟における業務改善への働きかけなど医療の機能強化や地域連携強化、静脈注射の院内認定制度の確立など看護部の質の向上を目標にすすめた。

平成31年度から看護師の働き方改革への取り組みが義務化される事を前提に短時間夜勤の試行、フィールド・イノベーション活動の取り組みなど検討し計画的に実施に向けて進めた。

また、医療・患者サービスの向上としては、オムツのみではあるが入院後の患者・家族の負担軽減を図るため、2月から入院アメニティセットを導入する事ができた。

外来部門と入退院支援室と連携し、入院前から患者と関わり事前に基礎情報聴取や入院オリエン

テーションを実施する事で入院時の病棟業務負担軽減に貢献し、今後はパスの運用も増やしていく予定である。

次年度は、看護職員の院内教育の充実・強化、個々に合った目標管理、勤務環境の改善に取り組み、看護職員がやりがいを持ち主体的に行動できる看護部組織運営を目指していきたいと考えている。

(文責：田村 幸子)

(2) 南3階病棟 (HCU)

1. スタッフ

兼任医師 1 名、看護師 28～30 名、薬剤師 1 名、MSW 1 名、医療事務 1 名

2. 業務概要

平成 30 年度事業目標

1) 医療機能強化

(1) 医療安全対策の徹底

- ・ 5 確認、認証システム活用を徹底する
- ・ I/A レポートカンファレンスで情報を共有し再発防止
- ・ 転倒転落の再評価を行い、適切な対応策を実施する

(2) 感染防止策の徹底

2) 人材育成

(1) 専門知識・技術の習得

- ・ 毎月 1 回以上の勉強会の実施
- ・ カテーテルナースの育成

(2) 人事評価

- ・ 個々に適した目標設定を行い、実践・評価する

3) 最高品質の医療サービスの提供

(1) 入退院支援の強化

- ・ MSW と連携し早期に退院支援計画を立案する
- ・ 患者家族の意向を尊重した退院支援ができる

(2) 接遇の強化

- ・ 思いやりの心で、患者家族へ丁寧な説明や対応を行う

(3) 救急センターとの連携体制を確立する

平成 30 年度は、新病院開設 2 年目に入り HCU の平均病床稼働率は 57.2%であった。

循環不全・呼吸不全・脳血管疾患・ショックなどの重篤患者をはじめとし、全身麻酔術後の外科系患者の受け入れも軌道に乗りスムーズに受け入れができるようになっている。

人材育成では看護スタッフそれぞれの得意分野を活かし、勉強会を月 1 回看護師が計画・実施することでスタッフの意識や知識・技術の向上に努めることができた。カテーテルナースの育成も進み、さらに 2 名育成を始めている。

救急センターと連携を始めることとなり、スタッフ 6 名を兼務とした。救急認定看護師と協力しスタッフ教育を行い、救急と HCU との連携を図り救急看護の質の向上に努めた。

今後も質の高い医療サービスの提供とともに、患者・家族の気持ちに寄り添った看護の提供に務めていきたい。

(文責：飯島 京子)

(3) 南4階病棟

1. スタッフ

医師：循環器内科6名、腎臓内科5名、糖尿病1名 看護師：26名 看護助手：2名
薬剤師：3名（兼任） 医療事務：2名 MSW1名

2. 業務の概要

平成30年度事業目標

1) 医療機能強化

- (1) 医療安全対策の徹底
- (2) 感染防止対策の徹底

2) 最高品質の医療サービスを提供する

- (1) 入退院支援を強化する
- (2) 接遇強化（患者満足度の向上）
- (3) クリニカルパスの活用し、医療の質の向上を図る

3) 人材育成

- (1) 専門知識・技術の習得と態度を養い資質の向上を図る
- (2) 認定看護師の支援
- (3) 人事評価

4) 健全経営

- (1) 効率的で質の高い医療の提供
- (2) 勤務負担軽減

30年度は新病院開院に伴い3科の混合病棟となり1年が経過し、スタッフ一丸となって医療安全や感染防止の強化に努めた。実績は、入院患者延べ数15,846人、平均在院日数10.5日、平均病床稼働率92.4%、平均病床回転率3.0%であった。

高齢者が増加する中、患者背景も複雑なケースがあり退院支援が困難なことも増えているが、MSWと連携をとり入退院支援の強化やサービスの向上に努めていく。循環器・腎臓内科で心臓カテーテル、PTA、腎生検、シャント造設などクリニカルパスを使用し取り組んだ。また、シャントPTAのパスも新たに作成した。腹膜透析も導入開始となり、それに伴い新規の検査も増えた。今後も勉強会を開催して専門知識・技術の習得や医療の質の向上を図っていく。

（文責：高橋 富士美）

(4) 南5階病棟

1. 業務概要

スタッフ

整形外科医師6名、脳神経外科医師3名、看護師25名、准看護師（臨時職員）1名
看護助手（臨時職員）2名、MSW1名、薬剤師1名、管理栄養士1名、医療事務2名

平成30年度事業目標

1) 医療機能強化

- (1) 医療安全対策徹底、
- (2) 感染防止対策の徹底

- 2) 入退院支援の強化
 - (1) 入退院システムの活用
- 3) 健全経営
 - (1) 勤務負担軽減
- 4) 人材育成
 - (1) 周術期看護の質の向上
 - (2) 人事評価

2. 業務実績

当病棟は、47床を有する整形外科と脳神経外科の病棟である。平成30年度の実績は、患者延べ数1310名、平均在院日数10.3日、平均病床回転率2.7%、平均病床稼働率91.6%。整形外科手術760件、脳神経外科手術159件、血管内手術25件であった。

3. その他

入院患者層が、高齢者・独居・認知症・社会的背景の複雑化が多い中、病棟スタッフとリハビリとの合同カンファレンスを活用し、回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟・療養型病院等の情報を得てMSWと連携をとり退院支援に生かしている。

今後も、周術期や認知症を有する患者、家族にとっても安全・安心な看護が提供できるよう看護の質向上に努めていきたい。

(文責 藤巻 淳子)

(5) 南6階病棟

1. スタッフ

医師7名(泌尿器科3名、血液内科4名)看護師25名、准看護師1名、看護助手2名(臨時職員1名)MSW1名、薬剤師1名、管理栄養士1名、医療事務2名

2. 業務の概要

病床数46床を有する泌尿器科と血液内科の混合病棟である。46床のうち13床は無菌管理区域病床であり、白血病や悪性リンパ腫など血液がん患者の抗がん剤治療や自家末梢血幹細胞移植を行っている。

平成30年度の実績は、延べ入院患者数14,369人、月平均入院患者数1,197人、平均在院日数11.2日、平均病床回転率2.8%、平均病床稼働率85.6%であった。

平成30年度は、看護部の目標に沿って以下の内容で取り組んだ。

1) 医療機能強化

- (1) 医療安全対策の徹底
- (2) 感染防止対策の徹底

2) 最高品質の医療サービス提供

- (1) 急性期病棟としての機能をはたす
- (2) 接遇強化

3) 健全経営

- (1) 看護必要度の精度の向上
- (2) 勤務負担軽減

4) 人材育成

- (1) 専門的知識、技術の習得
- (2) 資格取得の支援

上記目標を掲げ取り組んだ。前期に患者誤認が発生した。薬剤5確認のロールプレイを実施し、患者誤認防止の徹底に努めた。多職種参加の病棟カンファレンスで、医師に治療方針を確認し、情報を共有し、継続したケアを行えるよう努めた。次年度も患者家族に寄り添い、多職種と連携し、安心な医療の提供を目指し取り組んでいきたい。

今年度、1名輸血療法士の資格取得をすることが出来た。次年度も引き続き専門的知識、技術の習得を行い、看護の質の向上につながるよう努力していきたい。

(文責 藤野妙子)

(6) 南7階病棟

1. スタッフ

医師1名 看護師20名 臨時看護助手3名 理学療法士(専従) 薬剤師1名(兼任)
MSW1名(専従) 医療事務1名

2. 業務の概要

平成30年度事業目標

- 1) 健全経営医療安全の推進
 - ・地域包括ケア病棟の健全経営
- 2) 人材育成
 - ・リーダー看護師の育成
 - ・人事評価制度を精密化し適切に能力・業績評価ができる護サービスの充実健全経営
- 3) 医療機能強化
 - ・転倒転落防止
 - ・患者誤認をおこさない
 - ・感染防止対策の徹底
- 4) 最高品質の医療サービスの提供
 - ・退院時連携・指導の充実
 - ・接遇強化

平成30年度は、在院患者数14189名、平均在院日数8.8日、在宅復帰率79.8%であった。科別割合は内科52.1%、整形外科24.4%、外科11.1%、脳神経外科7.0%、泌尿器科3.1%、救急科1.9%、産婦人科0.3%であった。DPCを考慮し、計画的な病床管理を目指したが、急性期病床確保のための対応も多く、平均在院日数は前年度より1.8日の短縮となった。短期間での対応も多かったが、退院支援においては患者家族の意向に添えるよう連携しながら療養先を検討し、退院指導を行うとともに必要な支援が受けられるよう他職種カンファレンスを実施した。また、健全経営の目標において看護師の夜勤業務負担軽減をはかり、2月から短時間夜勤を導入した。人員確保が可能であれば、夜間看護配置加算に向けて取り組めると考えている。認知症患者に対しては認定看護師による勉強会を行い、抑制解除を検討、実践し安全対策に努めた。また、患者の日常生活リズムを作り、よりよい状態で在宅復帰ができるよう援助した。今後も患者と家族に寄り添いながら、安心して退院することが出来るよう支援していきたい。

(文責：神宮 由香)

(7) 北2階病棟（回復期リハビリテーション）

1. スタッフ

リハビリテーション科医師2名、看護師16名、介護福祉士1名、看護助手5名、理学療法士5名、作業療法士2名、言語聴覚士1名、薬剤師1名、MSW1名、管理栄養士1名、医療事務1名

2. 業務概要

平成30年度事業目標

1) 医療安全の推進

- (1) 環境調整を行い、抑制をしない看護を提供する
- (2) 感染防止対策を徹底する

2) 健全経営

- (1) 回復期リハビリテーション1を取得し、維持する

3) 人材育成

- (1) リハビリテーション看護師、看護助手の育成

4) 看護サービスの充実

- (1) 他職種連携のもと、退院支援を強化する

北2階病棟ではリハビリテーション看護として1. 患者がリハビリテーションの効果を実感できる看護を提供する、2. 患者が楽しく入院生活を継続できる看護を提供する、を目標に看護を実践している。看護師が患者と共に病棟リハビリテーションを行い、患者がリハビリテーションの成果を実感できるよう言葉で表現した。患者の成功体験を演出し、季節に合わせたアクティビティやリハビリで楽しく訓練できるよう工夫している。胃瘻からの栄養注入やインスリン自己注射、ストマの自己管理などの指導を、記憶障害や麻痺、認知機能の低下している患者に合わせたパンフレットを作り、繰り返し指導し退院準備を行った。抑制を行わない看護では転入時のアセスメントを強化し、環境調整をして患者が安全に行動できるよう工夫し、4点柵や車椅子ベルトを解除した。またデイルームでの栄養注入や徘徊に付き添うなど見守りに時間を使っている。今後も障害を負った患者が希望をもってリハビリに取り組み、地域に戻っていけるように、患者に寄り添った支援をしていきたい。

(文責：菊地 弘美)

(8) 北4階病棟

1. スタッフ

医師8名、非常勤医師3名、助産師11名、看護師16名、保育士1名、看護助手1名（臨時職員）、薬剤師1名（兼任）、MSW1名（兼任）、医療事務2名（兼任）、

2. 業務の概要

当病棟は、新病院開設当時の小児科（NICU4床）、産婦人科、内科に平成30年度より眼科、歯科口腔外科が加わった病床数38床の混合病棟である。加えて、内科、外科、整形外科、脳外科、泌尿器科などの患者が入院し、平成30年度の入院患者述べ数は、9838名、平均在院日数6.5日、病床稼働率70.9%であった。

小児科は、呼吸器感染症などの小児急性期疾患、腎臓疾患、アレルギー疾患、内分泌疾患など

の小児慢性疾患患者の治療、また NICU、在胎 34 週以降、出生体重 1800g 以上の新生児医療を行っている。小児科入院患者述べ数は 4100 名であった。

産婦人科は、周産期管理、婦人科手術治療、化学療法そして終末期医療を行っている。平成 30 年度の入院患者延べ数は、3570 名、分娩件数は 264 件、手術件数は 149 件であった。また、平成 30 年度より藤岡市の委託を受け、出産後支援が必要な母子に、助産師による心身のケアや育児支援を行うことを目的とした産後ケアを開始し、今年度は、利用者 2 件であった。

眼科は、毎週金曜日に白内障の手術を行っており、入院患者延べ数は 186 名、手術件数は 186 件であった。

歯科口腔外科では、合併症を持つ患者の抜歯をはじめ、腫瘍などの手術を行っている。入院患者述べ数は、181 名、手術件数は 22 件であった。

当病棟では、院内外が多職種と連携を図り、看護の継続、入院時からの退院支援に取り組んできた。今後も入院される患者様一人ひとりに寄り添い、患者様の満足と看護者のやりがいに満ちた看護を提供するため、スタッフ一同看護実践能力を高め、看護の質向上に取り組んでいきたい。

(文責：樋口 美恵子)

(9) 北 5 階病棟

1. スタッフ

医師 9 名 看護師 27 名 (乳がん看護認定看護師・緩和ケア認定看護師各 1 名含む)

看護助手 2 名 (臨時職員) 薬剤師 1 名 医療事務 1 名 MSW1 名

2. 業務の概要

平成 30 年度の実績は、入院患者延べ数 14,874 名、新入院患者数 1441 名、平均在院日数 7,9 日、平均病床回転率 3.7%、平均病床稼働率 88,4%、手術件数 359 件、看護必要度は 28.8% であり、前年度と比較すると、平均在院日数は 0,7 日短縮し、回転率は同様だった。

病棟目標

1) 医療機能強化

医療安全対策の徹底

感染防止対策の徹底

2) 最高品質の医療サービスの提供

接遇強化

クリニカルパスの活用

看護の質向上を図る

3) 健全経営

平均在院日数の短縮

看護必要度の精度向上

勤務負担軽減

当科は緩和ケア病床 8 床を含む 46 床の外科病棟である。今年度は特に最高品質の医療サービスの提供に重点を置き、乳がん看護認定看護師・緩和ケア認定看護師を中心に専門性の高い看護の提供ができるよう取り組んだ。またスタッフの勤務負担軽減の一環として、看護体制の見直しと業務改善を行い、業務の効率化と超過勤務の削減を図った。

今後もスタッフが健康で働き続けられる環境づくりに取り組むとともに、患者さん・ご家族が退

院後も安心して生活できるよう多職種と連携しながら支援していきたい。

(文責：江原 忍)

(10) 北6階病棟

1. スタッフ

医師7名、看護師28名、臨時看護師1名、看護助手2名、薬剤師1名
MSW1名、医療事務1名

2. 業務の概要

当病棟は、47床の呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、皮膚科の混合病棟である。主に、肺癌、COPD、肺炎、気胸などの呼吸器疾患の患者が入院し、がん化学療法や放射線治療、手術治療を行っている。消化器内科に関しては、内視鏡検査、内視鏡的粘膜切除術を行い、全ての患者に対し必要時、緩和ケアや終末期医療を行っている。

平成30年3月から平成31年4月の実績は延べ入院患者数15642名、月平均入院患者数117.6名、平均在院日数11.4日、病床稼働率91.33%、看護必要度31.34%であった。

3. 令和元年度事業目標

1) 医療機能強化

- (1) 転倒転落防止
- (2) 患者誤認防止
- (3) 褥瘡発生防止
- (4) 標準予防対策の徹底

2) 人材育成

- (1) 専門的な臨床実践能力を高め、高度な医療に見合う看護を提供する。

3) 医療サービスの提供

- (1) 退院支援の強化
- (2) 接遇強化

安全な医療、看護を提供し患者に安心して入院生活を送っていただけるよう業務改善やカンファレンスを行い情報共有に努めている。今後も、認定看護師による勉強会や研修参加を通じて、能力向上やスキルアップを図っていきたい。

(文責：原 敦子)

(11) 人工透析室

1. スタッフ

腎臓内科医師5名、看護師8名(臨時職員1名)、准看護師1名
臨床工学技士3名

2. 業務概要

平成30年度事業目標

医療機能強化

(1) 医療安全対策の徹底

- ・薬剤の誤投与防止 指さし呼称の徹底
- ・転倒転落の防止

(2) 感染防止対策の徹底

- ・感染経路別マニュアルに従い予防対策が実施できる

最高品質の医療サービスを提供する

(1) 接遇強化

- ・接遇研修に参加し、患者満足度評価が前年度より高くなる

人材育成

(1) 資格取得の支援を行う

- ・透析従事者研修の参加
- ・CAPD 看護の充実

経営の健全化

(1) 地域医療機関との連携

- ・紹介患者を 100%受け入れる
- ・関連部署と情報を共有し、入退院を円滑にすすめていく

(2) 勤務環境の改善

- ・年次休暇取得の促進

(3) 人工透析患者の下肢末梢動脈疾患重症化予防の推進に伴う管理加算の確実な算定

- ・毎月のフット回診に於ける下肢末梢動脈の評価・アセスメントが確実に実施できる

平成 30 年度の透析室実績は、外来血液透析患者 83 名、腹膜透析患者 4 名、紹介患者 69 名、年間総透析件数 13537 件、月平均 1128 件、出張透析件数 66 件、年間新規導入患者数 37 人、緊急導入患者数 21 人であった。

事業目標に挙げた医療安全対策の徹底について、年間の薬剤関連エラーは I/A レポート全体の 23%であった。使用量の多い抗凝固剤に関する事例は 9 件で薬剤関連エラーの 56%を占めていた。更に薬剤投与エラーの防止を促進させるため、透析治療開始時の指さし呼称を徹底していく。人材育成では、CAPD 看護の充実を図るため定期的に勉強会を企画、実施し CAPD 患者の対応、管理のできる看護師の養成に取り組んだ。また、新たに配属された看護師が透析従事者研修に参加することで透析看護の標準化を目指した。経営の健全化に於いては、紹介患者をすべて円滑に受け入れる事ができた。更に地域の施設と連携を図り、地域中核病院として機能を果たし地域住民に貢献していきたい。

そして今年度は群馬県医務課が中心となり行った、大規模災害を想定した情報伝達訓練に参加する事が出来た。今回の訓練を踏まえて、各医療機関と協同し災害時に於ける透析医療の確保について、情報共有し災害拠点病院として、防災体制の整備にも寄与していきたい。

(文責: 興口 裕)

(12) 中央手術室

1. スタッフ

助産師 1 名、看護師 17 名、看護補助者 1 名

2. 業務の概要

平成 30 年度事業目標と達成状況

1) 医療機能強化

- (1) 手術室感染対策の基本事項を再確認し、身につける
- (2) 術後患者訪問データ収集システムの検討と作成
- (3) 手術室内災害対策勉強会、訓練の実施
- (4) 院内地震対策総合訓練への参加

2) 最高品質の医療サービスを提供する

(1) 統一した正確な知識を持ち、質の高い医療を提供する

(マニュアル作成・改訂)

(2) 手術部位感染 (SSI) 活動の実施

3) 健全経営

(1) コスト健全に伴う医療材料の見直しと導入、在庫管理の実施

4) 人材育成

(1) 手術室新人育成過程の確立

平成 30 年度手術件数は 2489 件であり、前年度と比較して 17 件増加し、全身麻酔件数は 1278 件であり、前年度と比較して 70 件増加した。

手術室看護師は、疾病およびリスクに対応するに豊富な知識と熟達した手技だけでなく、患者さんが安心して手術が受けられるような環境の整備や態度が求められる。そのため毎月の勉強会を実施し、感染対策や新人教育にも力を入れ、新たに 6 名が待機を行えるようになった。院外の手術関連研修会への参加を奨励し、手術室看護師クリニカルリーダーを作成・評価し、新人看護師を含めた個々の育成を図り、レベルアップを図ることができた。

手術室の災害対策については、スタッフ全員が勉強会及び訓練に参加する事ができた。また、定期的な SSI 活動の実践も行えた。

今年度は、今までの手術準備マニュアル 139 種類の作成と改訂を実施し、統一した知識を持ち医療サービスの品質向上への取り組みを行った。今後、術後患者収集データの活用についても引き続き取り組み、今後も最高品質の医療が提供できるよう手術室看護の充実に努めたい。

(文責：木部 和枝)

(13) 外来・救急センター

1. スタッフ

看護師 18 名 (保健師 1 名、助産師 2 名、准看護師 1 名含む)、非常勤看護師 24 名、看護補助者 5 名

2. 業務の概要

平成 30 年度外来患者数は 171, 678 人/年 (平均 14, 307 人/月) であった。

外来部門は 27 科の診療科の診察介助、並びに医師の指示のもと外来化学療法、中央処置室での注射・輸血療法などを実施している。

平成 30 年 5 月から、紹介型の病院として地域医療支援を担う体制となった。

総合相談室と連携を図り、地域からの紹介患者の診察の予約を受けることで、外来受診の待ち時間の短縮や、スムーズな外来診察に繋がっている。

また、入院支援室との連携では、入院予約の患者対応や、クリニカルパスの導入件数も増え、外来から入院、退院から外来へとの一連の流れができてきた。

外来化学療法室において、平成 30 年度の治療実績は、2, 327 件/で (前年度比較で 8.6%増) であり、年々日帰り化学療法の需要は高まっている。

それに伴いセルフケアを向上させるための患者指導が重要となっている。

救急センターでは、日中は HCU から、夜勤は内視鏡センターからのスタッフと協働し業務を行う体制をとっており、幅広く対応できる状態にある。

平成 30 年度の救急受診患者数は 11, 265 人/年 (平均 939 人/月、31 人/日) で昨年より減少

したものの、救急車収容数 4, 712 件/年（平均 393 件/月、13 件/日）や、収容率は 90%と増加している。

救急センターからの入院は、3, 841 件/年（平均 320 人/月、11 人/日）であった。

今後も外来、救急センターとしての役割を果たすために取り組んでいきたい。

（文責：吉田 富子）

（14）内視鏡センター

1. スタッフ

医師 5 名（内視鏡専門医 3 名） 非常勤医師 8 名（内視鏡専門医 3 名）

看護師 7 名（内視鏡技師 7 名） 准看護師 1 名（内視鏡技師）

臨時看護師（内視鏡技師 1 名）

2. 業務内容

平成 29 年度内視鏡検査総数は 7, 663 件 平成 30 年度検査総数は 8, 069 件で

409 件の検査数増加となった。（EGD6, 278 件 CS1, 620 件 BF108 件 ERCP 63 件）

看護師は、検査医との信頼関係を構築し、医師が安心して検査に集中できるように検査前準備や患者・健診利用者の情報共有を徹底してきた。

新規健診センター利用者においては、当日しか詳しい情報が得られない。

リピーターでは以前の注意事項を掲示板に明記し、安全の確保を徹底した。

また、当日の急な検査希望にも、希望者全員が上部内視鏡検査を受診出来るよう対応していった。

外来患者の場合、医師や患者の希望に沿い予約日、時間を考慮していった。

群馬県内視鏡技師会では医師講演の座長や、多施設との情報交換会開催に取り組んだ。情報交換会では 2 名のスタッフが参加し交流を図ることが出来た。

揺るぎない安全・安楽・安心を軸に、今後は情報交換から得た学びを生かしより良い業務改善を目指していく。患者や利用者の為の内視鏡センターである様更に努力していきたい。

（文責：野村 香）

（15）訪問看護ステーションはるかぜ

1. スタッフ

看護師 10（非常勤 3 名） 常勤換算 9. 6 名

リハビリスタッフ 5 名 外来リハビリと兼務

2. 業務概要

平成 30 年度利用者数 353 名（看護師 275 名 リハビリ主体 78 名 併用 47 名）

月平均利用者数 170 名 月平均訪問件数 1188 件（看護師 852 件・リハビリ 331 件） 1 日平均訪問件数 57. 2 件（看護師 41 件・リハビリ主体 16. 2 件）

平成 30 年 4 月の介護報酬・診療報酬改定により、リハビリ単独訪問利用者にも看護師の訪問が義務づけられたため、看護師の訪問件数が 78 件増加したが、同年 8 月より訪問リハビリ事業所が開設され、リハビリ主体の利用者 48 名が移行した。当訪問看護ステーションは、全ての科を対象に疾患も様々で、年齢を問わず幅広く対応している。また看護師 24 時間連絡対応体制をとっており、毎日待機 2 名 1 番・2 番で対応している。医療依存度の高い利用者が多く、

年間緊急訪問 498 件、昨年度より 15 件増加、休日訪問件数年間 957 件、昨年度より 140 件減少している。休日も訪問看護が必要な状態の利用者は多い。疾患状況では、悪性腫瘍の利用者が圧倒的に多いが、癌以外の看取り件数も増加しており、30 年度の在宅での看取りは 38 名だった。

30 年度の事業目標

I、健全経営

- 1) 看護体制強化加算を取得する 2) 機能強化型訪問看護管理療養費 3 の取得
- 3) 勤務負担の軽減

H30 年 7 月より、機能強化型訪問看護管理療養費 3 を取得し、H31 年 3 月より看護体制強化加算を取得できた。

II、人材育成

- 1) スタッフ教育の充実 2) 適切に能力・業績評価ができる

ストーマリハビリ研修・小児看護の研修に参加できなかったが、院内の研修には 3 回以上参加できた。

III、最高品質の医療サービスを提供する

- 1) 在宅療養へ円滑に移行する 2) 在宅医との連携 3) 他職種との連携強化
- 4) 患者満足度の強化を図る

関係職種と連携し、在宅療養へスムーズに移行できた。アンケート調査では 90%以上が良い評価であり、苦情はなかった。

IV、在宅医療機能強化

- 1) 医療安全対策の徹底 2) 感染防止対策の徹底 3) 精神科訪問看護の充実

IA レポート・分析はできたが、提出数が少ないため促していく。精神科訪問看護は 8 0%以上同行訪問できたため、H31 年度から 1 名単独訪問可能になった。

(文責：山口 明子)

(16) しらさぎの里看護部

1. スタッフ

施設長 1 名、看護師長 1 名、看護師 4 名、准看護師 6 名、介護福祉士 20 名 (臨時職員 1 名)、介護員 6 名 (臨時職員 5 名)、リハビリスタッフ 3 名 (作業療法士 2 名、理学療法士 2 名)、管理栄養士 1 名、事務職員 3 名、居宅支援事業所・介護支援専門員 3 名、施設介護支援専門員 1 名、支援相談員 1 名、調理委託

2. 業務概要

入所定数 80 床、デイケア定数 1 日 50 名で運営している。実入所者数は 110 名、実退所者数は 113 名、延べ入所者数は 26,690 名であった。デイケアの延べ利用者数は 10,736 名、施設での看取り利用者数は 9 名であった。

介護老人保健施設の主たる機能の一つであるリハビリテーションの実施により利用者の自立支援や生活機能維持・向上を目指し、他職種連携のもと職員が一丸となって、常に思いやりの心で接し、高齢者ケアを実践した。さらに生活の場であることを考慮し「春の祭典」や「夏祭り」などを計画し、心和む空間を提供できるよう努めた。

また、毎月の施設内研修の開催や、群馬県老人保健施設大会での演題発表などにより職員の知識・技術の向上を図っている。

(文責：武井 浩之)

5. 経営管理部

(1) 総務課

1. スタッフ

課長外 7名 (内、臨時職員1名)

2. 業務の現況

- ・組合議会に関すること
- ・組合例規の制定及び改正
- ・職員の採用に関すること
- ・職員共済会に関すること
- ・職員の人事給与に関すること
- ・医局事務に関すること

3. 今後の目標

- ・医師の採用の確保 (医師支援業務の充実)
- ・人事評価制度の活用
- ・組織の業務内容の見直し
- ・個人情報管理の徹底
- ・藤岡市との人事交流の促進

(文責：新井 滋)

(2) 用度課

1. スタッフ

課長外 7名

2. 業務の現況

医療機器・薬品・診療材料・消耗品等の購入業務
薬品・診療材料・消耗品等の管理、供給等物流業務
委託・賃借等契約業務
医療機器の保守、修繕等管理業務
その他資産の管理業務

3. 今後の目標

安全で良質な物品を提供し、医療現場の要望に即応できる体制の確立。
取り組んできた経費削減策を見直し・検証し、更なる経費節減・抑制をする。
診療部・薬剤部と連携しジェネリック薬品の採用増等を図り、薬品費の抑制及び診療材料費の削減。
入院棟・外来センター・しらさぎの里の一元管理。

(文責：新井 誠十郎)

(3) 医事情報課

1. スタッフ

課長外 16名、医事業務委託職員

2. 業務の現況

今年度は、西毛地区の病院で構築した画像連携システムが終了したため、9月に鬼石病院とク

クラウドによる新規画像連携システムを構築して運用を行っています。11月には電子カルテシステムのレベルアップを行い、各種機能追加を図りました。平成31年1月には画像レポートの未読における医療過誤防止対策として、レポート確認機能等が追加された放射線画像レポートシステムの更新を行いました。

(医事グループ)

- ・医事業務管理業務
- ・施設基準等の届出業務
- ・各種調査、統計業務
- ・地域がん診療拠点病院に関する業務
- ・訪問看護請求管理業務

(診療支援・診療情報グループ)

- ・診療録、サマリーの点検業務
- ・診療統計、各学会等のデータ登録業務
- ・診療情報開示に関する業務
- ・がん登録、がん統計に関する業務
- ・診断書等の文書作成支援業務
- ・診療録等の保管管理業務
- ・医師事務作業補助者業務

(システム管理グループ)

- ・電子カルテ及び連携する各システム管理
- ・各種統計等の作成業務
- ・組合全般の情報管理業務

3. 今後の目標

- ①2019年5月の新元号対応
- ②2019年10月の消費税10%対応
- ③日本消化器内視鏡学会（JED）対応の内視鏡レポートシステム導入
- ④病歴管理システムの入替検討

(文責：五十嵐 哲二)

(4) 企画財政課

1. スタッフ

課長外 5名

2. 業務の現状

予算編成および資金計画の作成

決算の調整及び執行

現金預金及び財産の記録管理、経理業務

各種補助金の実施申請

企業債の実施申請

各種病院基準の申請

財務統計データの作成

3. 今後の目標

新公立病院改革プランの管理・評価
中期計画の作成
機器等の適正な整備計画
旧入院棟跡地の利活用
運営資金の確保

(文責：中里 光夫)

(5) 経営戦略室

1. スタッフ

事務局長兼経営管理部長兼経営戦略室長 外2名

2. 業務内容

- ・ TQM (QC活動) に関すること
- ・ 経営戦略の立案に関すること
- ・ 診療報酬収入情報の抽出、分析及び活用に関すること
- ・ 医療材料費用等の抽出、分析及び活用に関すること
- ・ 病院指標に関すること
- ・ 各種統計の作成、分析及び活用に関すること
- ・ その他経営戦略に関すること

3. 今後の目標

- ・ QCサークル活動の実施体制見直し
- ・ 病院機能評価 3rdG Ver2.0 更新認定受審
- ・ 日本医療マネジメント学会第9回群馬県支部学術集会開催
- ・ 病床機能分析
- ・ 差額ベッド、室料加算の収入増

(文責：清宮 きよ江)

6. 研修管理センター

1. スタッフ

研修管理センター長 臨床研修統括部長 臨床研修医 15名(2年次8名・1年次7名)

事務統括(医局秘書兼務)・事務(医局秘書兼務)・図書司書(医局秘書兼務)

2. 業務実績

1) 職員研修に関すること (人材育成)

院内で実施する研修会や講演会及び各部門勉強会の計画・実績把握

全職種合同新入職者オリエンテーションの実施(4/2~4/4)

新入職者コミュニケーション研修 (5/26)

階層別研修(中級・管理職)の実施 (ワールドカフェ方式)

院内学会の実施(10/5)

シミュレーター室の管理及び運用

2) 職員の資格取得に関すること

全職員の資格取得・資格更新・各研修会修了等の把握管理

3) 地域の医療人の教育・研修のため研修会・講演会開催

4) 医学生の実習に関すること

5) 臨床研修に関すること (卒後臨床研修機能評価認定)

臨床研修評価更新受審 (1/21)

群馬大学レジデントグランプリ参加(11/2) 3位獲得

研修医発表会の実施(12/6)

研修医合同ガイダンス参加(4月・7月・3月)

- 6) 新専門医制度に関すること
- 7) 図書に関すること (図書管理・文献検索・学会支援)
- 8) 医局秘書に関すること

3. 今後の目標

- ・階層別研修などについて、研修評価やフォローアップを実施し改善を図る。
- ・臨床研修医を確保する。
- ・初期臨床研修新プログラムについて申請・調整を進める。
- ・新専門医制度について他病院との連携を図り進める。

(文責：金澤 祐子)

7. 安全管理センター

1. スタッフ

センター長 1名(副病院長)

事務統括 1名(参事兼務)

安全管理グループ

- ・医療安全管理者 (専従リスクマネージャー) 1名
- ・院内感染管理者 (感染管理認定看護師) 1名
- ・事務員 1名

施設グループ

- ・事務員 6名
- ・電気主任技術者 1名(非常勤)

2. 業務内容

- ・医療安全管理委員会開催 (毎月)
- ・リスクマネージャー専門部会 (毎週)
- ・全リスクマネージャー会議 (5/31)
- ・I/A レポートの集計、報告、分析、対策
- ・院内安全巡視 (毎月)
- ・医療安全キャンペーンの実施
 - 4月～8月 : 確認の徹底
 - 9月～1月 : 転倒・転落防止
 - 2月～3月 : 薬剤誤投与防止
- ・医療安全地域対策連携加算相互評価 (11/27 12/4 2/22)
- ・院内感染予防対策委員会開催 (毎月)
- ・ICT活動 (毎週 ICT ラウンド、会議月 2回)
- ・AST活動 (毎週カンファレンスの実施)
- ・藤岡地域感染防止対策カンファレンス (第1回 6/21、第2回 9/20、第3回 12/20)
- ・感染対策地域連携加算相互評価 (5/23 足利赤十字病院訪問、8/23 桐生厚生総合病院受審)
- ・院内感染対策研修会

- ・ 藤岡地域感染防止対策カンファレンス
- ・ 地域周辺の病院・施設からのコンサルテーション対応
- ・ 地域連携加算相互チェック
- ・ 職員手帳発行準備
- ・ 患者安全文化アンケート（12月）
- ・ 火災避難訓練（2月）
- ・ 地震災害総合訓練（10月）
- ・ 院内災害医療訓練（6月・12月）
- ・ 委託、賃借等契約業務
- ・ 施設設備の維持
- ・ その他資産の管理業務

3. 研修業績

研修会の開催

【医療安全研修会】

- ① 医療安全必須研修会 職員全員対象
前期 6月 全8回
後期 9月 全8回
- ② 医療安全研修会 外部講師
CVポートの管理（5/30）
CVポート・チェストドレーンパックについて（11/29）
- ③ 新入職者-職種別-実習生関連の医療安全研修会（4/2）
- ④ シュミレーター研修（4/4）
- ⑤ 新人看護師研修（4/16）
- ⑥ 老健施設医療安全研修会（7/25）
- ⑦ 栄養室医療安全研修会（8/29）
- ⑧ 中途採用者医療安全研修会（12/18）
- ⑨ 看護補助業務における医療安全（4回開催）

【感染防止対策研修】

- ① 感染対策必須研修会 職員全員対象
前期 6月 全8回
後期 2月 全8回
- ② 院内感染対策研修会（1/16）
- ③ 新入職者-職種別-実習生関連の感染対策研修会
公立藤岡総合病院における感染対策（4/2）
シュミレーター研修（4/5）
標準予防策（新入職看護職員、リハビリテーション室 4/6）
中途採用者研修（適宜）
栄養室（8/29、8/30）
看護学生実習オリエンテーション（9/21、2/5）
リハビリテーション室（1/25）
高度個人防護具着脱訓練（3/29）

4. 今後の目標

- ① 医療安全管理指針、感染対策マニュアルの改訂
- ② 薬剤関連エラー、ドレーンチューブエラー、転倒転落防止対策の徹底
- ③ 災害対策(マニュアル、災害カード、一斉連絡配信システムオクレンジャー登録者の整備)
- ④ 医療安全・感染防止対策加算、施設基準継続の取り組み
- ⑤ 安全管理センターにおける業務整理と改善
- ⑥ 施設設備管理の徹底
- ⑦ 節電対策

(文責：齊藤 康行)

8. 患者支援センター

1. スタッフ

センター長（副院長兼地域医療支援連携センター長） 1名
 副看護部長兼病床管理 1名・課長兼事務統括 1名
 グループリーダー 1名・副看護師長 2名
 看護師 3名・相談員 7名・非常勤看護師 3名・事務員 2名

2. 業務の現況

入退院支援室、地域医療支援連携室、総合相談室

- ・医療・福祉の相談及び患者支援。
- ・病床管理と入退院のコーディネート。
- ・地域医療機関との病病・病診連携。福祉施設等との調整及び連携。
- ・病院ボランティアの対応とサポート。

3. 今後の目標

- ・地域包括ケアシステムの構築・推進に向けて当院の役割を担い、退院・転院調整に掛かる業務を改善して医療及び福祉相談の充実を図る。
- ・地域の医療機関及び介護施設職員との、入院時・退院前カンファレンスの体制をつくり、連携の強化を図る。
- ・スタッフの教育及び技術の向上を図り、患者さん及びそのご家族が納得と了承ができる情報提供と相談支援を行う。
- ・病院の利益追求だけでなく社会貢献も我々の業務ととらえ、地域の人々の幸せの向上を目指して様々な部門と連携を図り地域全体で患者さんを支えるネットワークの構築と研修会等を開催していく。

(文責：横坂 政彦)

9. 緩和ケアセンター

緩和ケアセンターでは、すべてのがん患者やその家族に対して、診断時からより迅速かつ適切な緩和ケアを切れ目なく提供するために、医師・看護師を中心とし、多職種が連携した質の高いチーム医療に努めている。

1. スタッフ

緩和ケアセンター長（専任医師） 1名
 専従看護師 1名、医療相談員 1名、兼任看護師 2名

2. 業務内容

- (1) 緩和ケアチームが中心となり、身体的症状や心の痛み、経済的問題など患者や家族が抱えて

いる苦痛の軽減を支援する。

- (2) がんに関する高次の相談に対応し、正しいがん情報を提供することで患者や家族が正しい判断や選択ができるよう支援する。
- (3) 緩和ケア外来やがん看護外来、がんサロンを実施する。
- (4) がんの地域連携パスの運用を行う。
- (5) 緩和ケア病床の運営、管理を行う。
- (6) 地域の医療機関の診療従事者と協働した緩和ケアにおける連携協力に関するカンファレンスを定期開催する。
- (7) 連携協力している医療機関等を対象にした患者の診療情報にかかる相談等、いつでも連絡が取れる体制を整備する。
- (8) 院内外の医療従事者に対する研修会等の運営を行う。
- (9) 緩和ケアセンターの運営に関するカンファレンスを定期開催する。

3. 今後の目標

質の高い緩和ケアの提供を目指し、緩和ケアセンターが中心となって患者・家族の療養支援をおこなっていく。また、カンファレンスの充実を図り、院内外との多職種連携を強化していく。緩和ケア病床の利用により、急性期緩和ケアを確立させ、在宅療養支援を積極的におこなっていく。

(文責：古池 きよみ)

10. しらさぎの里管理課

1. スタッフ

課長 外 6 名 (うち支援相談員 5 名)

2. 業務の現況

事務 2 名

・施設の庶務・経理・用度・修繕・車輛管理等 施設全般の管理業務を行っている。

介護老人保健施設 2 名

・支援相談員 1 名により、老健施設入退所の相談業務。

・介護支援専門員 1 名により、老健施設入所者の相談業務。

居宅介護支援事業 3 名

・介護支援専門員 3 名により、居宅介護支援事業を行っている。(ケアマネージャー)

3. 今後の目標

・数値目標を掲げ、各サービスの利用者の増加を図る。

入所者 一日平均：76 人超

通所者 一日平均：45 人超

・研修会への積極的な参加で全職員の意識改善を図り、サービスの質向上、接遇強化に努める。

・地域の事業所、医療機関等と情報を共有し連携を強化していく。

(文責：中里 光夫)

病 院 行 事

病院行事

1. 主な病院行事

実施年月日	行 事 名
平成30年4月2日	辞令交付式、新採用職員研修 臨床研修医オリエンテーション
5月11日	全国自治体病院協議会関東地方会議（東京都）
6月6日	藤岡多野医師会との懇話会
6月25日	全国自治体病院協議会群馬県支部総会（前橋市）
7月6日	群馬県公立病院協議会（渋川市）
7月15日	臨床研修指定病院合同セミナー（東京ビックサイト）
7月21日	職員採用試験
8月8日	平成31年度臨床研修医採用試験
8月16日	平成29年度決算審査
8月22日	平成31年度臨床研修医採用試験
10月5日	第8回院内学会
10月6日	リレーフォーライフジャパン2018 ぐんま （群馬アリーナ～7日）
10月15日	火災避難訓練
10月26日	群馬県公立病院協議会（渋川市）
10月30日	組合議会行政視察（東京都・神奈川県～31日）
11月10日	職員採用試験
11月19日	第2回組合議会定例会
11月30日	職員永年勤続者表彰
12月6日	臨床研修医症例検討会
12月28日	仕事納め
平成31年1月4日	仕事始め、辞令交付式
1月18日	群馬県公立病院協議会（前橋市）
1月26日	職員採用試験
1月28日	全国自治体病院協議会群馬県支部総会（高崎市）
2月8日	職員採用予定者説明会
2月9日	職員採用試験
2月14日	第1回組合議会定例会
3月6日	地震災害総合訓練
3月29日	定年退職者等辞令交付式

2. 職員健康管理

実施年月日	内 容
平成30年6月15日～1月31日	HBワクチン接種
6月25日～7月6日	前期職員健康診断
7月30日～8月27日	前期電離放射線健康診断
11月20日～11月29日	インフルエンザワクチン接種（混合）
12月3日～12月20日	後期職員健康診断
平成31年2月13日～3月22日	後期電離放射線健康診断

3. 職員共済行事

実施年月日	行 事 名
平成30年6月13日	理事会・評議員会
6月17日	群馬県公的病院バレーボール大会（富岡市）
9月15日	西毛地区公立病院親善野球大会（安中市）
11月7日	体育部 ボウリング大会（藤岡ボウル）
11月30日	厚生部 勤続10年記念品配布
平成31年3月13日	理事会・評議員会

<平成30年度> 病院年報

発行日 令和元年11月

発行 多野藤岡医療事務市町村組合

公立藤岡総合病院

〒375-8503 群馬県藤岡市中栗須813番地1

TEL 0274-22-3311 (代表)

企画・編集 経営管理部 企画財政課